

「体験の風をおこそう」運動[®]

青少年の体験活動等に関する意識調査
(令和元年度調査)

報告書

令和3年3月

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査内容	2
1.3 調査対象	2
1.4 調査主体・調査実施機関	2
1.5 調査実施期日	2
1.6 調査方法	2
(1) 調査対象者の抽出	2
(2) 調査の方法	2
(3) 倫理的配慮	3
1.7 回収数	3
1.8 調査研究協力者	4
第 2 章 調査結果の概要	5
第 3 章 調査の結果	17
3.1 青少年調査	18
3.1.1 青少年の体験	18
(1) 自然体験	18
(2) 生活体験	22
(3) 社会体験	25
(4) お手伝い	28
(5) 文化芸術体験	32
(6) 1年間の学校外での体験活動	33
3.1.2 青少年の生活	46
(1) 生活習慣	46
(2) ふだんの生活	49
(3) 生活実態	52
3.1.3 青少年の意識	58
(1) 自立的行動習慣	58
(2) 自己肯定感	63
3.2 保護者調査	67
3.2.1 公的機関等が行う行事への参加	67
3.2.2 家族や友だちと行う自然体験活動	70
3.2.3 外遊び体験	71
3.2.4 体験活動に関する意識	72
3.2.5 子供へのしつけ	74
3.2.6 保護者の自然体験	79

3.3	青少年の体験と意識の関係	80
3.3.1	体験と自立的行動習慣に関する指標の関係	80
3.3.2	体験と自己肯定感の関係	86
3.3.3	体験と道徳観・正義感の関係	90
3.3.4	体験と探究力の関係	94
3.4	青少年の自立的行動習慣に関する指標と意識や生活行動の関係	99
3.4.1	自律性、積極性、協調性と「早寝早起き朝ごはん」習慣の関係	99
3.4.2	自律性、積極性、協調性と自己肯定感の関係	100
3.4.3	自律性、積極性、協調性と心身の疲労感の関係	100
3.5	保護者の行動や家庭環境と子供の体験の関係	103
3.5.1	保護者の自然体験と子供の体験の関係	103
3.5.2	保護者の子供へのしつけと子供の体験の関係	104
3.5.3	世帯年収や教育費と子供の体験活動等の関係	105
第4章	考察	109
4.1	青少年の外遊び体験の意義—探究力との関連を踏まえて—	109
4.2	子どもが屋外で過ごす時間と肥満および近視との関連の分析	118
4.3	社会経済的背景からみた青少年の体験活動の特徴	129
第5章	調査結果集計表	134
5.1	集計表の見方	134
5.2	子供調査	135
5.3	保護者調査	154
資料	調査票	168
1	子供用調査票	168
(1)	小学生用	168
(2)	中学生用	173
(3)	高校生用	180
2	保護者用調査票	187
参考1	経年比較を行った調査	194
参考2	探究力に関する16項目の探索的因子分析および確認的因子分析結果	195

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

青少年教育関係者が実施する事業の企画立案、運営等に資するため、青少年の体験活動等や自立に関する意識等の実態について全国規模の調査を実施し、基礎資料を提供する。

1.2 調査内容

国立青少年教育振興機構では、平成18年度から青少年の自然体験、生活体験、生活習慣の実態や自立に関する意識等について全国規模の調査を行っている。令和元年度調査では、多様で変化の激しい社会において個人の自立の必要性が指摘されていることを踏まえて、将来の社会的自立の基礎となる資質・能力の一つとして青少年の自立的行動習慣に関する指標である「自律性」、「積極性」、「協調性」に着目し、自然体験、生活体験、お手伝いといった体験活動、早寝早起き朝ごはん等の生活習慣、自己肯定感や心身の疲労感に関する意識等との関係について分析した。さらに、平成29・30年改訂学習指導要領で述べられている「学びに向かう力・人間性等」、生きて働く「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」の基礎となり、「総合的な探究の時間」でも重要視されている探究に関わる資質・能力を「探究力」としてとらえ、これらを測定するための設問を加えた。

また、自然体験、生活体験、社会体験、お手伝い等の体験活動を中心に、平成10年に実施した「子供の体験活動等に関するアンケート調査（文部省（当時）委嘱調査）：青少年教育活動研究会実施」、平成17年度に実施した「青少年の自然体験活動等に関する実態調査（（独）国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター実施）」などとの比較も行い、青少年の体験や意識等の経年変化（平成10年～令和元年）についても分析を行った。

令和元年度調査では、ボランティア体験、文化芸術体験に関する内容を加えて、体験活動をとらえた。そして、青少年の体験活動等や自立に関する意識等を検討する上で、幼児期の外遊び、生理的指標、社会経済的背景にも着目した。第1に、生涯発達の観点から、青少年の体験活動につながると考えられる「外遊び」を取りあげる。本調査では、「外遊び」を「屋外での、自発的で、成果を生み出すことが目的ではない活動」としてとらえる。平成29年度「幼稚園教育要領」（文部科学省，2017）では、「家庭との緊密な連携の下、小学校以降の教育や生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、幼児の自発的な活動としての遊びを通しての総合的な指導をする」ことが述べられている。第2に、生理的指標として身長と体重による体格、青少年の外遊びとの関係が指摘されている近視傾向を取りあげる。第3に、貧困と教育等の機会の公平性の問題が国際的にも注目され（「世界子供白書2016」（unicef）等）、令和元年には「子供の貧困対策に関する大綱」が策定されたことを踏まえて社会経済的背景を取りあげる。これらの3点について、追加分析と考察を行った。

< 青少年調査 >

- ・ 自然体験、生活体験、社会体験、お手伝いの実態
- ・ 1年間の学校外での体験活動、文化芸術体験
- ・ 生活習慣等の実態
- ・ 生活実態
- ・ 自立的行動習慣、自己肯定感、道徳観・正義感
- ・ 探究力、身長と体重、近視傾向、主観的経済状況 他

＜保護者調査＞

- ・ 公的機関が行う行事への参加、子供が行事へ参加しなかった理由
- ・ 子供の自然体験活動に関する意識
- ・ 保護者の子供へのしつけや教育等に関する実態
- ・ 保護者の自然体験の実態
- ・ 子供の幼児期における外遊び
- ・ 世帯収入や子供の教育費 他

1.3 調査対象

- ・ 全国の公立小学校 1 年生・2 年生・3 年生の保護者
- ・ 全国の公立小学校 4 年生・5 年生・6 年生とその保護者
- ・ 全国の公立中学校 2 年生
- ・ 全国の公立全日制高等学校 2 年生

1.4 調査主体・調査実施機関

独立行政法人国立青少年教育振興機構

1.5 調査実施期日

都道府県及政令指定都市教育委員会宛協力依頼状発送	: 令和 2 年 1 月 14 日 (火)
市区町村組合教育委員会宛協力依頼状発送	: 令和 2 年 1 月 20 日 (月)
調査票発送	: 平成 2 年 1 月 27 日 (月)
回収締め切り	: 平成 2 年 4 月 16 日 (木)

1.6 調査方法

(1) 調査対象者の抽出

調査対象者は層化二段集落抽出法により抽出した。まず全国の公立学校を学校規模と都市規模で層化し、小学校は600校（各学年100校）、中学校は150校（2年生のみ）、高等学校は150校（2年生のみ）を抽出した。

次に、抽出された学校では、小学校は各学校の該当学年において1学級を選出し、1～3年生はその学級に在籍する児童の保護者、4～6年生はその学級に在籍する児童及びその保護者を調査対象とした。また、中学校及び高等学校は2年生のみを調査対象とし、1学級を選出し、その学級に在籍する生徒を調査対象とした。

(2) 調査の方法

調査は、文部科学省、各都道府県・政令指定都市教育委員会及び関係市区町村組合教育委員会の協力を得て実施した。調査票は、小学生用、中学生用、高校生用、保護者用のあわせて4種類を用意した。小学校では、1年生から3年生までは保護者用のみ、4年生から6年生までは小学生用と保護者用を学級で配付してもらい、基本的に各自の自宅で記入してもらった。中学校及び高等学校では、学級で調査票を配付し、基本的に教室内で記入してもらった。

令和元年度調査では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行状況を考慮して、

回収締め切りを1か月程度延長するなど、青少年と保護者、ならびに学校へ過度な負担をかけるないように留意した。

(3) 倫理的配慮

本調査への協力は、自由意思によるものであり、不参加の場合も不利益を受けることはなく、回答したくない質問に対しては回答しなくてもよいことを調査票に明記した。回答結果について調査対象となった学校名や個人名は特定されないこと、本調査で得られたデータは外部研究機関及び研究者により二次的に活用されることについても、調査票に文章で説明した。

調査協力の同意は、調査への回答及び用紙の提出によって行うことを調査票に明記した。さらに、小学4年生～高校2年生の未成年が回答することを考慮して、保護者が調査に同意しない場合、その旨を連絡することで該当する調査票のIDを識別してデータを削除できるようにして、同意撤回の要望にも対応した。保護者への調査を実施しない中学2年生、高校2年生には、保護者向けの説明書を添付した。

調査にあたっては、「青少年教育研究センター研究倫理委員会」の承認を得た。

1.7 回収数

学校種別	配布数			回収数						
	学年	学校数 ^①	在籍児童・生徒数 ^②	学校数		調査票				組数 ^d
				回収数 ^③	回収率 ^a	子供用		保護者用		
						回収数 ^④	回収率 ^b	回収数 ^⑤	回収率 ^c	
小学校	1年	100	2,881	89	89.0%	***	***	2,078	72.1%	***
	2年	100	2,803	83	83.0%	***	***	1,947	69.5%	***
	3年	100	3,030	92	92.0%	***	***	2,281	75.3%	***
	4年	100	3,014	85	85.0%	2,161	71.7%	2,162	71.7%	2,155
	5年	100	2,997	87	87.0%	2,173	72.5%	2,186	72.9%	2,164
	6年	100	3,083	81	81.0%	2,091	67.8%	2,088	67.7%	2,080
中学校	2年	150	5,160	119	79.3%	3,691	71.5%	***	***	***
高等学校	2年	150	5,522	125	83.3%	4,361	79.0%	***	***	***
計		900	28,490	761	84.6%	14,477	73.2%	12,742	71.6%	

回収率a：③÷①×100

回収率b：④÷②×100

回収率c：⑤÷②×100

組数d：回収した調査票のうち、同一家庭で子供用と保護者用の調査票ともに回収できた数

(注)

1) 学校規模については、全校児童生徒数に応じて小学校・中学校は3種類、高等学校は2種類にカテゴリー化したが、具体的には次のとおりである。

小学校・中学校「360人以下」「361人～540人」「541人以上」

高等学校「720人以下」「721人以上」

2) 都市規模については、平成30年10月1日時点で市区町村を分類し、平成31年1月1日住民基本台帳人口(統計)に基づく各市区町村の人口に応じて、「100万以上市」「50万以上市」「20万以上市」「10万以上市」「5万以上市」「5万都市未満・郡」の6種類にカテゴリー化した。

1.8 調査研究協力者

土屋 隆裕 氏 横浜市立大学データサイエンス学部教授

第 2 章 調査結果の概要

第2章 調査結果の概要

調査結果として、主に次の3点が示された。

- ①自然体験や生活体験、文化芸術体験が豊富な子供、お手伝いを多く行っている子供は、探究力が身についている傾向がある。
- ②約20年間で子供の自然体験は平成10年度と同程度に戻っているが、近年には一部の体験にやや減少傾向がみられる。一方で、自立的行動習慣が身についている子供や自己肯定感が高い子供は増加傾向にある。
- ③1年間の公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事への参加率は50.0%であった。これらの行事へ参加しない理由として、子どもが関心を示さない、保護者などの時間的負担が大きいということがあげられた。

2.1 青少年の体験と探究力の関係

平成29・30年改訂学習指導要領で述べられている「学びに向かう力・人間性等」、生きて働く「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」の基礎となり、「総合的な探究の時間」でも重要視されている探求に関わる資質・能力を「探究力」としてとらえ、青少年の自然体験・生活体験といった様々な体験、家庭でのお手伝いの関係について分析した（探求力に関する指標については3.3.4を参照）。

自然体験が豊富な子供ほど、探究力が身についている

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、自然体験全体の合計得点について、探究力とクロス集計を行ったところ、自然体験が豊富な群ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた（図2-1-1）。

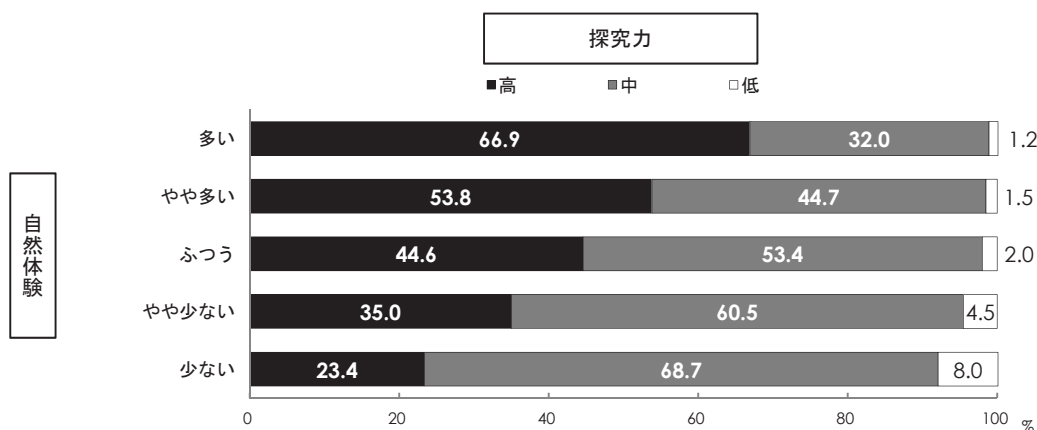


図2-1-1 自然体験と探究力の関係（小4～小6、中2、高2）

生活体験が豊富な子供ほど、探究力が身についている

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、生活体験全体の合計得点について、探究力とクロス集計を行ったところ、生活体験が豊富な群ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた（図2-1-2）。

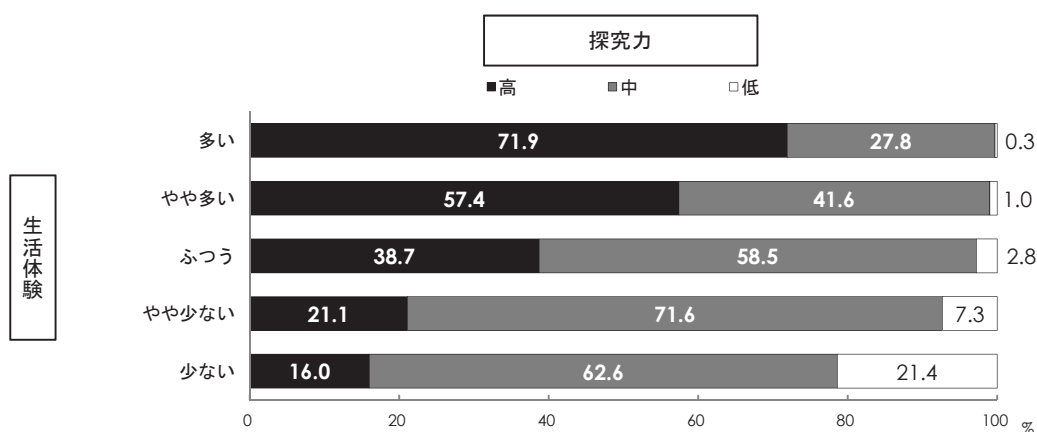


図 2-1-2 生活体験と探究力の関係 (小 4~小 6、中 2、高 2)

お手伝いをよくする子供ほど、探究力が身についている

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、お手伝い全体の合計得点について、探究力とクロス集計を行ったところ、お手伝いを多くしている群ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた (図 2-1-3)。

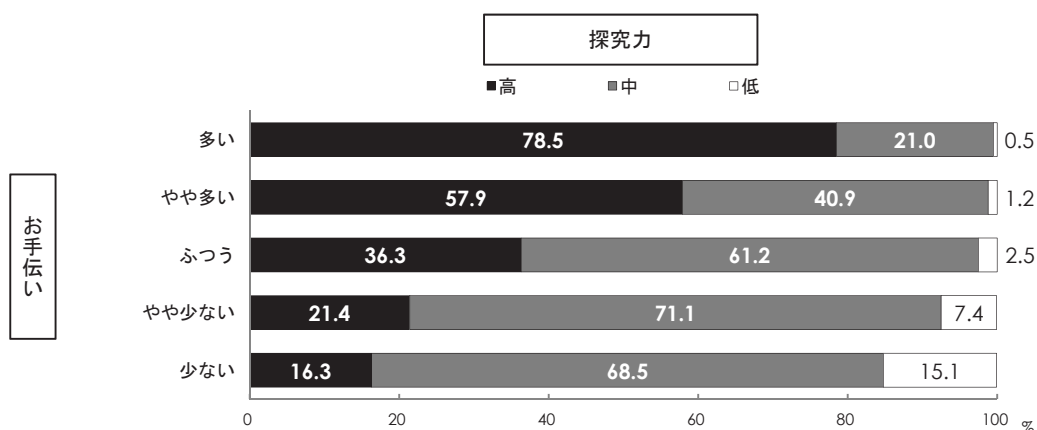


図 2-1-3 お手伝いと探究力の関係 (小 4~小 6、中 2、高 2)

1 年間の文化芸術体験が豊富な子供ほど探究力が身についている

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、1 年間の文化芸術体験に関する回答について、探究力とクロス集計を行ったところ、文化芸術に関わる作品や活動をテレビや DVD、インターネットなどで鑑賞、あるいは映画館、美術館、博物館、劇場などで直接鑑賞したり、作品を作ったり演じたりしている子供ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた (図 2-1-4~2-1-6) なお、小学生の 1 年間の文化芸術体験については保護者が回答している。

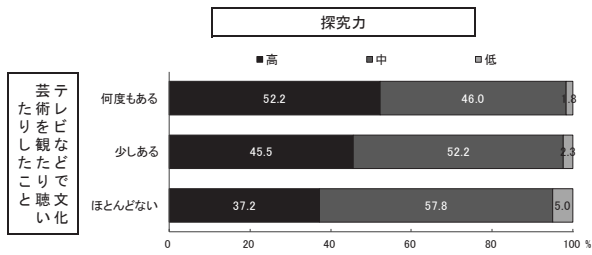


図 2-1-4 テレビなどで文化芸術を観たり聴いたりしたことと探究力の関係 (小4～小6、中2、高2)

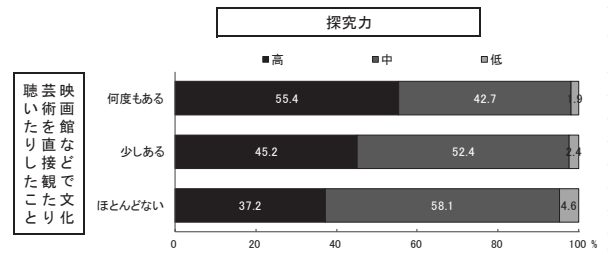


図 2-1-5 映画館などで文化芸術を直接観たり聴いたりしたことと探究力の関係 (小4～小6、中2、高2)

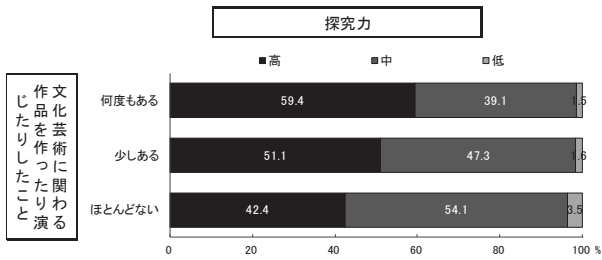


図 2-1-6 文化芸術に関わる作品を作ったり演じたりしたことと探究力の関係 (小4～小6、中2、高2)

2.2 青少年の体験活動等の現状と推移

(1) 自然体験

約 20 年間で子供の自然体験は平成 10 年度と同程度に戻っているが、一部にやや減少傾向がみられる

図 2-1-1 の自然体験に関する項目に対して「何度もある」と回答した割合をみると、「海や川で泳いだこと」(51.8%) が最も大きく、次いで「野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと」(45.6%)、「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」(44.1%)、となっている。

一方、他の自然体験に関する項目と比べて割合が小さかったものは、「ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと」(16.2%)、「大きな木に登ったこと」(24.8%)、「キャンプをしたこと」(27.7%)、となっている(図 2-2-1)。

自然体験の推移をみると、平成 17 年度から平成 24 年度にかけて「何度もある」の割合が大きくなり、平成 24 年度以降は横ばいで推移している。一部の自然体験については「何度もある」の割合にやや減少傾向がみられる(図 2-2-2~2-2-5)。

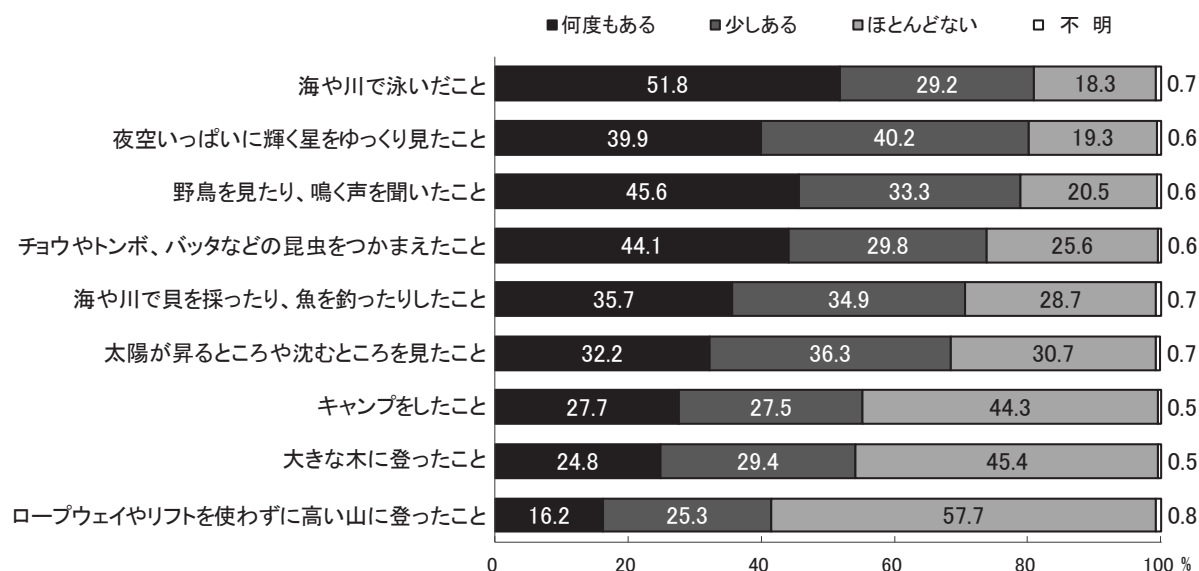


図 2-2-1 自然体験の現状 (小 4~小 6、中 2、高 2)

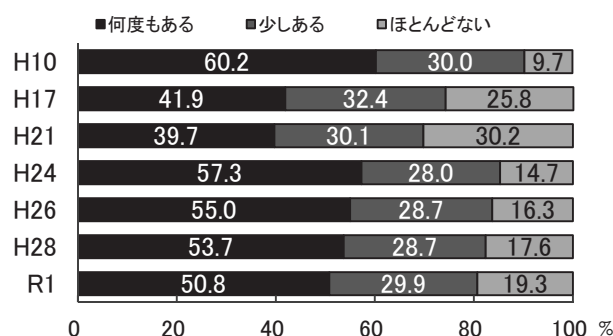


図 2-2-2 海や川で泳いだことの推移 (小 4、小 6、中 2)

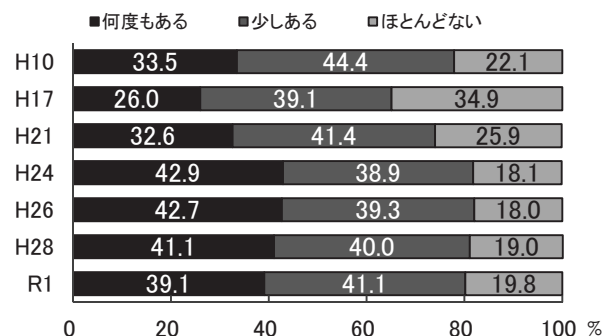


図 2-2-3 夜空いっぱい輝く星をゆっくり見たことの推移 (小 4、小 6、中 2)

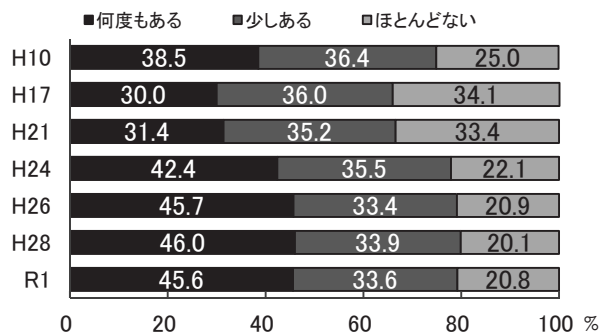


図 2-2-4 野鳥をみたり、鳴く声を聞いたことの推移 (小4、小6、中2)

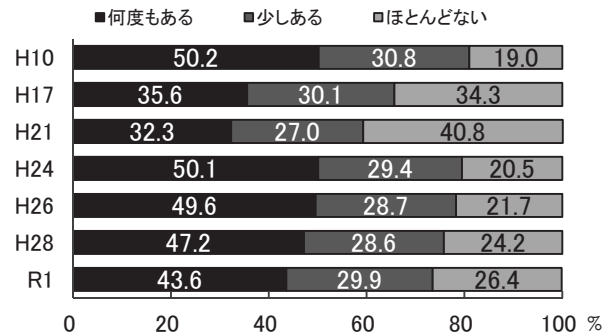


図 2-2-5 チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたことの推移 (小4、小6、中2)

平成 17 年度調査以降の数値を平成 10 年度調査の数値と比較するため、集計対象を小4、小6、中2のみとし、かつ不明な回答を除いている (生活体験・お手伝いについても同様)。
平成 21 年度までの調査票では「あなたは、次のようなことをどのくらいしたことがありますか。」、平成 24 年度以降の調査票では「あなたは、これまでに次のようなことをどのくらいしたことがありますか。」と教示している。

(2) 生活体験

子供の生活体験は一部にやや減少傾向がみられる

以下の生活体験に関する項目に対して「何度もある」と回答した割合をみると、「タオルやぞうきんを絞ったこと」(92.2%)が最も大きく、次いで「小さい子供を背負ったり、遊んであげたりしたこと」(52.4%)、「ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと」(48.5%)となっている。

一方、他の生活体験に関する項目と比べて小さかったものは、「赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと」(13.3%)、「弱いものいじめやケンカをやめさせたり、注意したこと」(16.7%)となっている (図 2-2-6)。

「タオルやぞうきんをしばったこと」に「何度もある」と答えた割合は、平成 10 年度から増加し、平成 24 年度以降は横ばいで推移している (図 2-2-7)。

「ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと」や「小さい子供を背負ったり遊んであげたりしたこと」、「道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと」の「何度もある」の回答割合の推移をみるとやや減少傾向にある (図 2-2-8～2-2-10)。

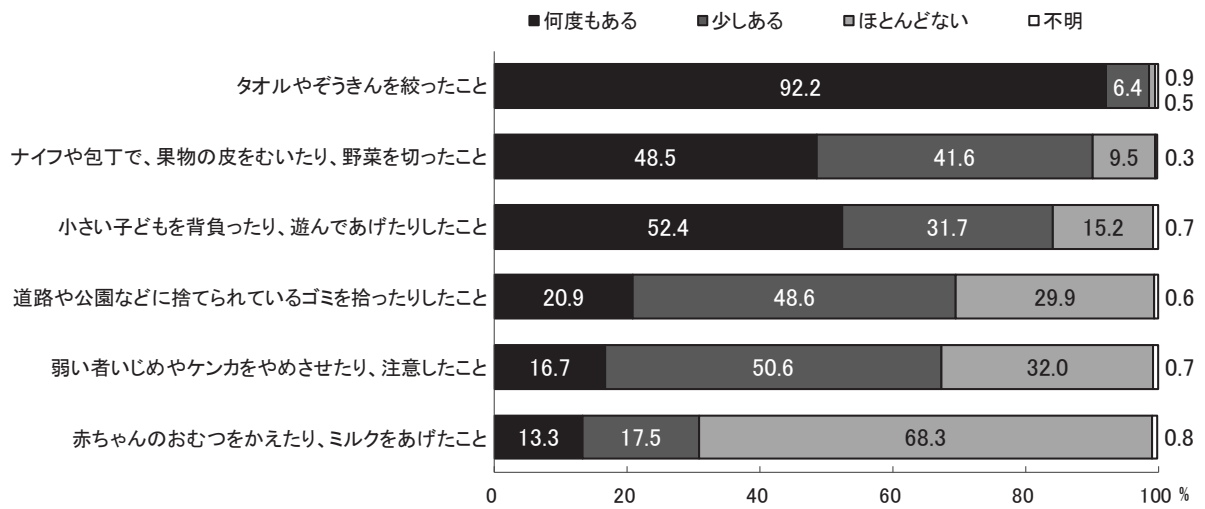


図 2-2-6 生活体験の現状 (小 4～小 6、中 2、高 2)

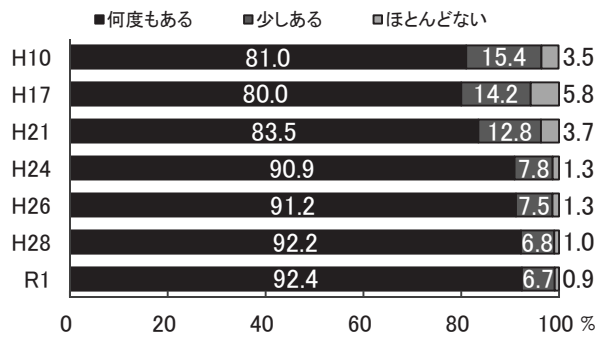


図 2-2-7 タオルやぞうきんを絞ったことの推移 (小 4、小 6、中 2)

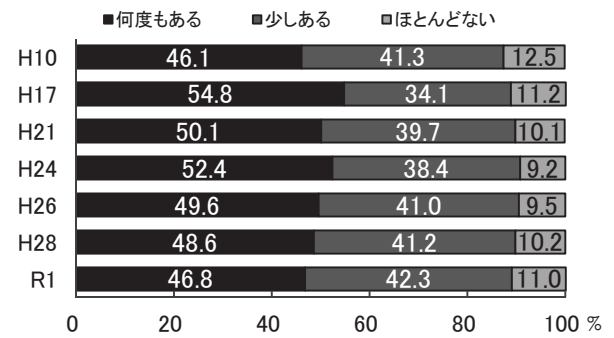


図 2-2-8 ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと (小 4、小 6、中 2)

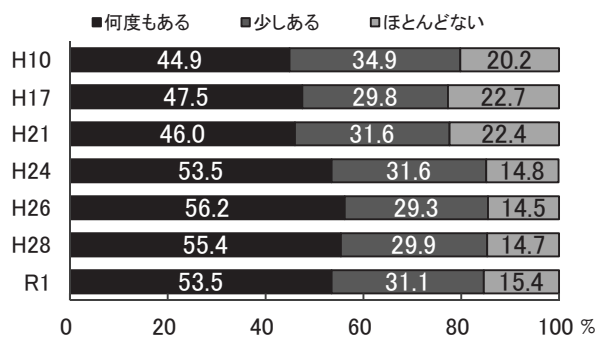


図 2-2-9 小さい子供を背負ったり、遊んであげたりしたことの推移 (小 4、小 6、中 2)

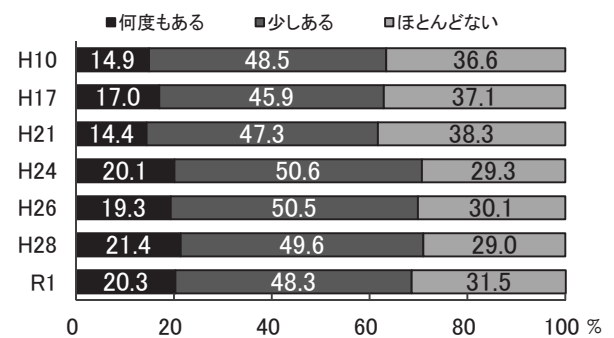


図 2-2-10 道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたことの推移 (小 4、小 6、中 2)

(3) お手伝い

日常のお手伝いの実施率は2～3割程度であり、約20年間で増加している

以下のお手伝いに関する項目に対して「いつもしている」と回答した割合をみると、「食器をそろえたり、片付けたりすること」(35.1%)が最も大きく、次いで「お風呂洗いをしたり、窓ふきを手伝うこと」(23.9%)、「家の中のお掃除や整頓を手伝うこと」(23.3%)となっている。

一方、他のお手伝いに関する項目と比べて低かったものは、「靴などをそろえたり、磨いたりすること」(16.6%)、「お料理の手伝いをする事」(18.7%)、「新聞や郵便物をとってくる事」(18.9%)となっている(図2-2-11)。

お手伝いの推移をみると、平成10年度から平成24年度にかけて「いつもしている」の割合が大きくなっているが、平成24年度以降は横ばいで推移している(図2-2-12～2-2-15)。

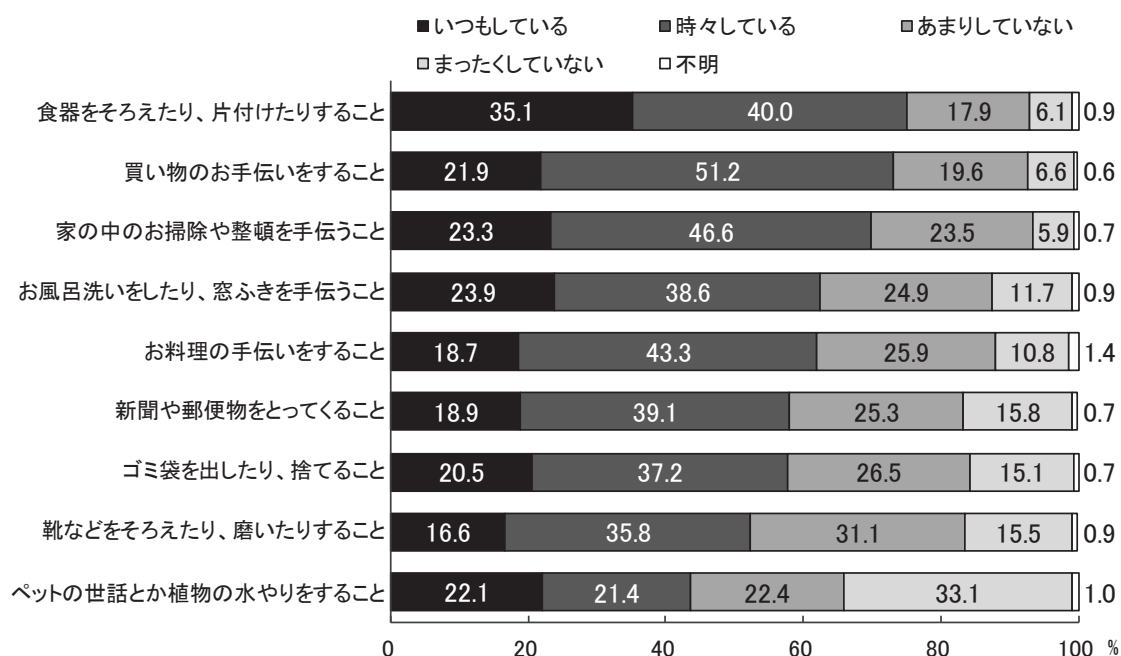


図2-2-11 お手伝いの現状(小4～小6、中2、高2)

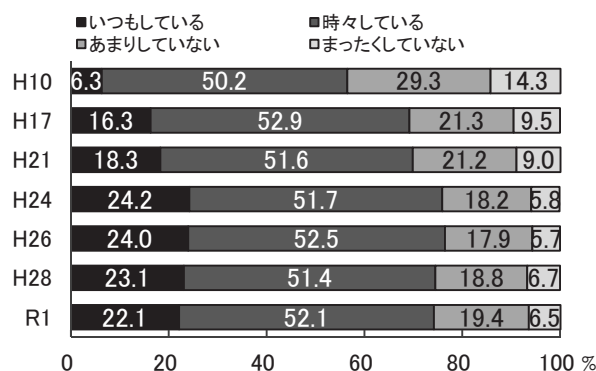


図2-2-12 買い物のお手伝いをする事の推移(小4、小6、中2)

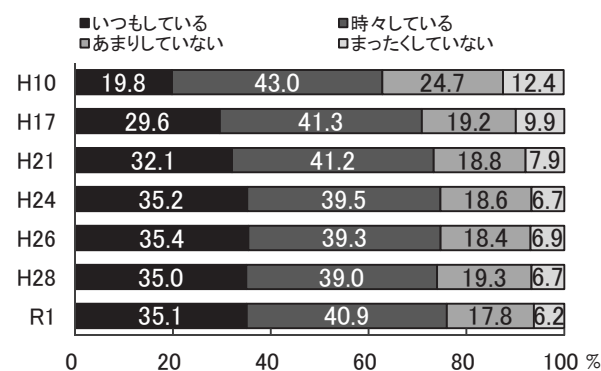


図2-2-13 食器をそろえたり、片づけたりすること(小4、小6、中2)

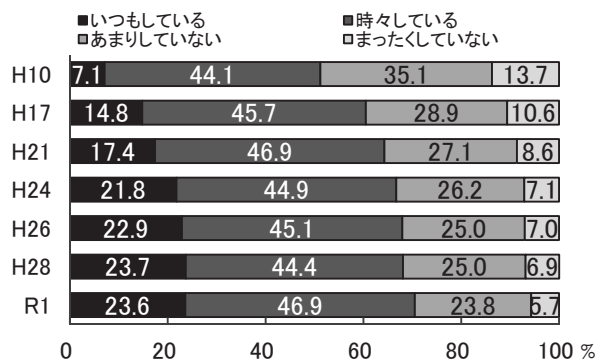


図 2-2-14 家の中のお掃除や整頓を手伝うことの推移(小4、小6、中2)

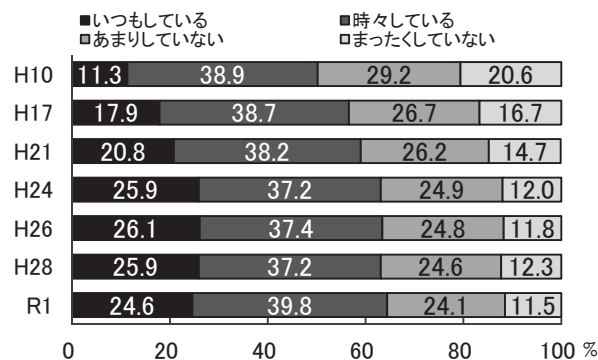


図 2-2-15 お風呂洗いをしたり、窓ふきを手伝うことの推移(小4、小6、中2)

(4) 読書

高校2年生の5割以上は本を「ほとんど読まない」

学年別にみると、学年が上がるにつれ読書数は減少し、高校2年生では「ほとんど読まない」子供の割合が5割以上である(図2-2-16)。

1か月に読む本の数の推移をみると、令和元年度にかけて「10冊以上」及び「5~9冊」の割合が大きくなっているが、令和元年度には平成28年度に比べて「ほとんど読まない」の割合も微増している(図2-2-17)。

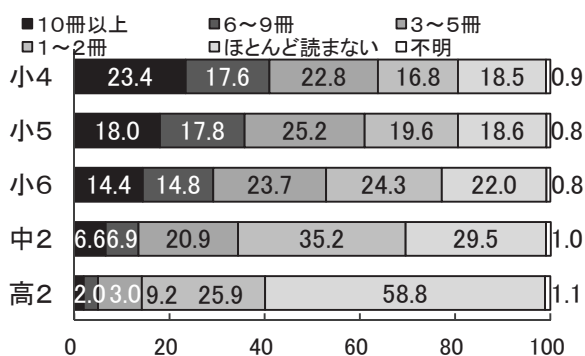


図 2-2-16 1か月に読む本の数(小4~小6、中2、高2)

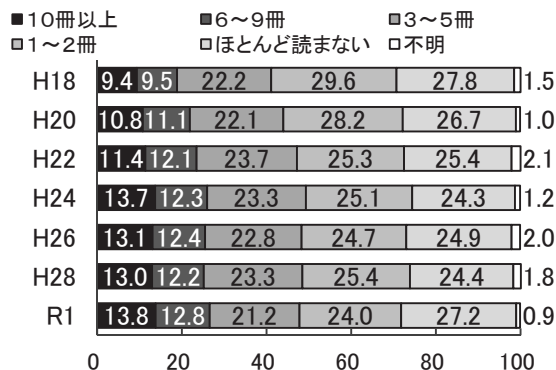


図 2-2-17 1か月に読む本の数の推移(小4~小6、中2、高2)

(5) ふだん起きる時間と寝る時間

早寝早起きをする小学生が増えている

平成24年から令和元年にかけて、小学生ではより早い時間に起きて、早い時間に寝るといった割合が増加している傾向がある(図2-2-18、図2-2-19)。一方で、中学2年生と高校2年生では、午前6時30分より前に起きる割合が減少していた(図2-2-20)。

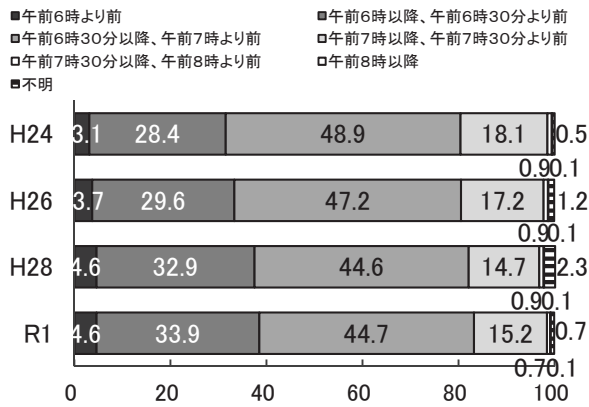


図 2-2-18 ふだん起きる時間（小学生）

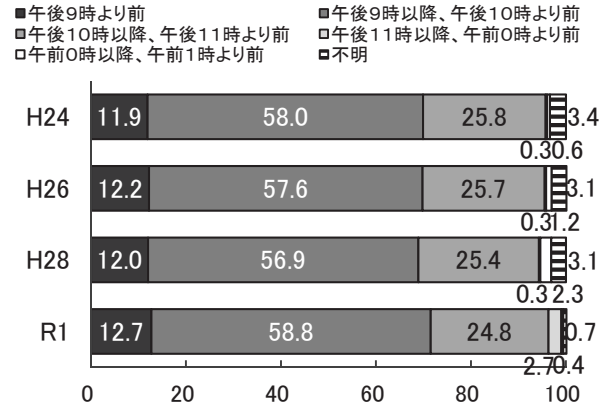


図 2-2-19 ふだん寝る時間（小学生）

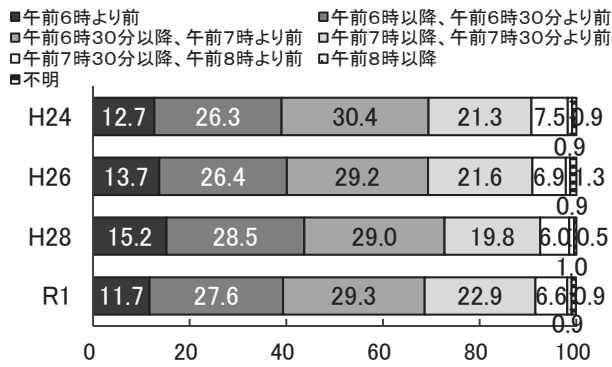


図 2-2-20 ふだん起きる時間（中2、高2）

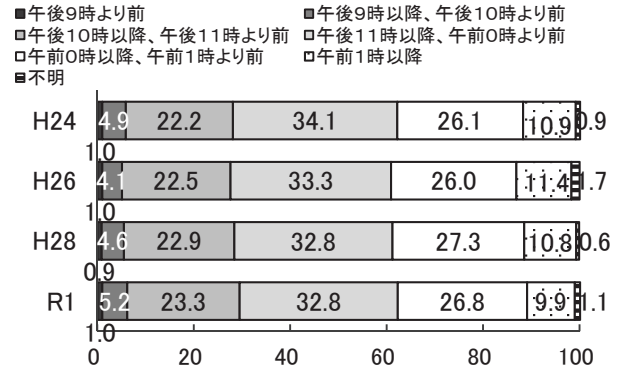


図 2-2-21 ふだん寝る時間（中2、高2）

2.3. 青少年の意識等の現状と推移

(1) 自立的行動習慣

自立的行動習慣が身につけている子供の割合は約10年間で向上

自立的行動習慣全体の学年間の「身につけている」と「やや身につけている」の割合は小学4年生から小学6年生にかけて増加し、中学2年生では減少するが、高校2年生では微増していた（図2-3-1）。

自立的行動習慣全体の推移をみると、平成18年度から令和元年度にかけて「身につけている」と「やや身につけている」を合計した割合は大きくなっている（図2-3-2）。

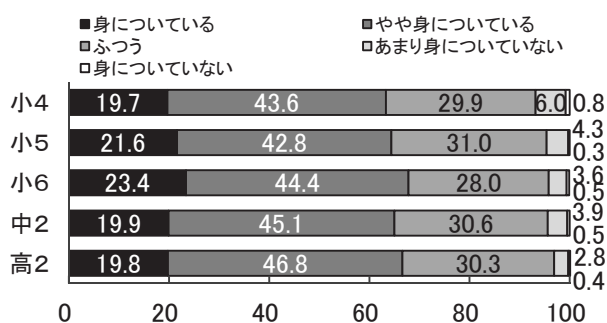


図2-3-1 自立的行動習慣の現状（学年別）
（小4～小6、中2、高2）

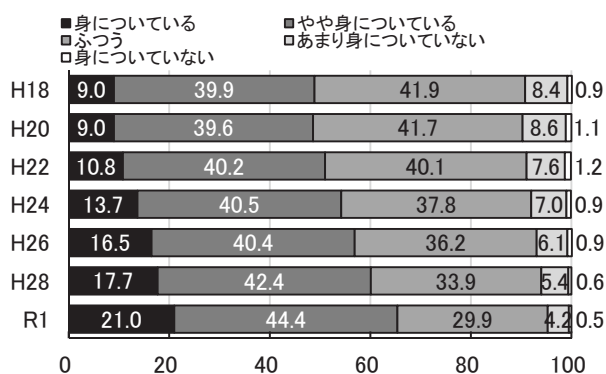


図2-3-2 自立的行動習慣の経年比較
（小4～小6、中2、高2）

(2) 自己肯定感

自己肯定感が高い子供の割合は向上傾向

「高い」と「やや高い」の割合は、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、特に小学6年から中学2年にかけて大きく減少していた（図2-3-3）。

自己肯定感全体の推移をみると、平成20年度から令和元年度にかけて「高い」「やや高い」を合計した割合は大きくなっている（図2-3-4）。

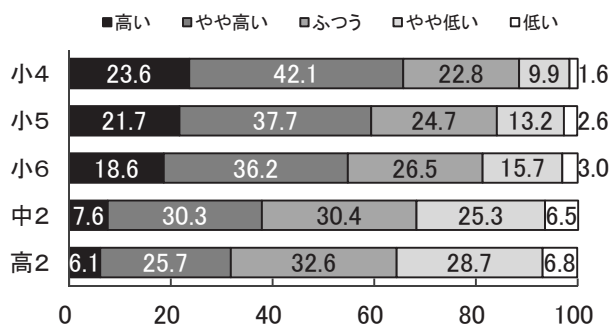


図2-3-3 自己肯定感の現状（学年別）

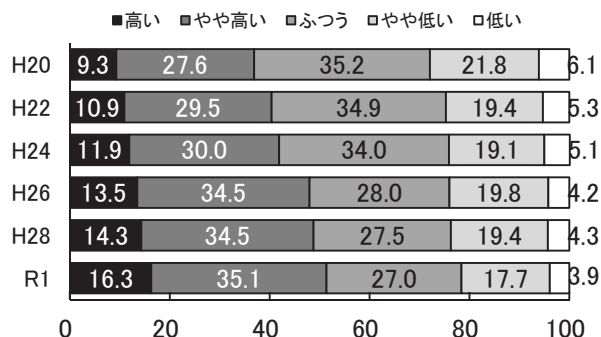


図2-3-4 自己肯定感の経年比較

2.4. 公的機関等が行う行事への参加

小学生が公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事への参加率は50.0%

自身の子供が、調査年の1年前（平成31年）の4月から調査時点までに公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事への参加率は50.0%であった（図2-4-1）。「参加しなかった」と回答した保護者へ理由を選択式で尋ねた結果、「子どもが関心を示さないから」（34.3%）、「保護者などの時間的負担が大きいから」（24.3%）、「団体や行事などがあることを知らないから」（16.8%）が多くみられた（図2-4-2）。「特に理由はない」（21.8%）という回答も2割ほどみられた。

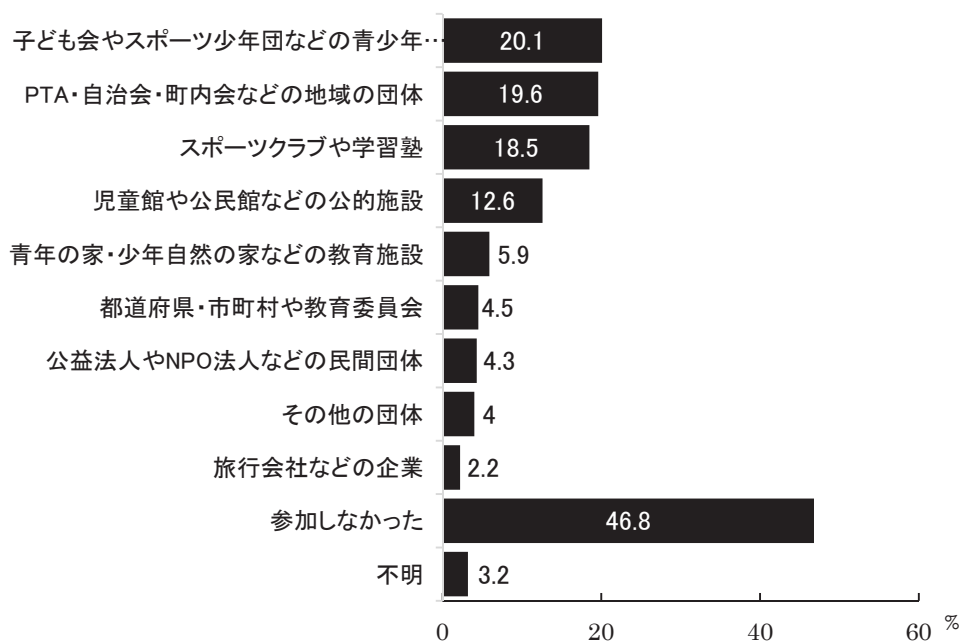


図2-4-1 公的機関等が行う行事への参加状況

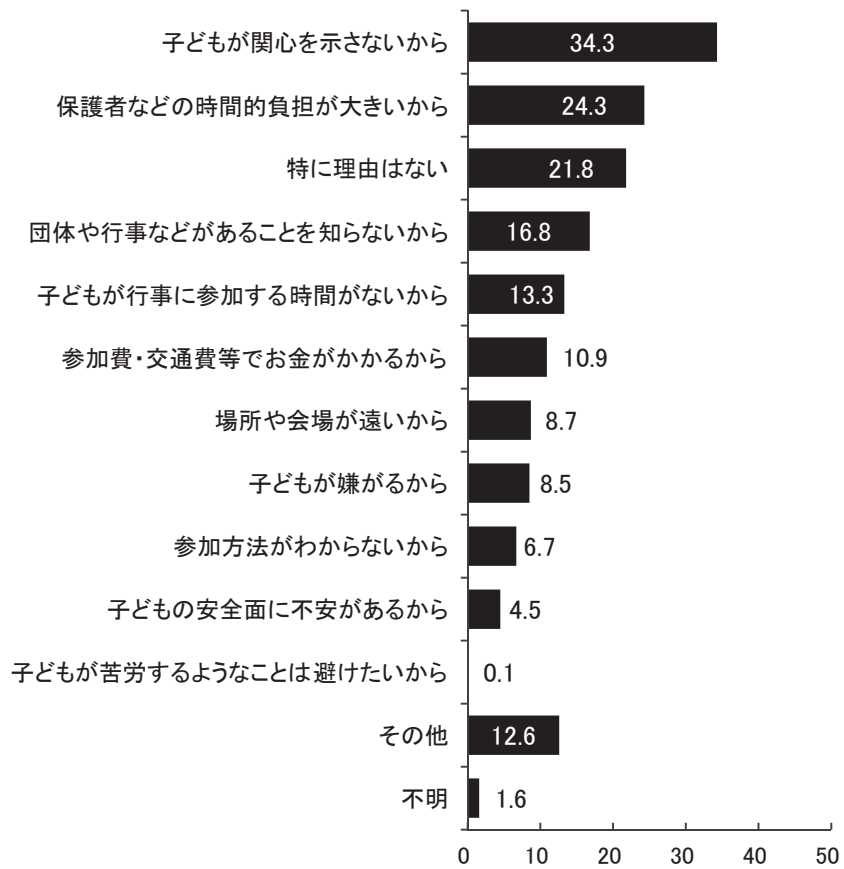


図2-4-2 公的機関等が行う行事に参加しなかった理由（小1～小6）

第 3 章 調査の結果

第3章 調査の結果

本調査は、調査の概要（第1章）で述べたように、青少年教育関係者が実施する事業の企画立案、運営等に資するために実施した、青少年の体験活動や意識等の実態についての全国規模の調査である。

分析にあたっては、青少年の自然体験や生活体験、早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣の実態等について、令和元年の実態、学年間の比較、平成10年～令和元年の21年間または平成18年から令和元年の13年間などの経年比較を行った。平成10年から令和元年の23年間の経年比較については、過去の調査で分析対象としてきた、小学4年生、小学6年生、中学2年生のデータを用い、「不明」の回答を除いたサンプルを母数としている。それにあわせて、平成18年～令和元年の13年間の経年比較についても、小学4年生、小学6年生、中学2年生のデータを用いている。

また、青少年の保護者における公的機関等が行う行事への参加、子供が家族や友だちと行う自然体験活動、自然体験活動に関する意識、子供へのしつけ、保護者自身の自然体験についても分析した。

さらに、青少年の自立的行動習慣に関する指標である「自律性」、「積極性」、「協調性」と自然体験、生活体験、お手伝い、文化芸術体験といった体験活動との関係を分析した。同様に探究力に関する指標についても、自然体験、生活体験、お手伝い、文化芸術体験といった体験活動との関係を分析した。そして、保護者の行動や家庭環境に注目して、青少年の体験活動と保護者の子供の頃の自然体験、子供へのしつけ、世帯年収や教育費との関係について分析した。

以下に、それらの結果をまとめる。グラフの比率については、小数点第2位を四捨五入した数値を用いていることから、各項目における比率の合計が100.0%にならない場合がある。回答比率は、層の大きさを重みとした重みつき集計値を用いて算出した。また、合計得点を算出する際に、一部の項目への回答に欠損値がみられる場合には、データから除外した。

3.1 青少年調査

青少年の自然体験、生活体験、お手伝い、文化芸術体験、学校の授業や行事以外の自然体験活動について、令和元年度の実態を明らかにし、学年間の比較を行った。自然体験、生活体験、社会体験、お手伝い、1年間の学校外での体験活動、早寝早起き朝ごはんに関する生活習慣、読書量、自立的行動習慣、自己肯定感、道徳観・正義感については、これまでの調査結果との経年比較を行った。

3.1.1 青少年の体験

(1) 自然体験

(a) 令和元年の実態

小学生（以下、小学生は小学4年生、小学5年生、小学6年生を示す）、中学2年生、高校2年生の自然体験（9項目）について、これまでにどのくらいしたことがあるのかを「何度もある」、「少しある」、「ほとんどない」の3段階で回答を求めた。図3-1-1に、各項目を「何度もある」と「少しある」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

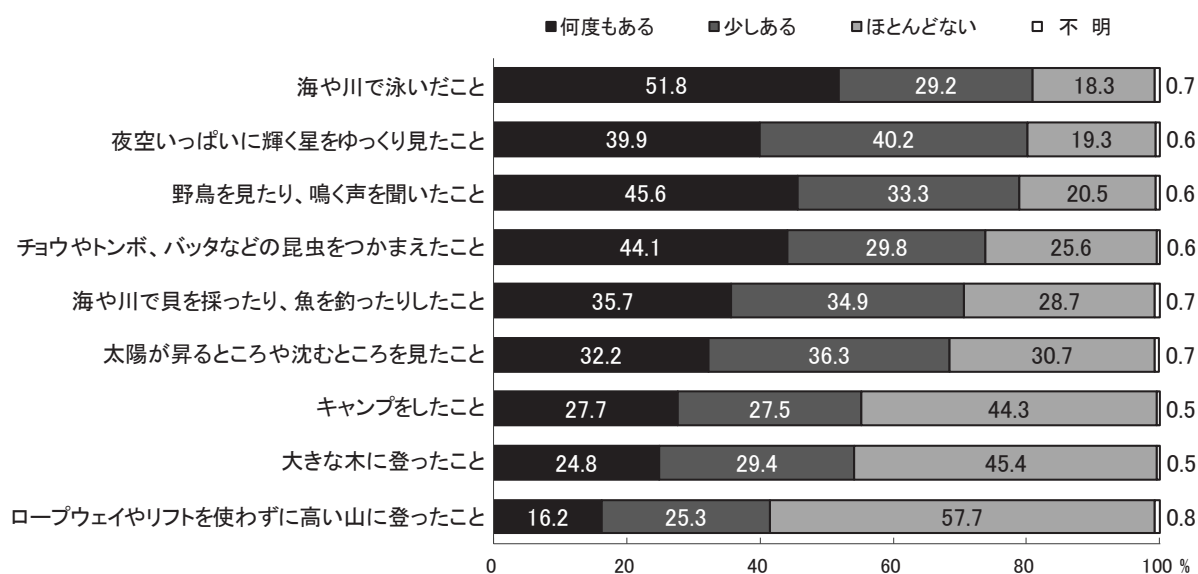


図 3-1-1 自然体験の実態

「何度もある」、「少しある」と答えた割合の合計が大きかったのは、「海や川で泳いだこと」(81.0%)、「夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見たこと」(80.1%)であり8割以上であった。一方、「キャンプをしたこと」(55.2%)と「大きな木に登ったこと」(54.2%)とは合計が6割以下で、「ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと」(41.5%)は合計が5割以下であった。

(b) 学年間の比較

全体で「何度もある」、「少しある」の合計割合が8割以上であった「海や川で泳いだこ

と、「夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見たこと」は、各学年でも約8割が「何度もある」、「少しある」と答えていた。

行っている割合の小さかった「大きな木に登ったこと」、「ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ること」は、学年が上がるにつれて「何度もある」、「少しある」と答えた割合が増加しており、高学年から体験の機会が多くなっていることが考えられる。

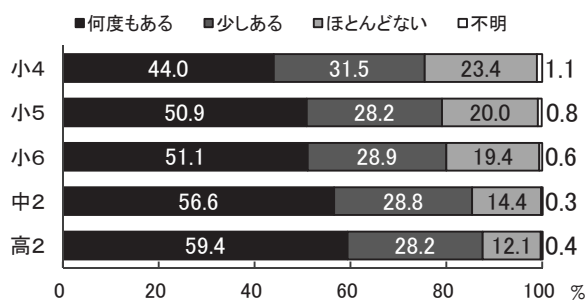


図 3-1-2 海や川で泳いだこと

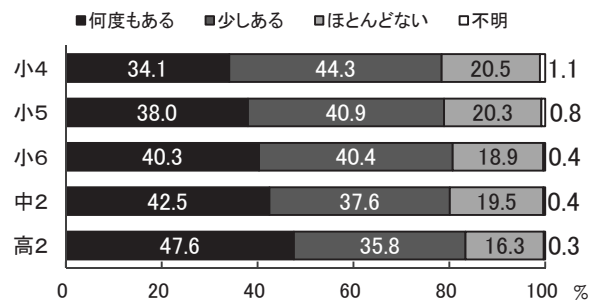


図 3-1-3 夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見たこと

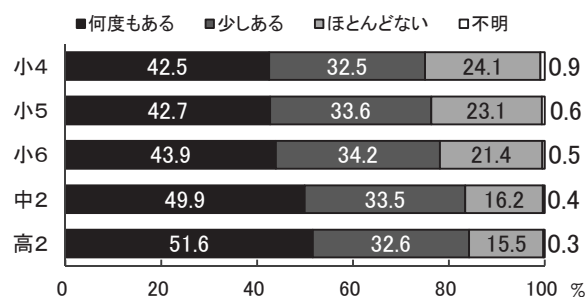


図 3-1-4 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと

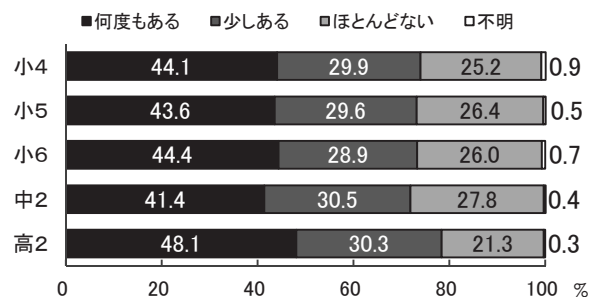


図 3-1-5 チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと

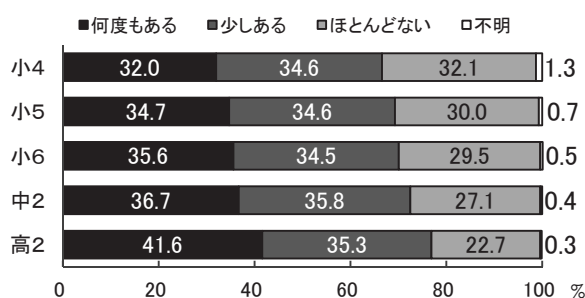


図 3-1-6 海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと

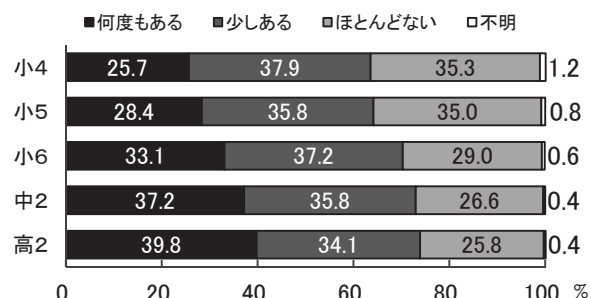


図 3-1-7 太陽が昇るところや沈むところを見たこと

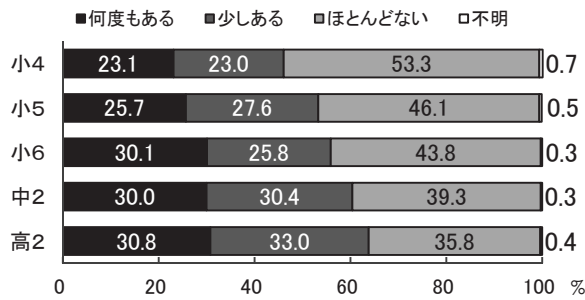


図 3-1-8 キャンプをしたこと

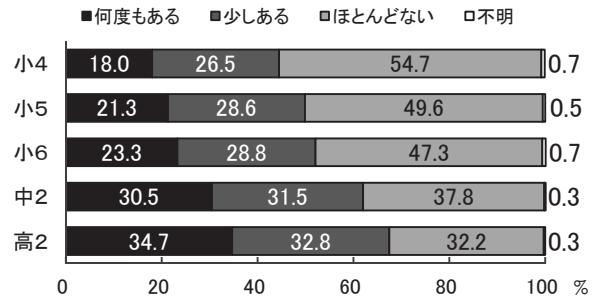


図 3-1-9 大きな木に登ったこと

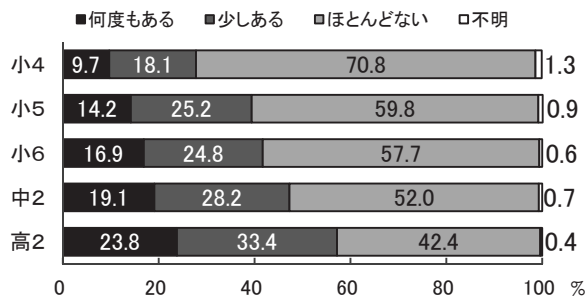


図 3-1-10 ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと

(c) 平成 10 年から令和元年までの 21 年間の経年比較

平成 10 年から令和元年の 21 年間の小中学生（小学 4 年生、小学 6 年生、中学 2 年生）の自然体験について比較した。なお、平成 21 年までの調査票では「あなたは、次のようなことをどのくらいしたことがありますか。」、平成 24 年以降の調査票では「あなたは、これまでに次のようなことをどのくらいしたことがありますか。」と教示している。自然体験についてこれまでにどのくらいしたことがありますかという質問へ「何度もある」、「少しある」と答えた割合は、「夜空いっぱい輝く星をゆっくり見たこと」、「野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと」、「海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと」、「太陽が昇るところや沈むところを見たこと」は平成 17 年と平成 21 年に減少しているが、平成 24 年から令和元年にかけておおむね増加しており、平成 10 年と同程度の割合になっている。

「海や川で泳いだこと」、「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」、「キャンプをしたこと」、「大きな木に登ったこと」、「ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと」への「何度もある」、「少しある」とした回答は、平成 17 年と平成 21 年に減少し、平成 24 年に増加しているが、平成 26 年から令和元年にかけて再び減少傾向にある。

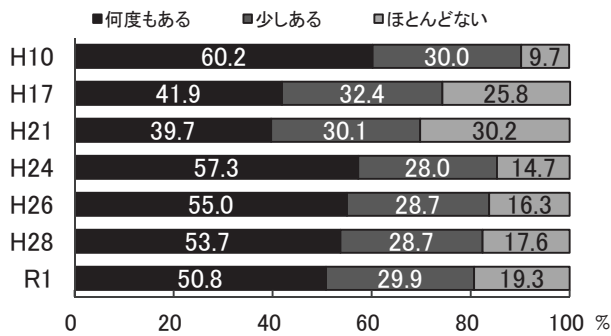


図 3-1-11 海や川で泳いだこと
(小4、小6、中2)

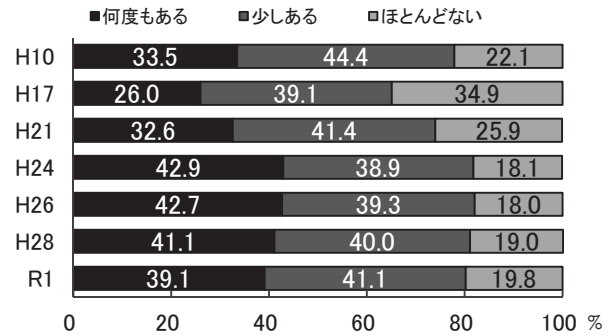


図 3-1-12 夜空いっぱい輝く星を
ゆっくり見たこと(小4、小6、中2)

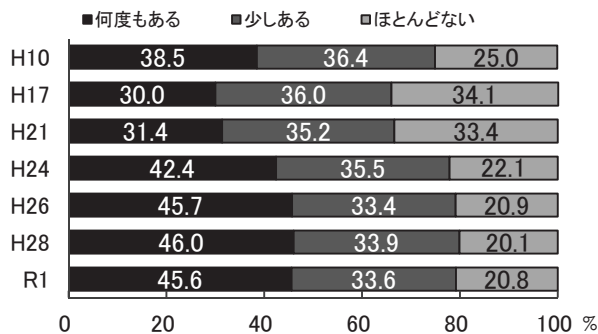


図 3-1-13 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと
(小4、小6、中2)

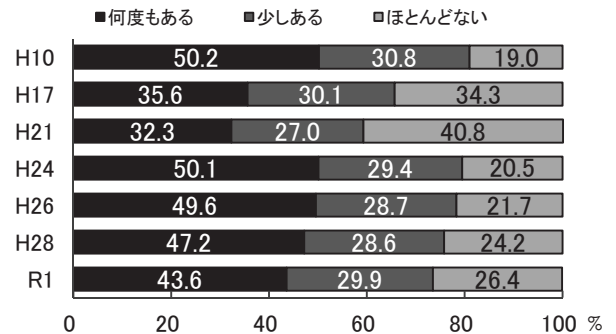


図 3-1-14 チョウやトンボ、バッタなどの
昆虫をつかまえたこと(小4、小6、中2)

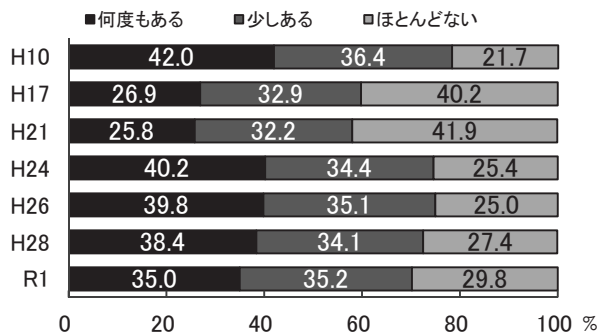


図 3-1-15 海や川で貝を採ったり、
魚を釣ったりしたこと(小4、小6、中2)

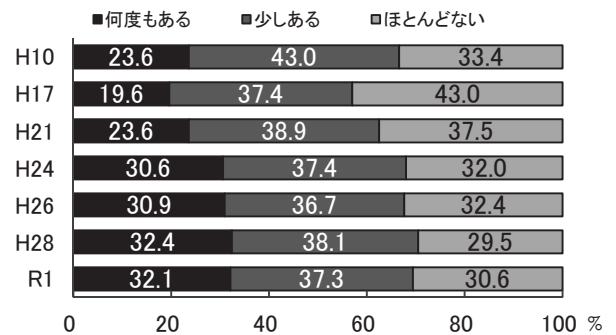


図 3-1-16 太陽が昇るところや
沈むところを見たこと(小4、小6、中2)

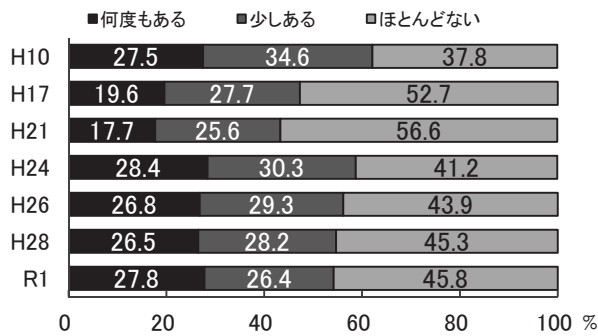


図 3-1-17 キャンプをしたこと
(小 4、小 6、中 2)

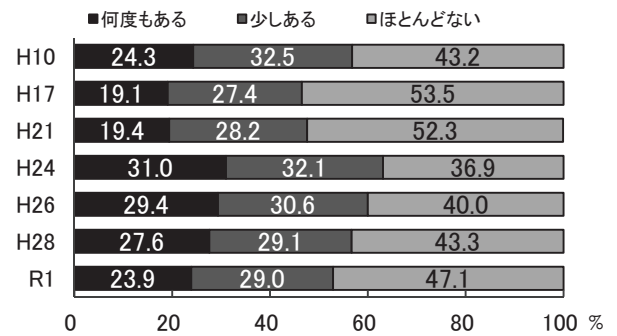


図 3-1-18 大きな木に登ったこと
(小 4、小 6、中 2)

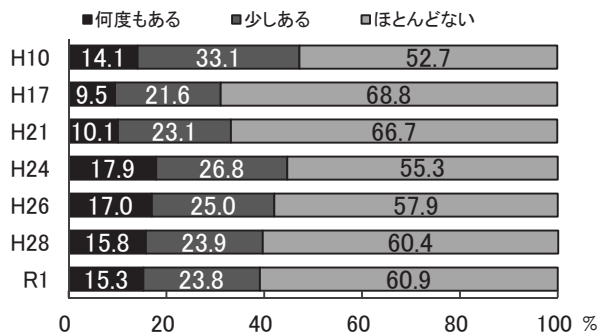


図 3-1-19 ロープウェイやリフトを使わずに
高い山に登ったこと(小 4、小 6、中 2)

(2) 生活体験

(a) 令和元年の実態

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の生活体験 (6 項目) について、これまでにどのくらいしたことがあるのかを「何度もある」、「少しある」、「ほとんどない」の 3 段階で回答を求めた。図 3-1-20 に、各項目を「何度もある」と「少しある」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

「何度もある」、「少しある」と回答した合計割合が大きかったのは、「タオルやぞうきんを絞ったこと」(98.6%)、「ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと」(90.1%)であり 9 割以上であった。一方、「赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと」(30.8%) は合計が 3 割程度で小さかった。

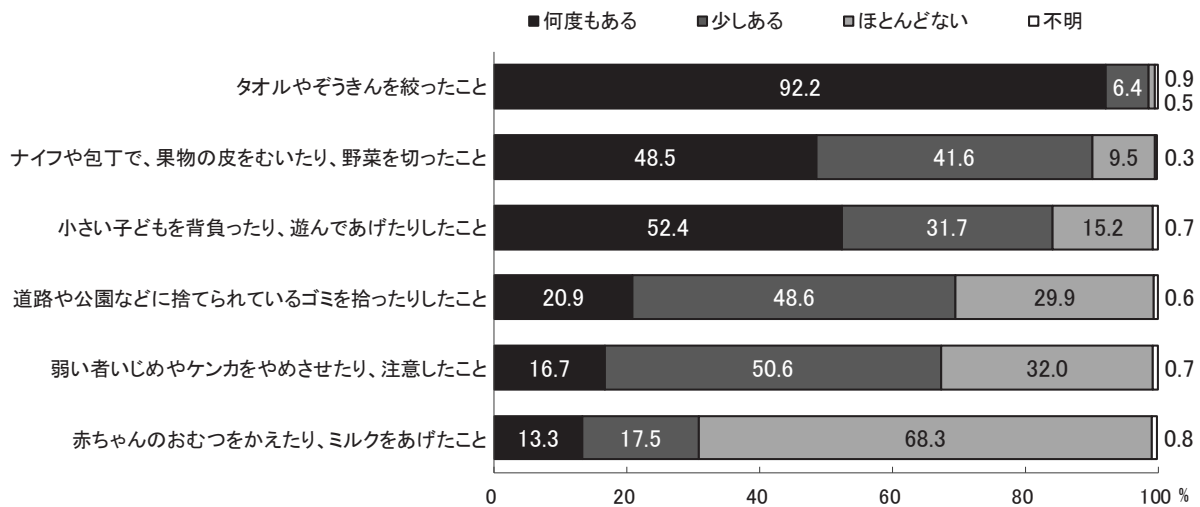


図 3-1-20 生活体験の実態

(b) 学年間の比較

「タオルやぞうきんを絞ったこと」は各学年のほとんど全員が「何度もある」、「少しある」と答えており、幼少期から体験していると考えられる。「ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと」は、各学年で8割以上が「何度もある」、「少しある」と答えており、「何度もある」という回答の割合は学年が上がるにつれて増加している。

「弱い者いじめやけんかをやめさせたり、注意したこと」については、「何どもある」、「少しある」とした回答割合は学年が上がるにつれて減少していた。これまでの体験を尋ねているため、学年が上がるにつれて「何どもある」、「少しある」という回答割合が増加するか、変わらない傾向が想定されるが、中高生では小学生よりも減少していた。この結果は世代間の特徴の違いであることも考えられるが平成24年度調査、平成28年度調査でも同様の傾向がみられることから、中高生の現在の生活や意識に回答が影響されたことが予想される。

また、「赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと」は、「何どもある」、「少しある」とした回答割合は中高生で微増しているが、4割弱であった（33.0%、37.2%）。

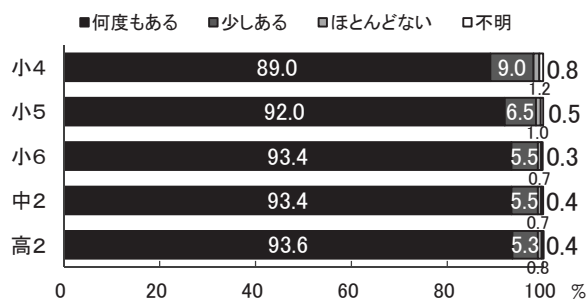


図 3-1-21 タオルやぞうきんを絞ったこと

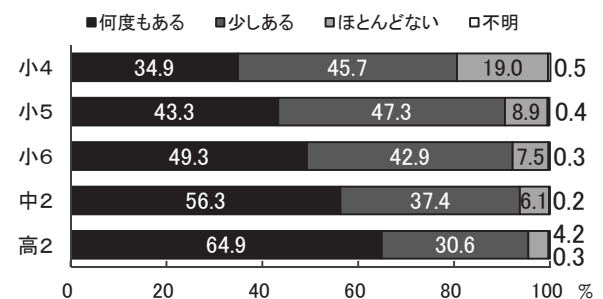


図 3-1-22 ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと

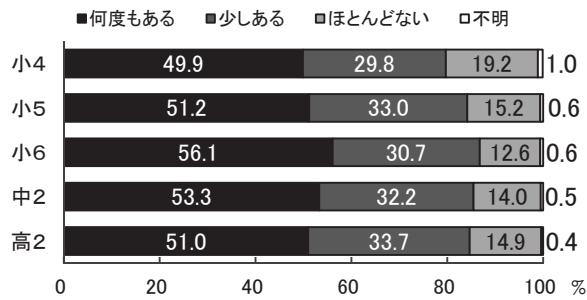


図 3-1-23 小さい子供を背負ったり、遊んであげたりしたこと

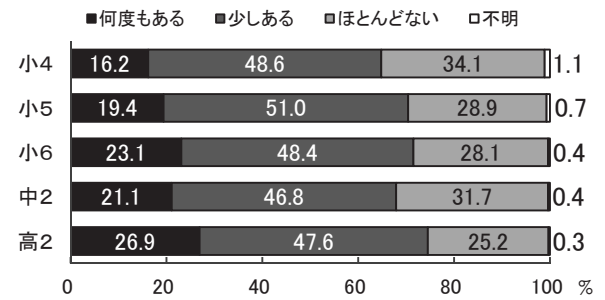


図 3-1-24 道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと（※）

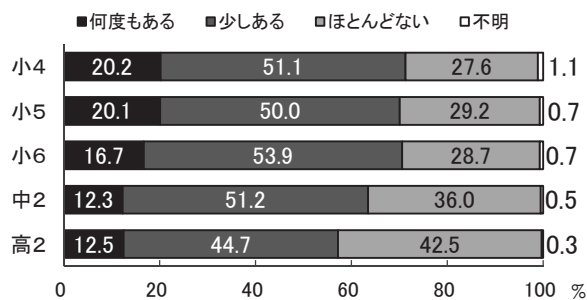


図 3-1-25 弱い者いじめやケンカをやめさせたり、注意したこと

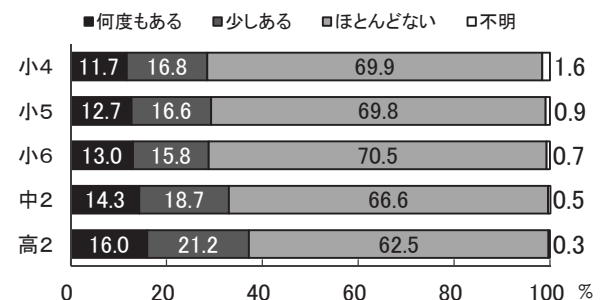


図 3-1-26 赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと

※は「(h) (i)以外のボランティア活動に参加したこと」という質問にあたって、「(h)体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと」、「(i)道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと」の2項目を示している。

(c) 平成10年から令和元年までの21年間の経年比較

平成10年から令和元年の21年間の小中学生（小学4年生、小学6年生、中学2年生）が、生活体験についてこれまでどのくらいしたことがありますかという質問へ「何度もある」、「少しある」と答えた割合は、「小さい子供を背負ったり、遊んであげたりしたこと」、「道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと」、「弱い者いじめやケンカをやめさせたり、注意したこと」は、平成17年と平成21年に微減しているが、平成24年から令和元年にかけておおむね増加している。

「タオルやぞうきんを絞ったこと」に「何度もある」、「少しある」と回答した割合は平成10年から令和元年にかけて9割以上であり、特に「何度もある」の割合も増加している。「ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと」の「何度もある」の回答には減少傾向がみられた。

「赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと」は、平成10年から令和元年にかけて2割程度から3割以上に増加していた（22.6%～30.3%）。

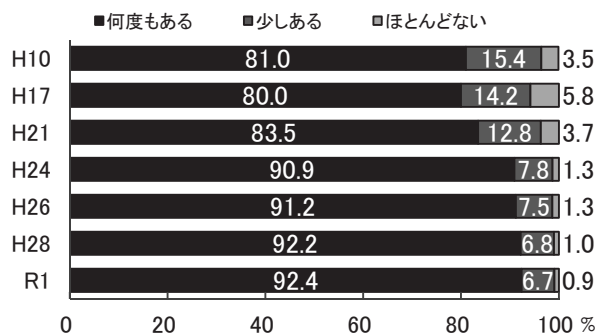


図 3-1-27 タオルやぞうきんを絞ったこと (小 4、小 6、中 2)

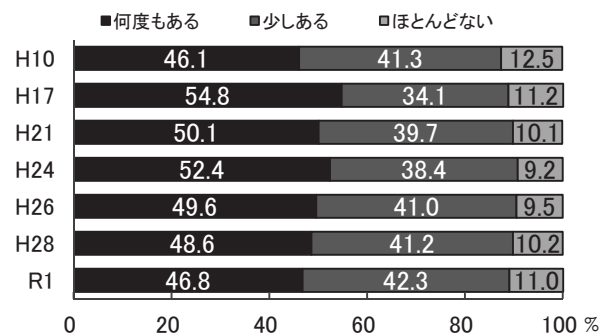


図 3-1-28 ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと (小 4、小 6、中 2)

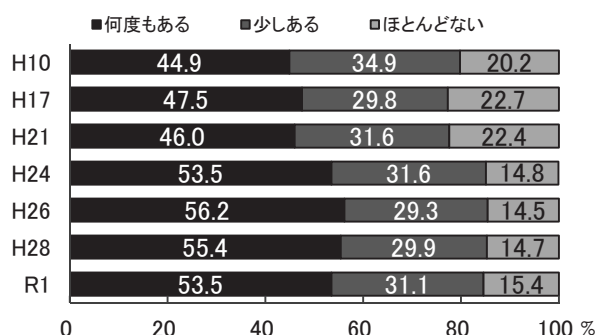


図 3-1-29 小さい子供を背負ったり、遊んであげたりしたこと (小 4、小 6、中 2)

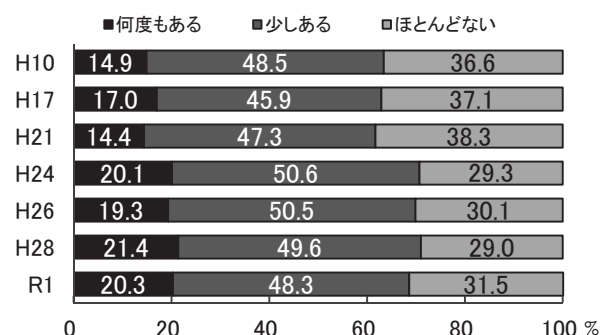


図 3-1-30 道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと (※) (小 4、小 6、中 2)

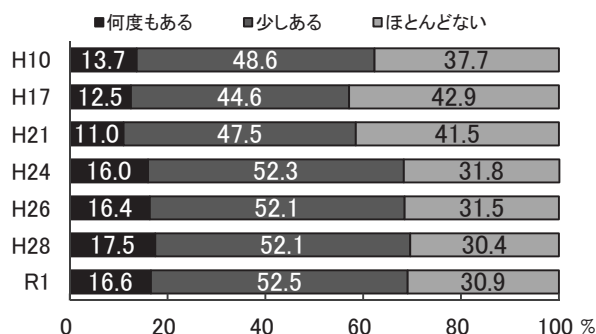


図 3-1-31 弱い者いじめやケンカをやめさせたり、注意したこと (小 4、小 6、中 2)

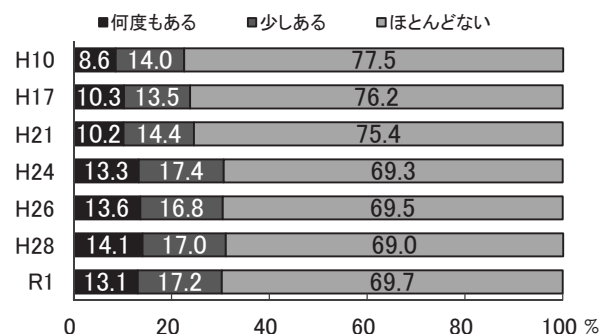


図 3-1-32 赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと (小 4、小 6、中 2)

(3) 社会体験

(a) 令和元年の実態

社会体験 (3 項目) について、これまでにどのくらいしたことがあるのかを「何度もある」、「少しある」、「ほとんどない」の 3 段階で回答を求めた。図 3-1-33 に、各項目を「何度もある」と「少しある」と答えた割合の合計が多い順に並べた。ただし、「お墓参りをしたこと」と「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと」は小学

生、中学2年生、高校2年生が回答しているが、「外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと」は小学生には尋ねておらず中学2年生と高校2年生のみの回答割合である。「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと」(図 3-1-30)、「道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと」(図 3-1-24)以外のボランティア活動に参加したことも、中学2年生と高校2年生のみに尋ねた。

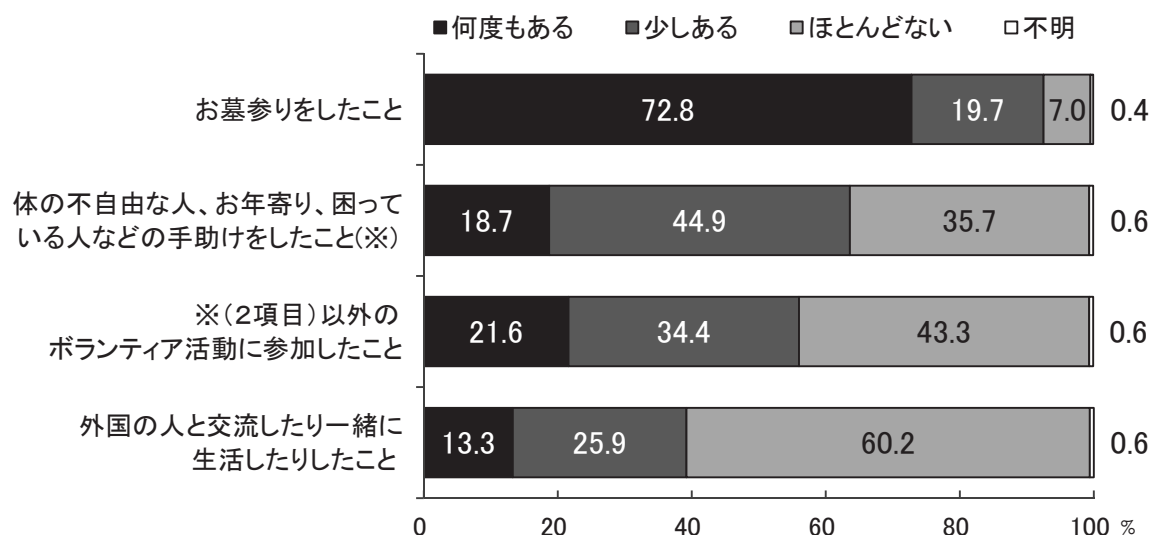


図 3-1-33 社会体験の実態

「何度もある」、「少しある」と回答した割合は、「お墓参りをしたこと」は92.5%で9割以上、「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと」は63.6%で6割以上、先述した2項目以外の「ボランティア活動に参加したこと」は56.0%で5割以上であった。一方、「外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと」は39.2%で4割程度であった。

(b) 学年間の比較

「お墓参りをしたこと」は各学年の9割以上が「何度もある」、「少しある」と答えており、幼少期から体験していると考えられる。「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと」は「何度もある」、「少しある」という回答の割合は学年が上がるにつれて増加しており、小学4年生が合計50.2%であったのが、高校2年生では合計81.0%になっている。先述した2項目以外のボランティア活動に参加したことは、中学2年生は53.0%、高校2年生は60.4%であった。

「外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと」は「何度もある」、「少しある」という回答の合計割合は、中学2年生は35.3%、高校2年生は44.8%であった。小学生に尋ねていなかったため正確な比較はできないが、年齢に伴い経験頻度が増加することを考えると、青少年の外国人との交流は5割に達していないと予想される。

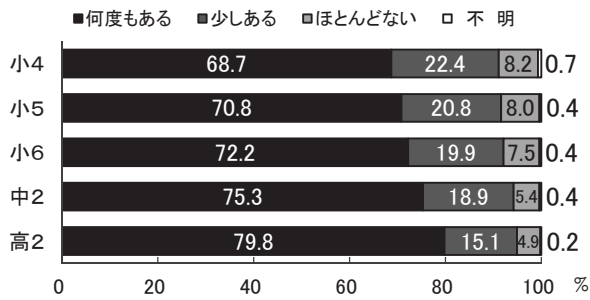


図 3-1-34 お墓参りをしたこと

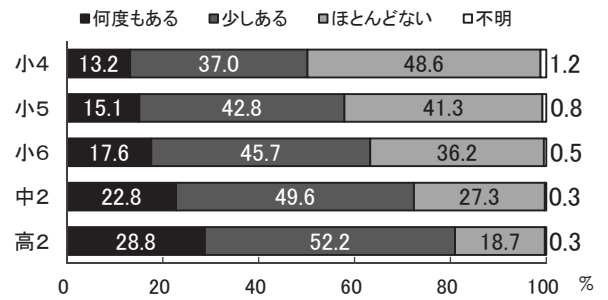


図 3-1-35 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと (※)

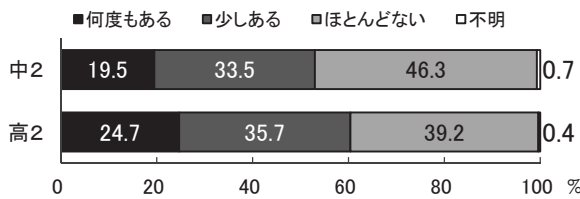


図 3-1-36 ※ (2項目) 以外のボランティア活動に参加したこと

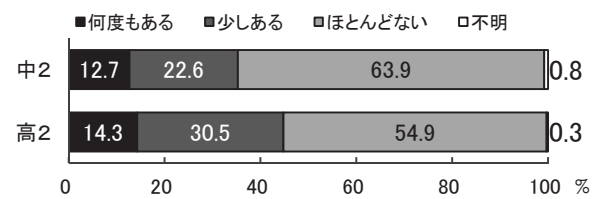


図 3-1-37 外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと

(c) 平成 24 年から令和元年までの 8 年間の経年比較

社会体験を尋ねる 3 項目は平成 24 年から調査を開始したため、平成 24 年から令和元年の 8 年間の社会体験について経年比較を行った。「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと」(図 3-1-30)、「道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと」(図 3-1-24) 以外のボランティア活動に参加したことを尋ねる項目は、令和元年から調査を開始したため除外している。

各体験をこれまでにどのくらいしたことがあるかという質問へ「何度もある」、「少しある」と答えた割合は、「外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと」は平成 24 年 (37.3%) から平成 26 年 (40.8%) にかけて微増しているが、3 項目とも大きな変化はみられなかった。

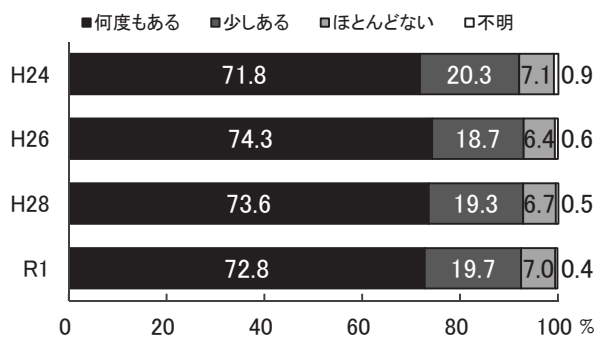


図 3-1-38 お墓参りをしたこと
(小 4~小 6、中 2、高 2)

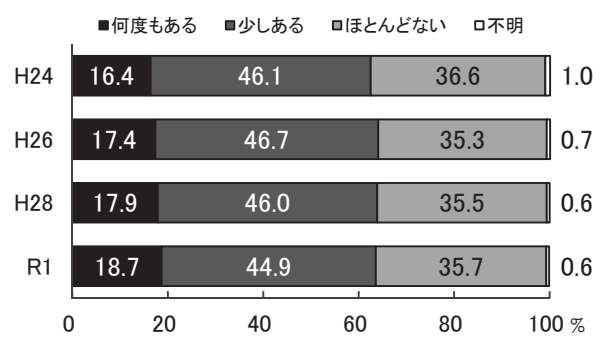


図 3-1-39 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと (※)
(小 4~小 6、中 2、高 2)

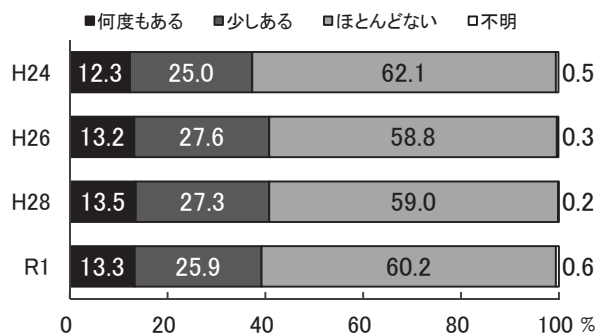


図 3-1-40 外国の人と交流したり
一緒に生活したりしたこと
(中2、高2)

(4) お手伝い

(a) 令和元年の実態

小学生、中学2年生、高校2年生のお手伝い(9項目)について、普段どのくらいしているのかを「いつもしている」、「時々している」、「あまりしていない」、「まったくしていない」の4段階で回答を求めた。図3-1-41に、各項目に「いつもしている」と「時々している」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

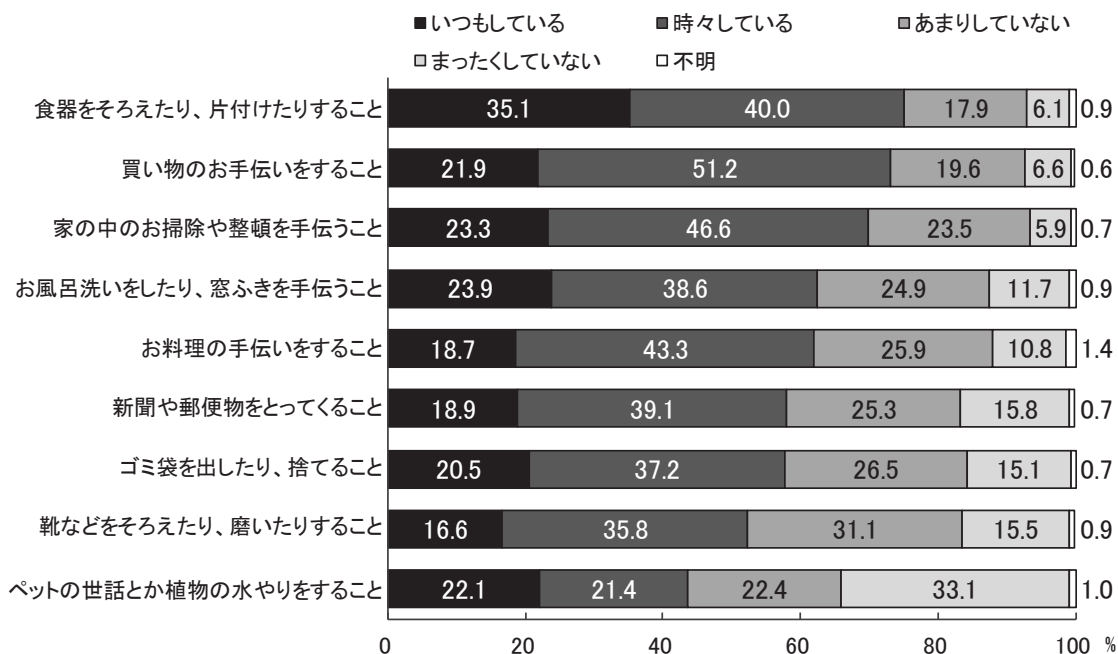


図 3-1-41 お手伝いの実態

「いつもしている」、「時々している」と回答した合計割合が大きかったのは、「食器をそろえたり、片付けたりすること」(75.1%)、「買い物のお手伝いをすること」(73.1%)、であ

り7割以上であった。一方、「靴などをそろえたり、磨いたりすること」(52.4%)、「ペットの世話とか植物の水やりをすること」(43.5%)は合計が5割程度で小さかった。

(b) 学年間の比較

「いつもしている」、「時々している」と回答した合計割合は、「食器をそろえたり、片付けたりすること」では、学年が上がるにつれて増加する傾向にある。「家の中のお掃除や整頓を手伝うこと」、「お風呂洗いをしたり、窓ふきを手伝うこと」、「ゴミ袋を出したり、捨てること」、「靴などをそろえたり、磨いたりすること」は中学2年生に微増するが、高校2年生では微減している。それ以外の項目については、学年が上がるにつれて、ゆるやかに減少する傾向にあった。

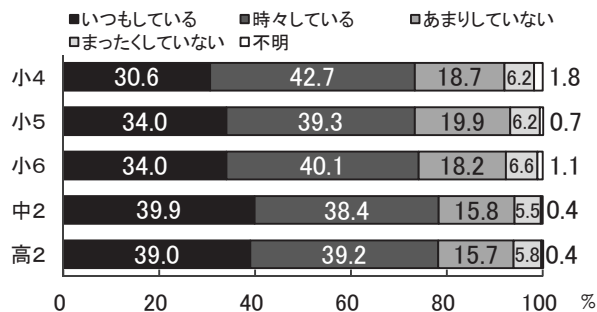


図 3-1-42 食器をそろえたり、片づけたりすること

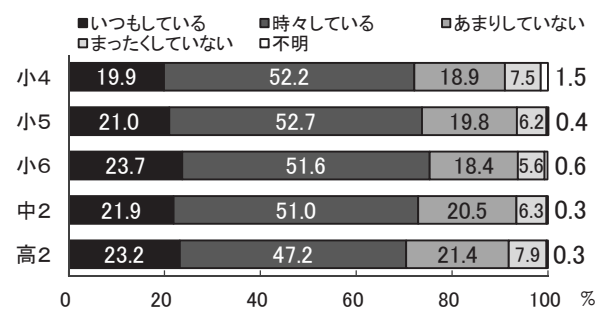


図 3-1-43 買い物のお手伝いをすること

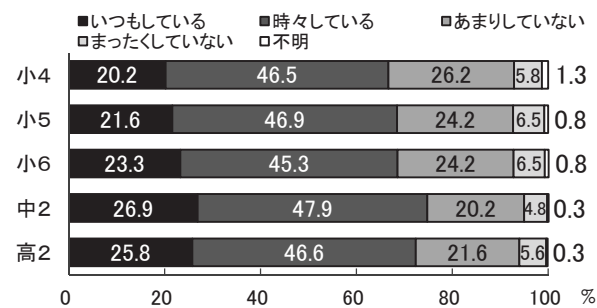


図 3-1-44 家の中のお掃除や整頓を手伝うこと

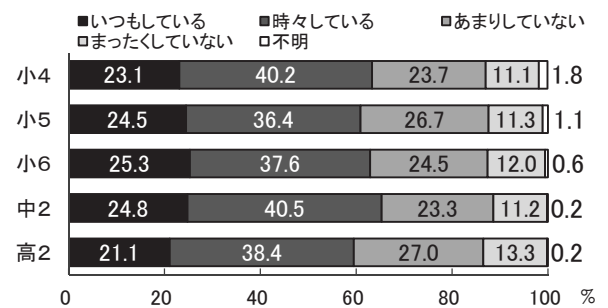


図 3-1-45 お風呂洗いをしたり、窓ふきを手伝うこと

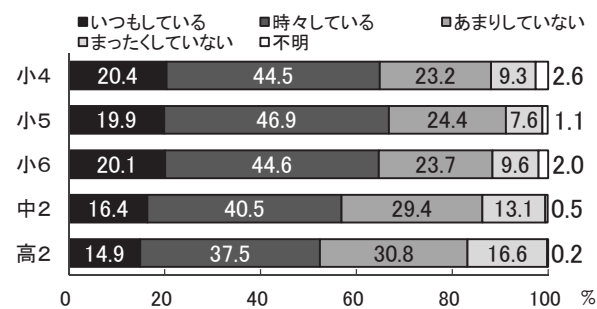


図 3-1-46 お料理の手伝いをすること

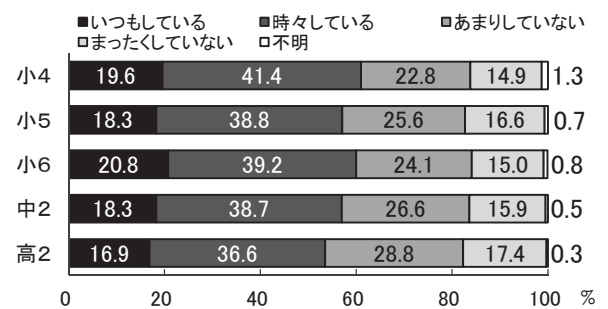


図 3-1-47 新聞や郵便物をとってくること

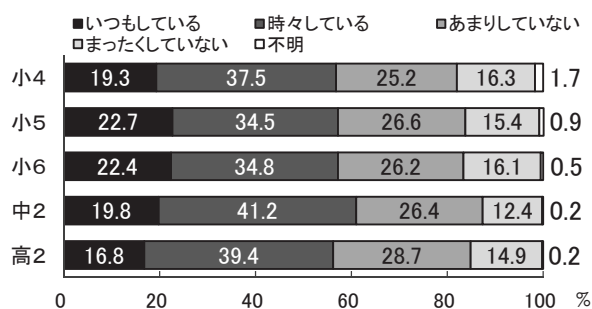


図 3-1-48 ゴミ袋を出したり、捨てること

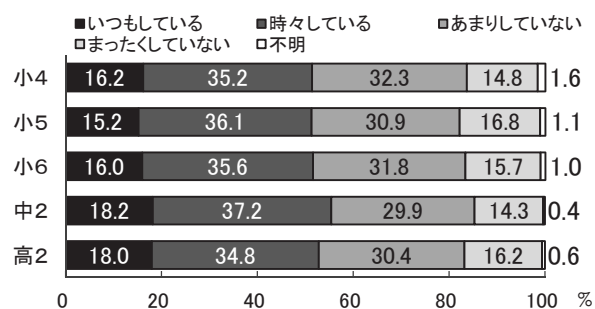


図 3-1-49 靴などを揃えたり、磨いたりすること

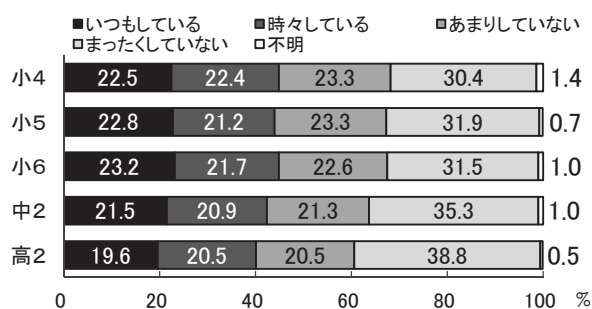


図 3-1-50 ペットの世話とか植物の水やり
をすること

(c) 平成 10 年から令和元年までの 21 年間の経年比較

平成 10 年から令和元年の 21 年間の小中学生（小学 4 年生、小学 6 年生、中学 2 年生）が、お手伝いについて普段どのくらいしているかという質問へ「いつもしている」、「時々している」と答えた割合は、「食器をそろえたり、片づけたりすること」、「家の中の掃除や整頓を手伝うこと」、「お料理の手伝いをする事」、「靴などをそろえたり、磨いたりすること」は平成 10 年から令和元年にかけて増加傾向にある。一方で、「ペットの世話とか植物の水やりをすること」は平成 10 年から減少傾向にある。それ以外のお手伝いの経験については、平成 10 年から平成 26 年にかけて増加傾向にあったが、令和元年には微減していた。

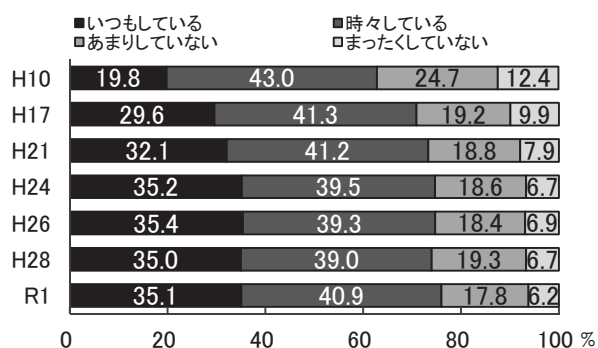


図 3-1-51 食器をそろえたり、片づけたりすること
(小 4、小 6、中 2)

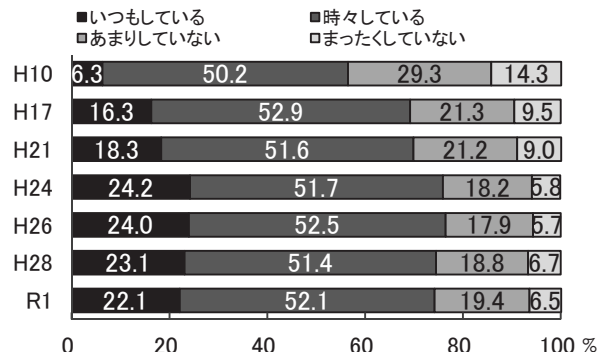


図 3-1-52 買い物のお手伝いをする事
(小 4、小 6、中 2)

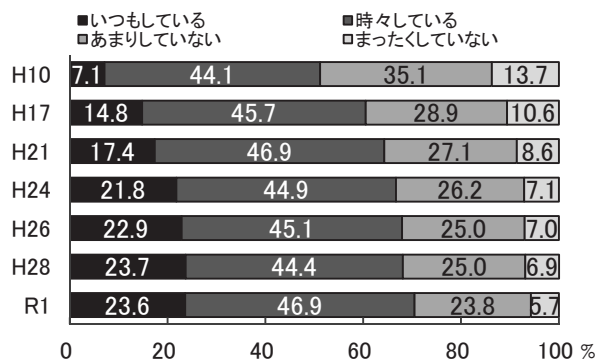


図 3-1-53 家の中のお掃除や整頓を手伝うこと
(小4、小6、中2)

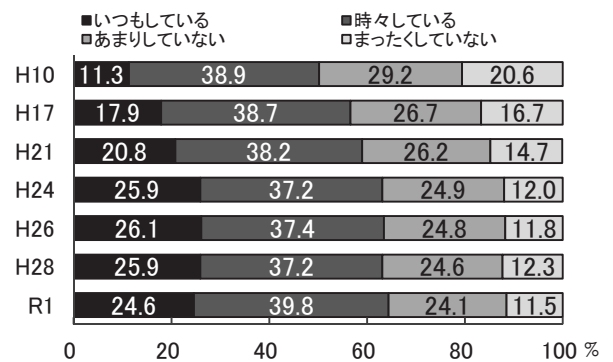


図 3-1-54 お風呂洗いをしたり、
窓ふきを手伝うこと(小4、小6、中2)

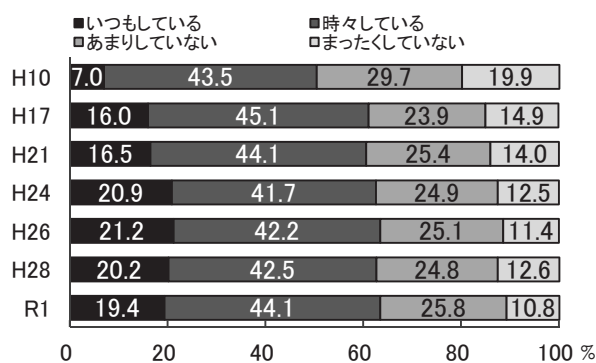


図 3-1-55 お料理の手伝いをする事
(小4、小6、中2)

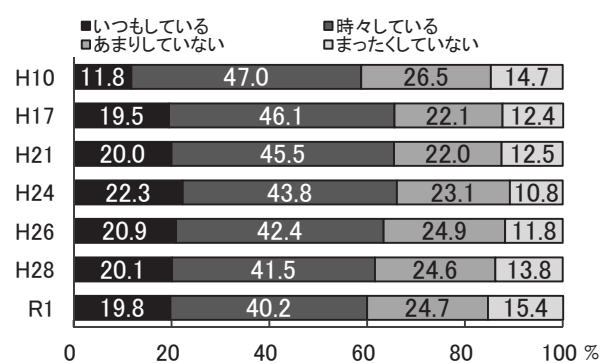


図 3-1-56 新聞や郵便物をとってくる事
(小4、小6、中2)

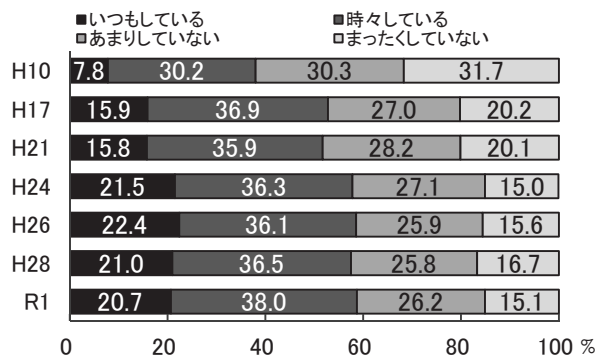


図 3-1-57 ゴミ袋を出したり、捨てること
(小4、小6、中2)

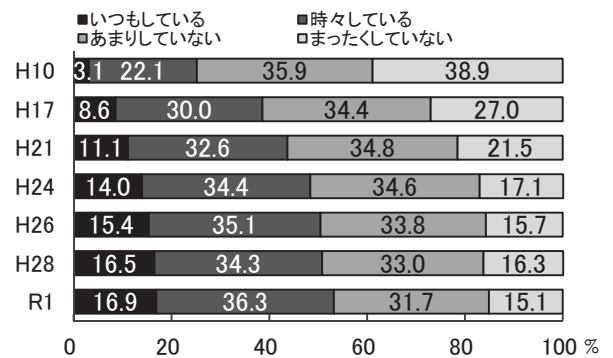


図 3-1-58 靴などを揃えたり、磨いたりすること
(小4、小6、中2)

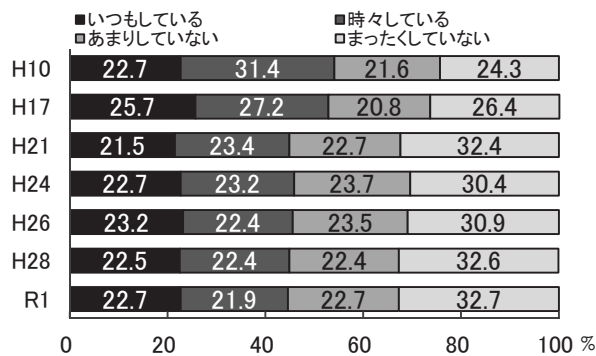


図 3-1-59 ペットの世話とか植物の水やりを
すること(小4、小6、中2)

(5) 文化芸術体験

(a) 令和元年の実態

中学2年生、高校2年生の1年間の文化芸術体験(3項目)について、普段どのくらいしているのかを「何度もある」、「少しある」、「ほとんどない」の3段階で回答を求めた。小学生については保護者に子供の体験活動について回答を求めた。図3-1-60に小学生、図3-1-61に中学2年生と高校2年生を合計して、各項目に「何度もある」と「少しある」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

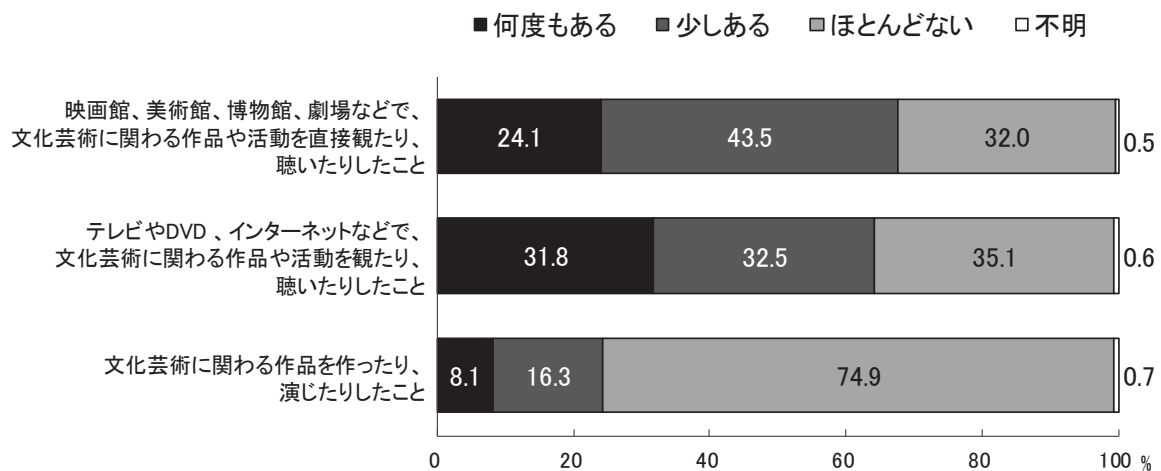


図 3-1-60 文化芸術体験の実態(小1~小6)

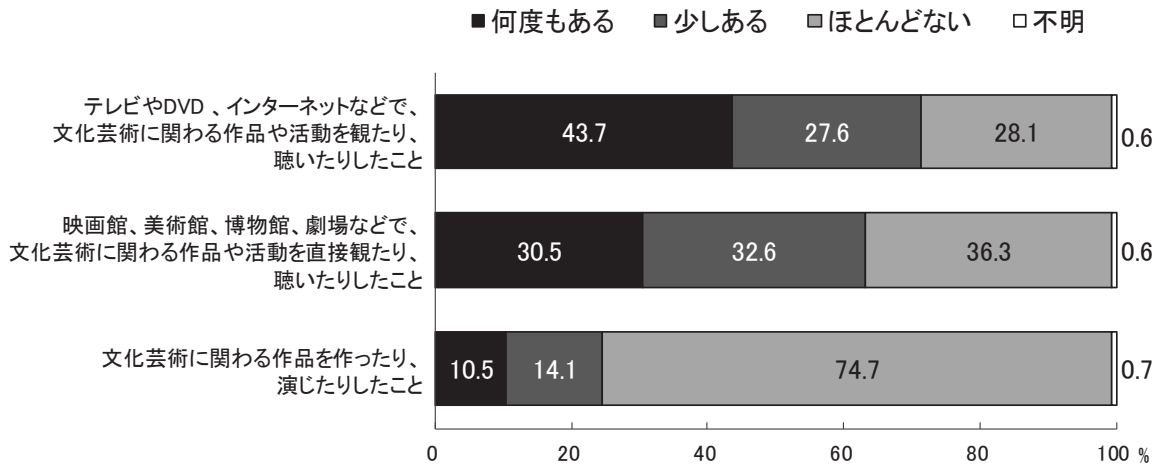


図 3-1-61 文化芸術体験の実態（中2、高2）

「何度もある」、「少しある」と回答した合計割合が大きかったのは、保護者の回答による小学生では「映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる作品や活動を直接観たり、聴いたりしたこと」（67.6%）、中学2年と高校2年生では「テレビやDVD、インターネットなどで文化芸術に関わる作品や活動を観たり、聴いたりしたこと」（71.3%）で7割程度であった。中学生以降には、インターネットを利用して、文化芸術に関わる作品や活動を鑑賞する機会が増えることが考えられた。「文化芸術に関わる作品を作ったり、演じたりしたこと」の「何度もある」、「少しある」と回答した合計割合は、小学生が24.4%、中学2年生と高校2年生が24.6%で3割以下であった。

（b）学年間の比較

1年間に「何度もある」、「少しある」と回答した合計割合は、「テレビやDVD、インターネットなどで、文化芸術に関わる作品や活動を観たり、聴いたりしたこと」では、学年が上がるにつれて、ゆるやかに増大する傾向にあった。「映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる作品や活動を直接観たり、聴いたりしたこと」は小学6年生（68.2%）で最大となるが、中学2年生（61.9%）で減少し、高校2年生（64.9%）で再び増加していた。一方、「文化芸術に関わる作品を作ったり、演じたりしたこと」は小学6年生（21.4%）で最小となるが、中学2年生（25.0%）、高校2年生（25.0%）で増加傾向にあった。小学生までの文化芸術体験、中学生以降の文化芸術体験の特徴が示されているといえるが、小学生は保護者が子供の体験を回答していることに留意する必要がある。

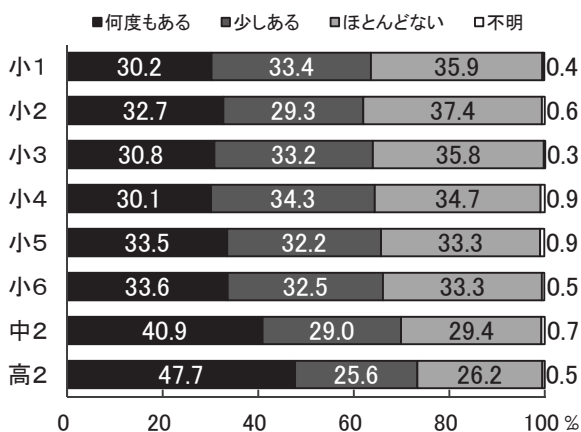


図 3-1-62 テレビやDVD、インターネットなどで、文化芸術に関わる作品や活動を観たり、聴いたりしたこと

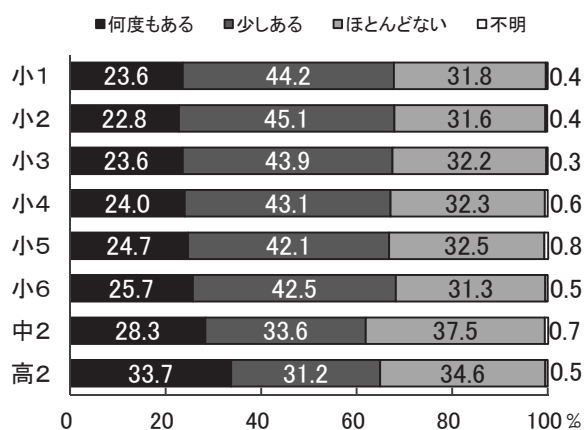


図 3-1-63 映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる作品や活動を直接観たり、聴いたりしたこと

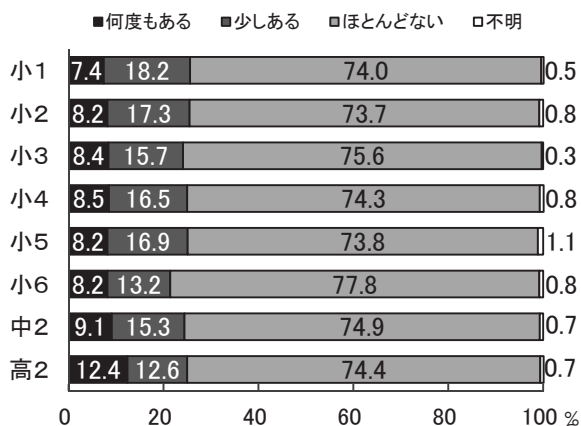


図 3-1-64 文化芸術に関わる作品を作ったり、演じたりしたこと

(6) 1年間の学校外での体験活動

(a) 令和元年の実態

青少年の1年間の学校外での体験活動(19項目)について、どのくらいしたのかを「何度もした」、「少しした」、「しなかった」の3段階で、中学2年生と高校2年生に回答を求めた。小学生については保護者に子供の体験活動について回答を求めた。図3-1-65に小学生、図3-1-66に中学2年生と高校2年生を合計して、各項目に「何どもした」と「少しした」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

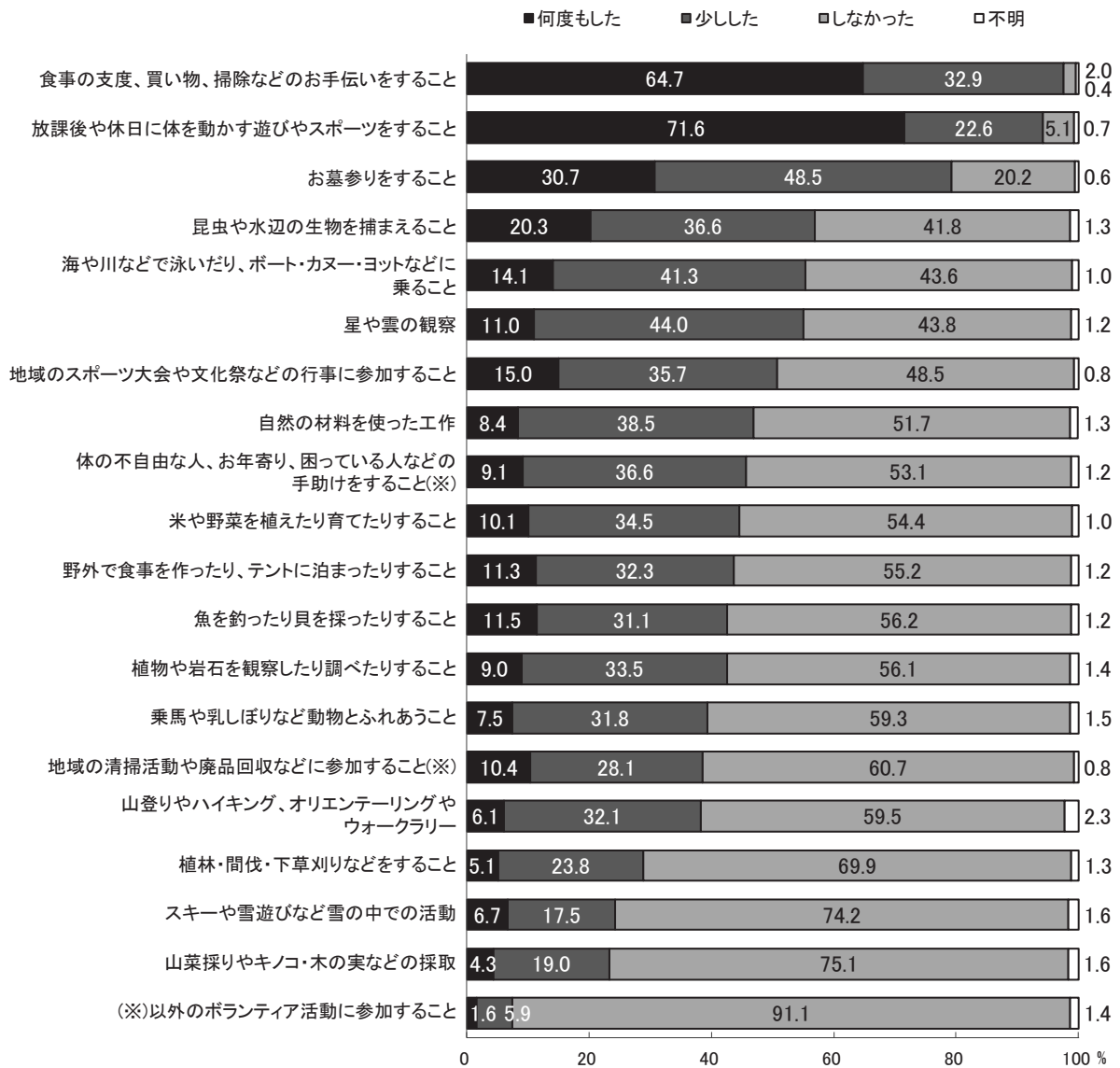


図 3-1-65 1年間の学校外での体験活動（小1～小6の保護者回答）

※は「(q) (r)以外のボランティア活動に参加する事」という質問にあたって、「(q)体の不自由な人、お年寄り、困って居る人などの手助けをする事」、「(r) 地域の清掃活動や廃品回収などに参加する事」の2項目を示している。

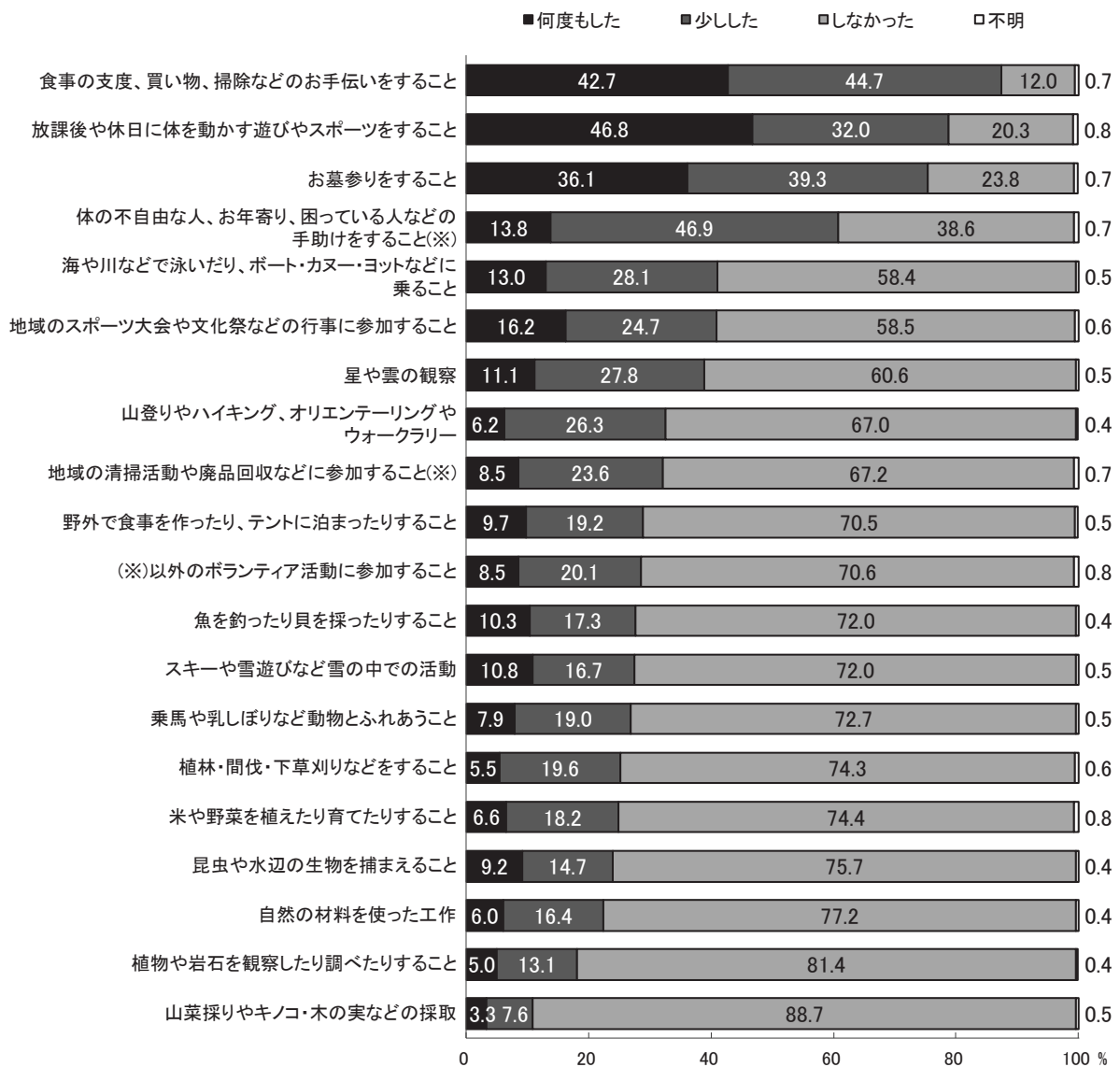


図 3-1-66 1年間の学校外での体験活動（中2、高2）

※は「(d) (e) 以外のボランティア活動に参加する事」という質問にあたって、「(d) 体の不自由な人、お年寄り、困って居る人などの手助けをする事」、「(e) 地域の清掃活動や廃品回収などに参加する事」の2項目を示している。

「何度もした」、「少しした」と回答した合計割合で大きかったのは、保護者の回答による小学生の体験では「食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをする事」(97.6%)、「放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをする事」(94.2%)が9割以上であり、「お墓参りをする事」(79.2%)が7割以上であった。一方で、「植林・間伐・下草刈りなどをする事」(28.9%)、「スキーや雪遊びなどの雪の中での活動」(24.2%)、「山菜採りやキノコ・木の実などの採取」(23.3%)の合計は3割以下で小さかった。

中学2年生と高校2年生では9割以上の体験はなく、「食事の支度、買い物、掃除などの

お手伝いをする事」(87.4%)は8割以上、「放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをする事」(78.8%)と「お墓参りをする事」(78.8%)は7割以上であった。一方で、11種類の体験が「何度もした」と「少しした」を合計した回答割合が3割以下であり、特に「植物や岩石を観察したり調べたりすること」は合計18.1%、「山菜採りやキノコ・木の実などの採取」は合計10.9%で小さかった。

(b) 学年間の比較

「何度もした」、「少しした」と答えた合計割合は、「星や雲の観察」は小学4年生(保護者回答)で増加していた。「スキーや雪遊びなど雪の中での活動」は小学4年生(保護者回答)と中学2年生で微増していた。「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをする事」(図3-1-75)、その項目と「地域の清掃活動や廃品回収などに参加すること」(図3-1-81)の2項目以外のボランティア活動に参加することは中学2年生で増加していた。それ以外の項目については、学年が上がるにつれて減少する傾向にあった。

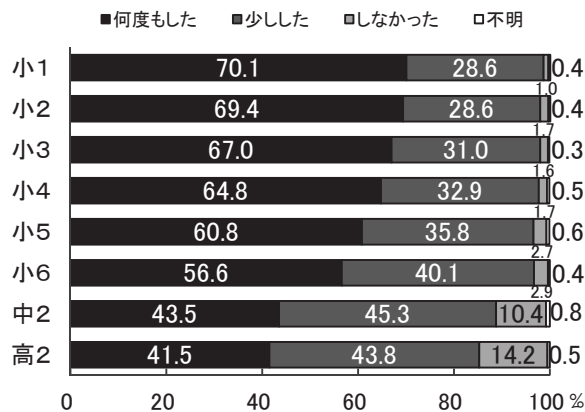


図3-1-67 食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをする事

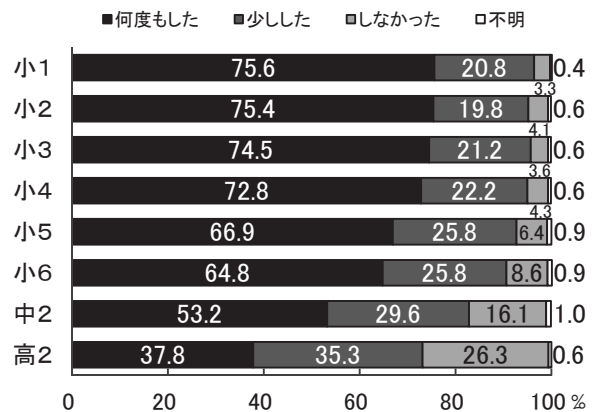


図3-1-68 放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをする事

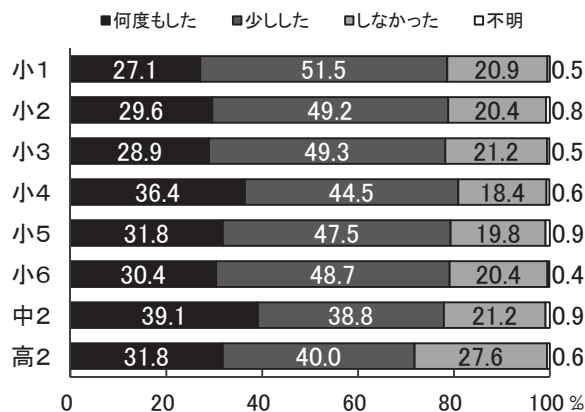


図3-1-69 お墓参りをする事

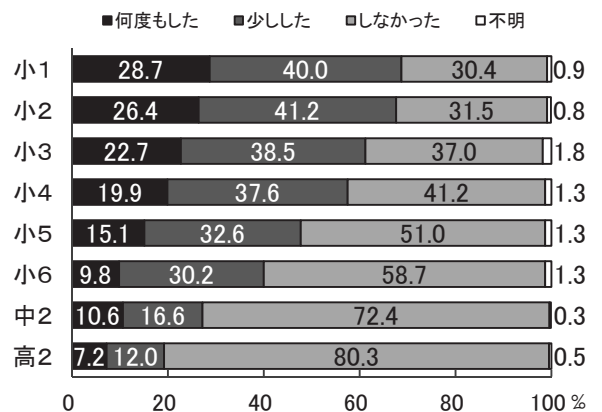


図3-1-70 昆虫や水辺の生物を捕まえる事

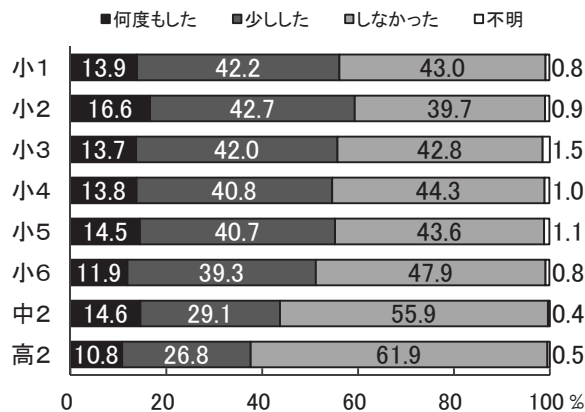


図 3-1-71 海や川などで泳いだり、
ボート・カヌー・ヨットなどに乗ること

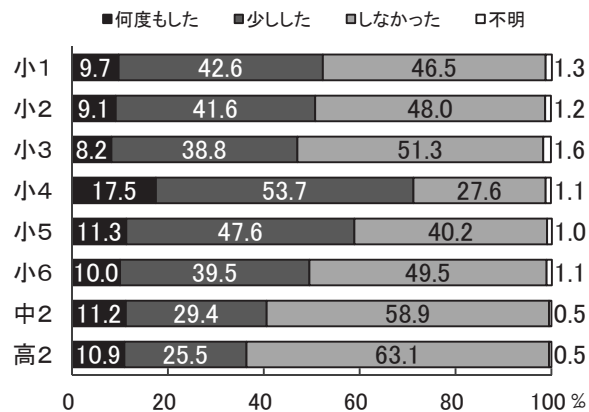


図 3-1-72 星や雲の観察

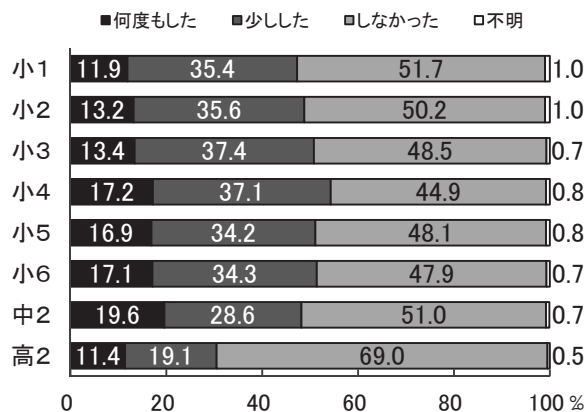


図 3-1-73 地域のスポーツ大会や文化祭などの
行事に参加すること

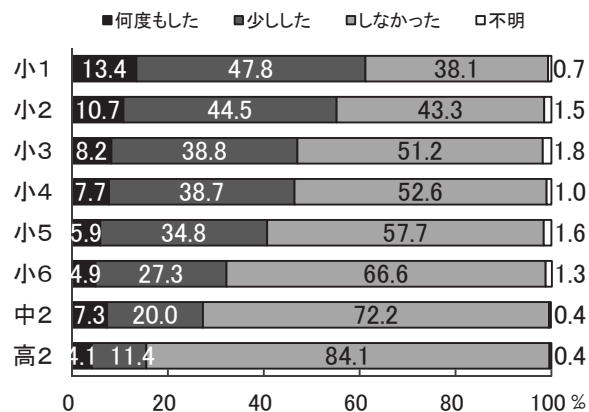


図 3-1-74 自然の材料を使った工作

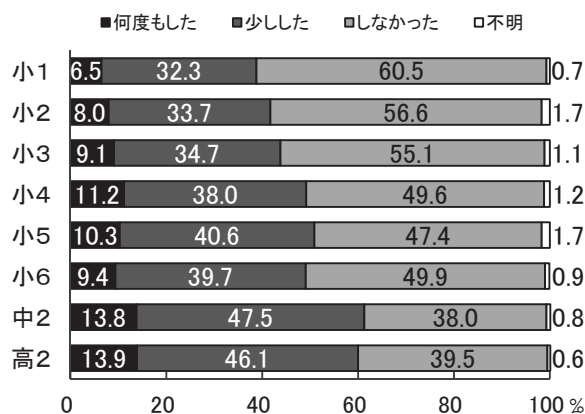


図 3-1-75 体の不自由な人、お年寄り、
困っている人などの手助けをすること（※）

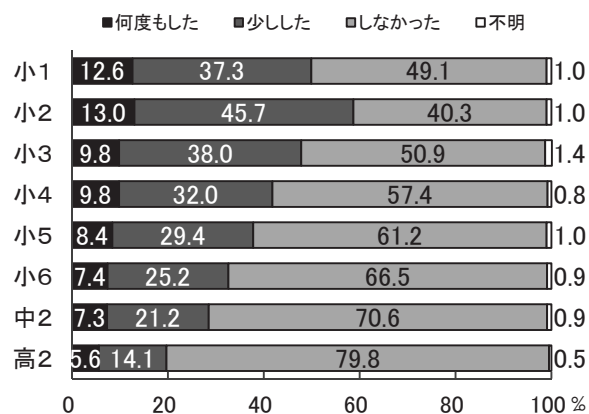


図 3-1-76 米や野菜を植えたり育てたりすること

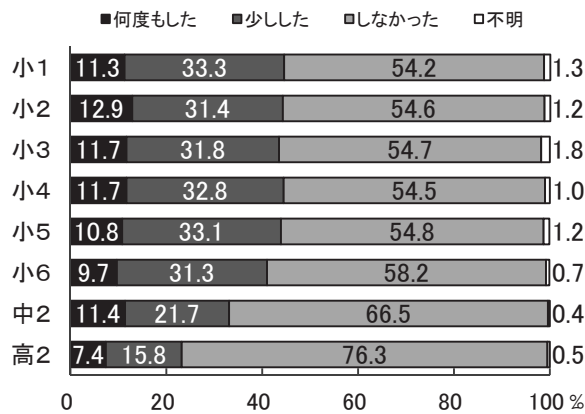


図 3-1-77 野外で食事を作ったり、テントに泊まったりすること

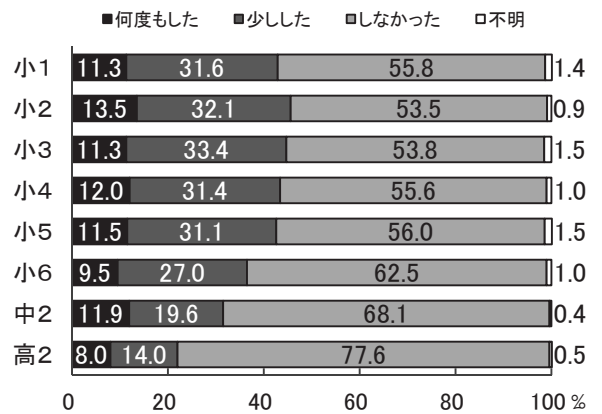


図 3-1-78 魚を釣ったり貝を採ったりすること

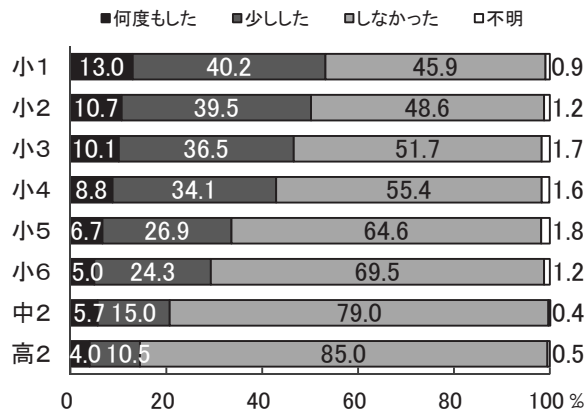


図 3-1-79 植物や岩石を観察したり調べたりすること

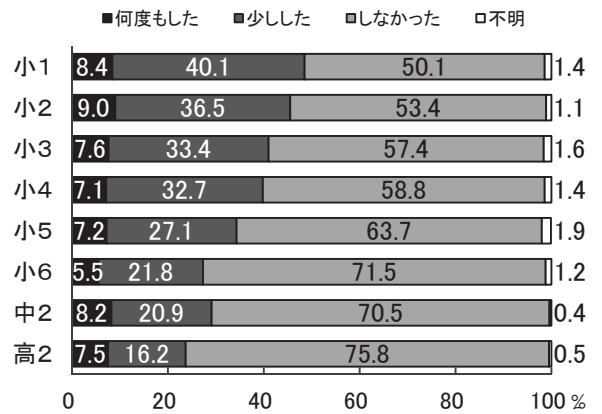


図 3-1-80 乗馬や乳しぼりなど動物とふれあうこと

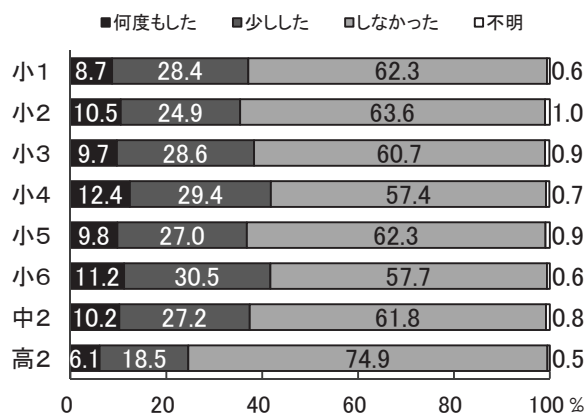


図 3-1-81 地域の清掃活動や廃品回収などに参加すること（※）

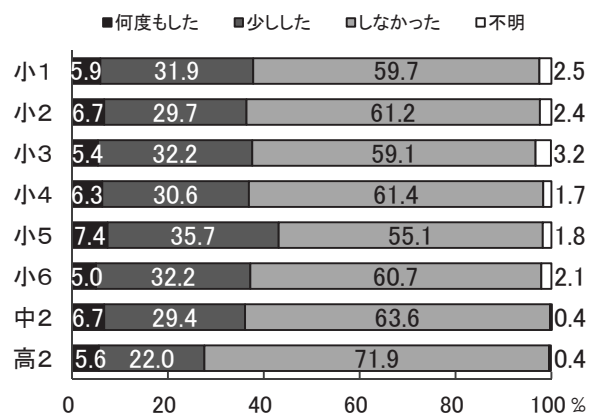


図 3-1-82 山登りやハイキング、オリエンテーリングやウォークラリー

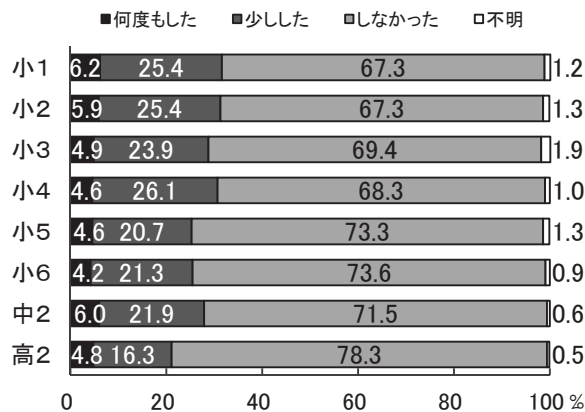


図 3-1-83 植林・間伐・下草刈りなどをする事

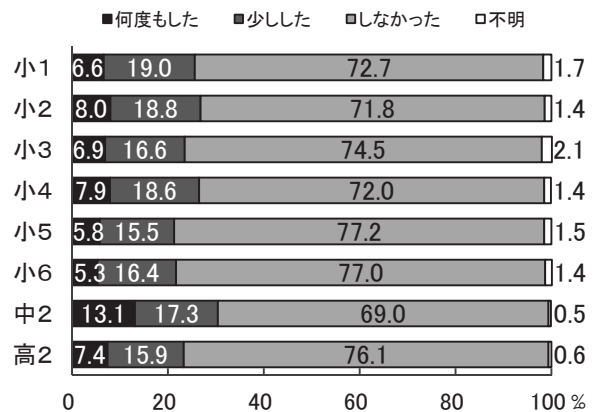


図 3-1-84 スキーや雪遊びなど雪の中での活動

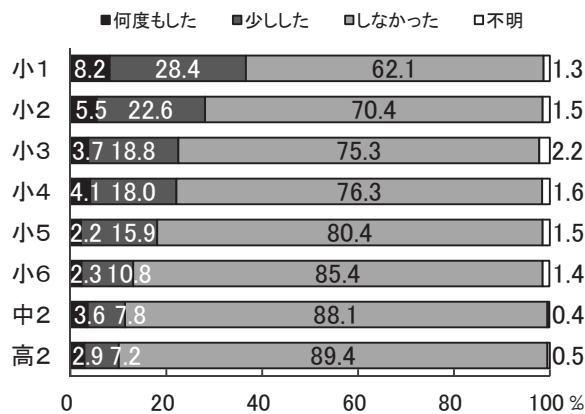


図 3-1-85 山菜採りやキノコ・木の実などの採取

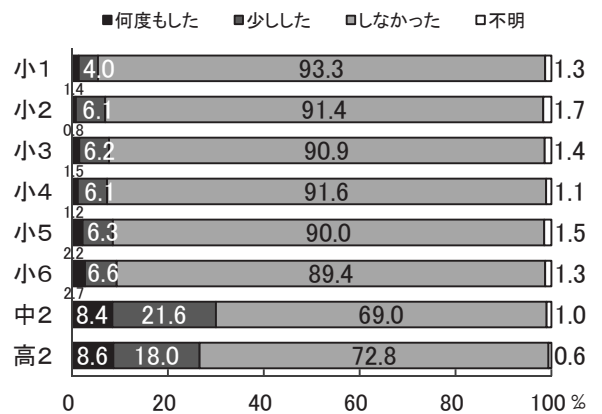


図 3-1-86 ※(2項目)以外のボランティア活動に参加すること

(c) 平成 18 年から令和元年までの 13 年間の経年比較

保護者の回答による小学生の実態、中学 2 年生と高校 2 年生の回答をそれぞれ経年比較した。13 項目については平成 18 年から令和元年の 13 年間を比較し、平成 18 年以降に調査内容へ加わった項目については、調査開始年から比較した。「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをすること」と「地域の清掃活動や廃品回収などに参加すること」の 2 項目以外のボランティア活動に参加することは令和元年から調査を開始したため、含めていない。

「お墓参りをすること」は、中学 2 年生と高校 2 年生の回答割合は、平成 28 年に比べて令和元年に減少していた。「体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをすること」について、「何度もした」、「少しした」という回答の合計割合は、小学生（保護者回答）で微増していたが、中学 2 年生と高校 2 年生では平成 28 年に比べて令和元年に微減していた。「植物や岩石を観察したり調べたりすること」、ならびに小学生（保護者回答）における「山登りやハイキング、オリエンテーリングやウォークラリー」、「植林・間伐・下草刈りなどをする事」の「何度もした」、「少しした」という回答の合計割合は、令和

元年に増加傾向にあった。ただし、いずれの項目も中学2年生と高校2年生の回答割合は、小学生（保護者回答）に比べて小さかった。それ以外の項目については、全体的に令和元年には減少傾向にあった。特に「スキーや雪遊びなど雪の中での活動」は令和元年度に大きく減少していた。令和元年では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行によって冬季の活動に外出自粛の影響がみられた可能性が指摘できる。

小学1年生～小学6年生（保護者回答）

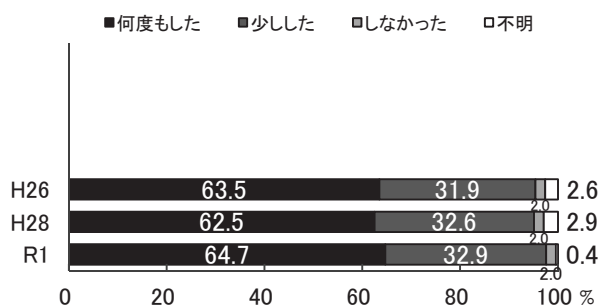


図 3-1-87 食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをする事

中学2年生、高校2年生

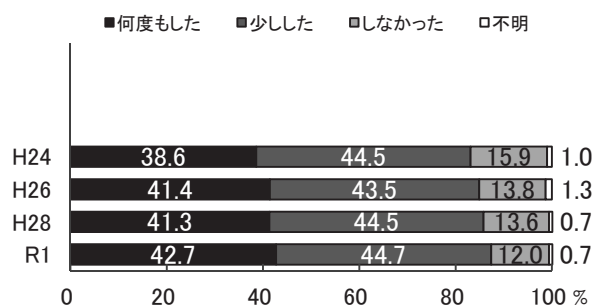


図 3-1-88 食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをする事

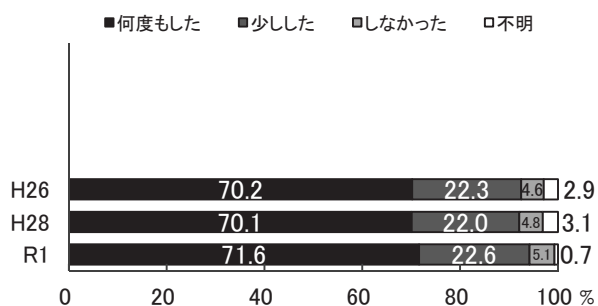


図 3-1-89 放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをすること

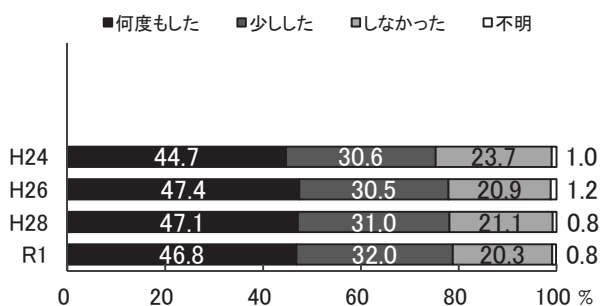


図 3-1-90 放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをすること

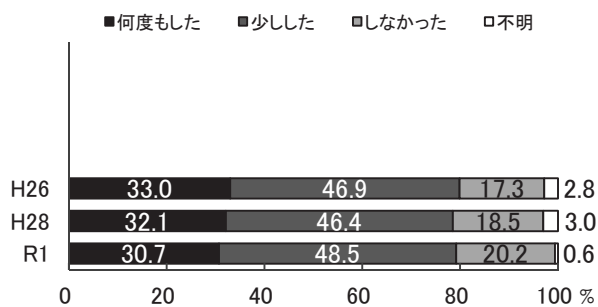


図 3-1-91 お墓参りをすること

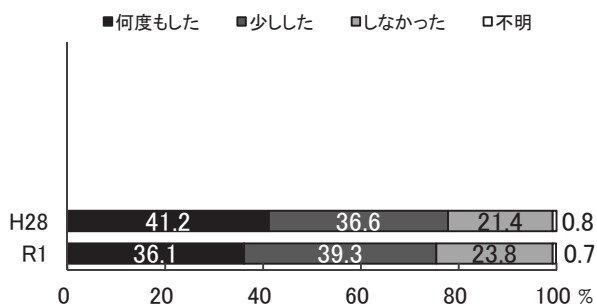


図 3-1-92 お墓参りをすること

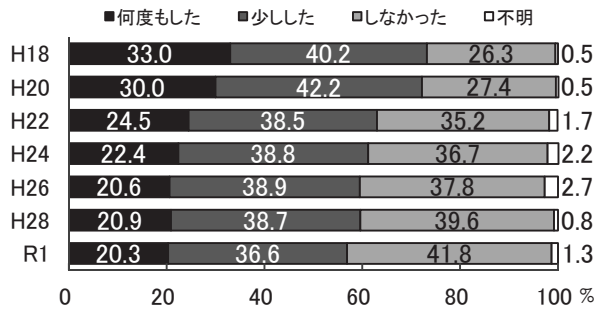


図 3-1-93 昆虫や水辺の生物を捕まえること

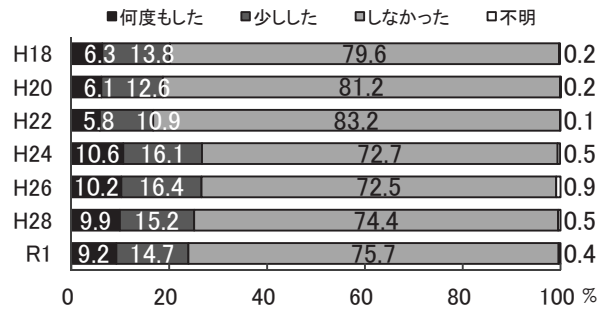


図 3-1-94 昆虫や水辺の生物を捕まえること

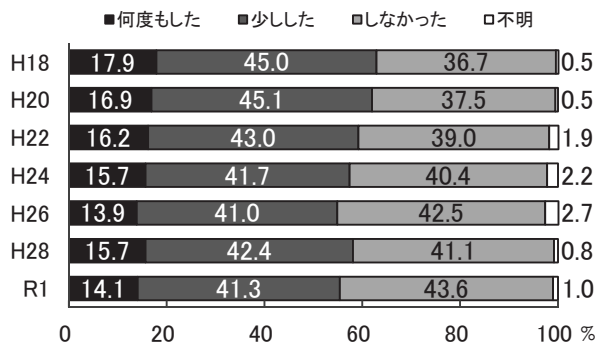


図 3-1-95 海や川などで泳いだり、ボート・カヌー・ヨットなどに乗ること

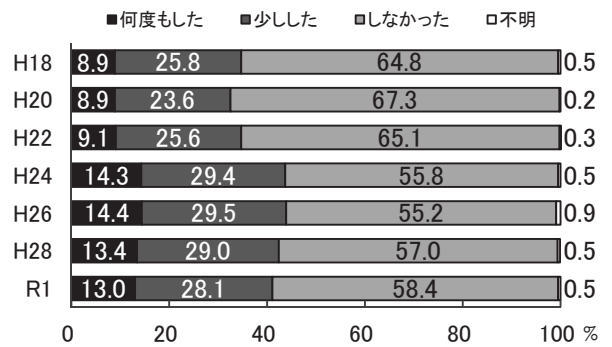


図 3-1-96 海や川などで泳いだり、ボート・カヌー・ヨットなどに乗ること

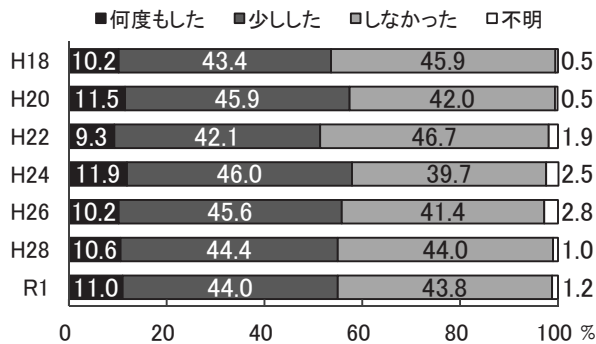


図 3-1-97 星や雲の観察

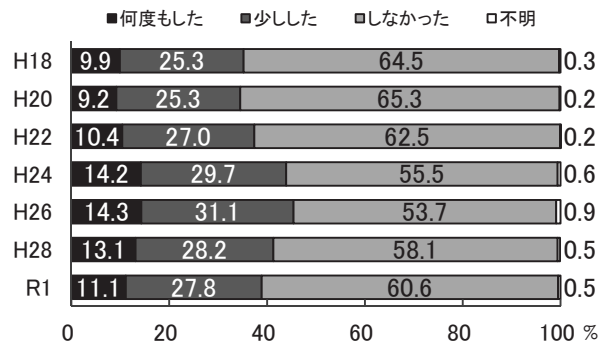


図 3-1-98 星や雲の観察

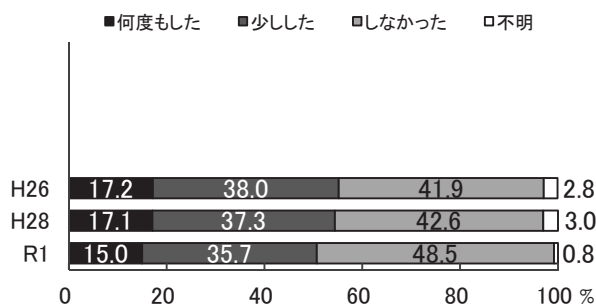


図 3-1-99 地域のスポーツ大会や文化祭などの行事に参加すること

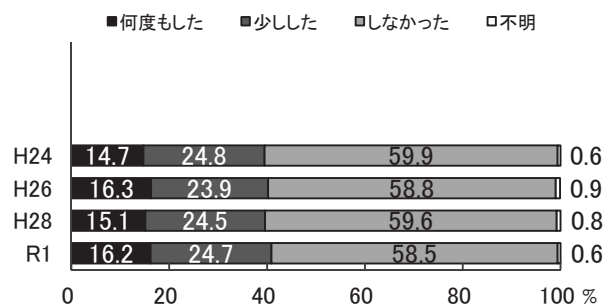


図 3-1-100 地域のスポーツ大会や文化祭などの行事に参加すること

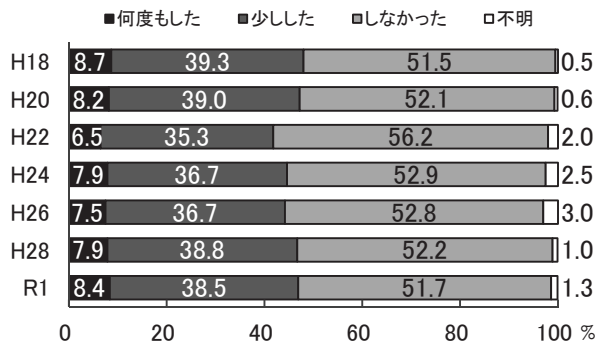


図 3-1-101 自然の材料を使った工作

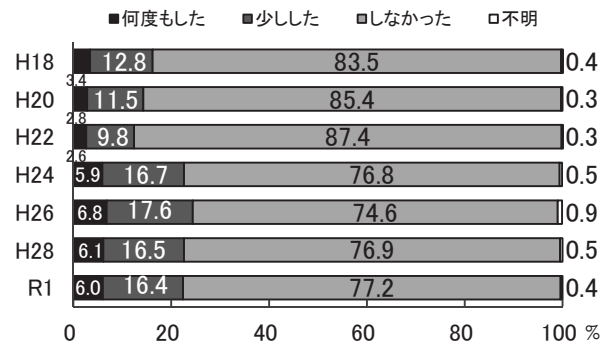


図 3-1-102 自然の材料を使った工作

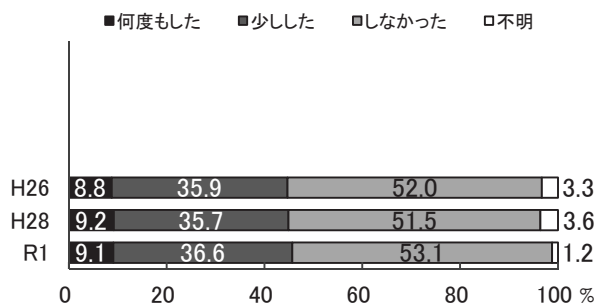


図 3-1-103 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをすること

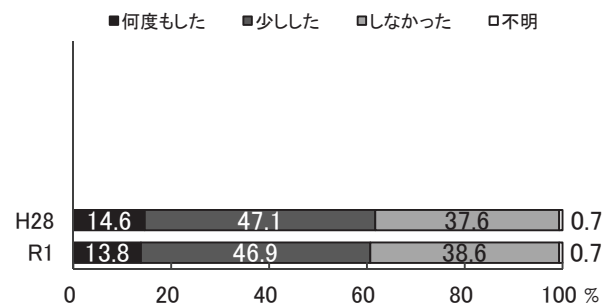


図 3-1-104 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをすること

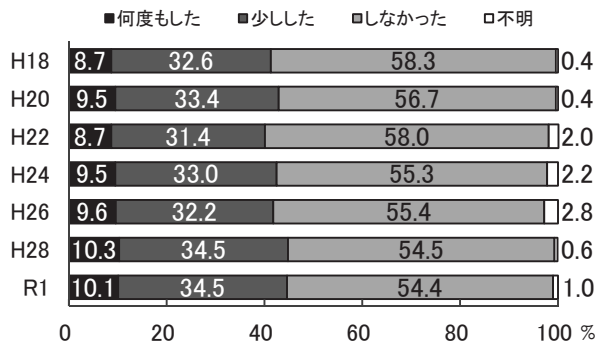


図 3-1-105 米や野菜を植えたり育てたりすること

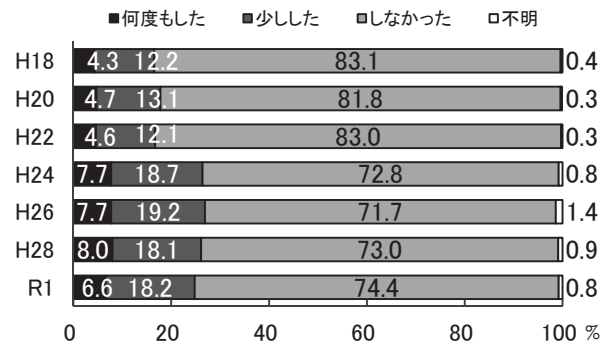


図 3-1-106 米や野菜を植えたり育てたりすること

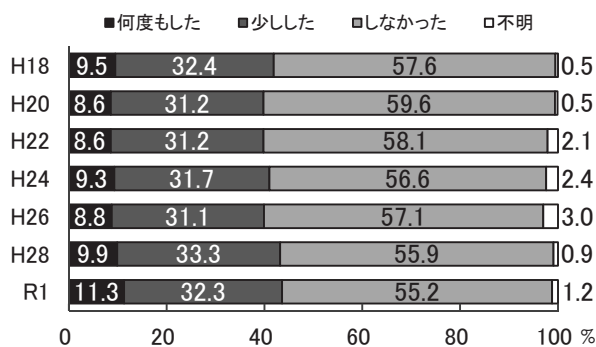


図 3-1-107 野外で食事を作ったり、テントに泊まったりすること

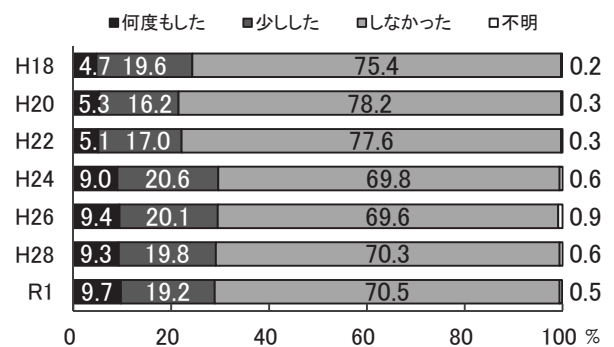


図 3-1-108 野外で食事を作ったり、テントに泊まったりすること

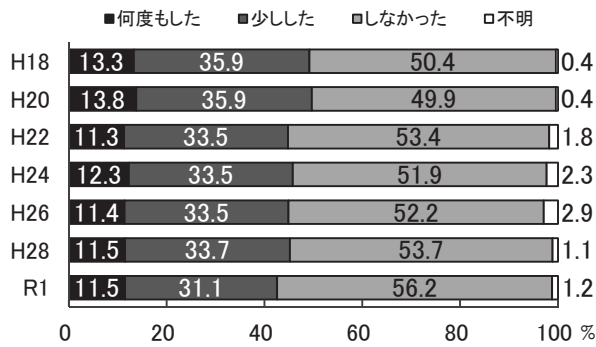


図 3-1-109 魚を釣ったり貝を採ったりすること

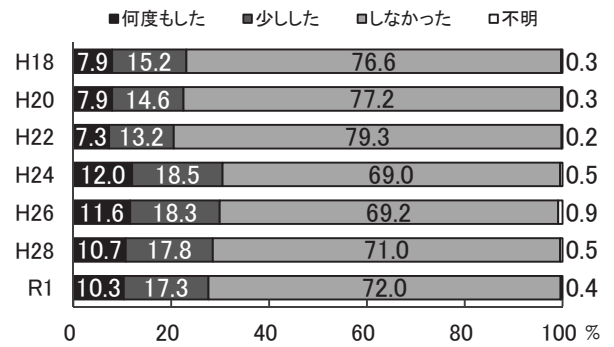


図 3-1-110 魚を釣ったり貝を採ったりすること

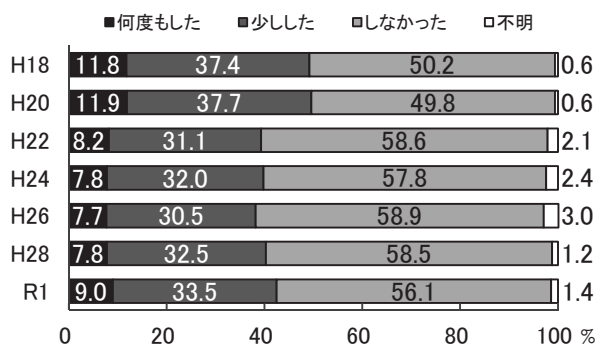


図 3-1-111 植物や岩石を観察したり
調べたりすること

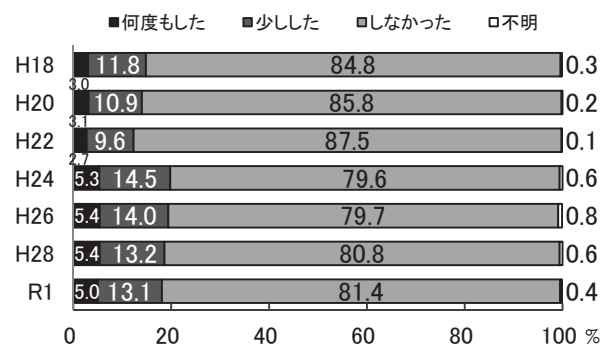


図 3-1-112 植物や岩石を観察したり
調べたりすること

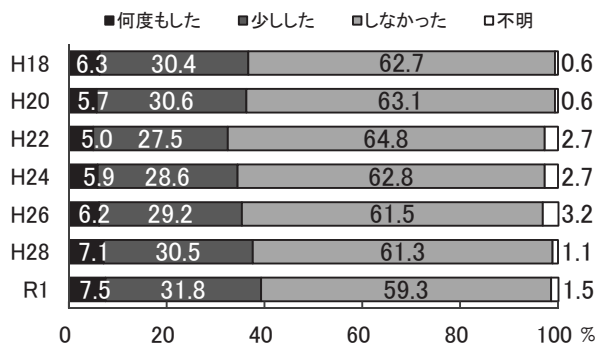


図 3-1-113 乗馬や乳しぼりなど
動物とふれあうこと

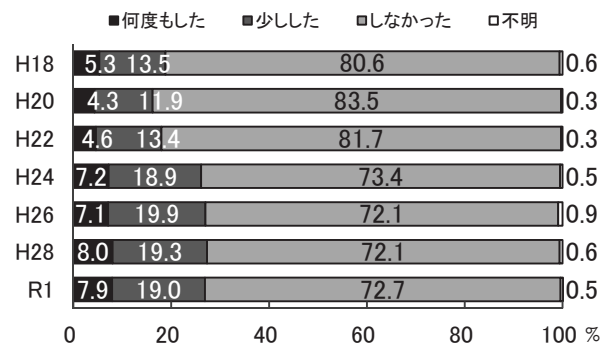


図 3-1-114 乗馬や乳しぼりなど
動物とふれあうこと

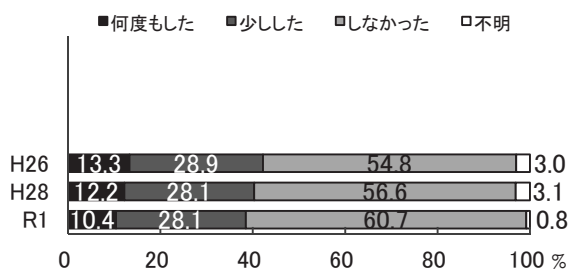


図 3-1-115 地域の清掃活動や廃品回収などに
参加すること

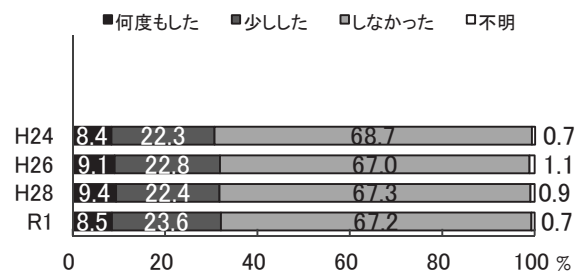


図 3-1-116 地域の清掃活動や廃品回収などに
参加すること

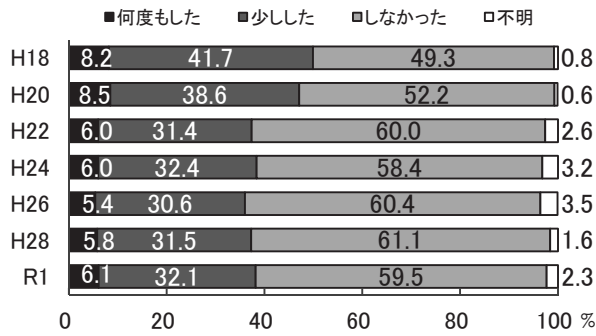


図 3-1-117 山登りやハイキング、
オリエンテーリングやウォークラリー

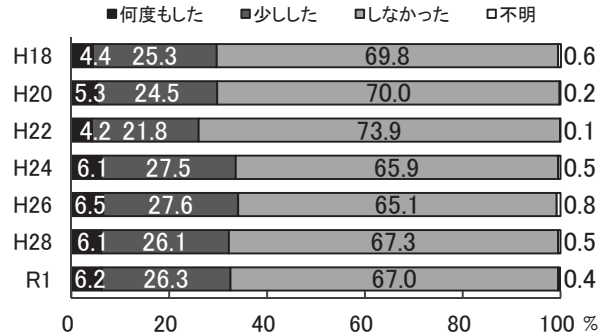


図 3-1-118 山登りやハイキング、
オリエンテーリングやウォークラリー

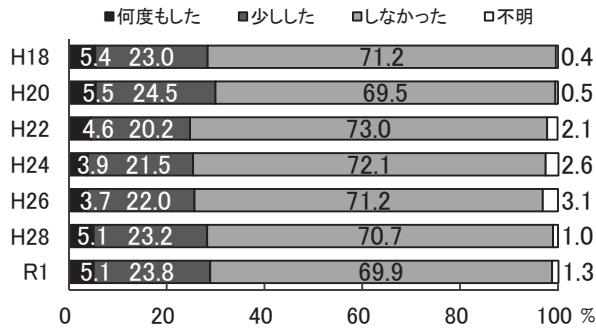


図 3-1-119 植林・間伐・下草刈りなどをするこ

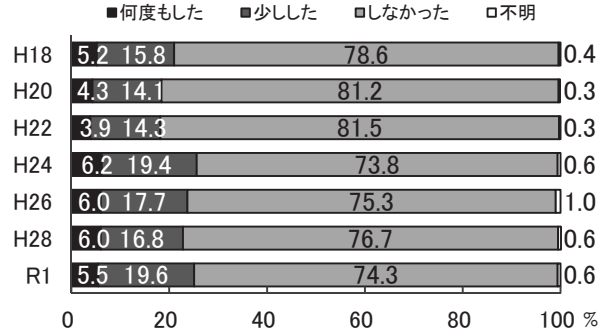


図 3-1-120 植林・間伐・下草刈りなどをするこ

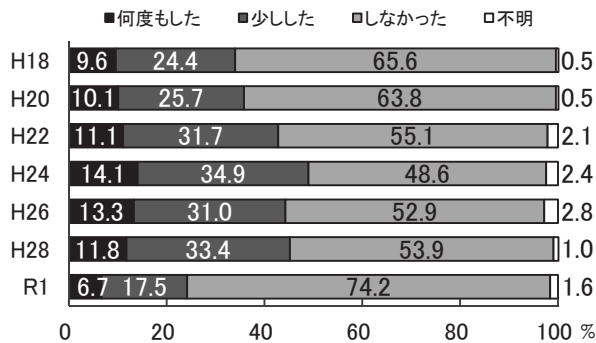


図 3-1-121 スキーや雪遊びなど雪の中での活動

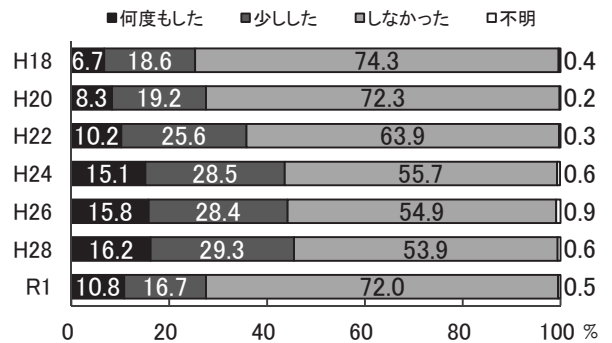


図 3-1-122 スキーや雪遊びなど雪の中での活動

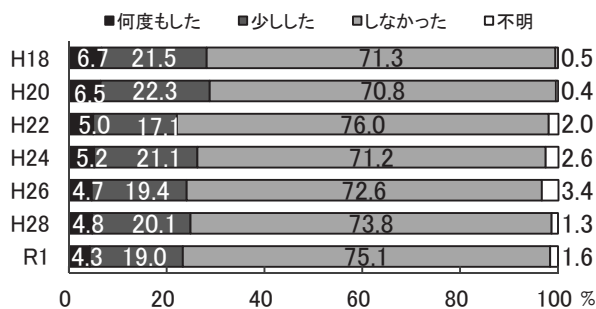


図 3-1-123 山菜採りやキノコ・木の実などの採取

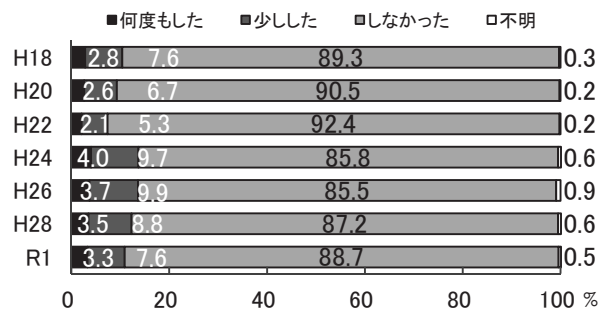


図 3-1-124 山菜採りやキノコ・木の実などの採取

3.1.2 青少年の生活

(1) 生活習慣

(a) 令和元年の実態

小学生、中学2年生、高校2年生の生活習慣（8項目）について、普段どのくらいしているのかを「必ずしている」、「だいたいしている」、「あまりしていない」、「していない」の4段階で回答を求めた。図3-1-125に、各項目へ「必ずしている」と「だいたいしている」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

「必ずしている」、「だいたいしている」と答えた割合は、「朝、食事をとること」（94.8%）、「朝、顔を洗ったり、歯をみがいたりすること」（94.2%）、「家で「おはようございます」「いただきます」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」といったあいさつをすること」（90.9%）は9割以上で、ほとんど全員がしている一方、「朝、人に起こされなくて自分で起きること」（56.4%）、「バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること」（50.2%）は、半数程度であった。

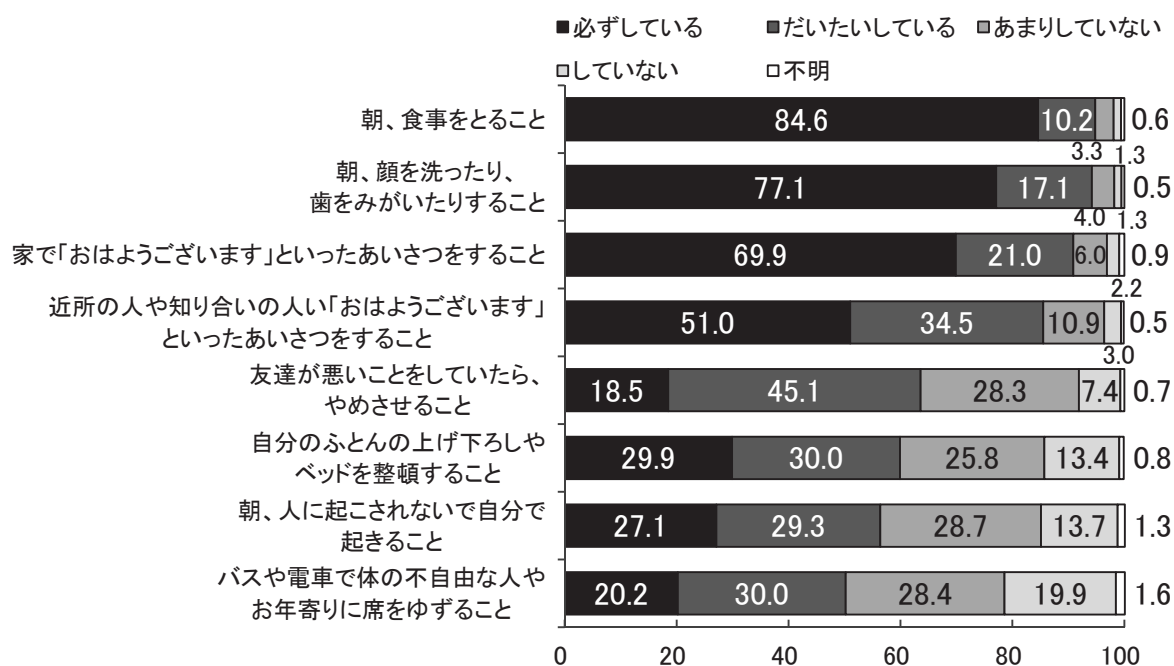


図 3-1-125 生活習慣の実態

(b) 学年間の比較

「必ずしている」、「だいたいしている」と答えた合計割合は、「朝、顔を洗ったり、歯をみがいたりすること」、「自分のふとんの上げ下ろしやベッドを整頓すること」、「朝、人に起こされなくて自分で起きること」、「バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること」は、学年が上がるにつれて増加する傾向にある。一方、「朝、食事をとること」、「家で「おはようございます」「いただきます」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」といったあいさつをすること」、「近所の人や知り合いの人に「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」といったあいさつをすること」、「友だちが悪いことをしてい

たら、やめさせること」は、学年が上がるにつれて減少する傾向にある。

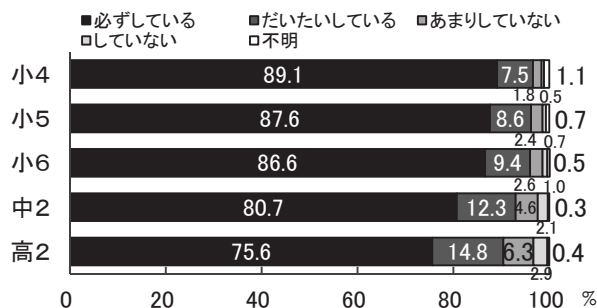


図 3-1-126 朝、食事をとること

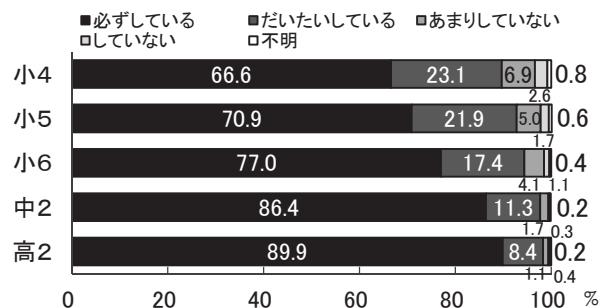


図 3-1-127 朝、顔を洗ったり、
歯をみがいたりすること

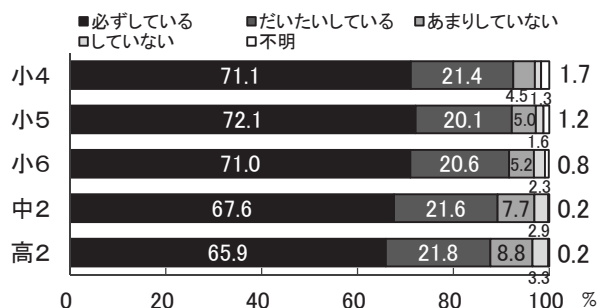


図 3-1-128 家で「おはようございます」といった
あいさつをすること

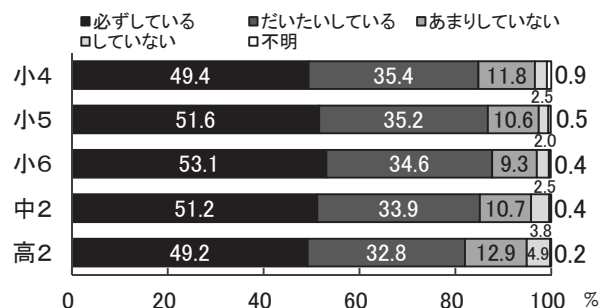


図 3-1-129 近所の人や知り合いの人に「おはよう
ございます」といったあいさつをすること

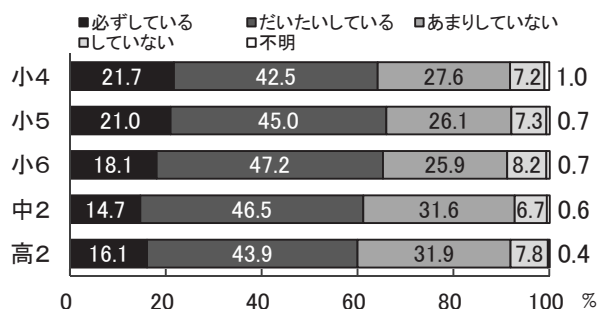


図 3-1-130 友だちが悪いことをしていたら、
やめさせること

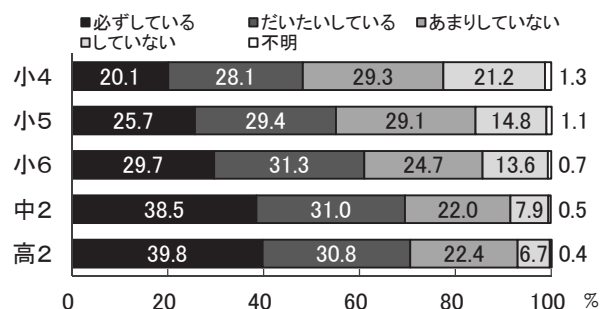


図 3-1-131 自分のふとんの上げ下ろしや
ベッドを整頓すること

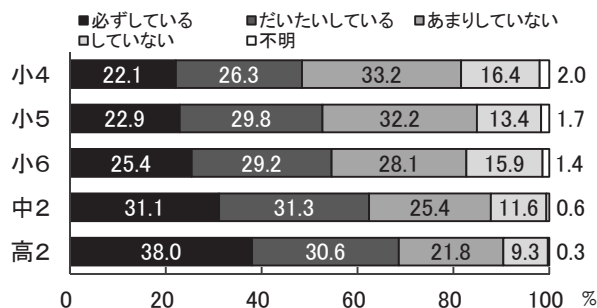


図 3-1-132 朝、人に起こされなくて
自分で起きること

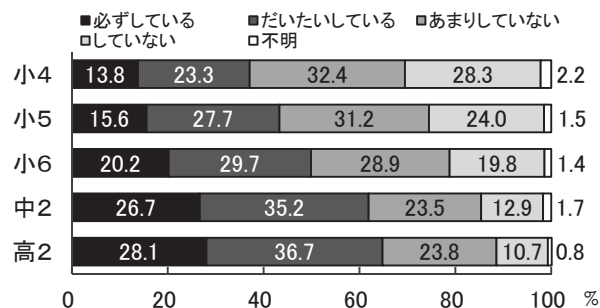


図 3-1-133 バスや電車で体の不自由な人や
お年寄りに席をゆずること

(c) 平成 10 年から令和元年までの 21 年間の経年比較

青少年の発達に関係が深いと考えられる「早寝早起き朝ごはん」という生活習慣に着目して、「朝、食事をとること」と「朝、人に起こされなくて自分で起きること」の 2 項目について、平成 10 年から令和元年の 21 年間の小中学生（小学 4 年生、小学 6 年生、中学 2 年生）の回答を比較した。

「朝、食事をとること」へ「必ずしている」、「だいたいしている」と答えた割合は、平成 17 年から 21 年にかけて増加しており、継続してほぼ全員が行っている生活習慣であるといえる。「朝、人に起こされなくて自分で起きること」は、平成 17 年に 59.0%であったが、平成 21 年には 52.3%へ低減し、平成 24 年から令和元年では若干増加している。

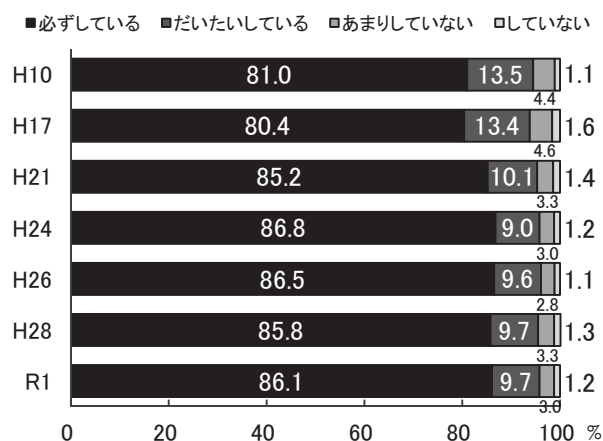


図 3-1-134 朝、食事をとること
(小 4、小 6、中 2)

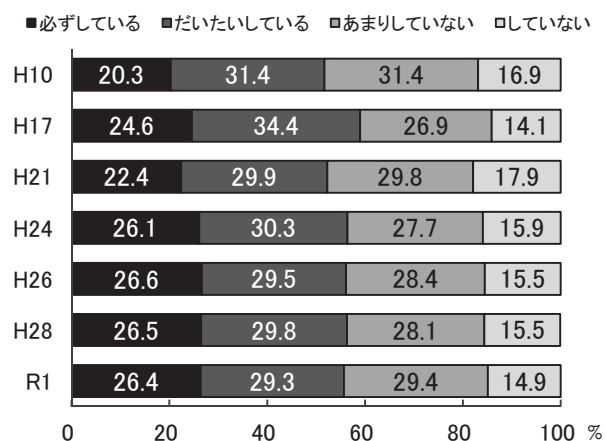


図 3-1-135 朝、人に起こされなくて自分で起きること
(小 4、小 6、中 2)

(2) ふだんの生活

(a) 令和元年の実態

小学生、中学2年生、高校2年生のふだんの生活（14項目）について、「よくある」、「時々ある」、「あまりない」、「ない」の4段階で回答を求めた。図3-1-136に、各項目へ「よくある」と「時々ある」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

「よくある」、「時々ある」と答えた合計割合で大きかったのは、「家の人に叱られたり、注意されたりすること」（82.4%）、「家の人にほめられること」（82.3%）、「放課後や休日に友だちと遊ぶこと」（80.5%）が8割以上であった。一方で、「友だちとけんかをする」（37.3%）、「近所の人からほめてもらったり、あるいは注意されたり、叱られたりすること」（34.4%）は合計が4割程以下であり、「夕食を一人で食べる」（20.5%）、「寝坊して、学校に遅刻したりすること」（11.5%）は合計が1～2割程度で小さかった。

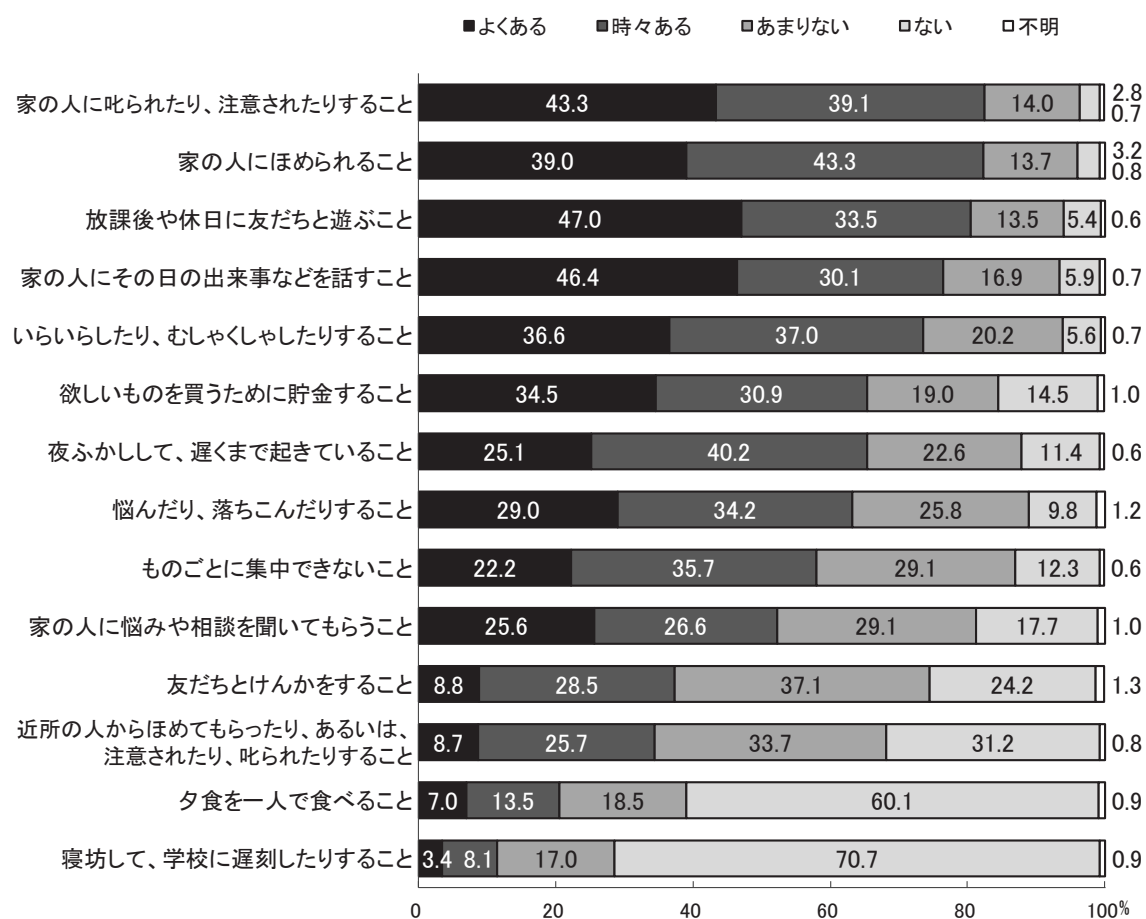


図 3-1-136 ふだんの生活の実態

(b) 学年間の比較

「家の人に叱られたり、注意されたりすること」、「家の人にほめられること」、「放課後や休日に友だちと遊ぶこと」、「友だちとけんかをする」、「近所の人からほめてもらっ

たり、あるいは、注意されたり、叱られたりすること」の5項目は、学年が上がるにつれて、「よくある」、「時々ある」と答える割合が減少する傾向にある。

一方、「いらいらしたり、むしゃくしゃしたりすること」、「夜ふかしして、遅くまで起きていること」、「欲しいものを買うために貯金すること」、「悩んだり落ち込んだりすること」、「ものごとに集中できないこと」、「夕食を一人で食べること」、「寝坊して、学校に遅刻したりすること」の7項目は、学年が上がるにつれて、「よくある」、「時々ある」と答えた割合が増加する傾向にある。

また、「家の人にその日の出来事などを話すこと」、「家の人に悩みや相談を聞いてもらうこと」の「よくある」、「時々ある」と答えた割合は、中学2年生で減少するが、高校2年生には小学6年生程度まで再び増加していた。

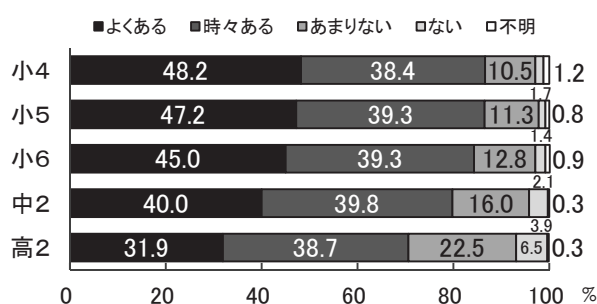


図 3-1-137 家の人に叱られたり、注意されたりすること

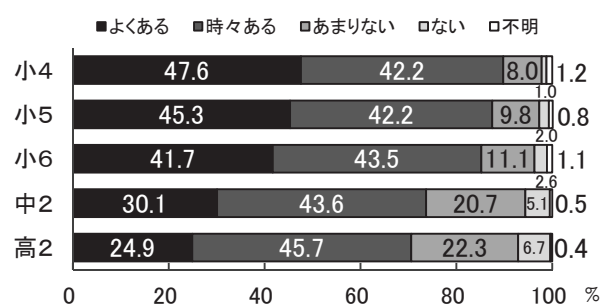


図 3-1-138 家の人にほめられること

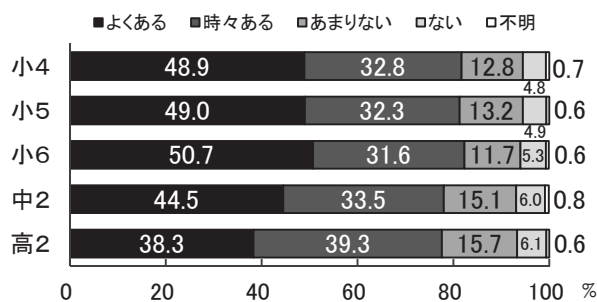


図 3-1-139 放課後や休日に友だちと遊ぶこと

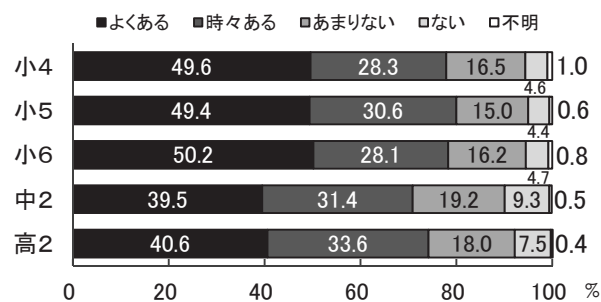


図 3-1-140 家の人にその日の出来事などを話すこと

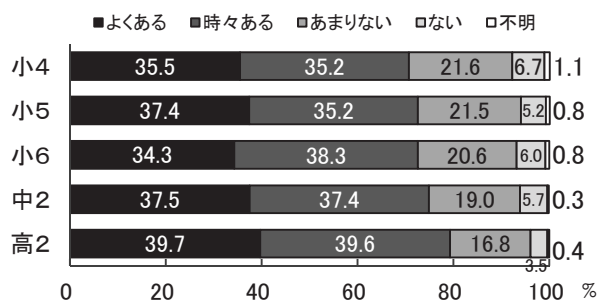


図 3-1-141 いらいらしたり、むしゃくしゃしたりすること

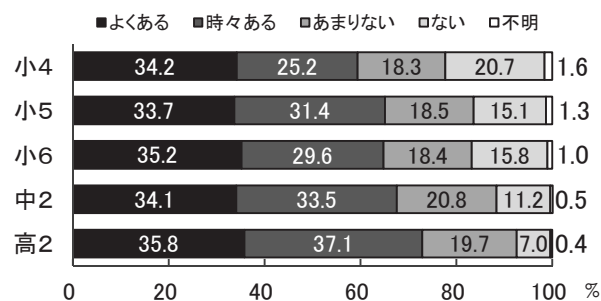


図 3-1-142 欲しいものを買うために貯金すること

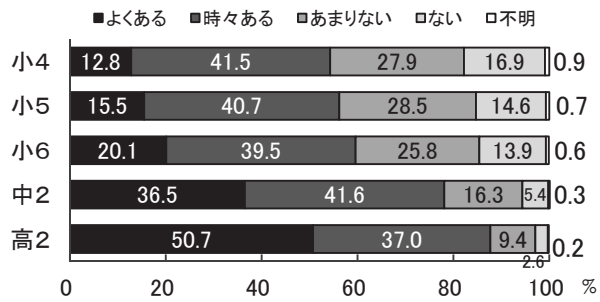


図 3-1-143 夜ふかしして、遅くまで起きていること

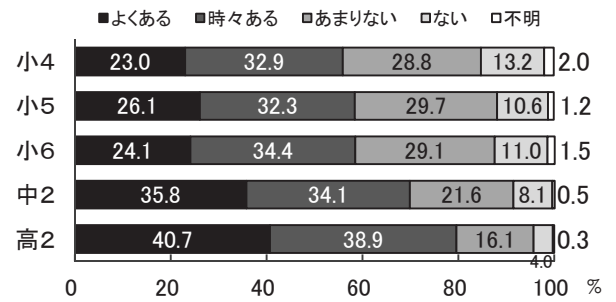


図 3-1-144 悩んだり、落ちこんだりすること

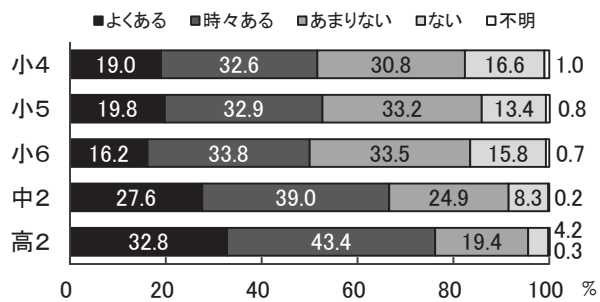


図 3-1-145 ものごとに集中できないこと

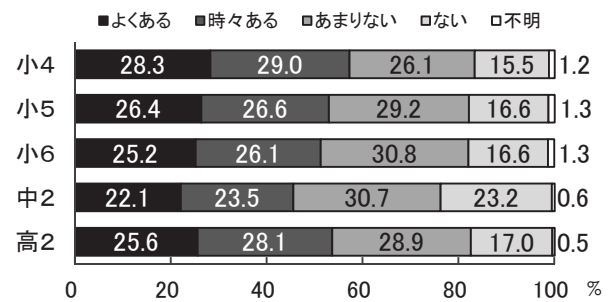


図 3-1-146 家の人に悩みや相談を聞いてもらうこと

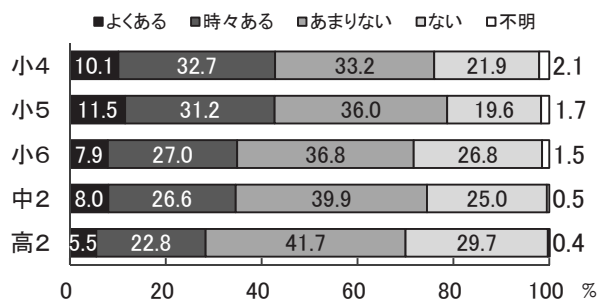


図 3-1-147 友だちとけんかをする

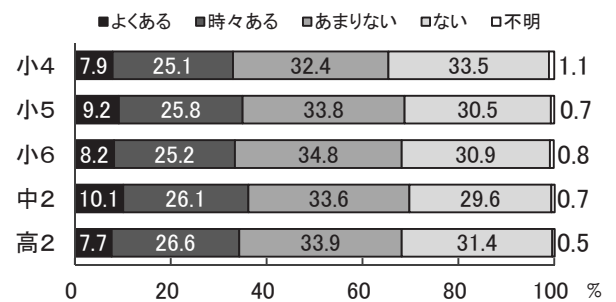


図 3-1-148 近所の人からほめてもらったり、あるいは、注意されたり、叱られたりすること

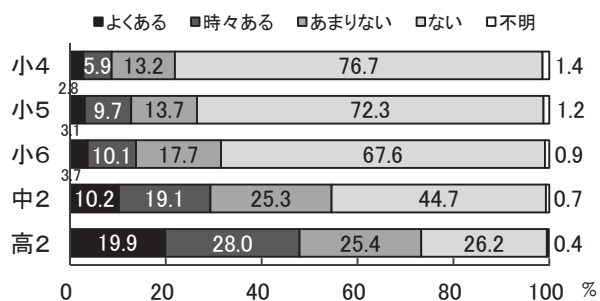


図 3-1-149 夕食を一人で食べる

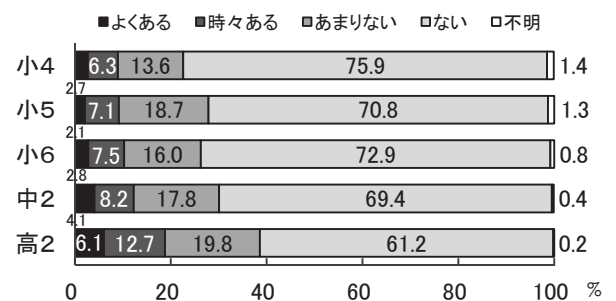


図 3-1-150 寝坊して、学校に遅刻したりすること

(c) 平成 18 年から令和元年までの 13 年間の経年比較

青少年の発達に関係が深いと考えられる「早寝早起き朝ごはん」という習慣に着目して、「夜ふかしして、遅くまで起きていること」について、平成 18 年から令和元年の 13 年間の青少年（小学生、中学 2 年生、高校 2 年生）の回答を比較した。その結果、「よくある」、「時々ある」と回答した割合にゆるやかな減少傾向が示された（図 3-151）。

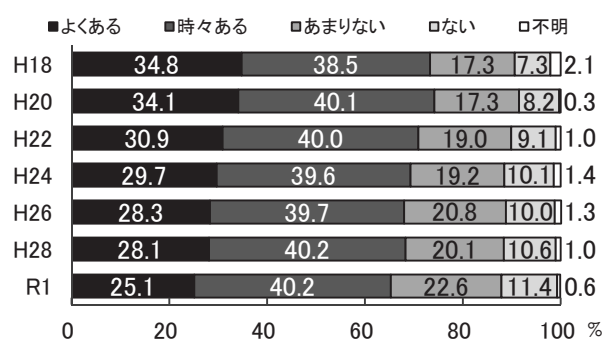


図 3-1-151 夜ふかしして、遅くまで起きていること
(小 4～小 6、中 2、高 2)

(3) 生活実態

(a) 読書量の学年間比較と 13 年間の経年比較

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の 1 か月に読む本の数について、「10 冊以上」、「6～9 冊」、「3～5 冊」、「1～2 冊」、「ほとんど読まない」の 5 段階で回答を求めた。1 か月に読む本の数は、学年が上がるにつれて減少する傾向があり、「ほとんど読まない」という回答割合が小学 4 年生で 18.5%であったのに対して、高校 2 年生では 58.8%と半数以上に至っている。

さらに、近年指摘されている読書量の減少という問題の関係から、平成 18 年から令和元年までの 13 年間の経年比較を行った。その結果、「10 冊以上」と「6～9 冊」の回答割合の合計は平成 18 年では 18.9%であったのに対して、令和元年は 26.6%であり、ゆるやかな増加傾向にあることが指摘できる。

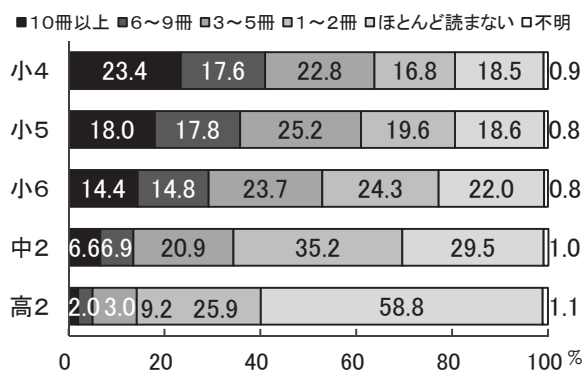


図 3-1-152 学年ごとの 1 か月に読む本の数

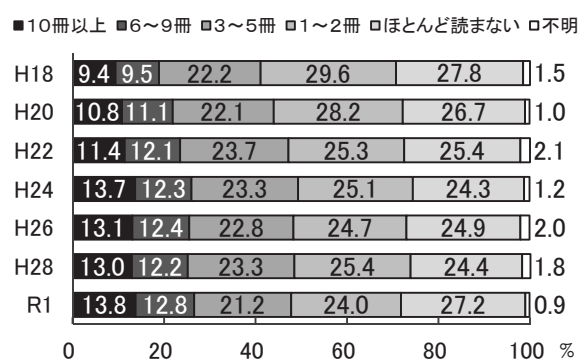


図 3-1-153 1 か月に読む本の数の推移

(小 4～小 6、中 2、高 2)

(b) 生活状況の学年間比較

生活状況に関する4項目について、学年別にみると、兄弟姉妹の人数は「1人いる」が5割程度で最も多かった。兄弟姉妹が「いない」と回答したのは中学2年生と高校2年生ともに、1割程度であった。

「祖父母との同居」は、「誰と一緒に住んでいますか」という同居家族で「祖父・祖母」を選択した回答から整理した。同居家族と「自分だけの部屋」の有無は、小学生は保護者に回答を求めた。その結果、「祖父母との同居」の有無は小学生よりも中学2年生と高校2年生の選択率が大きくなり、小学2年生（保護者回答）の15.9%が最も小さく高校2年生の21.3%が最も大きかった。「自分だけの部屋」の有無も学年が上がるにつれて「ある」という割合が大きくなり、小学1年生（保護者回答）の21.0%が最も小さく高校2年生の76.6%が最も大きかった。

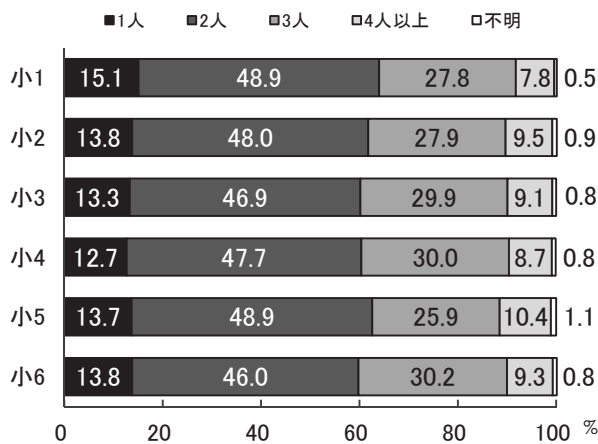


図 3-1-154 子供の人数（小学生の保護者）

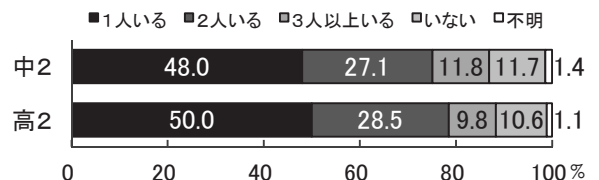
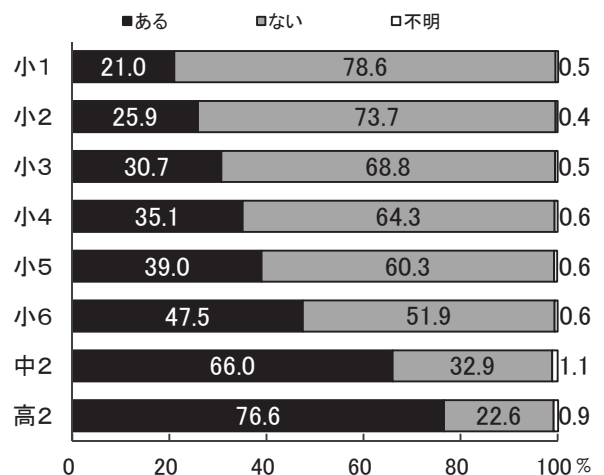
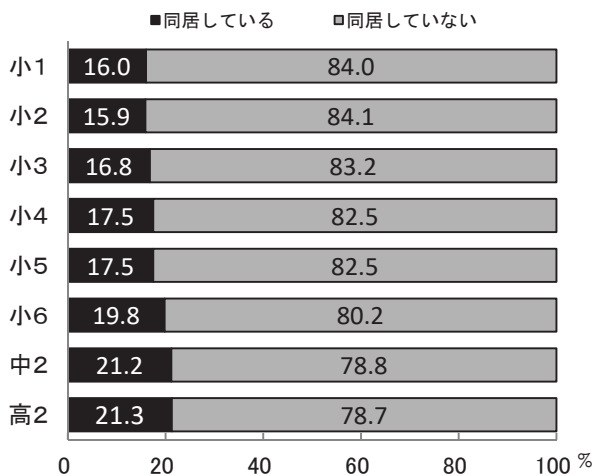


図 3-1-155 兄弟や姉妹の人数（学年別）



(c) 生活時間の学年間比較と7年間の経年比較

月曜日から金曜日までの平日の起床時間と就寝時間について、小学生、中学2年生と高校2年生の回答をそれぞれ比較した。小学生における「ふだん起きる時間」と「ふだん寝る時間」は、保護者による回答であった。

「ふだん起きる時間」は、学年が上がるにつれて「午前6時以降、午前6時30分より前」と「午前6時30分以降、午前7時より前」の回答割合が小さくなり、早く起きる者と遅く起きる者が両方増加しているといえる。一方で、「ふだん寝る時間」は、学年が上がるにつれて遅い時間帯が増える傾向がある。

平成24年から令和元年にかけて、小学生ではより早い時間に起きて、早い時間に寝るといった割合が増加している傾向がある。一方で、中学2年生と高校2年生では、午前6時30分より前に起きる割合が減少していた。

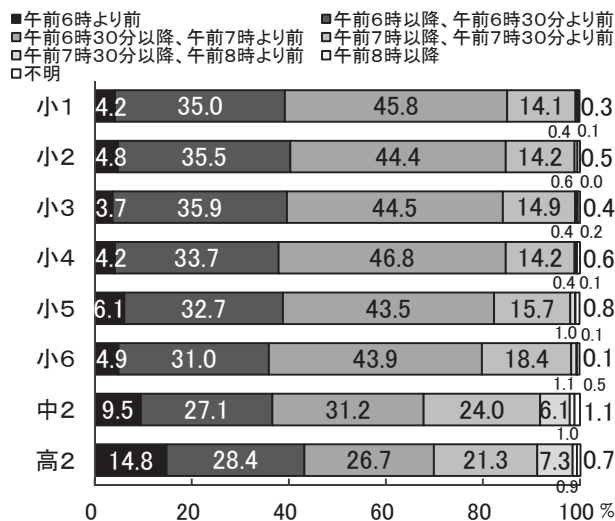


図 3-1-158 ふだん起きる時間

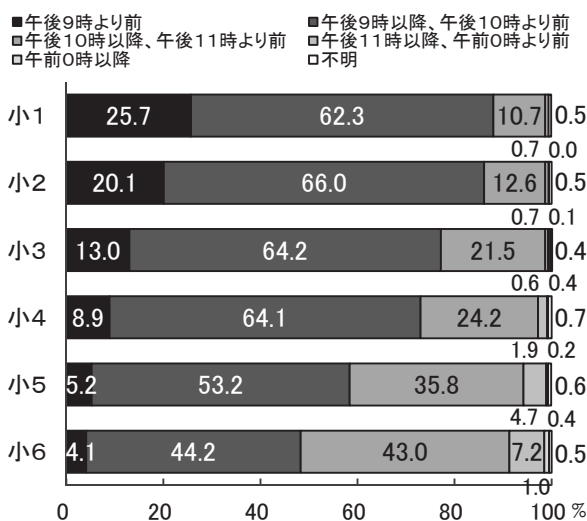


図 3-1-159 ふだん寝る時間（小学生）

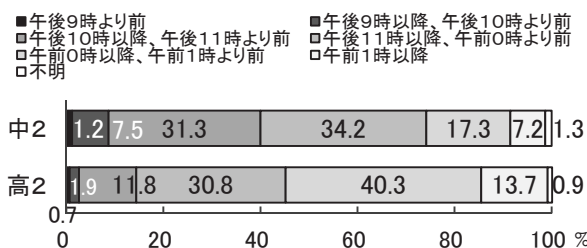


図 3-1-160 ふだん寝る時間（中2、高2）

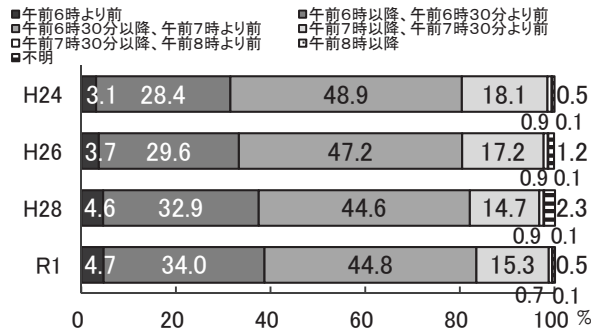


図 3-1-161 ふだん起きる時間（小学生）

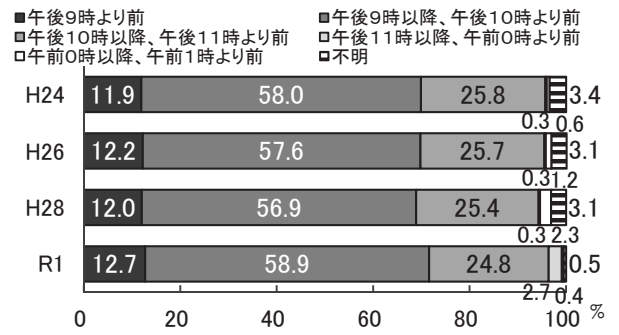


図 3-1-162 ふだん寝る時間（小学生）

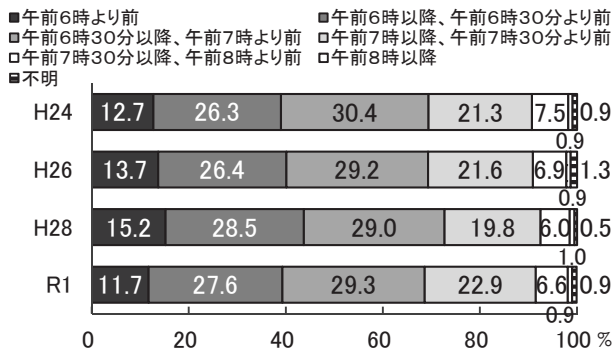


図 3-1-163 ふだん起きる時間（中2、高2）

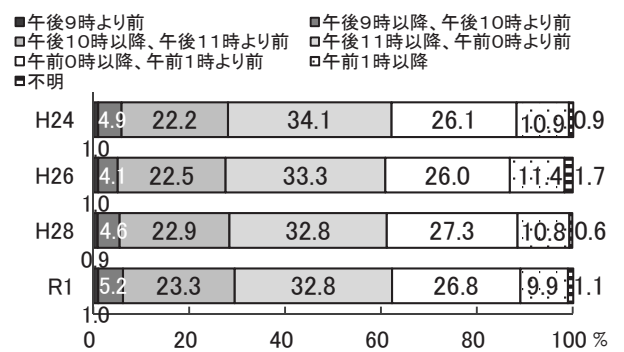


図 3-1-164 ふだん寝る時間（中2、高2）

(d) 青少年団体への所属の学年間比較

青少年団体の所属について、複数回答可で回答を求めた。保護者の回答による小学生の実態、中学2年生と高校2年生の回答を比較した結果、「青少年の団体には所属していない」という回答は、小学1年生で65.6%であったのが小学6年生には52.0%まで減少し、中学2年生が72.2%、高校2年生が86.5%と割合が増加している（図3-1-168）。

「子供会やボーイスカウトなどの青少年の団体に所属している」という割合が1.2%～14.7%であることに対して、「野球やサッカーのチームやスポーツ少年団などに所属している」という割合が4.2%～32.4%と多くみられた。

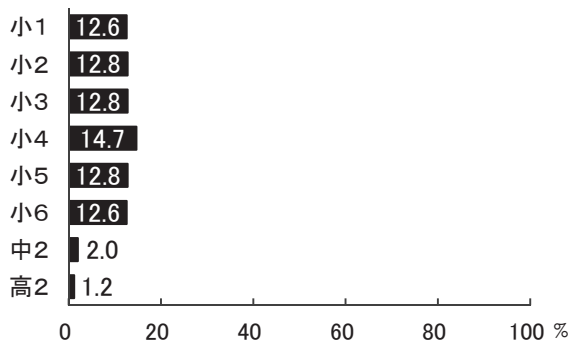


図 3-1-165 子供会やボーイスカウトなどの青少年の団体への所属

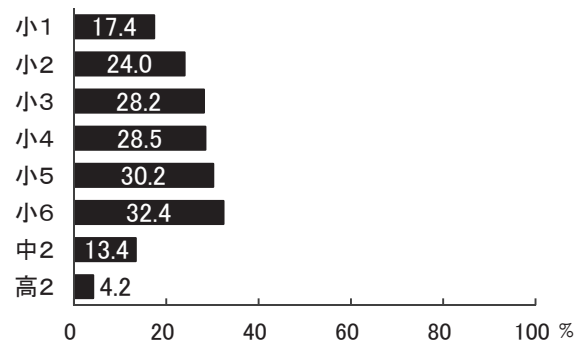


図 3-1-166 野球やサッカーのチームやスポーツ少年団などへの所属

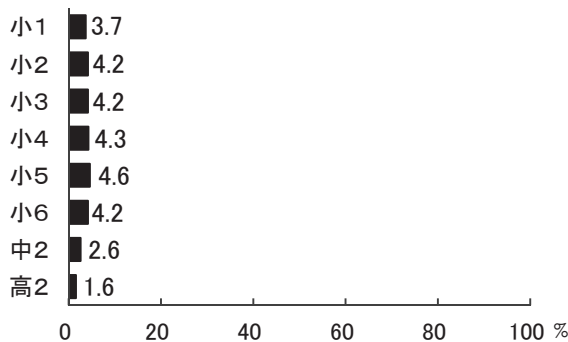


図 3-1-167 それ以外の青少年の団体への所属

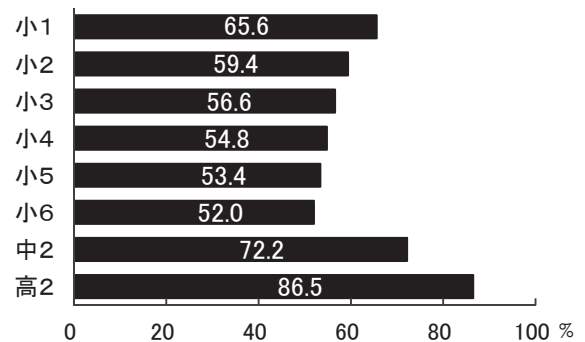


図 3-1-168 青少年の団体へは所属していない

(e) 放課後の活動の学年間比較

「塾・習い事」の日数については、保護者の回答による小学生の実態、中学2年生と高校2年生の回答を比較した。「部活動への所属」については、中学2年生と高校2年生に回答を求めた。「アルバイト経験」は高校2年生のみに尋ねた。

「1週間のうち塾に行く日数」(塾の頻度)は小学1年生から中学2年生まで増加傾向にあるが、高校2年生になると「通っていない」という回答が多くみられた(71.9%)。「1週間のうち塾以外の習い事に行く日数」(塾以外の習い事の頻度)は、小学1年生から小学3年生、小学4年生まで増加するが、それ以降は学年が上がるにつれて減少していた。高校2年生で「通っていない」という回答割合は84.8%で最も大きかった。

中学2年生と高校2年生のいずれも「運動部に所属」が最も割合が多かったが、高校2年生は中学2年生に比べて「文化部に所属」と「部活動には所属していない」(無所属)という回答割合が増加していた。

アルバイト経験のある高校2年生は30.0%であった。

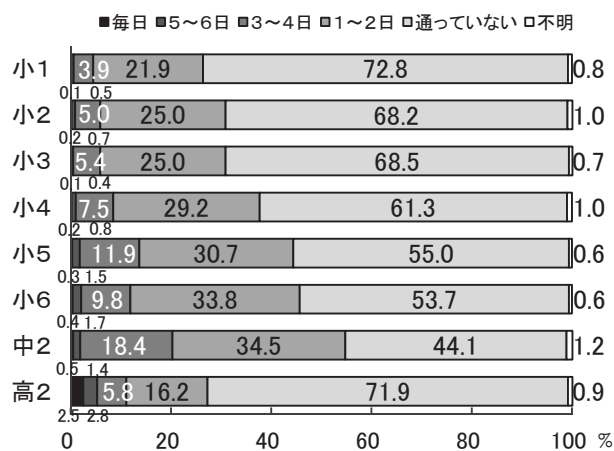


図 3-1-169 塾の頻度

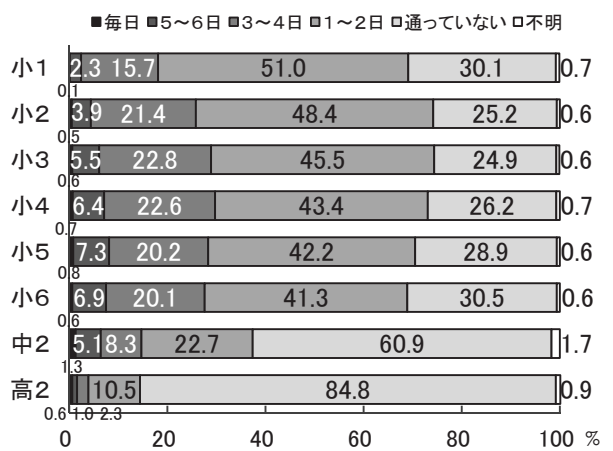


図 3-1-170 塾以外の習い事の頻度

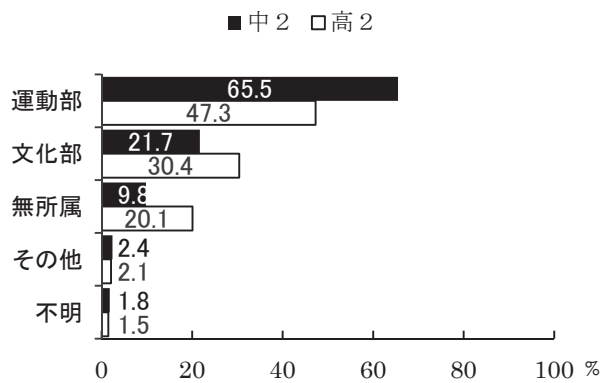


図 3-1-171 部活動への所属

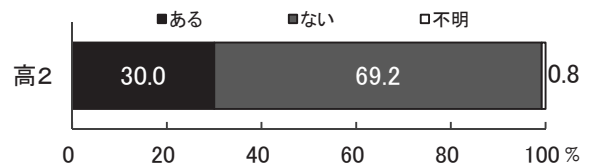


図 3-1-172 アルバイト経験

(f) 卒業後の進路希望

卒業後の進路希望を高校 2 年生のみに尋ねた。「進学」が 77.7%と最も多く、次いで「就職」が 16.7%、「決めていない」が 4.1%であった。

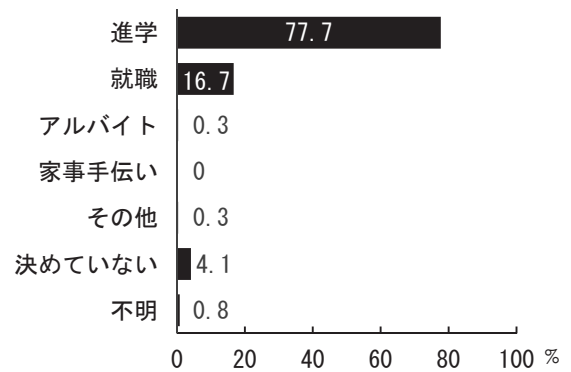


図 3-1-173 卒業後の進路希望 (高2)

3.1.3 青少年の意識

(1) 自立的行動習慣

(a) 令和元年の実態

小学生、中学2年生、高校2年生の自立的行動習慣（14項目）に対して、今の自分について、どのくらい当てはまるのかを「とても当てはまる」、「少し当てはまる」、「あまり当てはまらない」、「全く当てはまらない」の4段階で回答を求めた。図3-1-174に、各項目へ「とても当てはまる」と「少し当てはまる」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた合計割合で大きかったものは、「自分でできることは自分でする」、「ルールを守って行動する」、「人の話をきちんと聞く」、「困っている人がいたときに手助けする」で8割以上である一方、「先のことを考えて、自分の計画を立てる」については合計が6割以下（59.2%）、「国や地域の政治や選挙について関心がある」については合計が4割以下（36.4%）と小さかった。

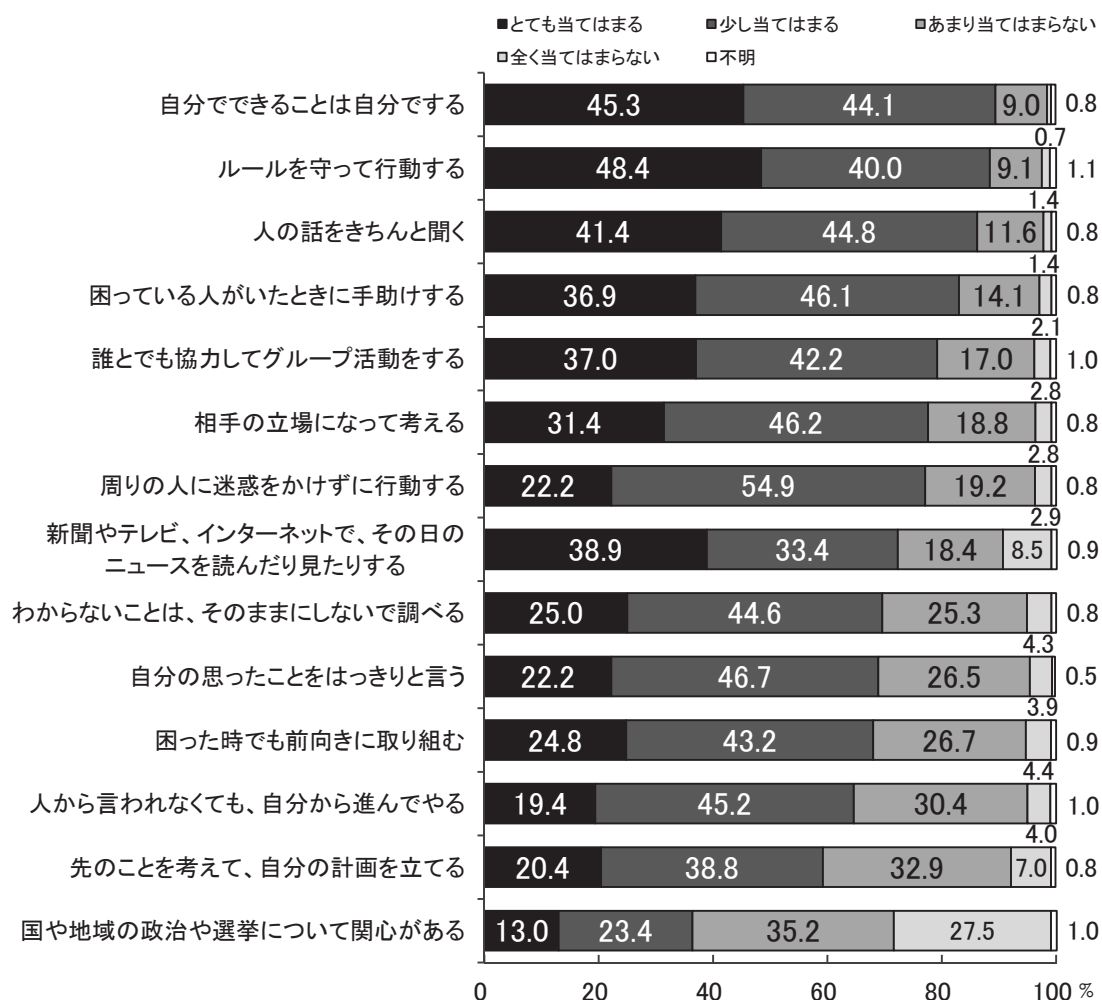


図 3-1-174 自立的行動習慣の実態

(b) 学年間の比較

「自分でできることは自分でする」、「ルールを守って行動する」、「人の話をきちんと聞く」、「困っている人がいたときに手助けする」、「相手の立場になって考える」、「周りの人に迷惑をかけずに行動する」、「自分の思ったことをはっきりと言う」、「人から言われなくても、自分から進んでやる」については、「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた合計割合は、学年が上がるにつれてゆるやかに増加する傾向にあるが、「誰とでも協力してグループ活動をする」については、学年が上がるにつれて減少する傾向にある。「新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを読んだり見たりする」については高校2年生で減少していた。

また、「わからないことは、そのままにしないで調べる」、「先のことを考えて、自分の計画を立てる」、「国や地域の政治や選挙について関心がある」については、「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた割合が中学2年生で減少し、高校2年生で増加していた。

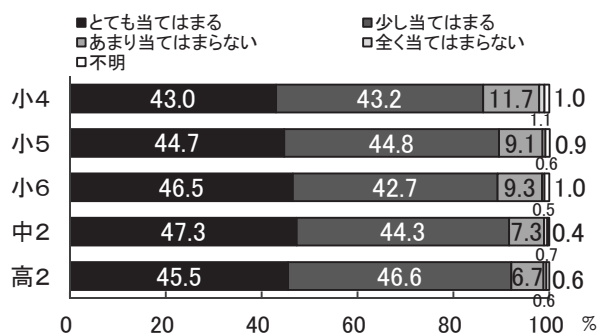


図 3-1-175 自分でできることは自分でする

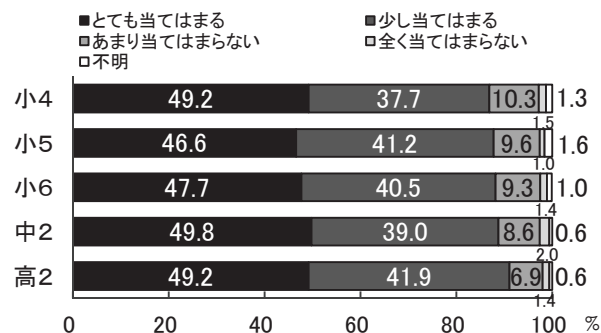


図 3-1-176 ルールを守って行動する

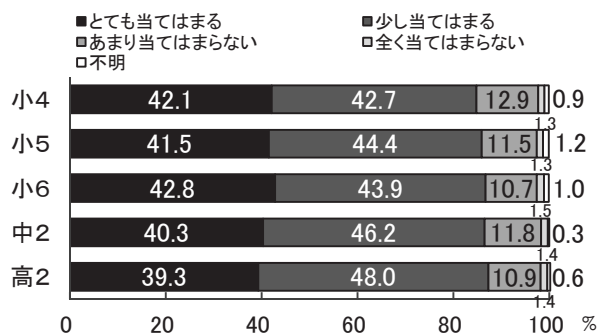


図 3-1-177 人の話をきちんと聞く

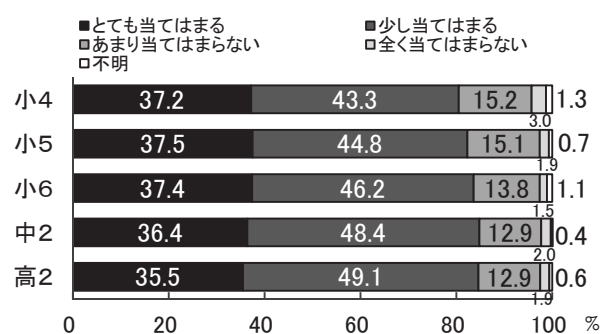


図 3-1-178 困っている人がいたときに手助けする

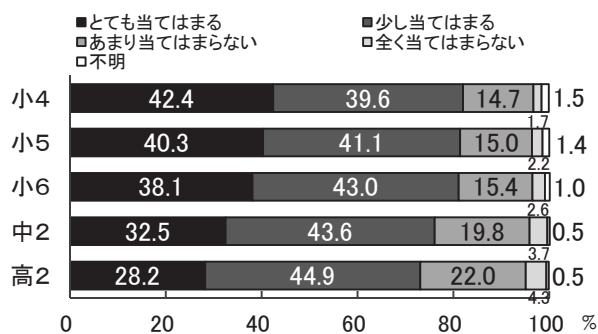


図 3-1-179 誰とでも協力してグループ活動をする

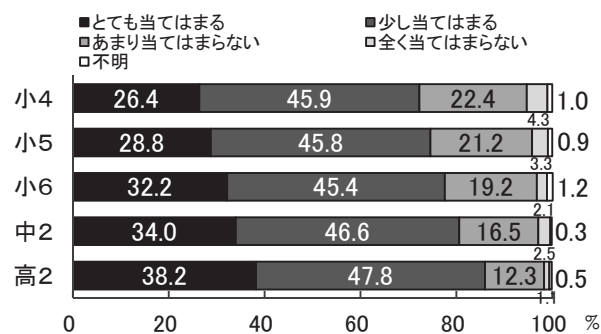


図 3-1-180 相手の立場になって考える

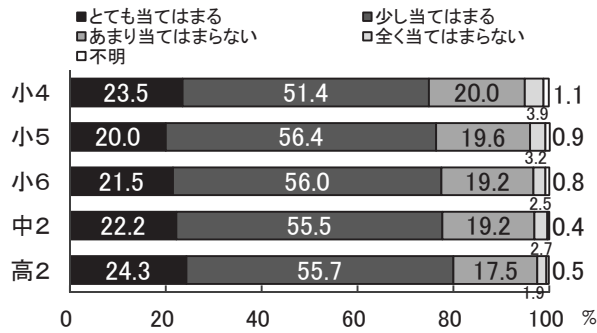


図 3-1-181 周りの人に迷惑をかけずに行動する

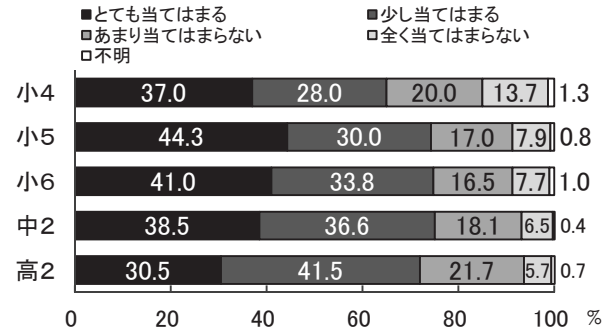


図 3-1-182 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを読んだり見たりする

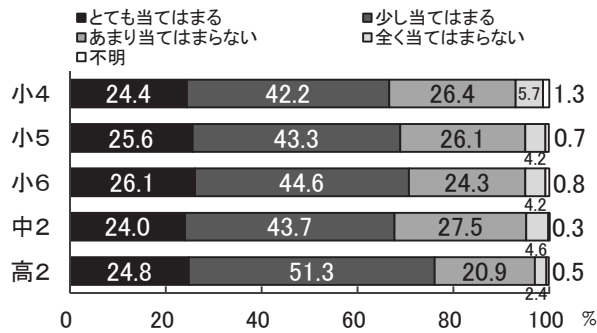


図 3-1-183 わからないことは、そのままにしないで調べる

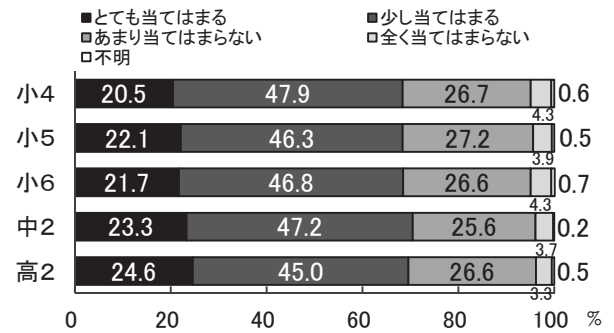


図 3-1-184 自分の思ったことをはっきりと言う

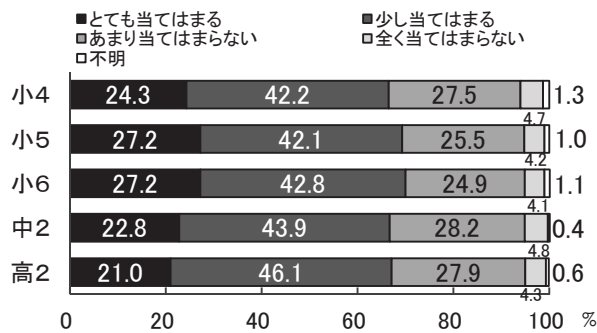


図 3-1-185 困った時でも前向きに取り組む

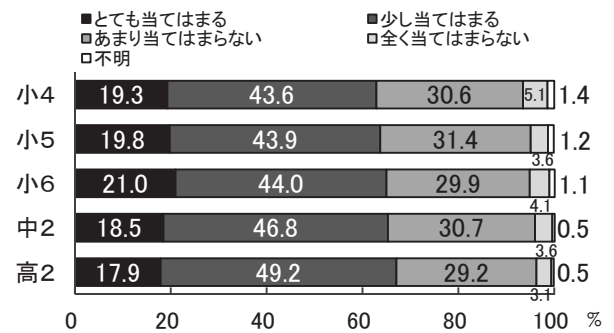


図 3-1-186 人から言われなくても、自分から進んでやる

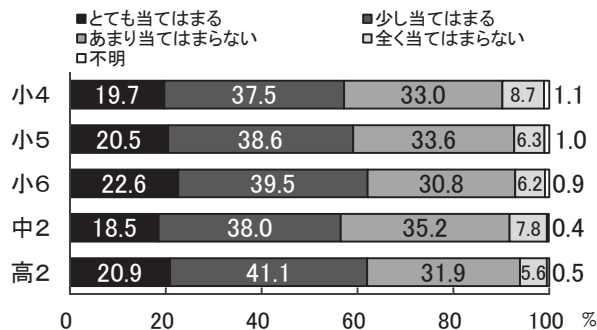


図 3-1-187 先のことを考えて、自分の計画を立てる

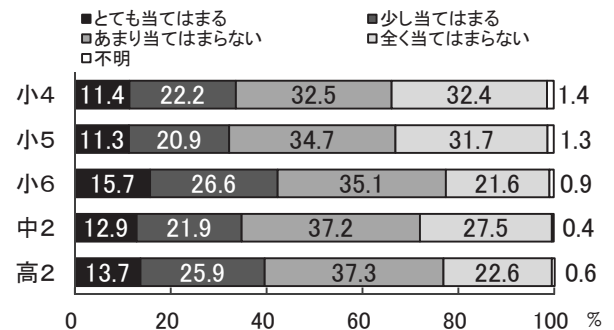


図 3-1-188 国や地域の政治や選挙について関心がある

(c) 平成 18 年から令和元年までの 13 年間の経年比較

平成 18 年から令和元年の 13 年間の小中学生（小学 4 年生、小学 6 年生、中学 2 年生）が、自立的行動習慣を尋ねる質問へ「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた割合は複数の項目でゆるやかな増加傾向がみられた。特に「とても当てはまる」と答えた割合をみると、「自分でできることは自分でする」、「ルールを守って行動する」、「人の話をきちんと聞く」、「困っている人がいたときに手助けする」、「相手の立場になって考える」は、平成 18 年から令和元年にかけて 10.0%以上増加していた（図 3-1-189～3-1-192、3-1-194）。

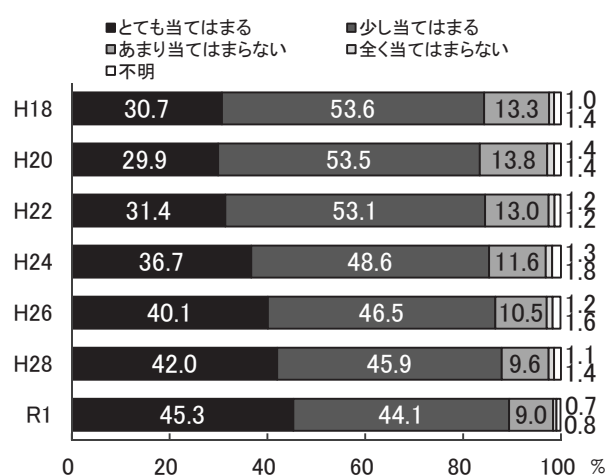


図 3-1-189 自分でできることは自分でする
(小 4、小 6、中 2)

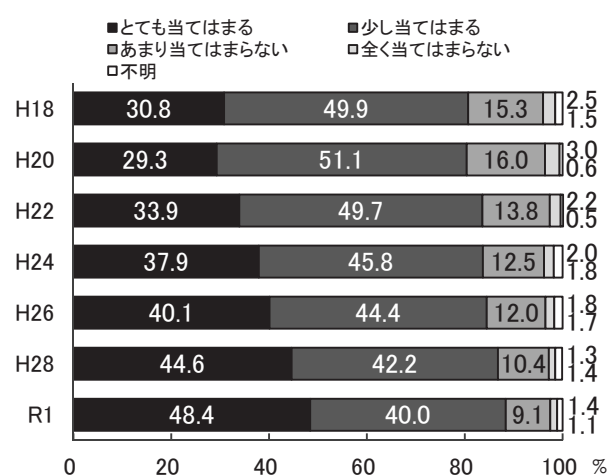


図 3-1-190 ルールを守って行動する
(小 4、小 6、中 2)

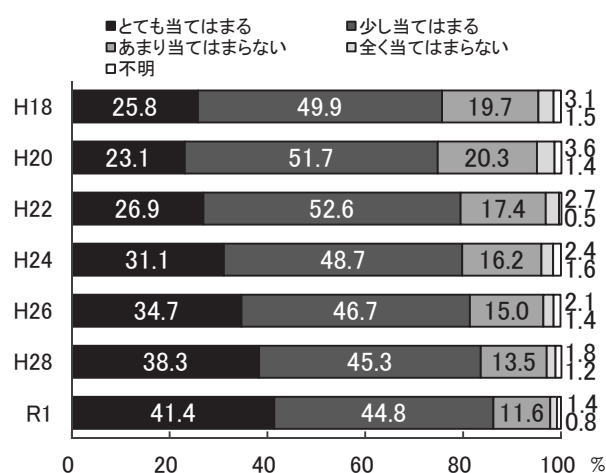


図 3-1-191 人の話をきちんと聞く
(小 4、小 6、中 2)

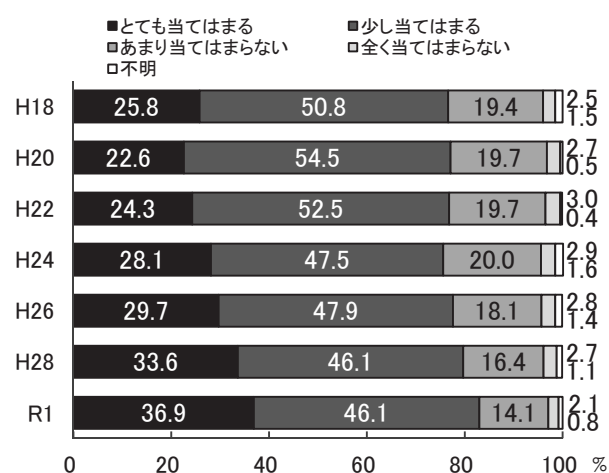


図 3-1-192 困っている人がいたときに手助けする
(小 4、小 6、中 2)

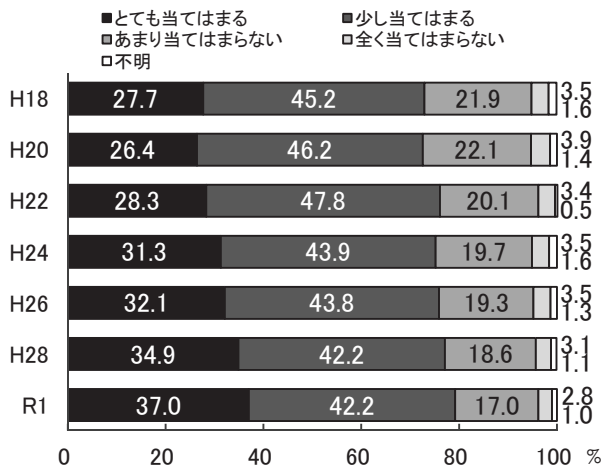


図 3-1-193 誰とも協力してグループ活動をする (小4、小6、中2)

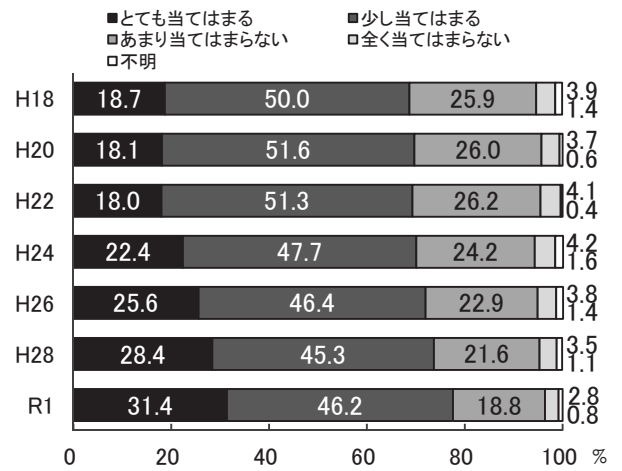


図 3-1-194 相手の立場になって考える (小4、小6、中2)

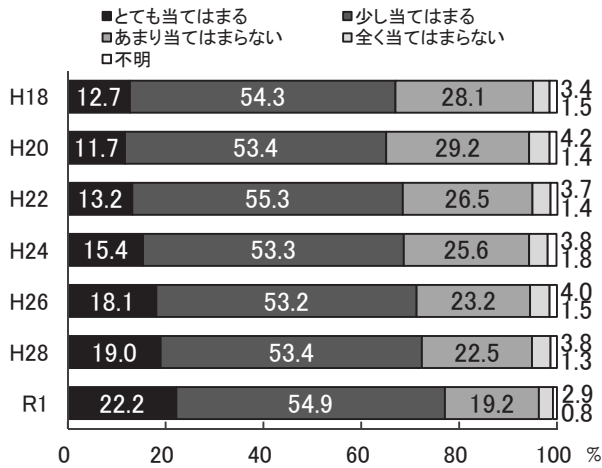


図 3-1-195 周りの人に迷惑をかけずに行動する (小4、小6、中2)

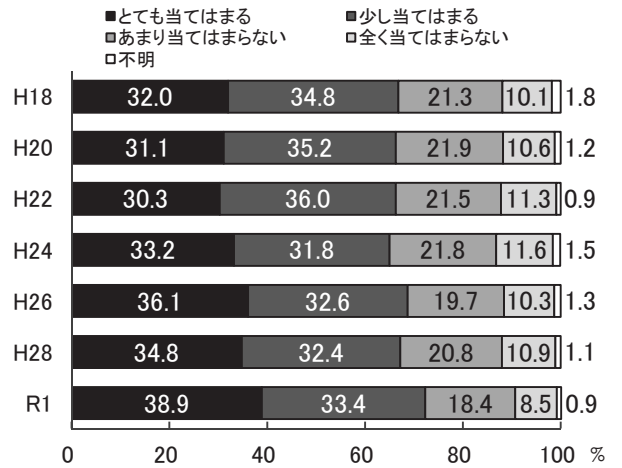


図 3-1-196 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを読んだり見たりする (小4、小6、中2)

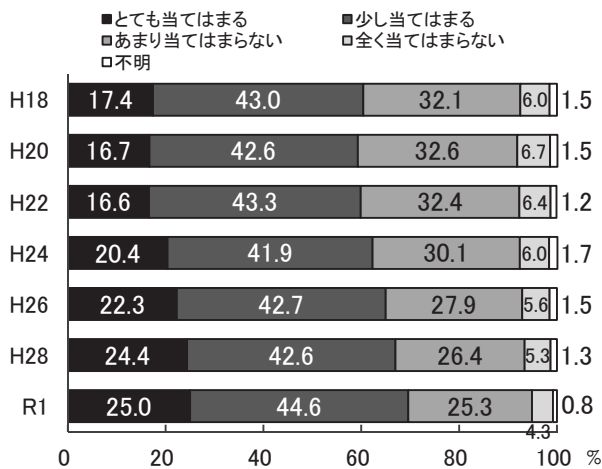


図 3-1-197 わからないことは、そのままにしないで調べる (小4、小6、中2)

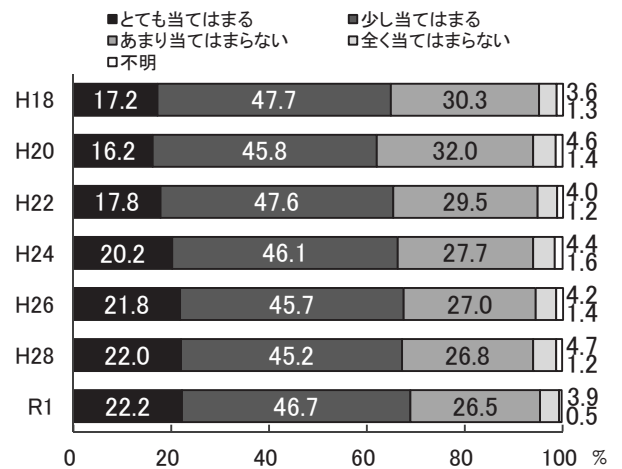


図 3-1-198 自分の思ったことをはっきりと言う (小4、小6、中2)

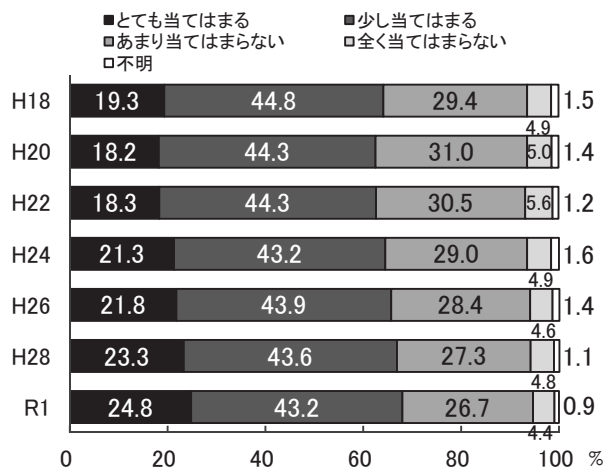


図 3-1-199 困った時でも前向きに取り組む
(小4、小6、中2)

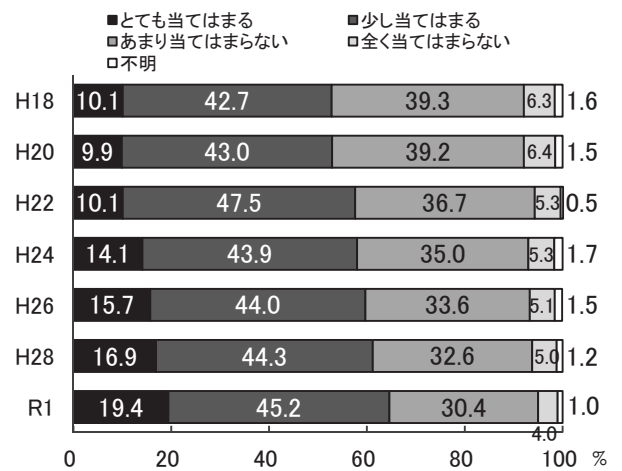


図 3-1-200 人から言われなくても、自分から進んでやる
(小4、小6、中2)

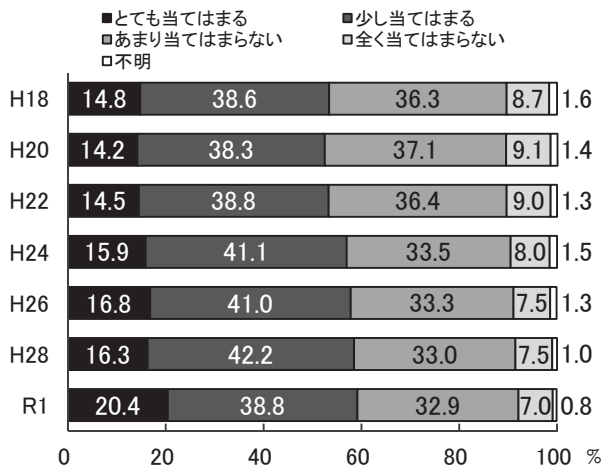


図 3-1-201 先のことを考えて、自分の計画を立てる
(小4、小6、中2)

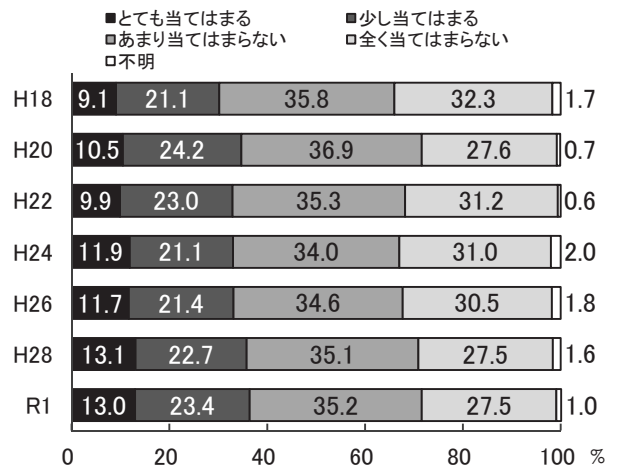


図 3-1-202 国や地域の政治や選挙について関心がある
(小4、小6、中2)

(2) 自己肯定感

(a) 令和元年の実態

小学生、中学2年生、高校2年生の自己肯定感(6項目)に対して、今の自分について、どのくらい当てはまるのかを「とても思う」、「少し思う」、「あまり思わない」、「全く思わない」の4段階で回答を求めた。図3-1-203に、各項目へ「とても思う」と「少し思う」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

「とても思う」、「少し思う」と答えた割合は、「学校の友だちが多い方だ」(79.5%)と「自分には、自分らしさがある」(75.2%)は7割以上であった。一方で、「体力には自信がある」(51.4%)、「学校以外の友だちが多い方だ」(51.0%)は5割程度であり、「勉強は得意な方

だ」は5割以下（45.2%）で最も小さかった。

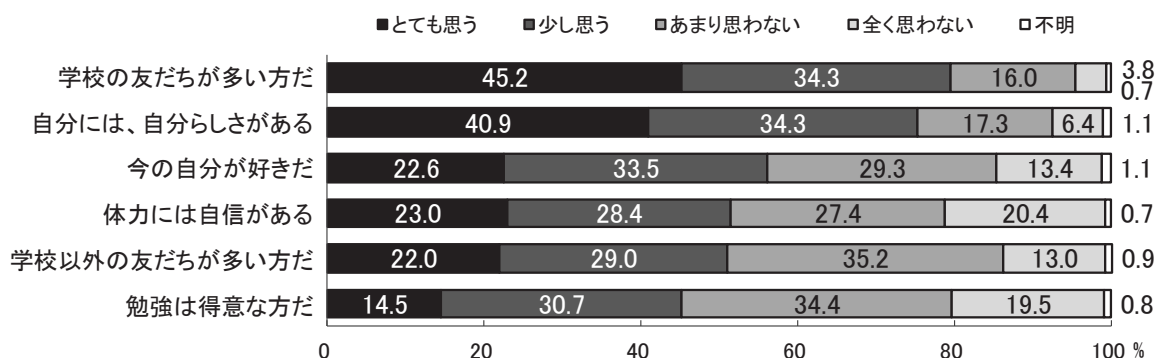


図 3-1-203 自己肯定感の実態

(b) 学年間の比較

自己肯定感に関する質問項目に「とても思う」、「少し思う」と答えた割合は、「学校以外の友だちが多い方だ」については高校2年生で微増していた。それ以外の5項目は、学年が上がるにつれて低くなり、特に中学生になると大きく減少する傾向にある。

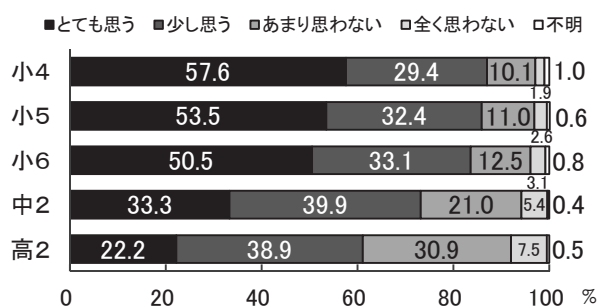


図 3-1-204 学校の友だちが多い方だ

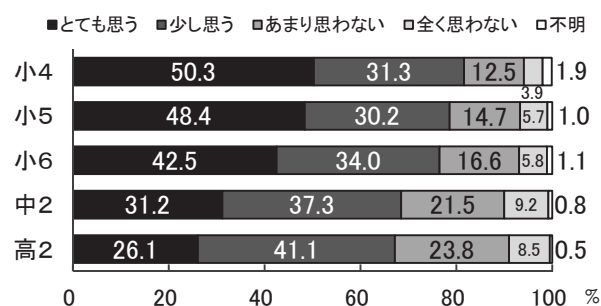


図 3-1-205 自分には、自分らしさがある

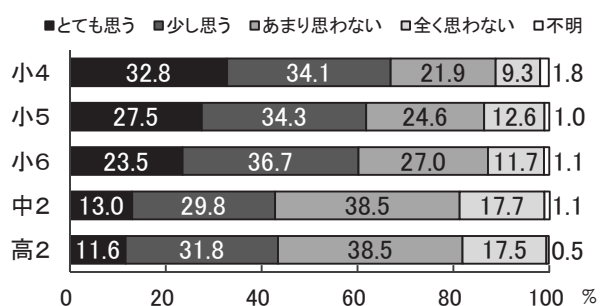


図 3-1-206 今の自分が好きだ

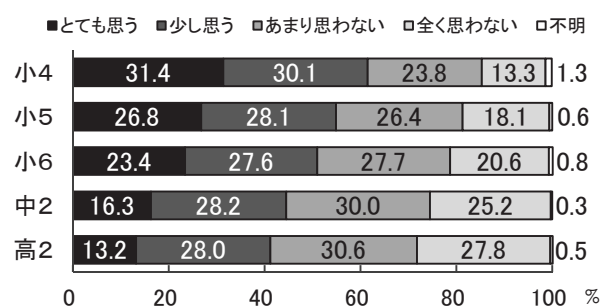


図 3-1-207 体力には自信がある

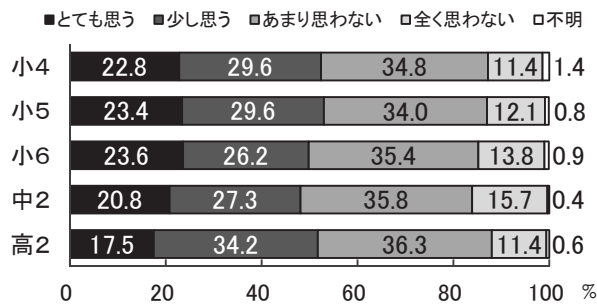


図 3-1-208 学校以外の友だちが多い方だ

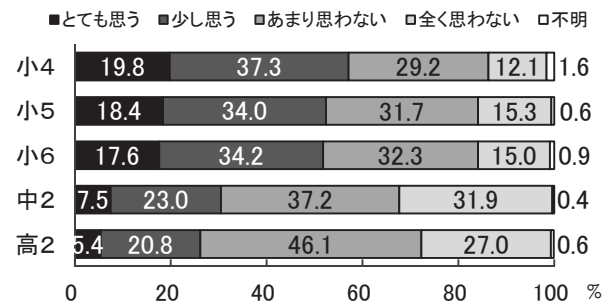


図 3-1-209 勉強は得意な方だ

(c) 経年比較

「自分には自分らしさがある」と「今の自分が好きだ」の2項目は平成18年から令和元年までの13年間、「学校の友だちが多い方だ」、「学校以外の友だちが多い方だ」、「勉強は得意な方だ」の3項目は平成20年から令和元年までの11年間、「体力には自信がある」は平成24年から令和元年までの7年間の「とても思う」、「少し思う」と答えた割合を比較した。

平成28年から令和元年にかけて、「自分には、自分らしさがある」、「今の自分が好きだ」、「勉強は得意な方だ」の3項目について「とても思う」、「少し思う」と答えた割合は、2.9%～5.5%増加していた。

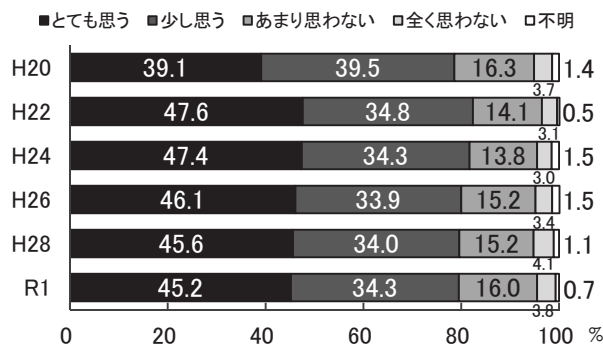


図 3-1-208 学校の友だちが多い方だ
(小4～小6、中2、高2)

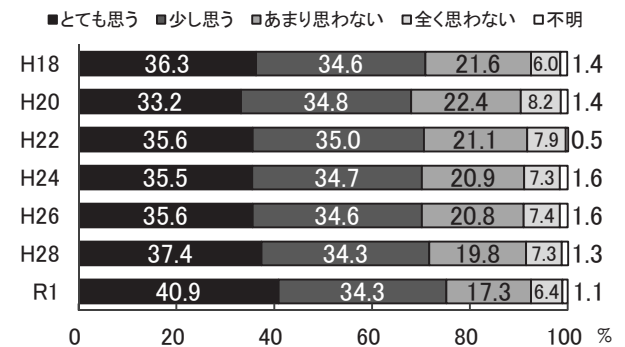


図 3-1-209 自分には、自分らしさがある
(小4～小6、中2、高2)

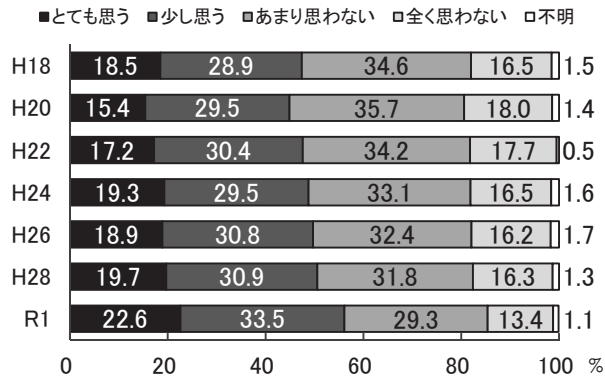


図 3-1-210 今の方が好きだ
(小4～小6、中2、高2)

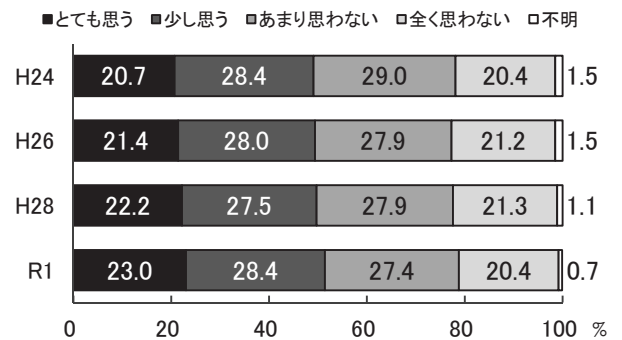


図 3-1-211 体力には自信がある
(小4～小6、中2、高2)

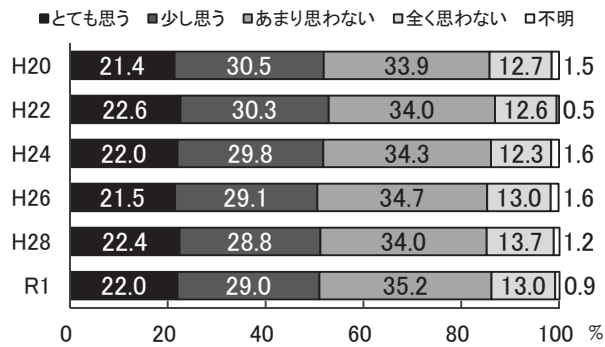


図 3-1-212 学校以外の友だちが多い方だ
(小4～小6、中2、高2)

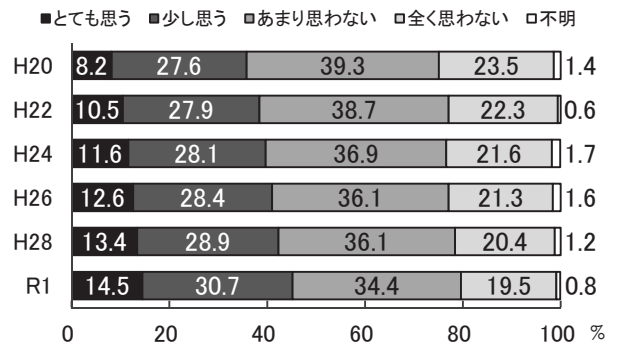


図 3-1-213 勉強は得意な方だ
(小4～小6、中2、高2)

3.2 保護者調査

小学1年生から小学6年生までの保護者へ、子供に関する公的機関等が行う行事への参加、家族や友だちと行う自然体験活動、さらに保護者自身の子供の自然体験活動に関する意識、子供へのしつけ、自然体験について、調査を実施した。回答した保護者は、母親が91.8%、父親が7.2%、その他0.6%であった。公的機関等が行う行事に参加しなかった理由及び保護者の自然体験以外の内容は、子供の学年による回答割合を比較した。

3.2.1 公的機関等が行う行事への参加

自身の子供が、調査年の1年前（平成31年）の4月から調査時点までに公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加したかについて尋ねた。

「参加しなかった」と「不明」の割合から考えると、公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事への参加率は50.0%であった。「子供会やスポーツ少年団などの青少年団体」（20.1%）、「PTA・自治会・町内会などの地域の団体」（19.6%）、「スポーツクラブや学習塾」（18.5%）の参加率は2割程度であり、次いで「児童館や公民館などの公的施設」が12.6%、「青年の家・少年自然の家などの教育施設」が5.9%であった。ただし、「参加しなかった」が46.8%と最も割合が大きかった。

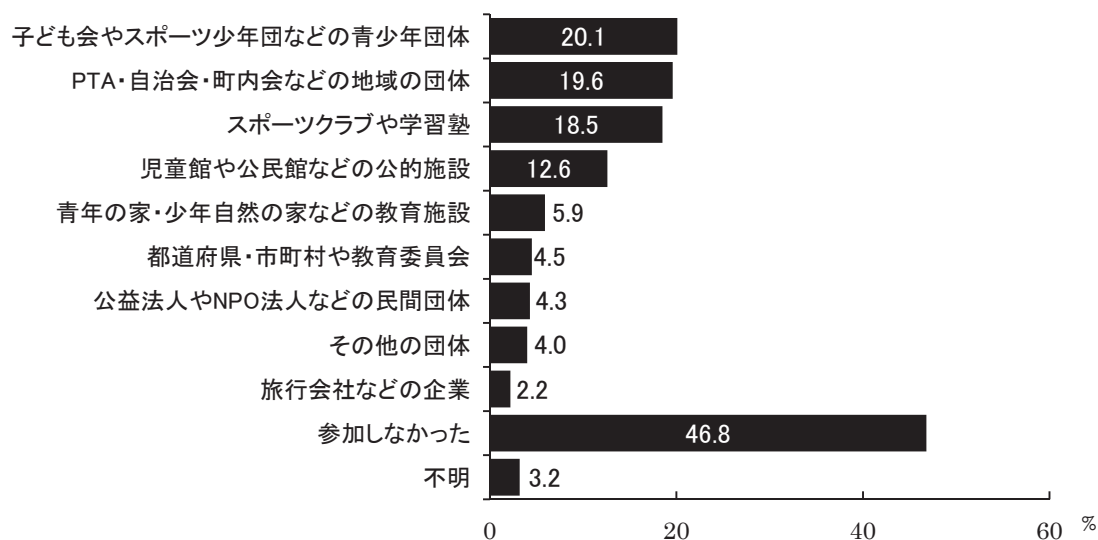


図3-2-1 公的機関等が行う行事への参加状況

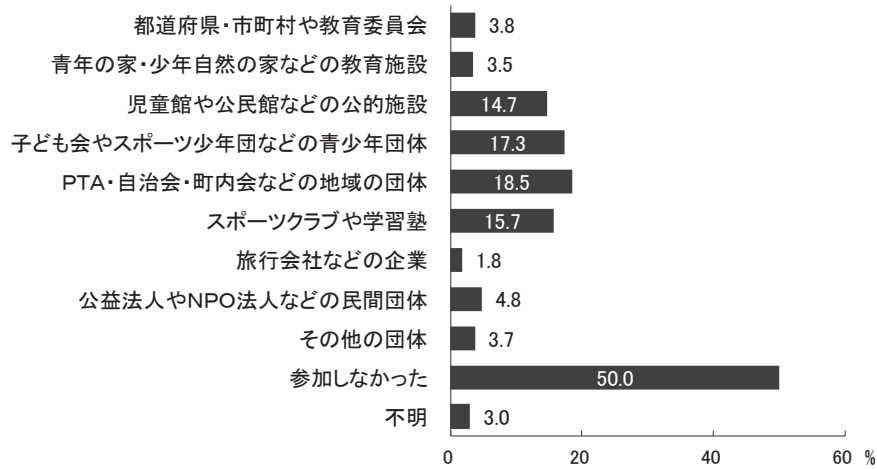


図3-2-2 公的機関等が行う行事への参加状況 (小1)

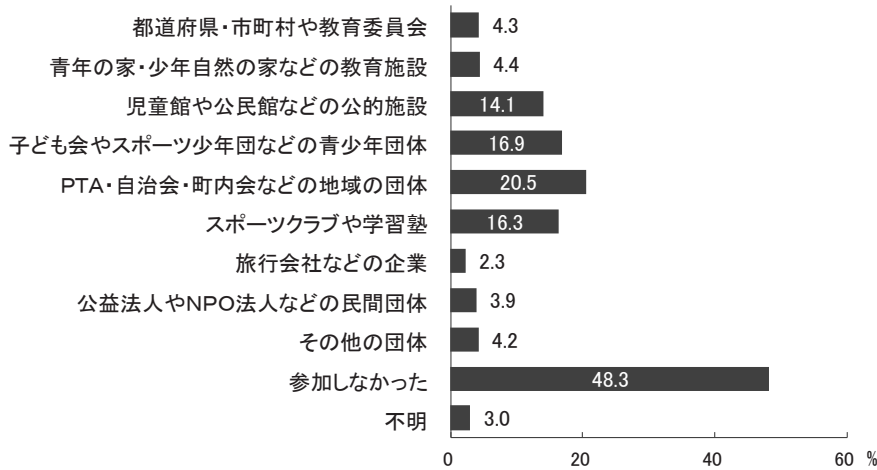


図3-2-3 公的機関等が行う行事への参加状況 (小2)

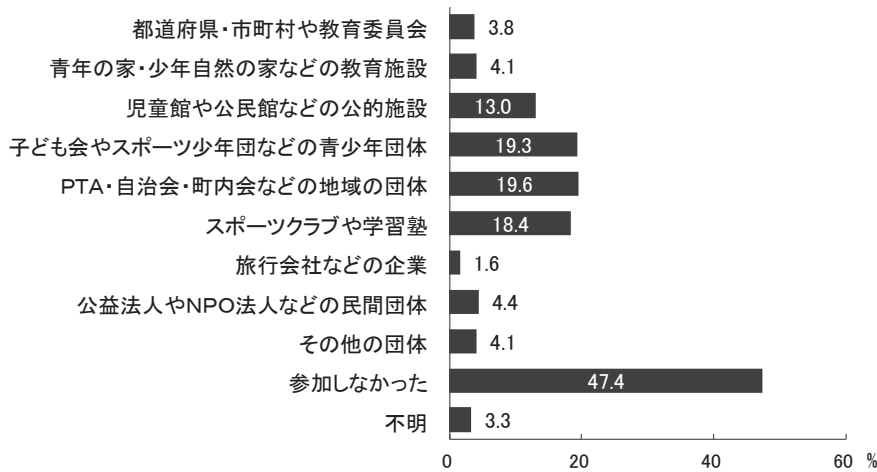


図3-2-4 公的機関等が行う行事への参加状況 (小3)

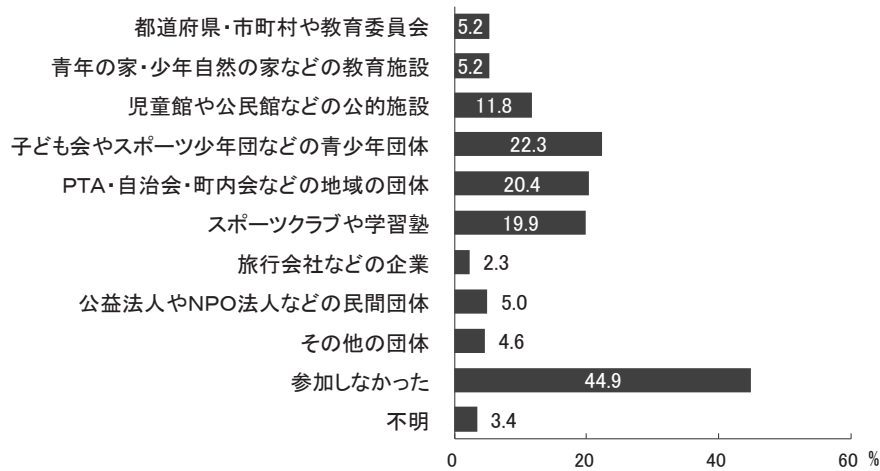


図3-2-5 公的機関等が行う行事への参加状況 (小4)

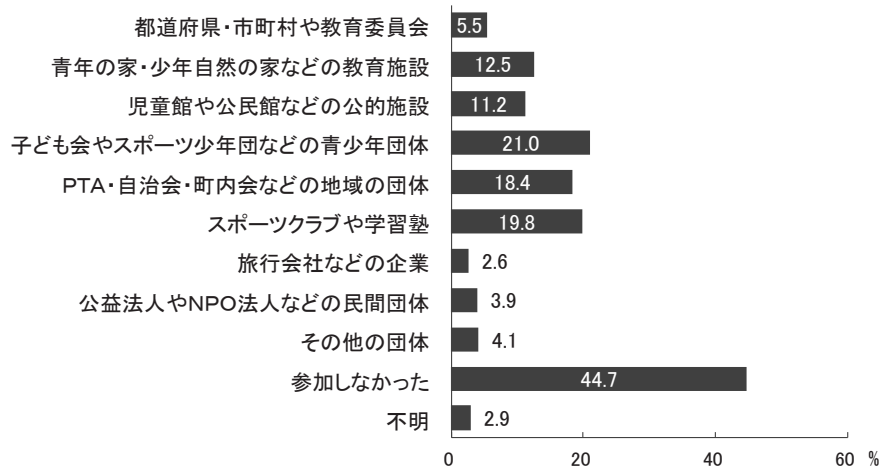


図3-2-6 公的機関等が行う行事への参加状況 (小5)

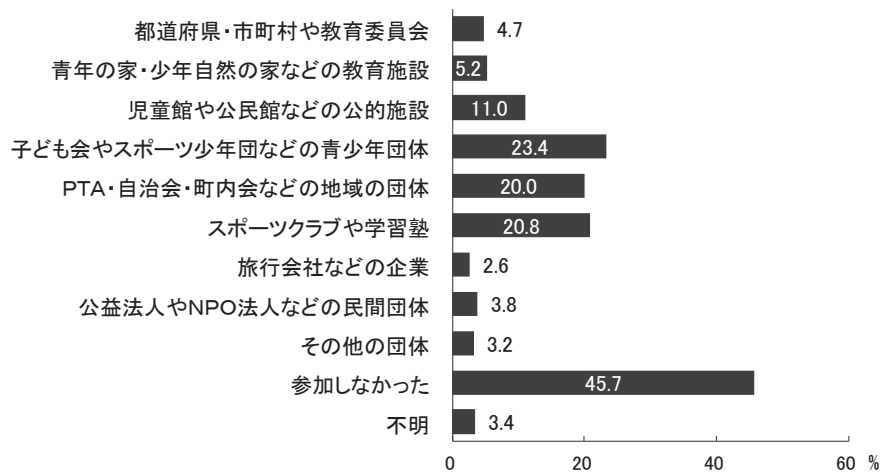


図3-2-7 公的機関等が行う行事への参加状況 (小6)

1年間に公的機関や民間団体等が行う学校以外の自然体験活動に関する行事へ「参加しなかった」と回答した保護者へ理由を選択式で尋ねた結果、子供が参加しなかった理由として、「子どもが関心を示さないから」(34.3%)、「保護者などの時間的負担が大きいから」(24.3%)、「団体や行事などがあることを知らないから」(16.8%)が多くみられた(図3-2-8)。「特に理由はない」(21.8)という回答も2割ほどみられた。

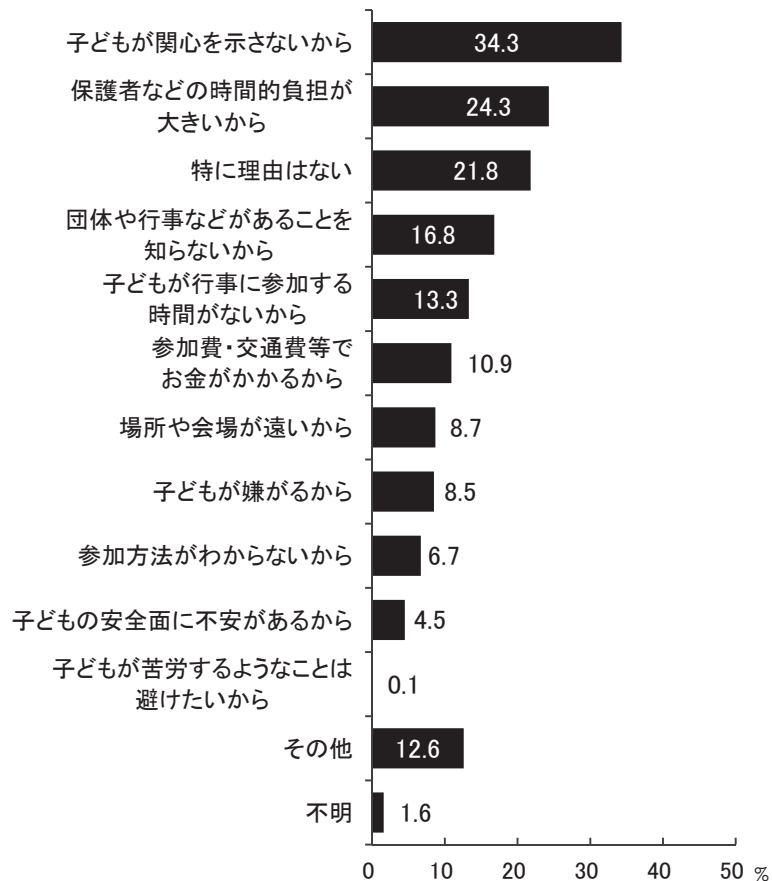


図3-2-8 公的機関等が行う行事に参加しなかった理由 (小1～小6の保護者)

3.2.2 家族や友だちと行う自然体験活動

自身の子供が、調査年の1年前(平成31年)の4月から調査時点までに公的機関や民間団体等が行う行事以外で、家族や友だちと一緒に自然体験活動を行ったかについて尋ねた。「行った」と回答した保護者には、行った活動の中に、夏休み中に行われたものがあったかを追加して尋ねた。なお、ここでは自然体験活動の例として、図3-1-65の項目のような活動として説明した。

家族や友だちと自然体験活動を行った割合は、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、

小学1年生が64.1%であることに對して小学6年生は50.8%であった。

子供が家族や友だちと行った自然体験活の中で、夏休み中に行われたものがあったという割合は全学年で8割以上であった。なお、家族や友だちと夏休み中に行った自然体験活動の割合も、学年が上がるにつれて微減する傾向がみられた。

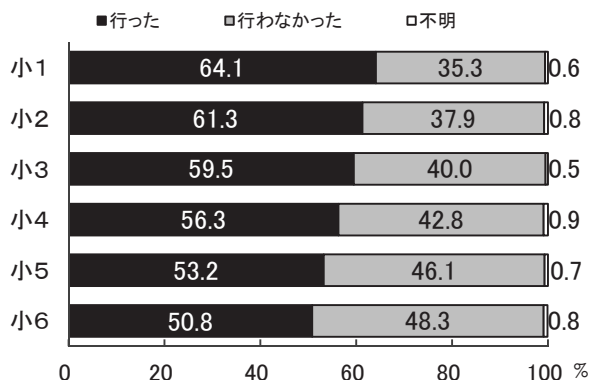


図 3-2-9 公的機関が行う活動以外で、家族や友だちなどと一緒にいった自然体験活動

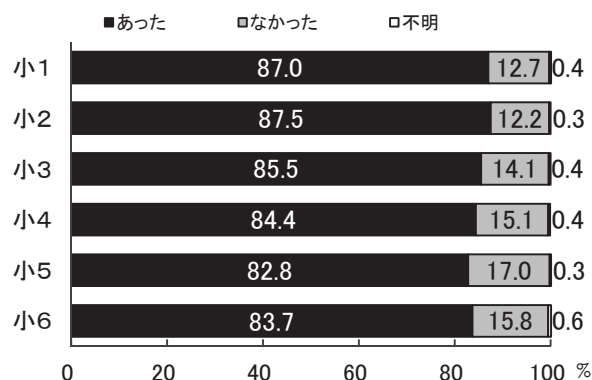


図 3-2-10 行った活動のうち夏休み中に行われたもの

3.2.3 外遊び体験

子供の外遊び体験について、「小学校に入学する前、外遊びが好きでしたか」と「1週間のうちで、日中に、屋外で過ごす時間はどのくらいありますか」という質問へ回答を求めた。子供が小学校に入学する前に外遊びが好きな程度の「とても好きだった」、「好きだった」と回答した割合は、学年が上がるにつれて減少傾向にあった。小学1年生は92.9%であったのが、小学6年生には87.5%であった。

1週間のうちで、日中に、屋外で過ごす時間は、全ての学年で「1時間～5時間未満」が最も多く、小学1年生で55.2%、小学6年生で48.1%であった。学年が上がるにつれて、屋外で過ごす時間が「ほとんどない」の割合が増加傾向にあった。

また、保護者による子供へのしつけとして「積極的に外遊びすること」は、図 3-2-41 に示した。

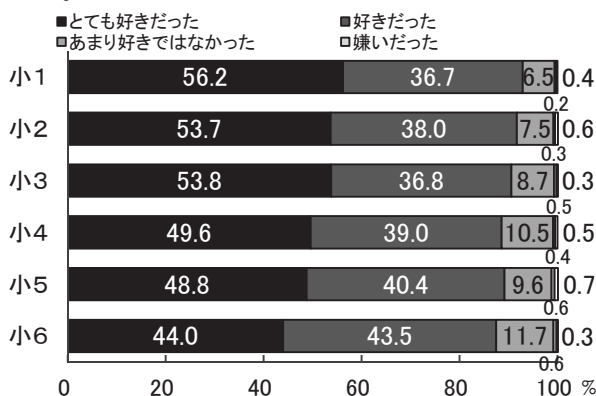


図 3-2-11 小学校に入学する前、外遊びが好きな程度

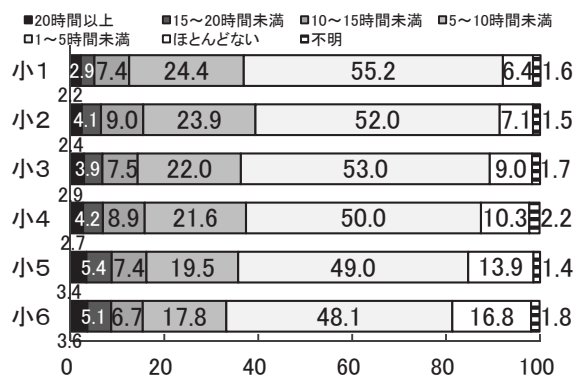


図 3-2-12 1週間のうちで、日中に、屋外で過ごす時間

3.2.4 体験活動に関する意識

子供の体験活動に関する意識を尋ねる7項目について、「とても思う」、「少し思う」、「あまり思わない」、「思わない」という4段階で尋ねた。

「とても思う」、「少し思う」と回答した合計割合で大きかったものは、「現在の子供たちは、自分が子供の頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている」(87.8%)が8割以上、「現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている」(66.4%)、「学校の授業や行事では、子供たちが体験活動ができる機会が十分にある」(62.0%)が6割以上であった。一方で、「自由な体験活動より、作業が決まっている体験活動の方がよい」(29.5%)、「私は子どもたちと一緒に体験活動をするのは苦手である」(26.9%)、「自分の子供には、今は体験活動よりも勉強を優先させたい」(22.3%)の合計は3割未満で小さかった。

ただし、「自分の子供には、今は体験活動よりも勉強を優先させたい」という質問へ「とても思う」、「少し思う」と回答した割合は、小学5年生、小学6年生と高学年になると増加する傾向がみられた。

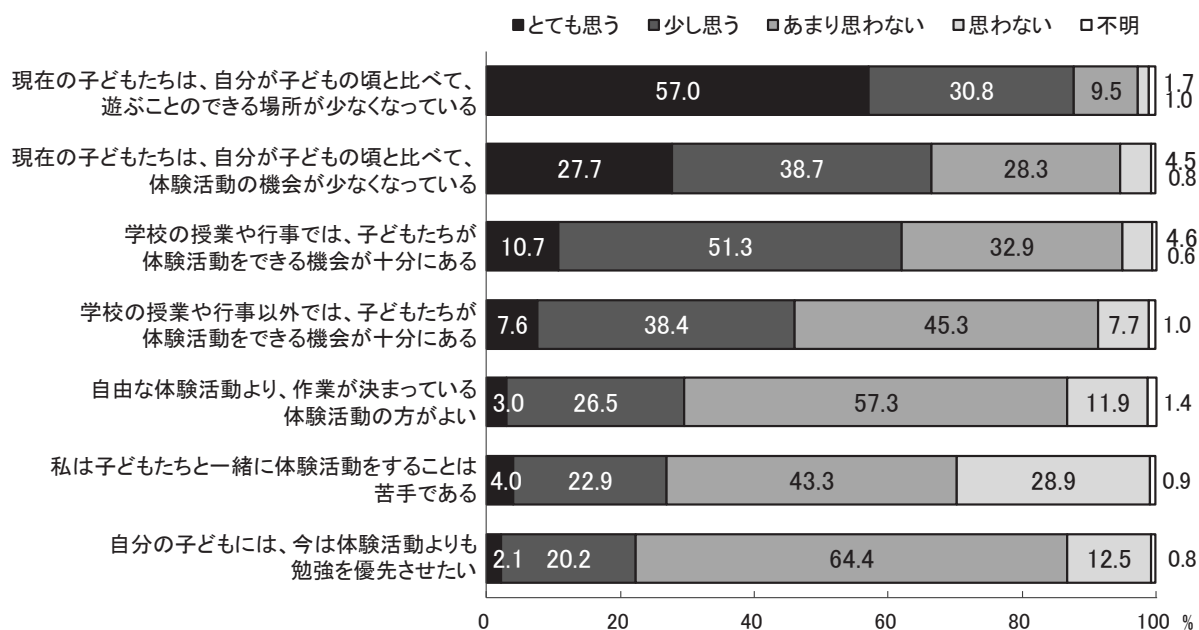


図 3-2-13 体験活動に関する保護者の意識

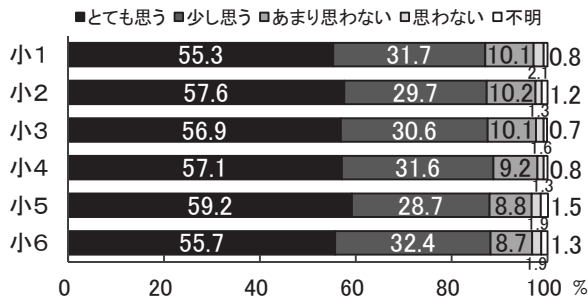


図 3-2-14 現在の子どもたちは、自分が子供の頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている

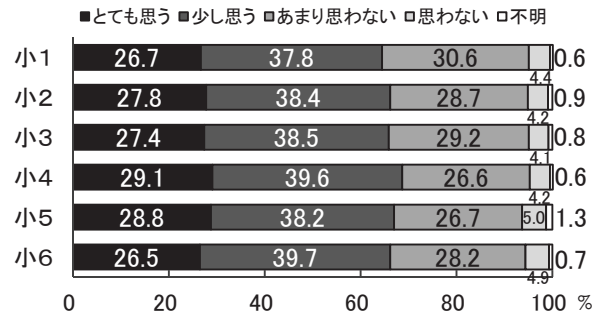


図 3-2-15 現在の子どもたちは、自分が子供の頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている

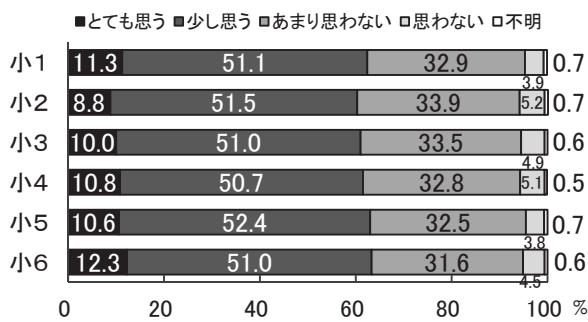


図 3-2-16 学校の授業や行事では、子どもたちが体験活動ができる機会が十分にある

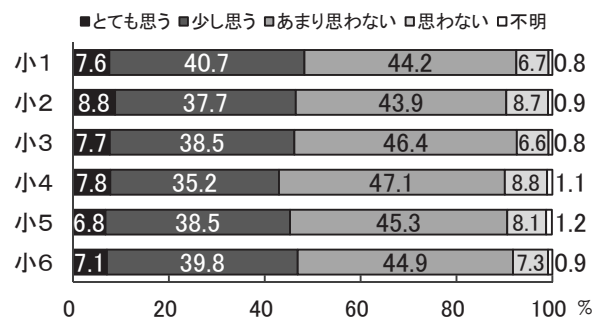


図 3-2-17 学校の授業や行事以外では、子どもたちが体験活動ができる機会が十分にある

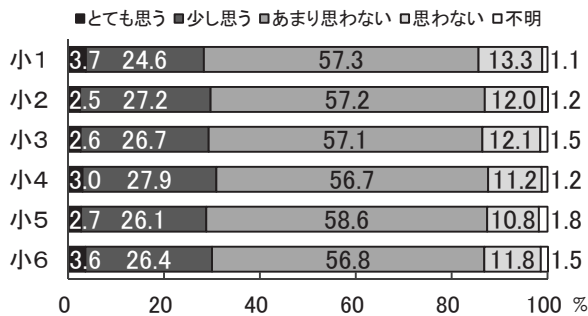


図 3-2-18 自由な体験活動より、作業が決まっている体験活動の方がよい

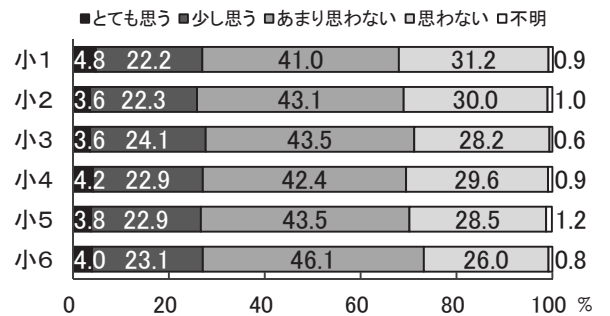


図 3-2-19 私は子どもたちと一緒に体験活動することは苦手である

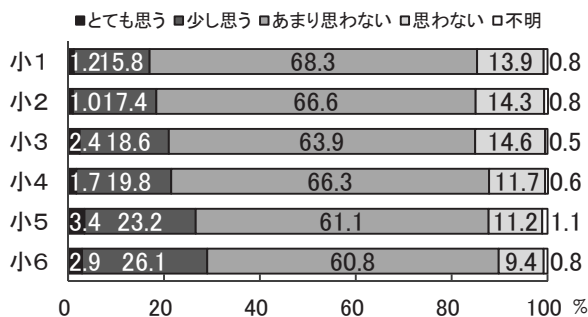


図 3-2-20 自分の子供には、今は体験活動よりも勉強を優先させたい

3.2.5 子供へのしつけ

子供へのしつけを尋ねる 22 項目の行動や習慣について、子供を育てる上でどのくらい身につけさせようとしてきたかを「熱心にしてきた」、「少ししてきた」、「あまりしてこなかった」、「全くしてこなかった」という 4 段階で尋ねた。

「熱心にしてきた」、「少ししてきた」と回答した割合は、「毎朝、きちんと朝食を食べること」、「ルールを守って行動すること」、「周りの人に迷惑をかけずに行動すること」、「毎朝、起きなければならない時間にきちんと起きること」、「近所の人や知り合いの人に「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」といったあいさつをすること」、「家で「おはようございます」「いただきます」「ただいま」「おやすみなさい」といったあいさつをすること」、「人の話をきちんと聞くこと」、「相手の立場になって考えること」、「自分でできることは自分ですること」、「夜ふかしをしないで早く寝ること」の 10 項目で 9 割以上であった。一方で、「先のことを考えて、自分で計画を立てること」は 64.5%、「与えられたお小遣いの中で計画的にお金を使うこと」は 60.3%で最も低く、合計割合は 6 割程度であった。

ただし、「先のことを考えて、自分で計画を立てること」と「与えられたお小遣いの中で計画的にお金を使うこと」を身につけさせようと「熱心にしてきた」、「少ししてきた」と回答した割合は、学年が上がるにつれて増加する傾向がみられた（図 3-2-42、3-2-43）。

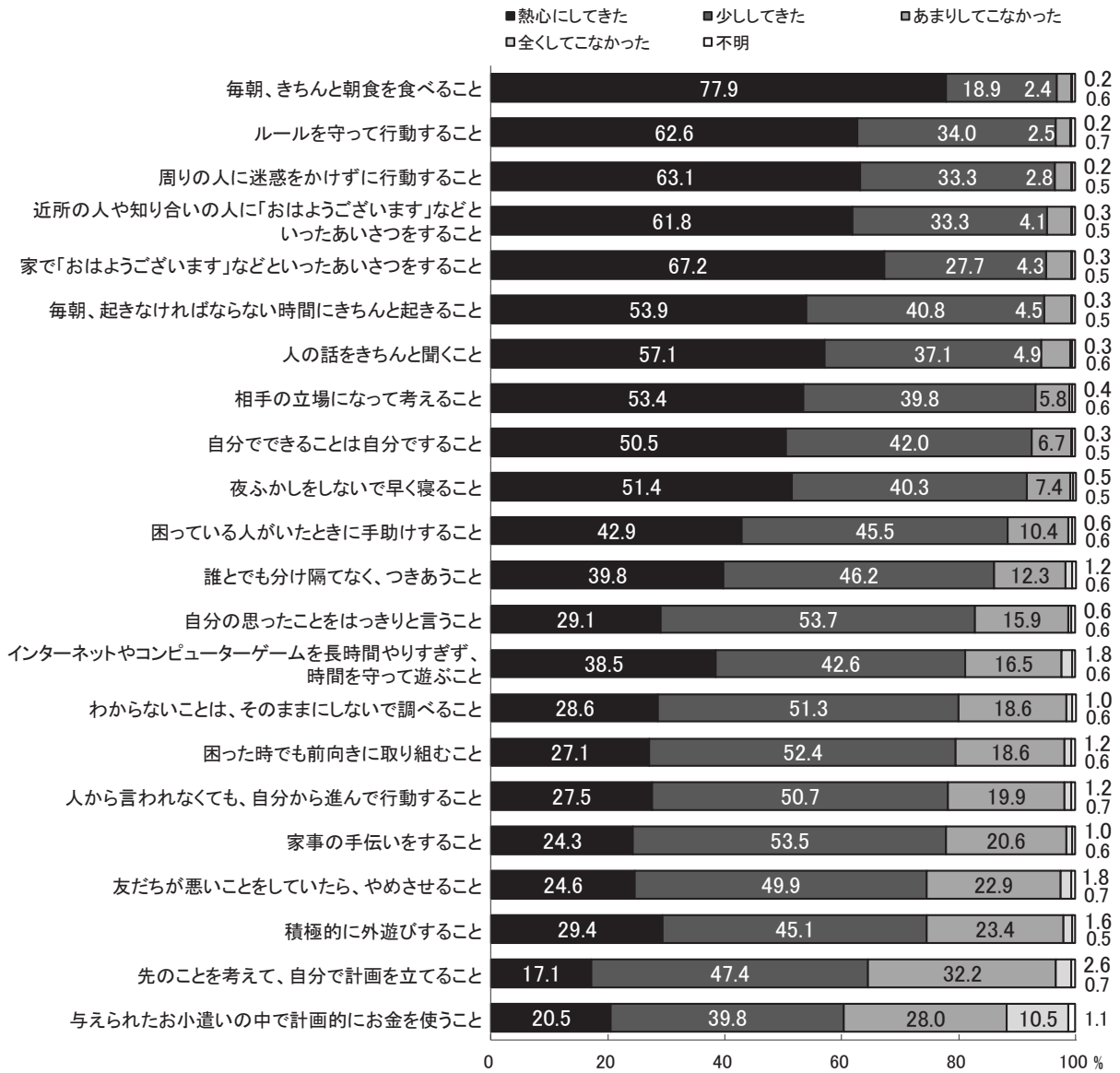


図 3-2-21 子供へのしつけ

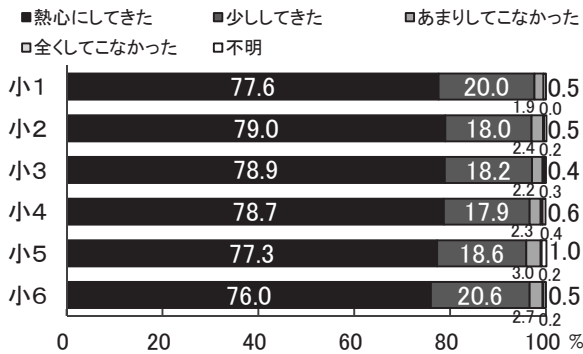


図 3-2-22 毎朝、きちんと朝食を食べること

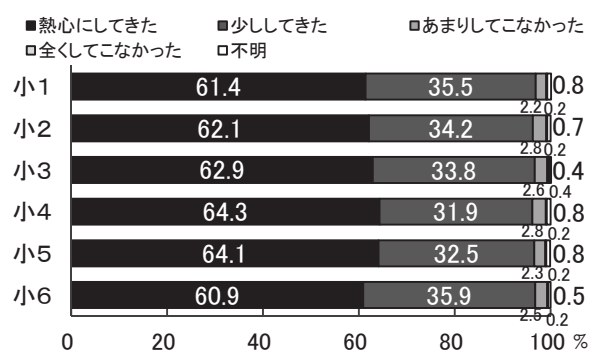


図 3-2-23 ルールを守って行動すること

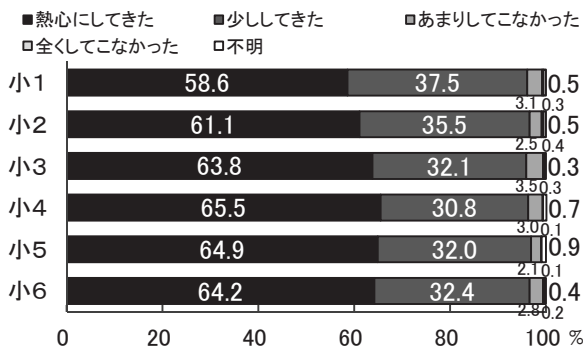


図 3-2-24 周りの人に迷惑をかけずに行動すること

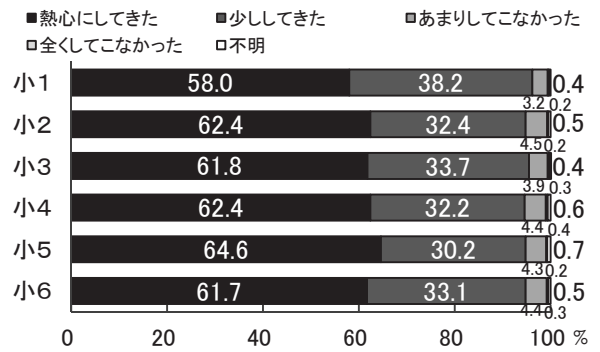


図 3-2-25 近所の人や知り合いの人に「おはようございます」などといったあいさつをすること

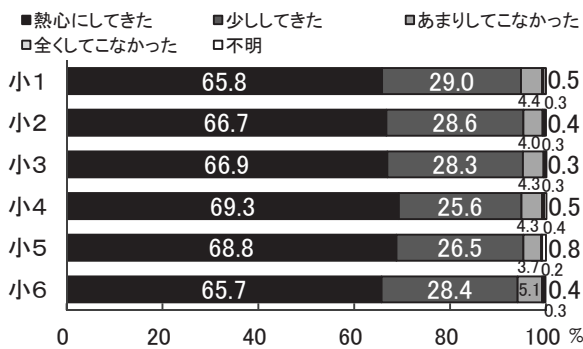


図 3-2-26 家で「おはようございます」などといったあいさつをすること

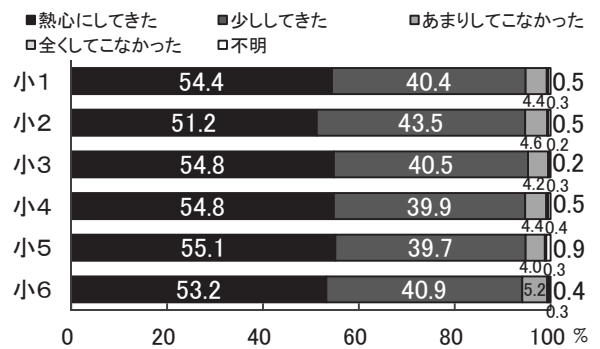


図 3-2-27 毎朝、起きなければならない時間にきちんと起きること

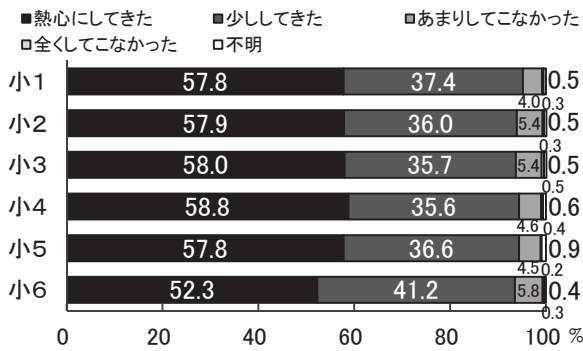


図 3-2-28 人の話をきちんと聞くこと

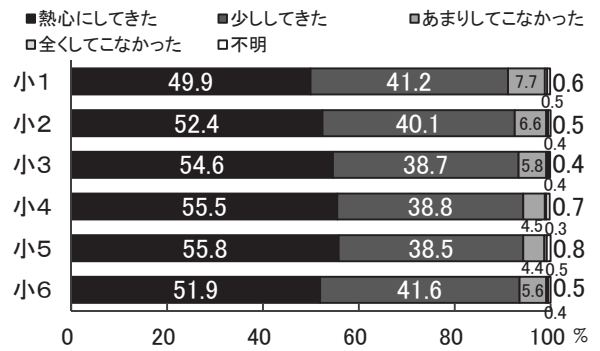


図 3-2-29 相手の立場になって考えること

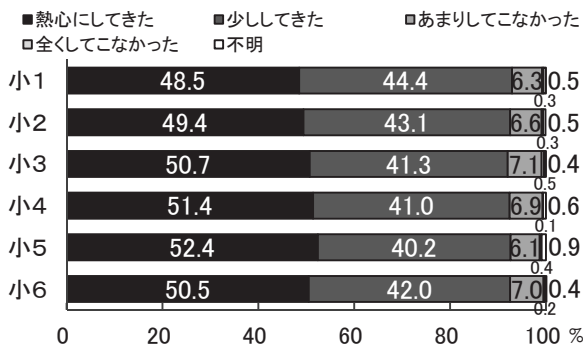


図 3-2-30 自分でできることは自分ですること

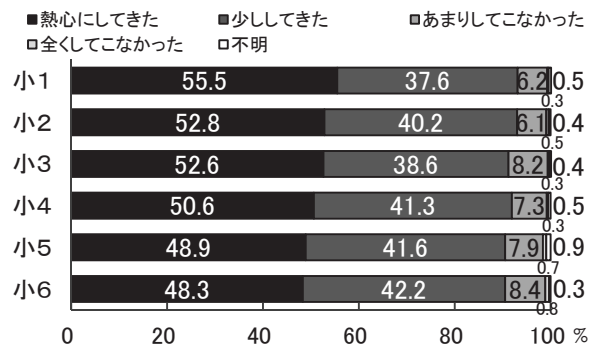


図 3-2-31 夜ふかしをしないで早く寝ること

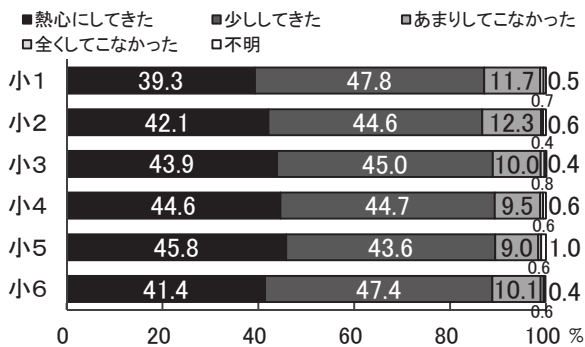


図 3-2-32 困っている人がいたときに手助けすること

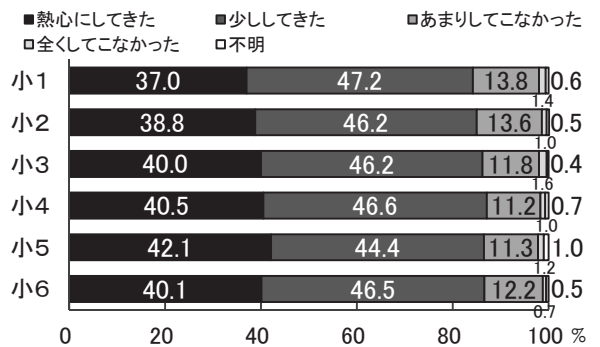


図 3-2-33 誰とでも分け隔てなく、つきあうこと

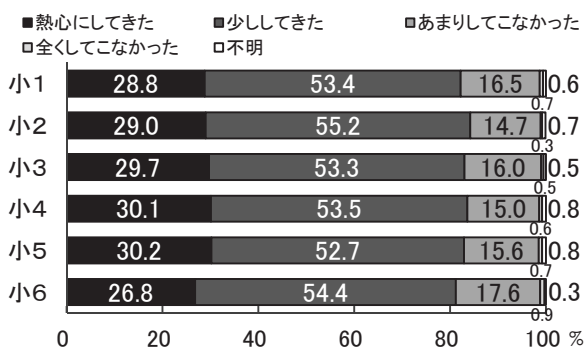


図 3-2-34 自分の思ったことをはっきりと言うこと

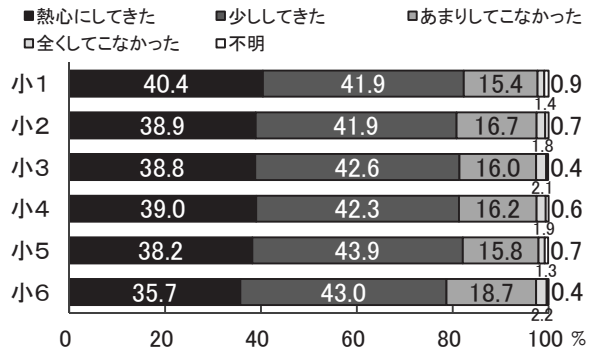


図 3-2-35 インターネットやコンピューターゲームを長時間やりすぎないこと

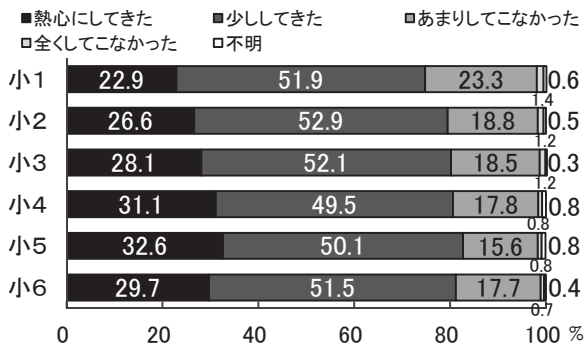


図 3-2-36 わからないことは、そのままにしないで調べること

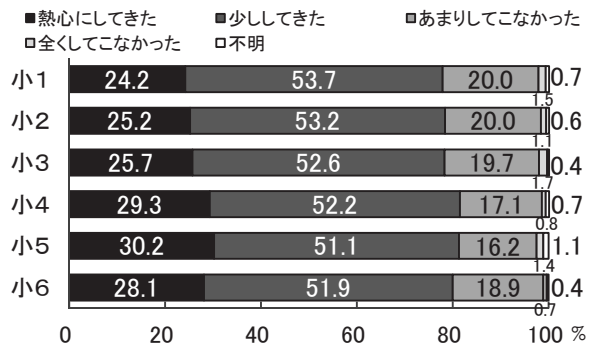


図 3-2-37 困った時でも前向きに取り組むこと

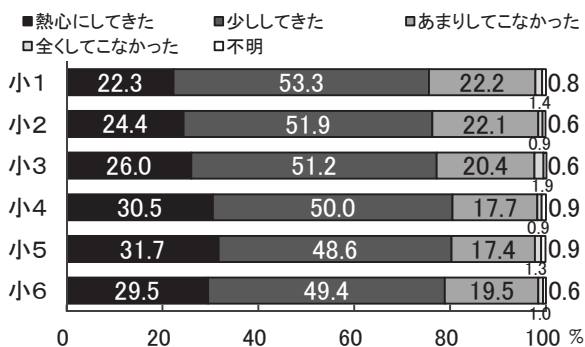


図 3-2-38 人から言われなくても、自分から進んで行動すること

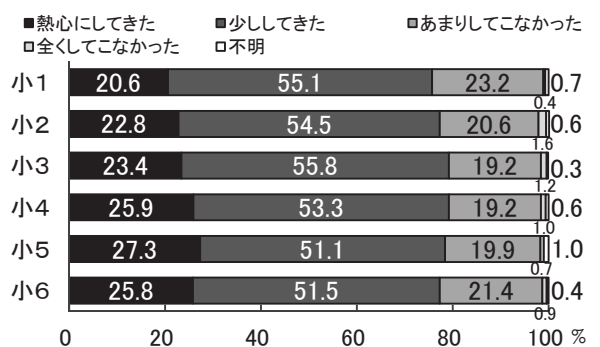


図 3-2-39 家事の手伝いをする事

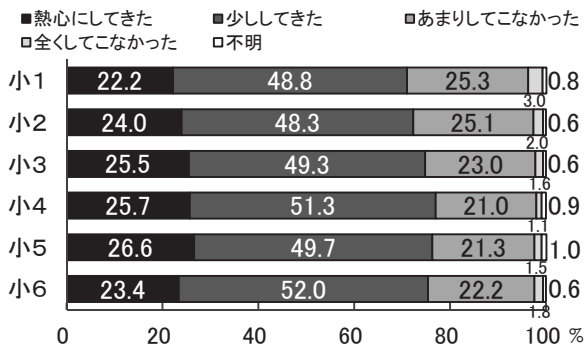


図 3-2-40 友だちが悪いことをしていたら、やめさせること

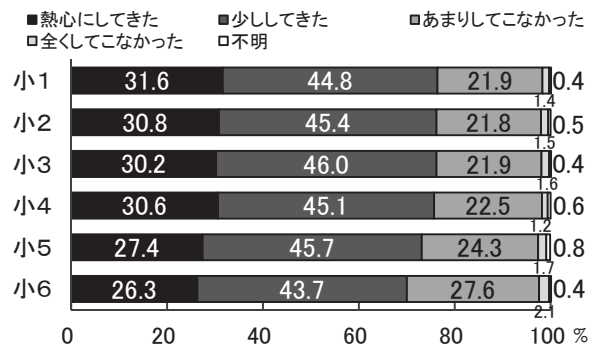


図 3-2-41 積極的に外遊びすること

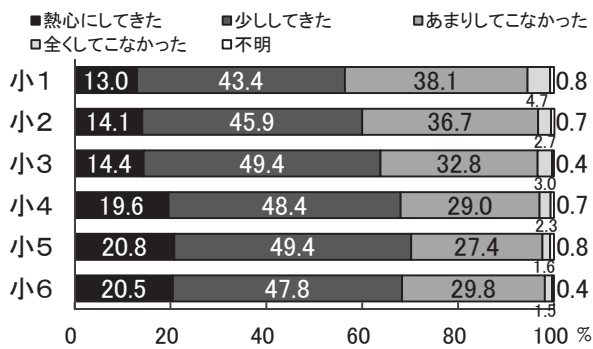


図 3-2-42 先のことを考えて、自分で計画を立てること

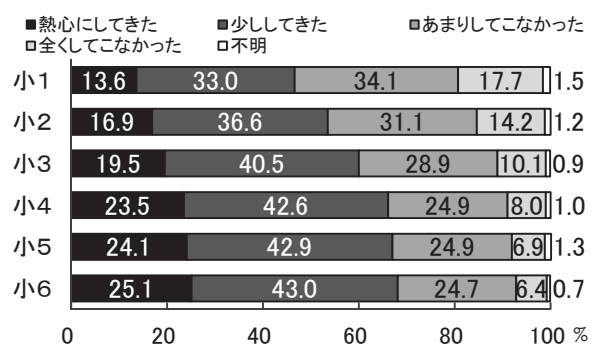


図 3-2-43 与えられたお小遣いの中で計画的にお金を使うこと

3.2.6 保護者の自然体験

保護者自身が自然体験（9項目）について、これまでにどのくらいしたことがあるのかを「何度もある」、「少しある」、「ほとんどない」の3段階で回答を求めた。図3-2-44に、各項目を「何度もある」と「少しある」と答えた割合の合計が多い順に並べた。

「何度もある」、「少しある」と答えた合計割合で大きかったものは、「海や川で泳いだこと」、「夜空いっぱい輝く星をゆっくり見たこと」、「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」が8割以上であった。一方、「大きな木に登ったこと」は6割程度(61.9%)、「ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと」は6割未満(57.8%)で小さかった。図3-1-1の青少年の自然体験に比べて、全体的に体験の割合は多くみられた。

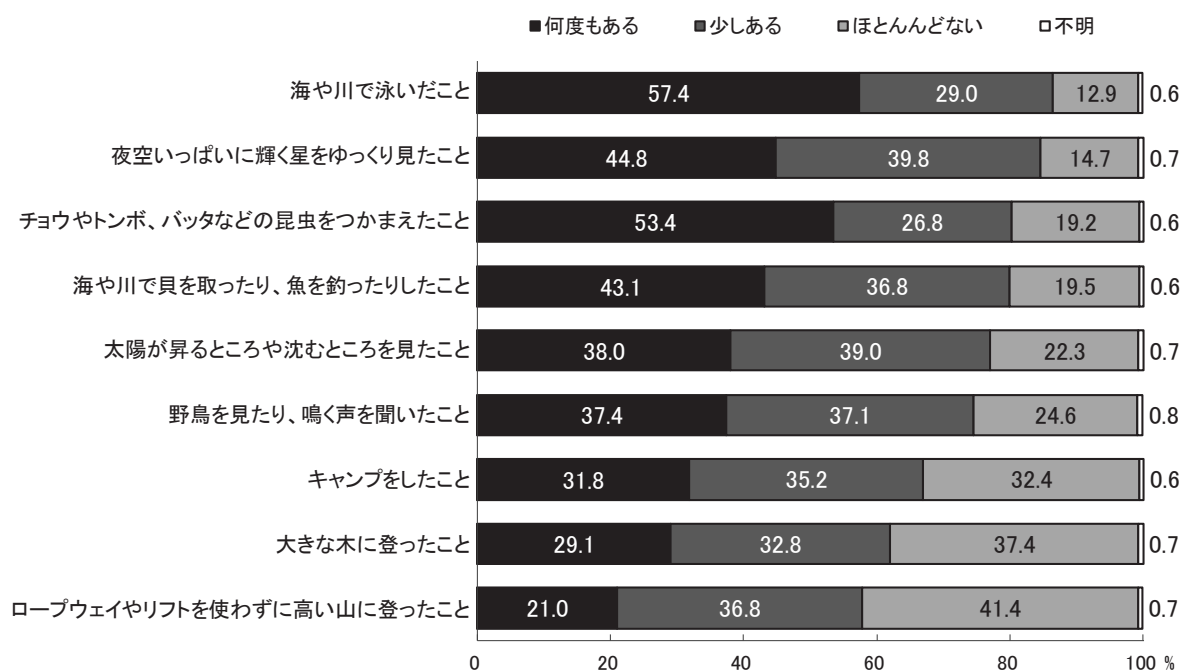


図 3-2-44 保護者の自然体験

3.3 青少年の体験と意識の関係

3.3.1 体験と自立的行動習慣に関する指標の関係

(a) 自立的行動習慣による分類ならびに学年比較と経年比較

多様で変化の激しい社会において個人の自立の必要性が指摘されていることを踏まえて、将来の社会的自立の基礎となる資質・能力の一つとして、青少年の自立的行動習慣に関する指標である「自律性」、「積極性」、「協調性」に着目した。

ここでは、「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査（平成 18 年度調査）」になり、自立的行動習慣に関する 3 つの指標である「自律性」、「積極性」、「協調性」について、小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の分析を行った。体験が豊かな青少年は、自立的行動習慣を身につけていると予想した。各指標に含まれる質問項目を表 3-3-1 に示す。自立的行動習慣を尋ねる 12 項目（表 3-3-1）に対する回答について、「とても当てはまる」=3 点、「少し当てはまる」=2 点、「あまり当てはまらない」=1 点、「全く当てはまらない」=0 点と得点化し、「自律性」、「積極性」、「協調性」を構成する質問項目の合計点により、以下の 3 段階に分類した。

「高」=9 点～12 点 「中」=5 点～8 点 「低」=0 点～4 点

表 3-3-1 自立的行動習慣に関する指標
 （「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査（平成 18 年度調査）」を元に作成）

＜自律性＞（12点満点）	＜積極性＞（12点満点）	＜協調性＞（12点満点）
・人の話をきちんと聞く	・困った時でも前向きに取り組む	・困っている人がいたときに手助けをする
・ルールを守って行動する	・自分の思ったことをはっきりと言う	・友達が悪いことをしていたら、やめさせる
・周りの人に迷惑をかけずに行動する	・人から言われなくても、自分から進んでやる	・相手の立場になって考える
・自分でできることは自分でする	・先のことを考えて、自分の計画を立てる	・誰とでも協力してグループ活動をする

なお、自立的行動習慣に関する 14 項目の合計得点については、従前の調査結果との経年比較のため、「とても当てはまる」=1 点、「少し当てはまる」=2 点、「あまり当てはまらない」=3 点、「全く当てはまらない」=4 点と得点化し項目数で割り算して平均値を算出した。算出した平均得点に従って、「1.0 点以上 1.6 点未満」を「身につけている」、「1.6 点以上 2.2 点未満」を「あまり身につけていない」、「2.2 点以上 2.8 点未満」を「ふつう」、「2.8 点以上 3.4 点未満」を「あまり身につけていない」、「3.4 点以上 4.0 点以下」を「身につけていない」という 5 段階に分類した。

自立的行動習慣を尋ねる 14 項目（図 3-1-174）全体の学年間の比較を図 3-3-1 に示した。「身につけている」と「やや身につけている」の割合は小学 4 年生から小学 6 年生にかけて増加し、中学 2 年生では減少するが、高校 2 年生では微増していた。

自立的行動習慣全体の平成 18 年から令和元年年までの 13 年間の経年比較を行った（図 3-3-2）。「身につけている」と「やや身につけている」を合計した割合は、平成 18 年の 48.9% から令和元年には 65.4%へと増加していた。

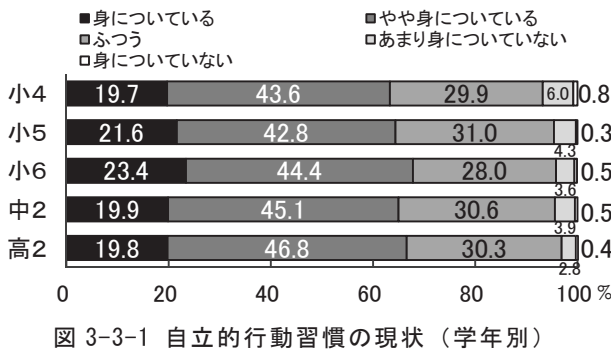


図 3-3-1 自立的行動習慣の現状（学年別）

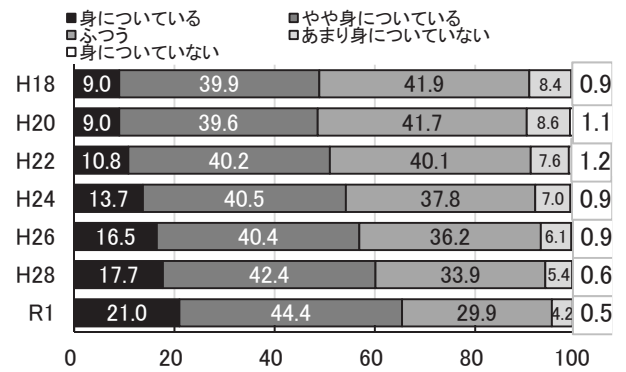


図 3-3-2 自立的行動習慣の経年比較
（小4～小6、中2、高2）

(b) 自然体験と自律性、積極性、協調性の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、自然体験全体の合計得点について、自律性、積極性、協調性それぞれとクロス集計を行った（図 3-3-3～3-3-5）。

自然体験を尋ねる9項目（図 3-1-1）に対する回答について、「何度もある」=1点、「少しある」=2点、「ほとんどない」=3点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割った平均点により、以下の5段階に分類した。

- 「多い」=1.0点以上 1.4点未満
- 「やや多い」=1.4点以上 1.8点未満
- 「ふつう」=1.8点以上 2.2点未満
- 「やや少ない」=2.2点以上 2.6点未満
- 「少ない」=2.6点以上 3.0点以下

自然体験が豊富な群ほど、「自律性」、「積極性」、「協調性」の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

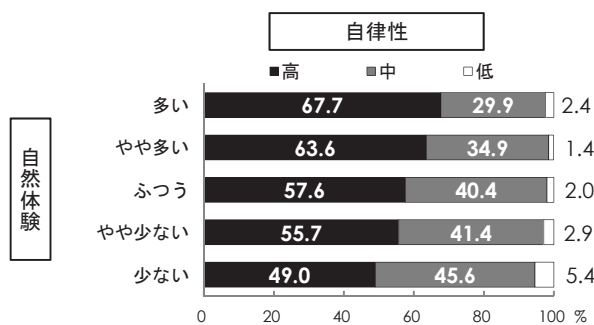


図 3-3-3 自然体験と自律性の関係
（小4～小6、中2、高2）

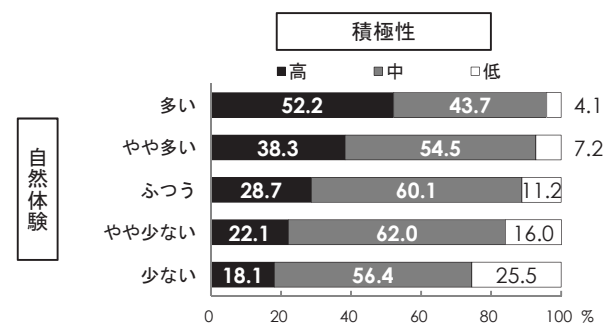


図 3-3-4 自然体験と積極性の関係
（小4～小6、中2、高2）

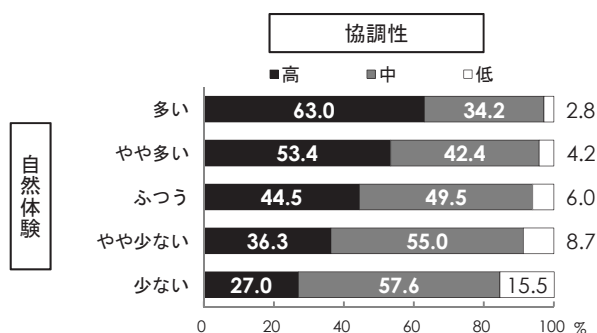


図 3-3-5 自然体験と協調性の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

(c) 生活体験と自律性、積極性、協調性の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、生活体験全体の合計得点について、自律性、積極性、協調性とそれぞれクロス集計を行った (図 3-3-6～3-3-8)。

生活体験を尋ねる 6 項目 (図 3-1-20) に対する回答について、「何度もある」=1 点、「少しある」=2 点、「ほとんどない」=3 点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割った平均点により、以下の 5 段階に分類した。

「多い」=1.0 点以上 1.4 点未満

「やや多い」=1.4 点以上 1.8 点未満

「ふつう」=1.8 点以上 2.2 点未満

「やや少ない」=2.2 点以上 2.6 点未満

「少ない」=2.6 点以上 3.0 点以下

生活体験が豊富な群ほど、「自律性」、「積極性」、「協調性」の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

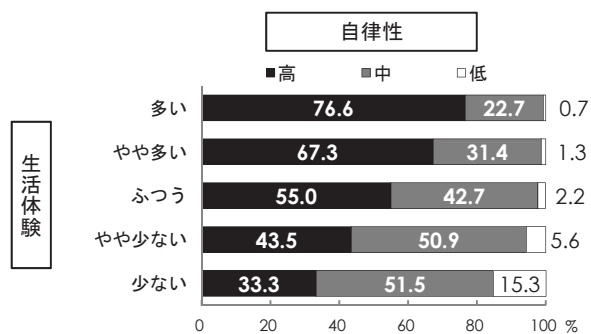


図 3-3-6 生活体験と自律性の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

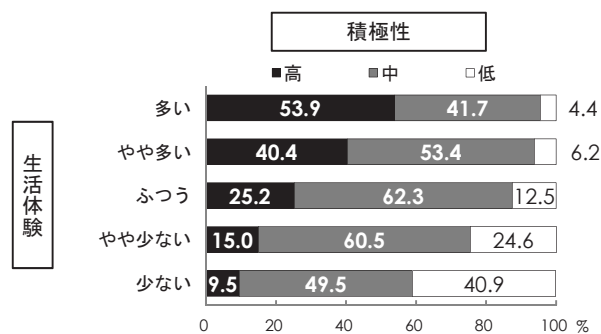


図 3-3-7 生活体験と積極性の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

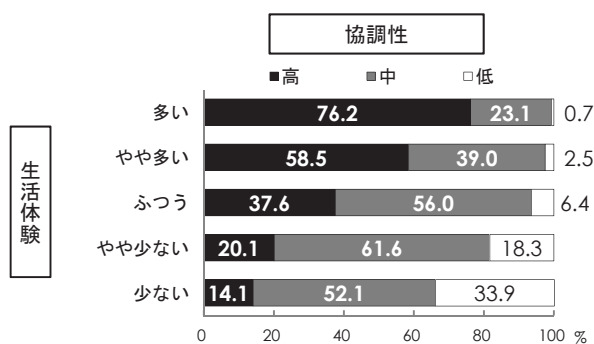


図 3-3-8 生活体験と協調性の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

(d) お手伝いと自律性、積極性、協調性の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、お手伝い全体の合計得点について、自律性、積極性、協調性とそれぞれクロス集計を行った (図 3-3-9～3-3-11)。

お手伝いに関する 9 項目 (図 3-1-41) に対する回答について、「いつもしている」=1 点、「時々している」=2 点、「あまりしていない」=3 点、「まったくしていない」=4 点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割った平均点により以下の 5 段階に分類した。

「多い」=1.0 点以上 1.6 点未満

「やや多い」=1.6 点以上 2.2 点未満

「ふつう」=2.2 点以上 2.8 点未満

「やや少ない」=2.8 点以上 3.4 点未満

「少ない」=3.4 点以上 4.0 点以下

お手伝いを多くしている群ほど、「自律性」、「積極性」、「協調性」の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

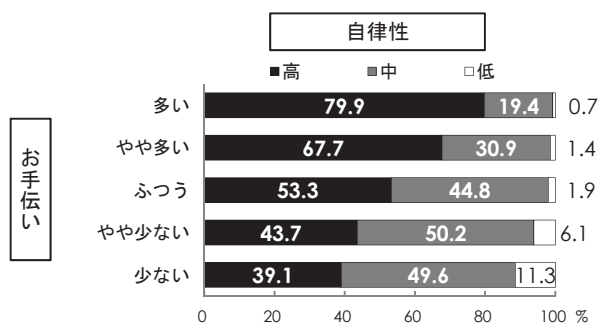


図 3-3-9 お手伝いと自律性の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

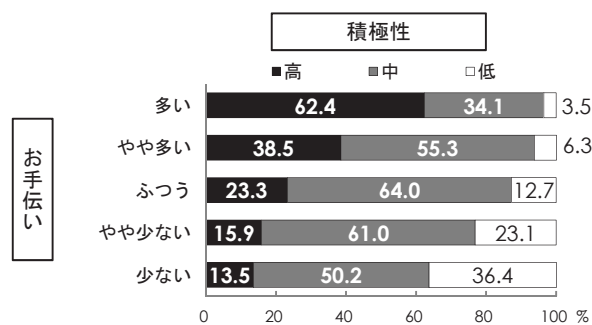


図 3-3-10 お手伝いと積極性の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

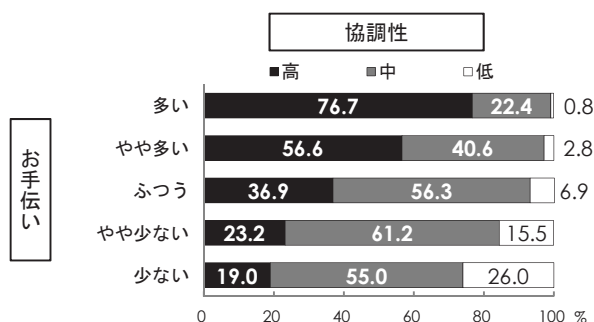


図 3-3-11 お手伝いと協調性の関係
(小4～小6、中2、高2)

(e) 生活習慣と自律性、積極性の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、生活習慣全体の合計得点について、自律性、積極性とそれぞれクロス集計を行った(図3-3-12～3-3-13)。

生活習慣に関する8項目(図3-1-125)に対する回答について、「必ずしている」=1点、「だいたいしている」=2点、「あまりしていない」=3点、「していない」=4点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割った平均点により以下の5段階に分類した。

「身についている」=1.0点以上1.6点未満

「やや身についている」=1.6点以上2.2点未満

「ふつう」=2.2点以上2.8点未満

「あまり身につけていない」=2.8点以上3.4点未満

「身につけていない」=3.4点以上4.0点以下

なお、協調性を構成する「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」という質問項目は、生活習慣と重複しているため、自律性、積極性との関係についてのみ分析する。

生活習慣を身につけている群ほど、「自律性」、「積極性」の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

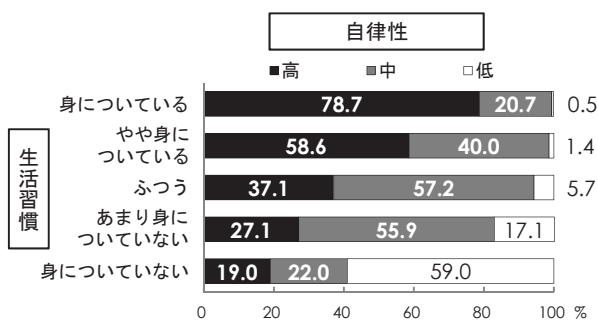


図 3-3-12 生活習慣と自律性の関係
(小4～小6、中2、高2)

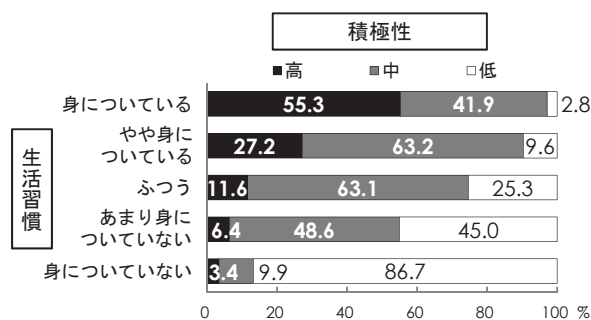


図 3-3-13 生活習慣と積極性の関係
(小4～小6、中2、高2)

(f) 文化芸術体験と自律性、積極性、協調性の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、文化芸術体験のそれぞれの得点について、自律性、積極性、協調性とそれぞれクロス集計を行った(図3-3-14～3-3-22)。なお、小学生の1年間の文化芸術体験については保護者が回答している。

文化芸術に関わる作品や活動をテレビや DVD、インターネットなどで鑑賞、あるいは映画館、美術館、博物館、劇場などで直接鑑賞したり、作品を作ったり演じたりしている群ほど、「自律性」、「積極性」、「協調性」の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

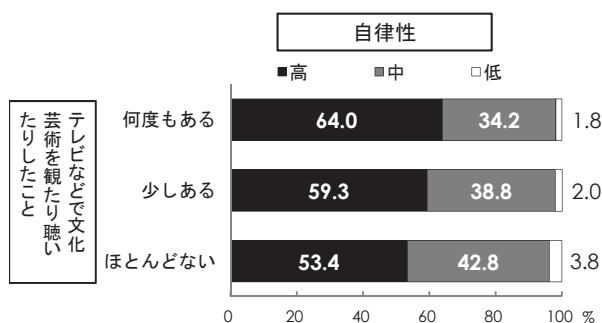


図 3-3-14 テレビなどで文化芸術を観たり聴いたりしたことと自律性の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

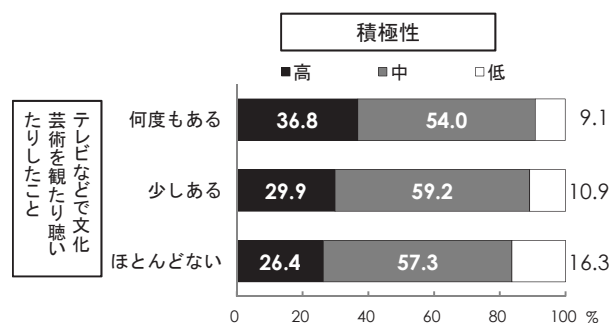


図 3-3-15 テレビなどで文化芸術を観たり聴いたりしたことと積極性の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

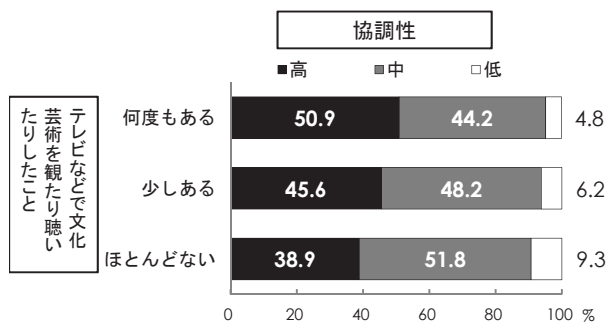


図 3-3-16 テレビなどで文化芸術を観たり聴いたりしたことと協調性の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

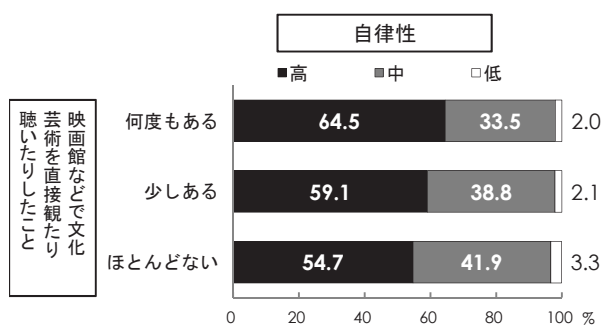


図 3-3-17 映画館などで文化芸術を直接観たり聴いたりしたことと自律性の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

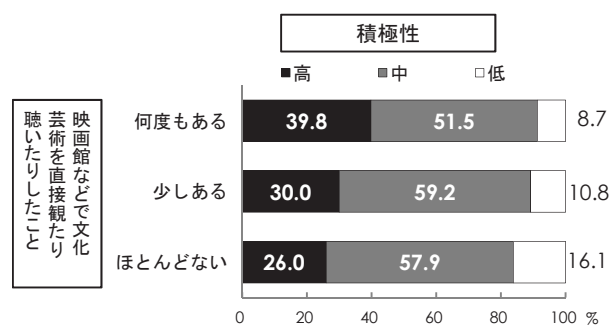


図 3-3-18 映画館などで文化芸術を直接観たり聴いたりしたことと積極性の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

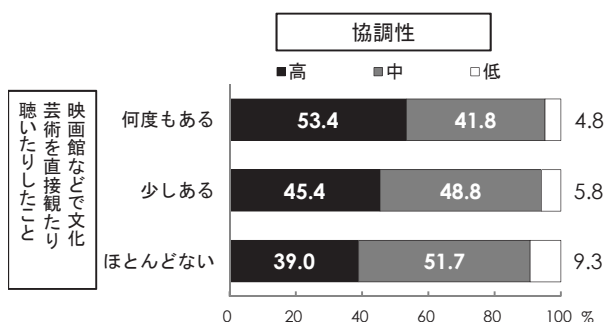


図 3-3-19 映画館などで文化芸術を直接観たり聴いたりしたことと協調性の関係 (小 4~小 6、中 2、高 2)

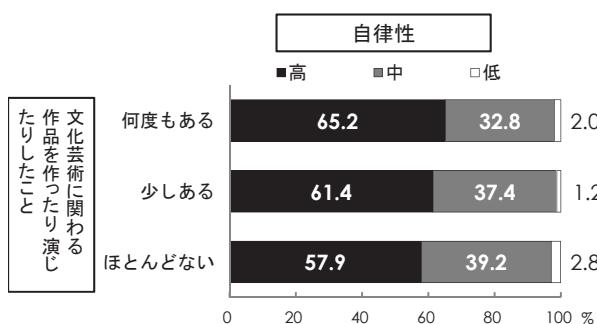


図 3-3-20 文化芸術に関わる作品を作ったり演じたりしたことと自律性の関係 (小 4~小 6、中 2、高 2)

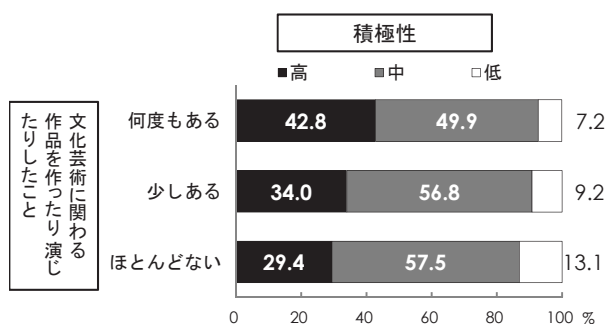


図 3-3-21 文化芸術に関わる作品を作ったり演じたりしたことと積極性の関係 (小 4~小 6、中 2、高 2)

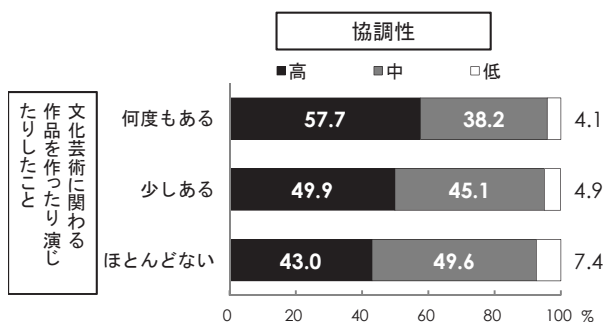


図 3-3-22 文化芸術に関わる作品を作ったり演じたりしたことと協調性の関係 (小 4~小 6、中 2、高 2)

3.3.2 体験と自己肯定感の関係

(a) 自己肯定感による分類ならびに学年比較と経年比較

青少年の自己肯定感に着目して小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の分析を行った。

自己肯定感を尋ねる 6 項目 (図 3-1-203) に対する回答について、「とても思う」=1 点、「少し思う」=2 点、「あまり思わない」=3 点、「まったく思わない」=4 点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割った平均点により、以下の 5 段階に分類した。

「高い」=1.0 点以上 1.6 点未満

「やや高い」=1.6 点以上 2.2 点未満

「ふつう」=2.2 点以上 2.8 点未満

「やや低い」=2.8点以上 3.4点未満

「低い」=3.4点以上 4.0点以下

自己肯定感の学年間の比較を図 3-3-23 に示した。「高い」と「やや高い」の割合は、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、特に小学 6 年から中学 2 年にかけて大きく減少していた。

自己肯定感の平成 20 年から令和元年までの 11 年間の経年比較を行った（図 3-3-24）。「高い」と「やや高い」を合計した割合は、平成 20 年の 36.9%から令和元年には 51.4%へと増加していた。

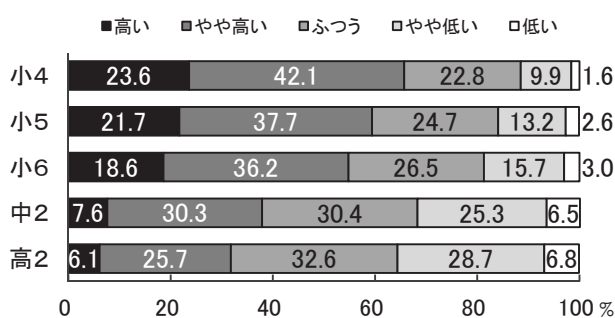


図 3-3-23 自己肯定感の現状（学年別）

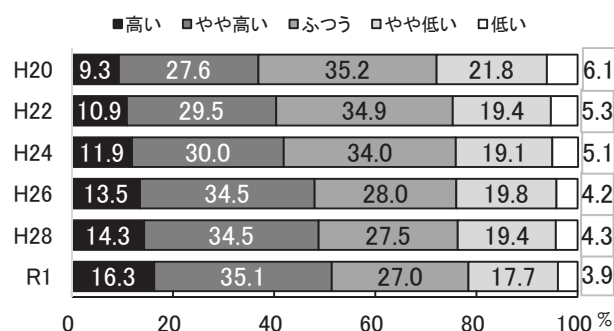


図 3-3-24 自己肯定感の経年比較

(b) 自然体験と自己肯定感の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、自然体験全体の合計得点について、自己肯定感とクロス集計を行った（図 3-3-25）。各得点の分類は先述のとおりである。

自然体験が豊富な群ほど、自己肯定感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

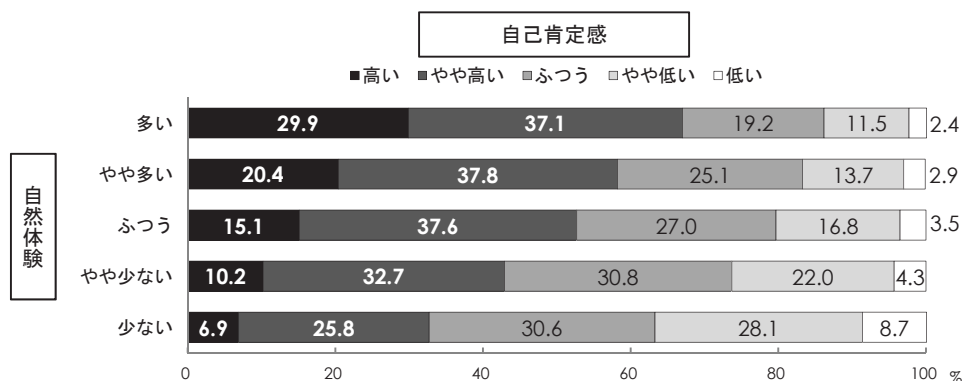


図 3-3-25 自然体験と自己肯定感の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

(c) 生活体験と自己肯定感の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、生活体験全体の合計得点について、自己肯定感とクロス集計を行った（図 3-3-26）。各得点の分類は先述のとおりである。

生活体験が豊富な群ほど、自己肯定感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

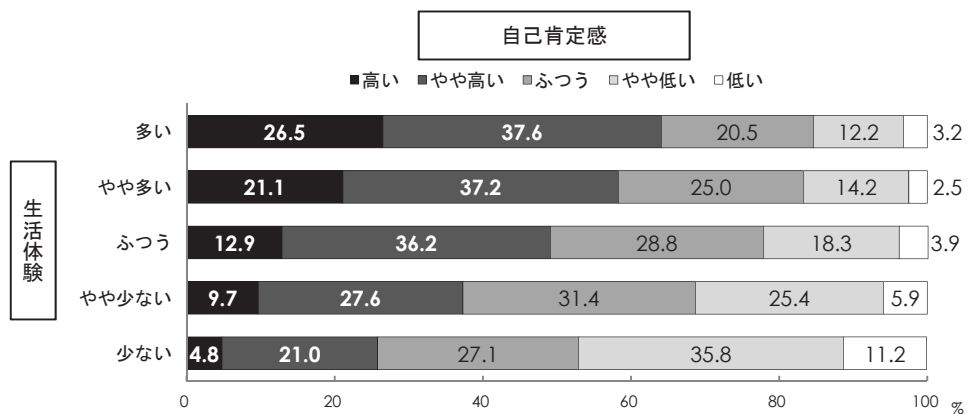


図 3-3-26 生活体験と自己肯定感の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

(d) お手伝いと自己肯定感の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、お手伝い全体の合計得点について、自己肯定感とクロス集計を行った（図 3-3-27）。各得点の分類は先述のとおりである。

お手伝いを多くしている群ほど、自己肯定感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

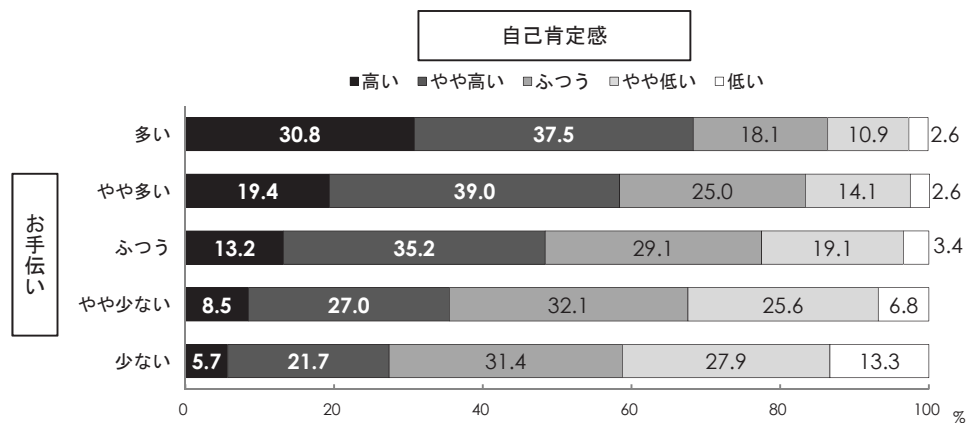


図 3-3-27 お手伝いと自己肯定感の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

(e) 生活習慣と自己肯定感の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、生活習慣全体の合計得点について、自己肯定感とクロス集計を行った（図 3-3-28）。各得点の分類は先述のとおりである。

生活習慣を身につけている群ほど、自己肯定感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

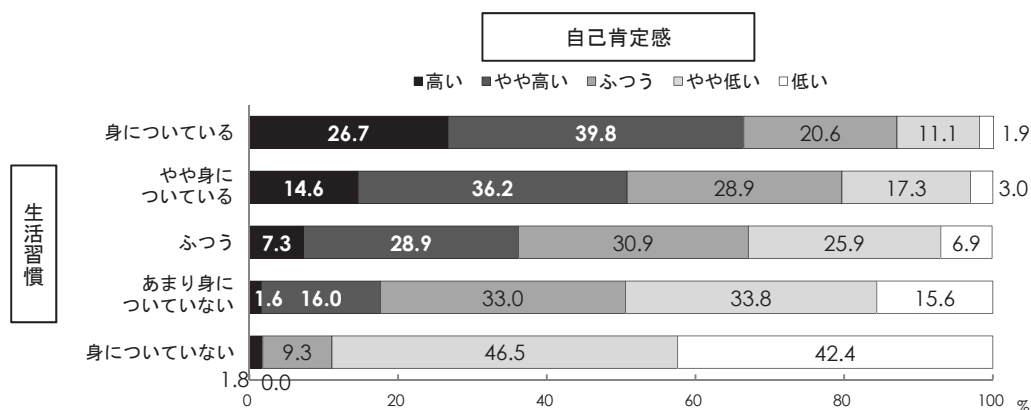


図 3-3-28 生活習慣と自己肯定感の関係 (小4～小6、中2、高2)

(f) 文化芸術体験と自己肯定感の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、文化芸術体験のそれぞれの得点について、自己肯定感とクロス集計を行った(図 3-3-29～3-3-31)。自己肯定感の得点の分類は先述のとおりである。なお、小学生の1年間の文化芸術体験については保護者が回答している。

文化芸術に関わる作品や活動をテレビやDVD、インターネットなどで鑑賞することと自己肯定感の間には、明確な関連はみられなかった。一方で、映画館、美術館、博物館、劇場などで直接鑑賞したり、作品を作ったり演じたりしている群ほど、自己肯定感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

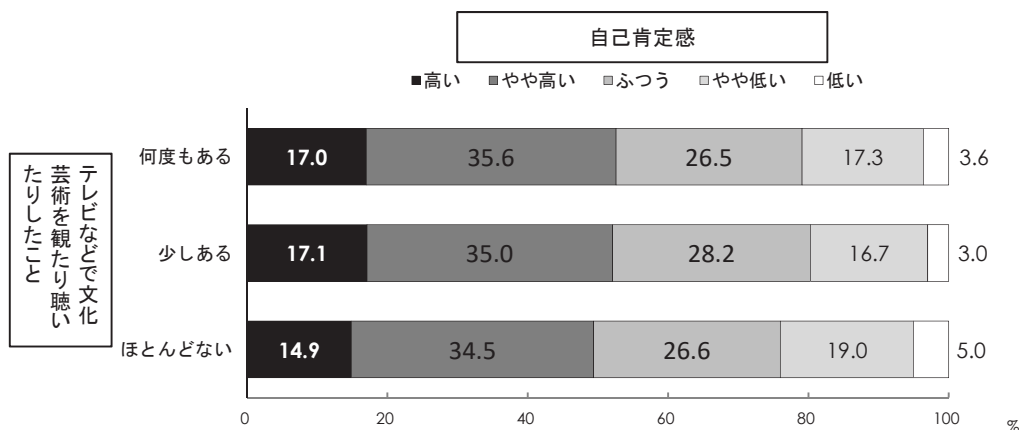


図 3-3-29 テレビなどで文化芸術を観たり聴いたりしたことと自己肯定感の関係 (小4～小6、中2、高2)

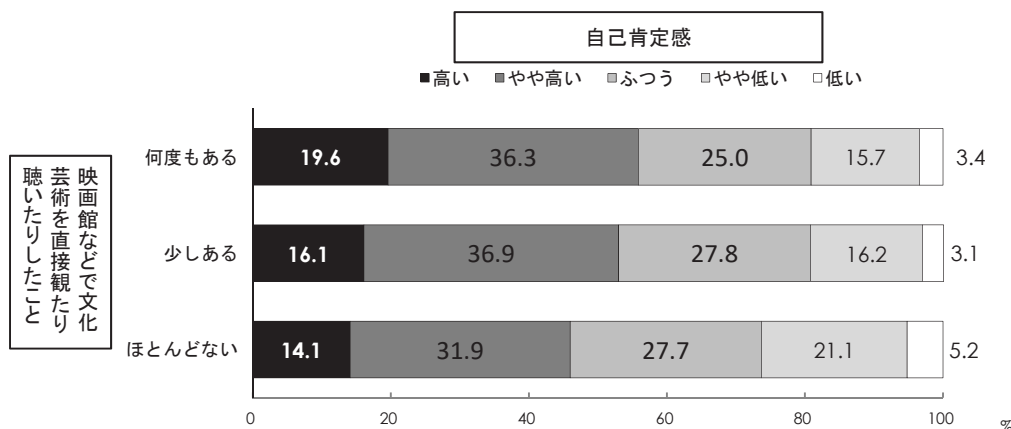


図 3-3-30 映画館などで文化芸術を直接観たり聴いたりしたことと自己肯定感の関係 (小4～小6、中2、高2)

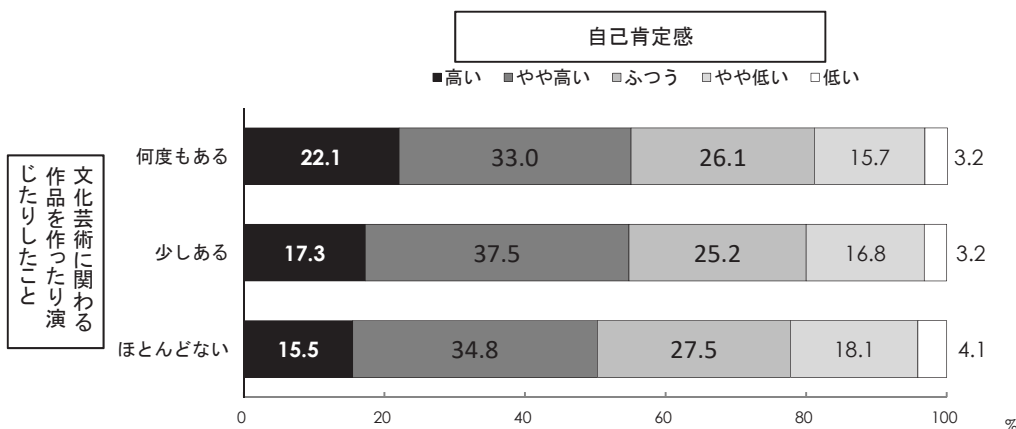


図 3-3-31 文化芸術に関わる作品を作ったり演じたりしたことと自己肯定感の関係 (小4～小6、中2、高2)

3.3.3 体験と道徳観・正義感の関係

(a) 道徳観・正義感による分類ならびに学年比較と経年比較

青少年の道徳観・正義感に着目して小学生、中学2年生、高校2年生の分析を行った。

道徳観・正義感は、生活習慣に関する8項目から、次の4項目(図3-1-128、3-1-129、3-1-130、3-1-133)を関係する内容として取りあげた。

- ・家で「おはようございます」「いただきます」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」といったあいさつをすること
- ・近所の人や知り合いの人に「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」といったあいさつをすること
- ・バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること
- ・友だちが悪いことをしていたら、やめさせること

4項目に対する回答について、「必ずしている」=1点、「だいたいしている」=2点、「あまりしていない」=3点、「していない」=4点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割

った平均点により、以下の5段階に分類した。

- 「ある」=1.0点以上 1.6点未満
- 「ややある」=1.6点以上 2.2点未満
- 「ふつう」=2.2点以上 2.8点未満
- 「あまりない」=2.8点以上 3.4点未満
- 「ない」=3.4点以上 4.0点以下

道徳観・正義感の学年間の比較を図3-3-32に示した。「ある」と「ややある」の割合は小学4年生から高校2年生にかけて、微増傾向がみられた(59.6%~67.2%)。

道徳観・正義感の平成17年から令和元年までの14年間の経年比較を行った(図3-3-33)。「ある」と「ややある」を合計した割合は、平成17年の44.4%から令和元年には64.3%へと増加していた。

なお、道徳観・正義感とは、生活習慣と項目の重複があるため、自然体験、生活体験、お手伝い、文化芸術体験との関係についてのみ分析する。

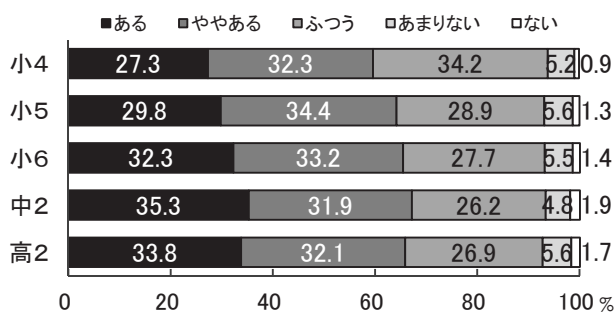


図3-3-32 道徳観・正義感の現状(学年別)

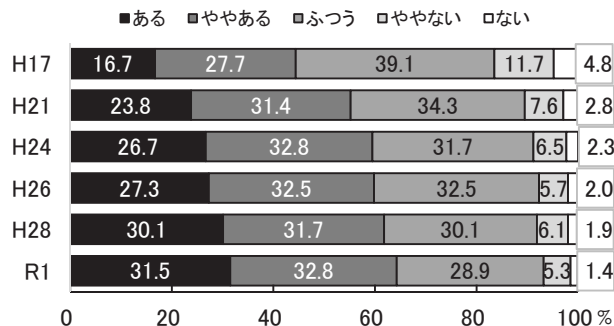


図3-3-33 道徳観・正義感の経年比較

(b) 自然体験と道徳観・正義感の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、自然体験全体の合計得点について、道徳観・正義感とクロス集計を行った(図3-3-34)。各得点の分類は先述のとおりである。

自然体験が豊富な群ほど、道徳感・正義感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

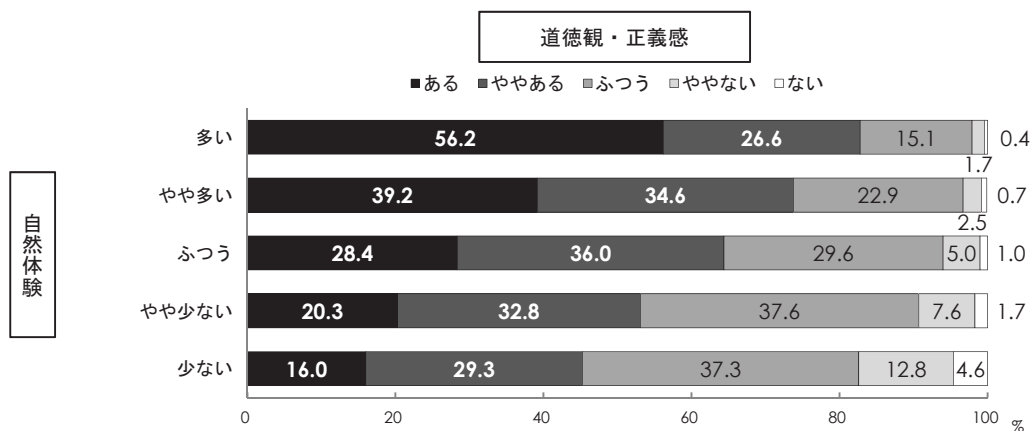


図3-3-34 自然体験と道徳観・正義感の関係(小4~小6、中2、高2)

(c) 生活体験と道徳観・正義感の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、生活体験全体の合計得点について、道徳観・正義感とクロス集計を行った(図3-3-35)。各得点の分類は先述のとおりである。

生活体験が豊富な群ほど、道徳観・正義感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

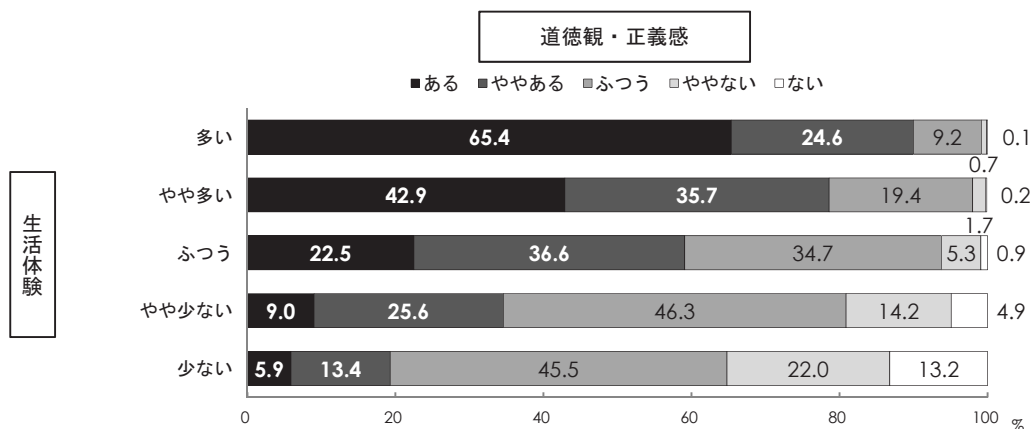


図3-3-35 生活体験と道徳観・正義感の関係(小4~小6、中2、高2)

(d) お手伝いと道徳観・正義感の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、お手伝い全体の合計得点について、道徳観・正義感とクロス集計を行った(図3-3-36)。各得点の分類は先述のとおりである。

お手伝いを多くしている群ほど、道徳観・正義感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

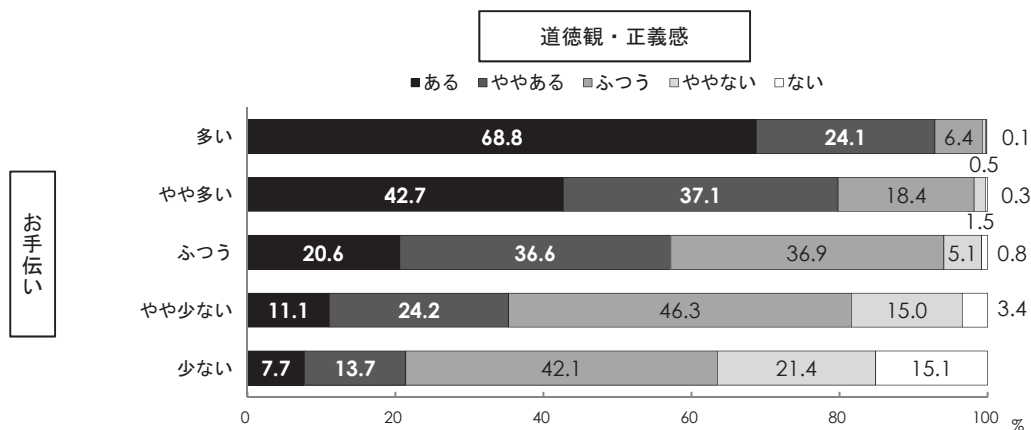


図3-3-36 お手伝いと道徳観・正義感の関係(小4~小6、中2、高2)

(e) 文化芸術体験と道徳観・正義感の関係

小学生、中学2年生、高校2年生の回答をあわせて、文化芸術体験のそれぞれの得点について、道徳観・正義感とクロス集計を行った(図3-3-37~3-3-39)。道徳観・正義感の得

点の分類は先述のとおりである。なお、小学生の1年間の文化芸術体験については保護者が回答している。

文化芸術に関わる作品や活動をテレビやDVD、インターネットなどで鑑賞、あるいは映画館、美術館、博物館、劇場などで直接鑑賞したり、作品を作ったり演じたりしている群ほど、道徳観・正義感の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

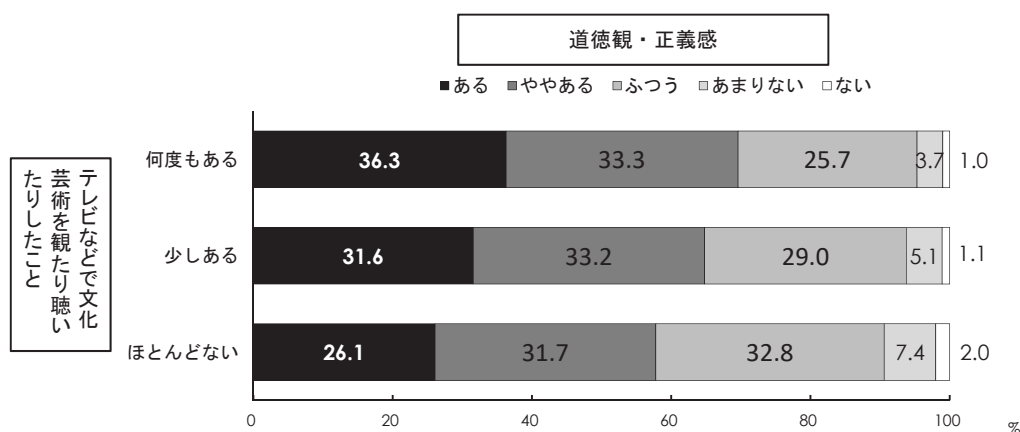


図 3-3-37 テレビなどで文化芸術を観たり聴いたりしたことと道徳観・正義感の関係
(小4～小6、中2、高2)

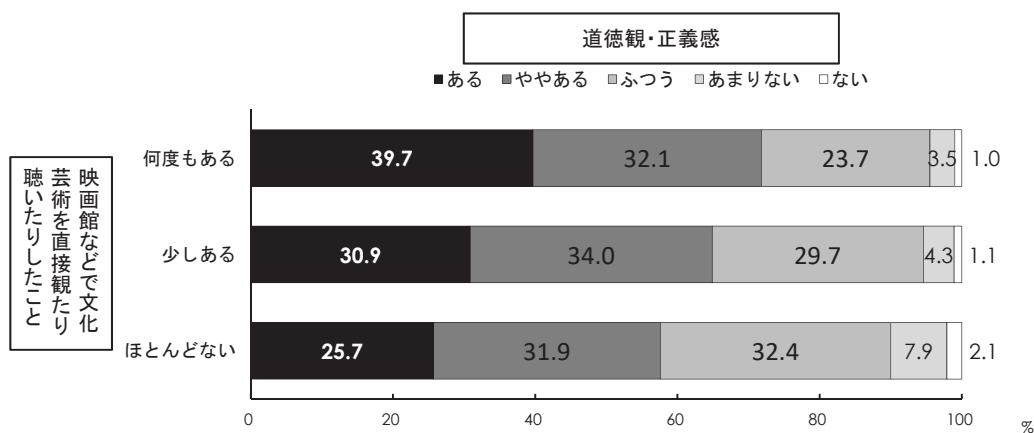


図 3-3-38 映画館などで文化芸術を直接観たり聴いたりしたことと道徳観・正義感の関係
(小4～小6、中2、高2)

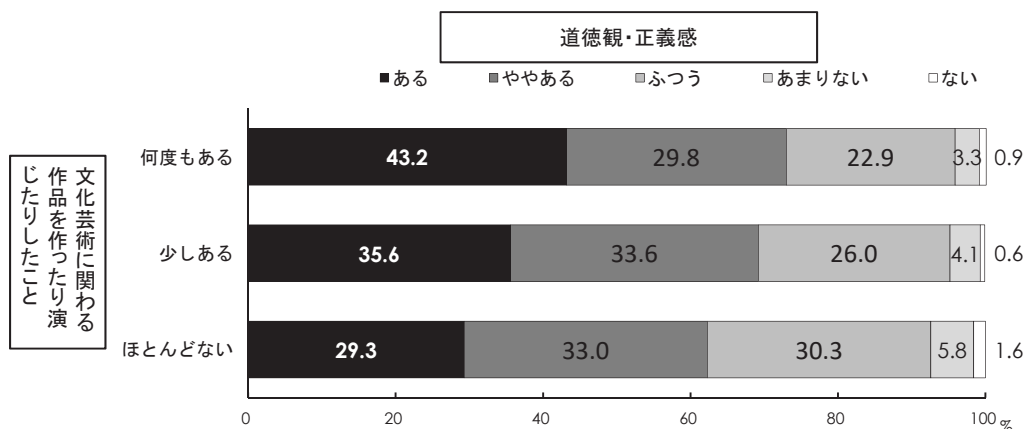


図 3-3-39 文化芸術に関わる作品を作ったり演じたりしたことと道徳観・正義感の関係
(小4～小6、中2、高2)

3.3.4 青少年の体験と探究力の関係

(a) 探究力による分類ならびに学年比較と経年比較

平成29・30年改訂学習指導要領で述べられている「学びに向かう力・人間性等」、生きて働く「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」の基礎となり、「総合的な探究の時間」でも重要視されている探求に関わる資質・能力を「探究力」としてとらえ、青少年の自然体験・生活体験といった様々な体験、家庭でのお手伝いの関係について分析した。探究力の測定にあたっては、自立的行動習慣に関する14項目について、総合的な探究の時間で育成を目指す「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性」という3つの領域から内容を整理し、既存の項目で不足していると考えた内容について、「実験や観察で新たな発見をすることに興味がある」と「日本以外の国や地域の生活や文化に関心がある」の2項目を追加した(表3-3-2)。

16項目に対する回答について、「とても当てはまる」=3点、「少し当てはまる」=2点、「あまり当てはまらない」=1点、「全く当てはまらない」=0点と得点化した。

探究力に関する16項目は $\alpha = .862$ であり、十分な信頼性が確かめられた(探索的因子分析ならびに確認的因子分析の結果は参考2を参照)。探究力に関する16項目の合計点により、以下の3段階に分類した。

「高」=33点～48点

「中」=17点～32点

「低」=0点～16点

探究力を身につけることをとおして目指される「望まれる総合的な人間像」として「学校・地域がよりよくなるよう自ら進んで考え行動する」という項目を設定し、探究力が身につけているほど示されることを予想した。小学生、中学2年、高校2年生の回答をあわせて、探究力得点について「学校・地域がよりよくなるよう自ら進んで考え行動する」とのクロス集計を行った(図3-3-40)。この項目に当てはまる群ほど探究力の高得点群の割

表 3-3-2 探究力に関する項目の構成

領域	項目	備考
知識及び技能	(n) 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを読んだり見たりする (m) 国や地域の政治や選挙について関心がある (o) 実験や観察で新たな発見をすることに興味がある	追加項目
思考力・判断力・表現力等	(a) 自分の思ったことをはっきりと言う (e) 先のことを考えて、自分の計画を立てる (i) 人の話をきちんと聞く (k) 相手の立場になって考える	
学びに向かう力・人間性	(b) 周りの人に迷惑をかけずに行動する (c) 自分でできることは自分でする (d) わからないことは、そのままにしないで調べる (f) 困った時でも前向きに取り組む (g) 人から言われなくても、自分から進んでやる (h) 誰とでも協力してグループ活動をする (j) 困っている人がいたときに手助けする (l) ルールを守って行動する (p) 日本以外の国や地域の生活や文化に関心がある	追加項目

合が大きく、望まれる総合的な人間像と関連していることから、設定した項目群が探究力を測定しているという妥当性が支持されたと考えた。

探究力の学年間の比較を図 3-3-41 に示した。探究力は小学 4 年生から 6 年生にかけて高得点群の割合は微増するが、中学 2 年生で低減する傾向がみられた。

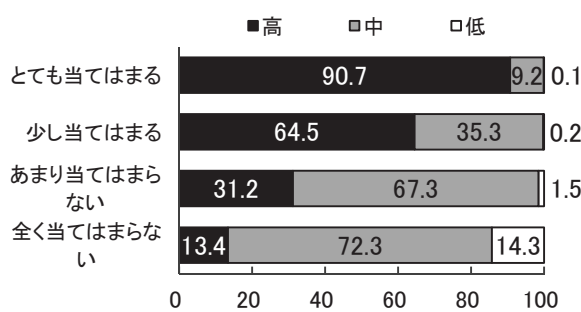


図 3-3-40 探究力と望まれる総合的な人間像の関係 (小4~小6、中2、高2)

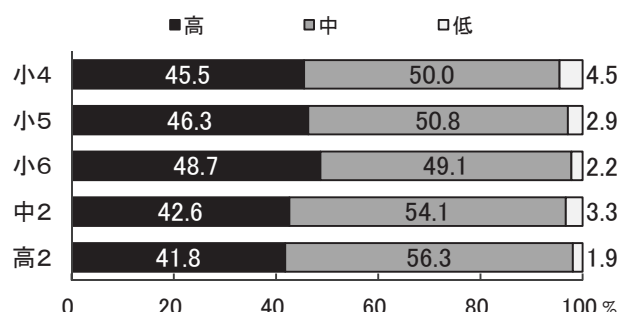


図 3-3-41 探究力の現状 (学年別)

(b) 自然体験と探究力の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、自然体験全体の合計得点について、探究力とクロス集計を行った (図 3-3-42)。各得点の分類は先述のとおりである。

自然体験が豊富な群ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

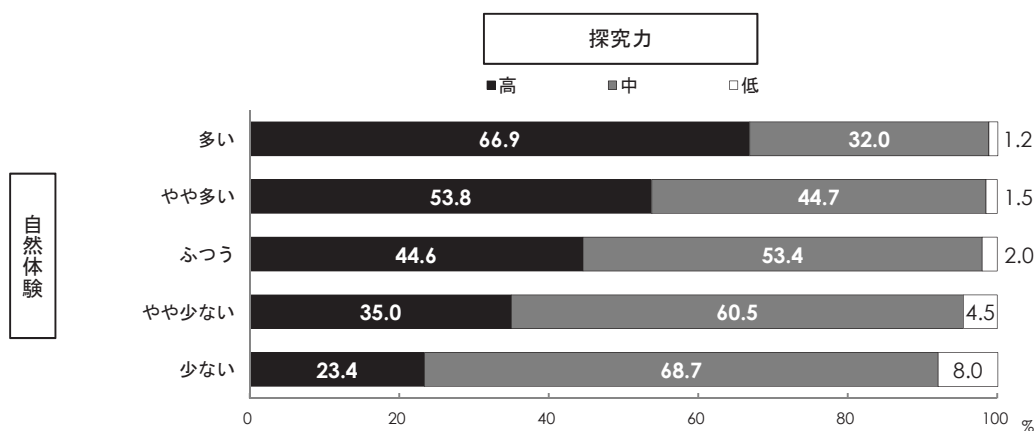


図 3-3-42 自然体験と探究力の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

(c) 生活体験と探究力の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、生活体験全体の合計得点について、探究力とクロス集計を行った（図 3-3-43）。各得点の分類は先述のとおりである。

生活体験が豊富な群ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

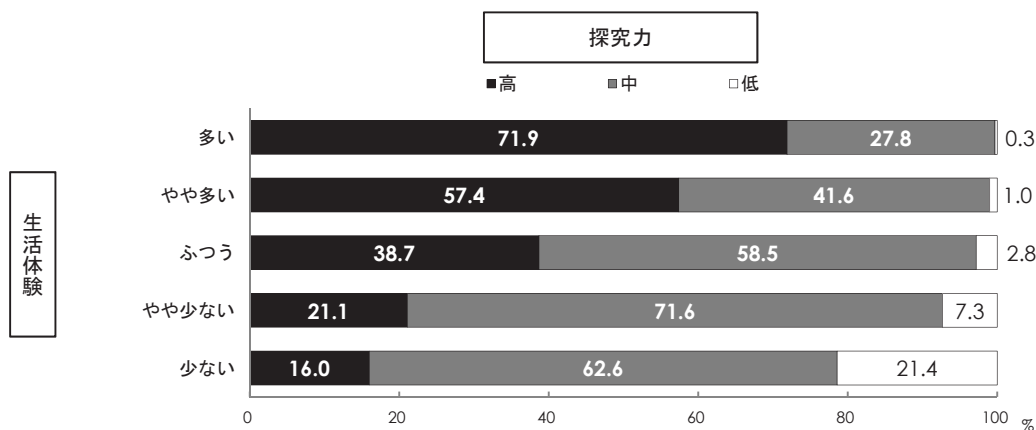


図 3-3-43 生活体験と探究力の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

(d) お手伝いと探究力の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、お手伝い全体の合計得点について、探究力とクロス集計を行った（図 3-3-44）。各得点の分類は先述のとおりである。

お手伝いを多くしている群ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

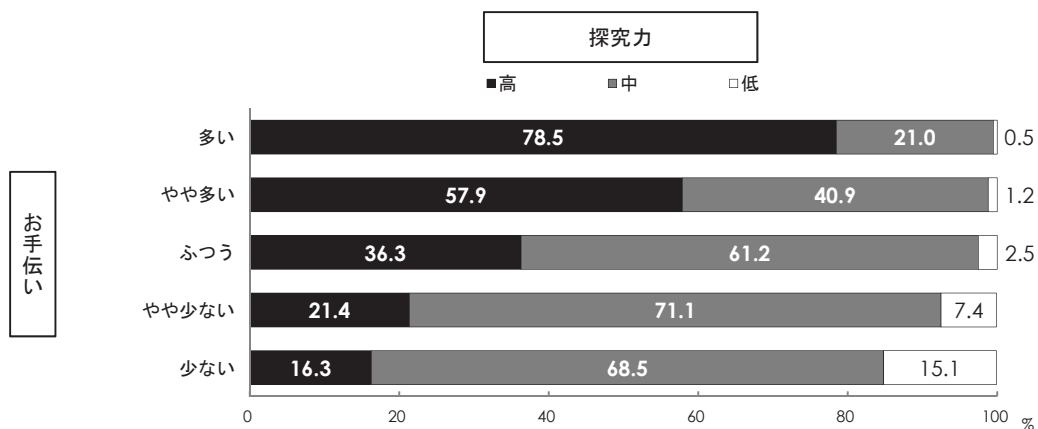


図 3-3-44 お手伝いと探究力の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

(e) 生活習慣と探究力の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、生活習慣全体の合計得点について、探究力とクロス集計を行った（図 3-3-45）。各得点の分類は先述のとおりである。

生活習慣を身につけている群ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

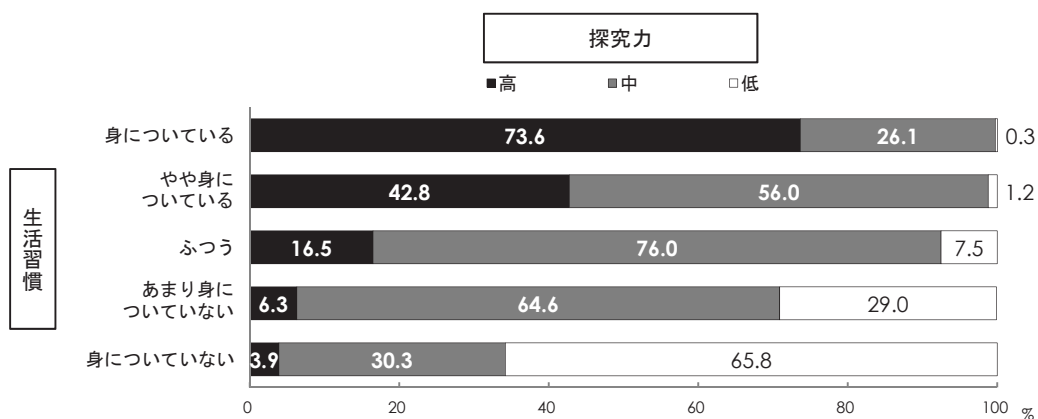


図 3-3-45 生活習慣と探究力の関係（小 4～小 6、中 2、高 2）

(f) 文化芸術体験と探究力の関係

小学生、中学 2 年生、高校 2 年生の回答をあわせて、文化芸術体験のそれぞれの得点について、探究力とクロス集計を行った（図 3-3-46～3-3-48）。探究力に関する指標の分類は先述のとおりである。なお、小学生の 1 年間の文化芸術体験については保護者が回答している。

文化芸術に関わる作品や活動をテレビや DVD、インターネットなどで鑑賞、あるいは映画館、美術館、博物館、劇場などで直接鑑賞したり、作品を作ったり演じたりしている子

供ほど、探究力の高得点群の割合が大きくなる傾向がみられた。

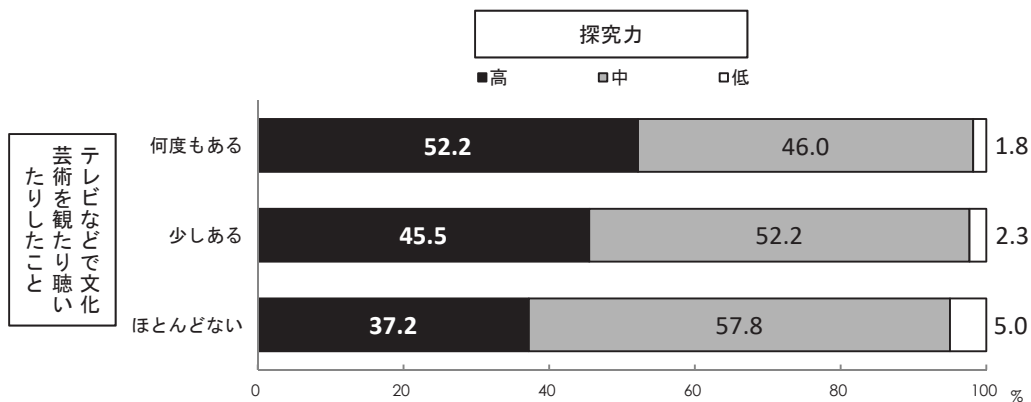


図 3-3-46 テレビなどで文化芸術を観たり聴いたりしたことで探究力との関係（小4～小6、中2、高2）

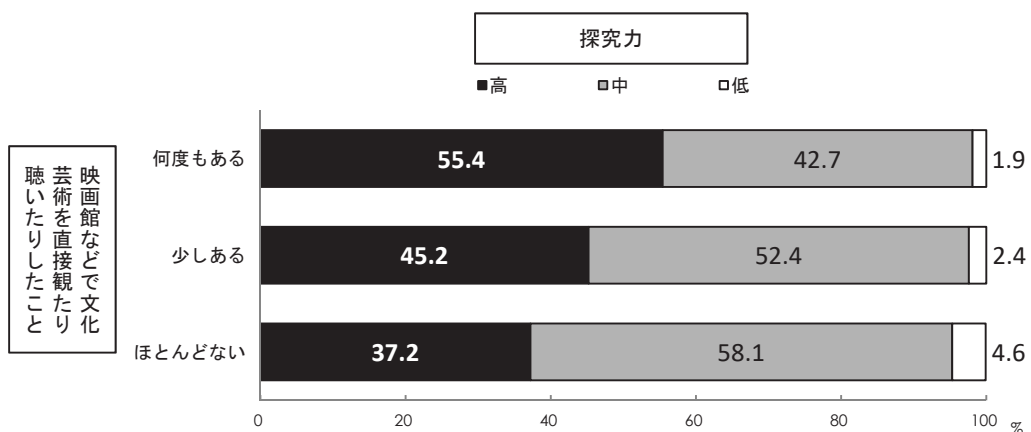


図 3-3-47 映画館などで文化芸術を直接観たり聴いたりしたことで探究力との関係（小4～小6、中2、高2）

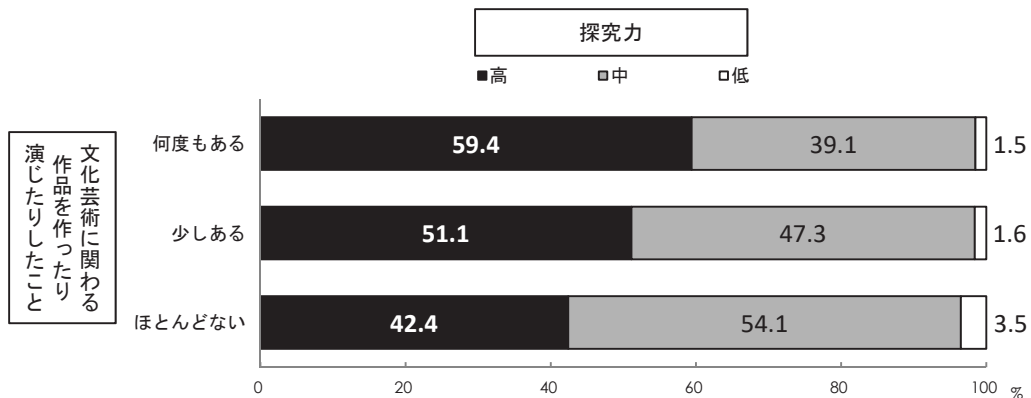


図 3-3-48 文化芸術に関わる作品を作ったり演じたりしたことで探究力との関係（小4～小6、中2、高2）

3.4 青少年の自立的行動習慣に関する指標と意識や生活行動の関係

3.4.1 自律性、積極性、協調性と「早寝早起き朝ごはん」習慣の関係

自律性、積極性、協調性それぞれの高群、中群、低群と「早寝早起き朝ごはん」習慣とのクロス集計を行った(図 3-4-1~図 3-4-3)。ここで「朝ごはんを毎日食べる」とは、「朝、食事をとること」という質問(図 3-1-134)に対して「必ずしている」と回答した子供を指している。また「早寝」とは、学年ごとの平均的な起床時刻をもとに、小学5年生で午後10時以前、中学2年生で午後11時以前、高校2年生で午前0時以前に就寝することを指し、「早起き」とは全学年共通で午前6時30分以前に起床することを指している。就寝時刻の区分(早寝・遅寝)の割合を均等にするために小学5年生、中学2年生、高校2年生を対象とした。

「自律性」、「積極性」、「協調性」の得点が高い子供の割合は、早寝早起きで朝ごはんを毎日食べている子供が最も大きく、遅寝遅起きで朝ごはんを食べない日がある子供が最も小さくなる傾向がみられた。

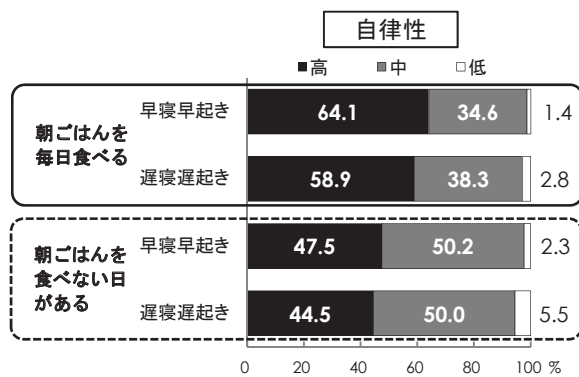


図 3-4-1 就寝・起床・朝食の習慣と自律性の関係
(小5、中2、高2)

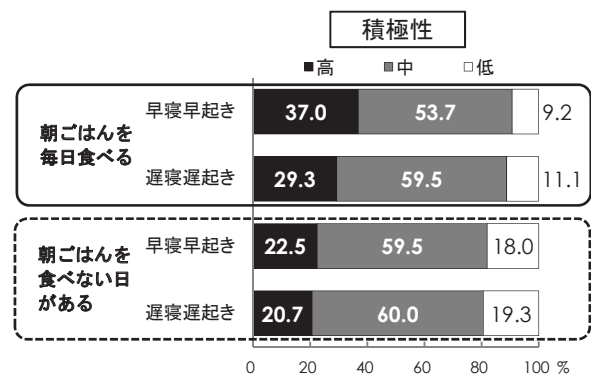


図 3-4-2 就寝・起床・朝食の習慣と積極性の関係
(小5、中2、高2)

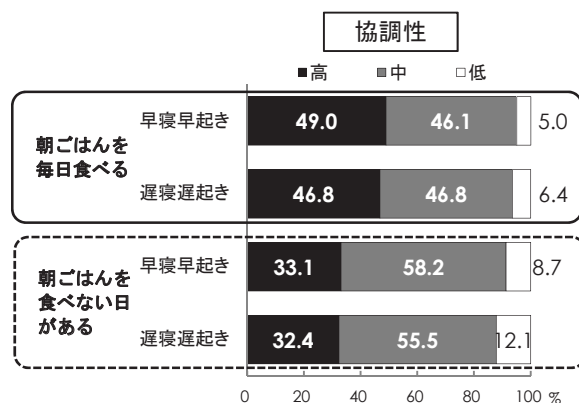


図 3-4-3 就寝・起床・朝食の習慣と協調性の関係
(小5、中2、高2)

3.4.2 自律性、積極性、協調性と自己肯定感の関係

自律性、積極性、協調性それぞれの高群、中群、低群と「自己肯定感」の5群のクロス集計を行った（図 3-4-4～3-4-6）。

「自律性」、「積極性」、「協調性」の得点が高い群ほど、「自己肯定感」が高い群の割合が大きくなる傾向がみられた。

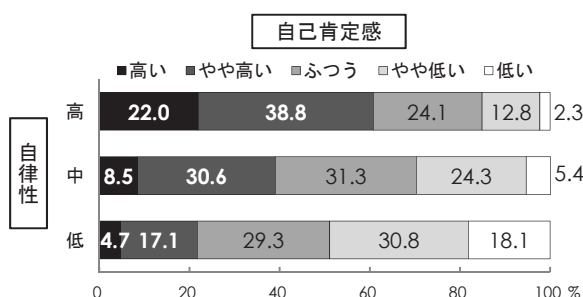


図 3-4-4 自律性と自己肯定感の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

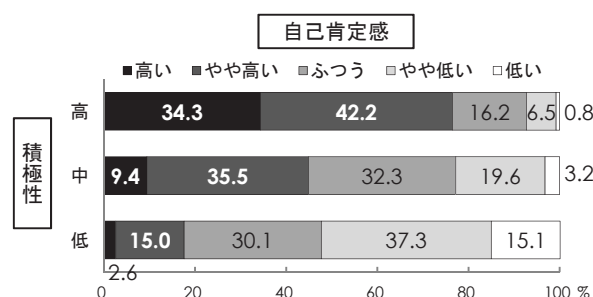


図 3-4-5 積極性と自己肯定感の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

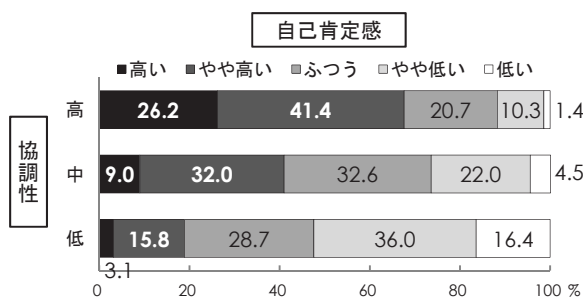


図 3-4-6 協調性と自己肯定感の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

なお、自立的行動習慣に関する指標である「協調性」と「道徳観・正義感」には項目に一部重複があるため、クロス集計は行わなかった。

3.4.4 自律性、積極性、協調性と心身の疲労感の関係

ふだんの生活の実態（図 3-1-136）における「いらいらしたり、むしゃくしゃしたりすること」、「悩んだり、落ちこんだりすること」、「ものごとに集中できないこと」という項目に、「特に運動やスポーツもしないのに、ふだん疲れていると感じること」を加えた計 4 項目を心身の疲労感を尋ねる項目として分析した。「いらいらしたり、むしゃくしゃしたりすること」、「悩んだり、落ちこんだりすること」、「ものごとに集中できないこと」は「よくある」=1 点、「時々ある」=2 点、「あまりない」=3 点、「ない」=4 点として得点化し、「特に運動やスポーツもしないのに、ふだん疲れていると感じること」は「よくある」=1 点、「時々ある」=2 点、「ほとんどない」=3 点、「まったくない」=4 点として得点化した。各

質問項目の合計を項目数で割った平均点により、以下の5段階に類した。

- 「強い」=1.0点以上1.6点未満
- 「やや強い」=1.6点以上2.2点未満
- 「ふつう」=2.2点以上2.8点未満
- 「やや弱い」=2.8点以上3.4点未満
- 「弱い」=3.4点以上4.0点以下

心身の疲労感の学年間の比較を図3-4-10に示した。小学4年生から高校2年生にかけて、「強い」と「やや強い」を合計した割合が大きくなっていった(34.8%~63.3%)。

自律性、積極性、協調性それぞれの高群、中群、低群と心身の疲労感の5群についてクロス集計を行った(図3-4-11~図3-4-13)。「自律性」、「積極性」、「協調性」の得点が高い群ほど、心身の疲労感が弱い傾向がみられた。

また、早寝早起きで朝ごはんを毎日食べている子供は心身の疲労感が弱い群が最も多く、遅寝遅起きで朝ごはんを食べない日がある子供は心身の疲労感が強い群が最も多いことが示された(図3-4-14)。各群の分類は先述のとおりである。

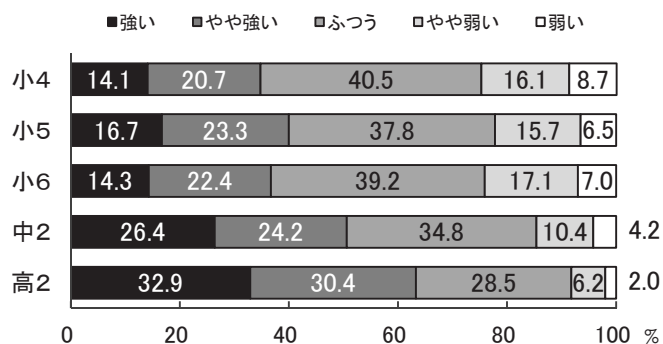


図3-4-10 心身の疲労感の現状(学年別)

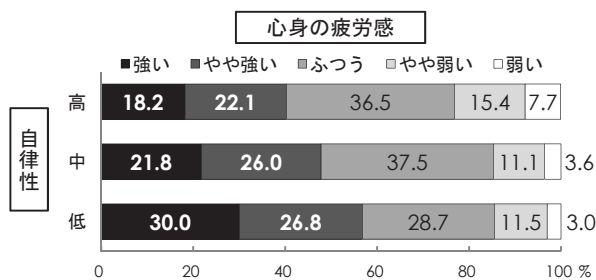


図3-4-11 自律性と心身の疲労感の関係(小4~小6、中2、高2)

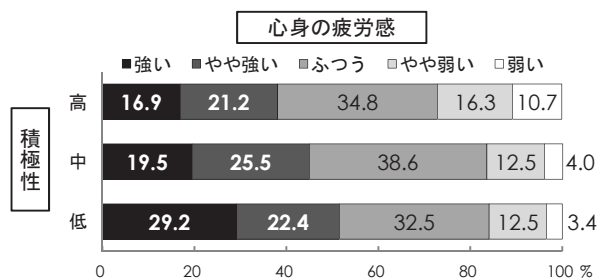


図3-4-12 積極性と心身の疲労感の関係(小4~小6、中2、高2)

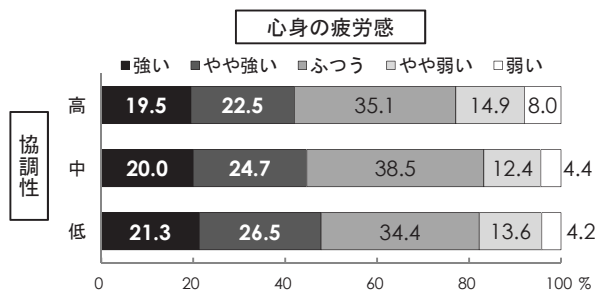


図 3-4-13 協調性と心身の疲労感の関係
(小 4～小 6、中 2、高 2)

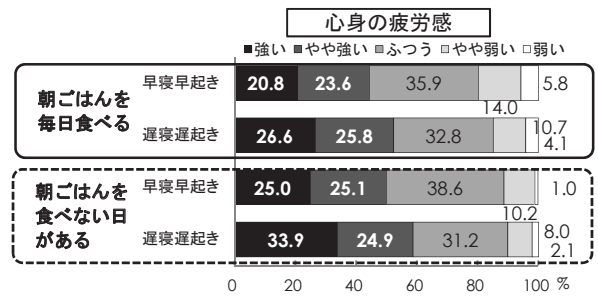


図 3-4-14 就寝・起床・朝食の習慣と心身の疲労感の関係 (小 5、中 2、高 2)

3.5 保護者の行動や家庭環境と子供の体験の関係

3.5.1 保護者の自然体験と子供の体験の関係

小学生における保護者のこれまでの自然体験と、子供の体験についてそれぞれクロス集計を行った（図 3-5-1～3-5-3）。

保護者のこれまでの自然体験を尋ねる 9 項目（図 3-2-44）に対する回答について、「何度もある」=1 点、「少しある」=2 点、「ほとんどない」=3 点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割った平均点により、以下の 5 段階に分類した。

- 「多い」=1.0 点以上 1.4 点未満
- 「やや多い」=1.4 点以上 1.8 点未満
- 「ふつう」=1.8 点以上 2.2 点未満
- 「やや少ない」=2.2 点以上 2.6 点未満
- 「少ない」=2.6 点以上 3.0 点以下

保護者の自然体験が豊富なほど、子供は生活体験、自然体験、お手伝いの体験が豊富になる傾向がみられた。

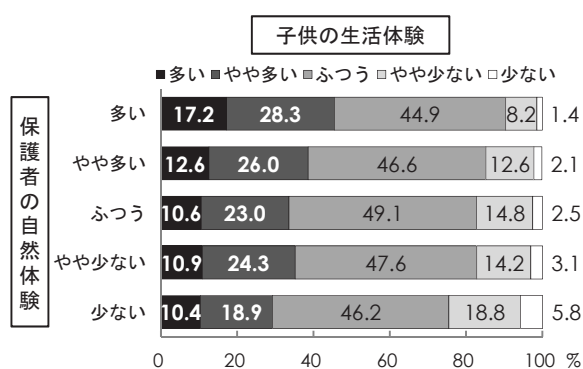


図 3-5-1 保護者の自然体験と子供の生活体験の関係

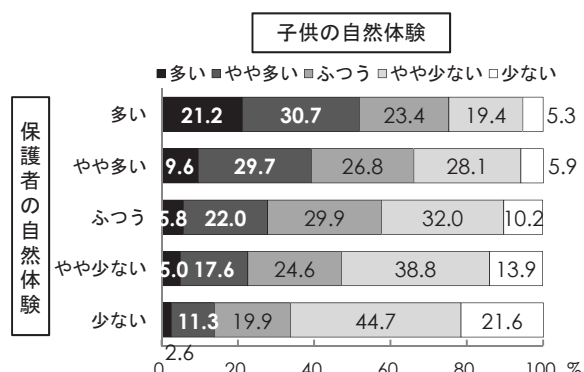


図 3-5-2 保護者の自然体験と子供の自然体験の関係

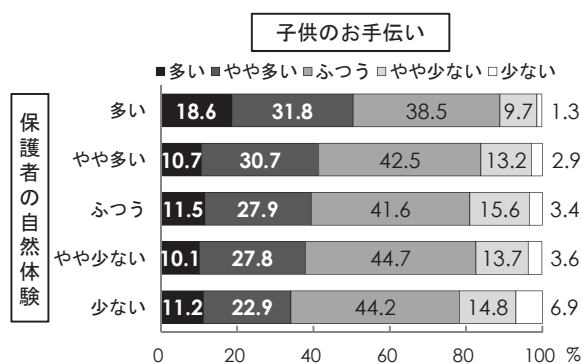


図 3-5-3 保護者の自然体験と子供のお手伝いの関係

3.5.2 保護者の子供へのしつけと子供の体験の関係

小学生における保護者の子供へのしつけと、子供の体験についてそれぞれクロス集計を行った（図 3-5-4～3-5-6）。

外遊び体験に関わる内容として加えた「積極的に外遊びすること」を除いて、保護者の子供へのしつけを尋ねる 21 項目（図 3-2-21）に対する回答について、「熱心してきた」=1 点、「少ししてきた」=2 点、「あまりしてこなかった」=3 点、「全くしてこなかった」=4 点と得点化し、各質問項目の合計を項目数で割った平均点により、以下の 3 段階に分類した。

「多い」=1.0 点以上 1.6 点未満

「ふつう」=1.6 点以上 2.2 点未満

「少ない」=2.2 点以上 4.0 点以下

保護者による子供へのしつけが多いほど、子供は生活体験、自然体験、お手伝いの体験が豊富になる傾向がみられた。ただし、保護者によるしつけによって子供の体験の機会が増えているという可能性以外にも、保護者によるしつけが保護者と子供のやり取りの頻度を反映しており、結果としてやり取りが多い保護者ほど子供の体験を促す傾向がみられた可能性も指摘できる。

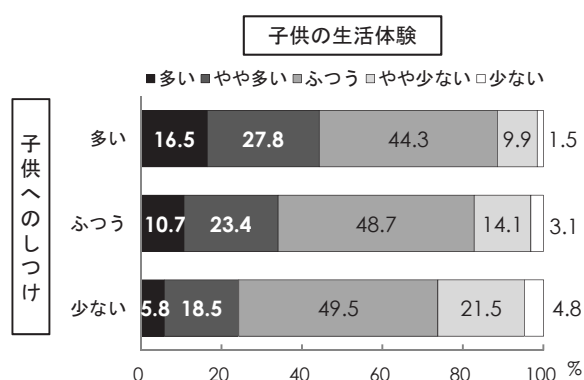


図 3-5-4 子供へのしつけと子供の生活体験の関係

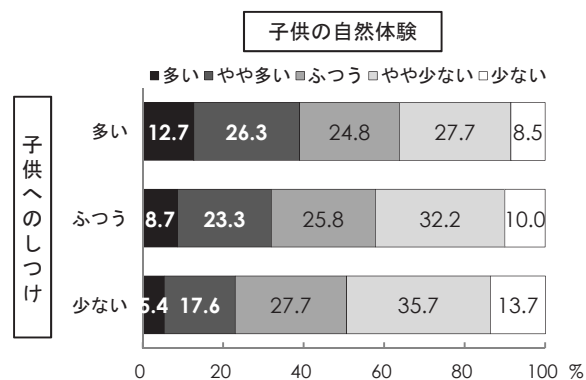


図 3-5-5 子供へのしつけと子供の自然体験の関係

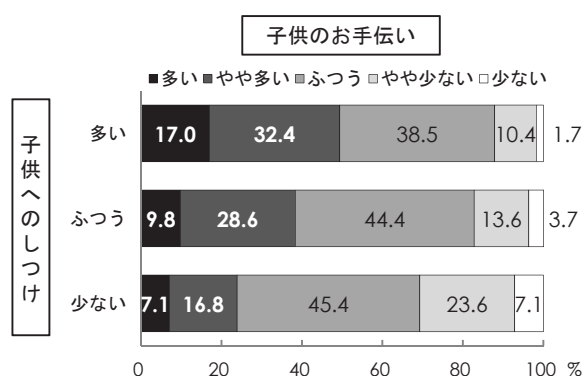


図 3-5-6 子供へのしつけと子供のお手伝いの関係

3.5.3 世帯年収や教育費と子供の体験活動等の関係

はじめに小学生の保護者の学校以外にかかる教育費と世帯年収を学年別に整理した（図 3-5-7、図 3-5-8）。学年が上がるにつれて、学校以外にかかる教育費の金額は上昇していた。

続けて世帯年収と子供の体験活動についてクロス集計を行った（図 3-5-9～3-5-11）。生活体験、自然体験、お手伝いの区分は先述のとおりである。生活体験ならびにお手伝いは世帯年収が 200 万円未満で少なく、世帯年収 200 万円以上から 1,000 万円未満では大きな違いはないが、世帯年収 1,000 万円以上 1,200 万円未満で低減し、世帯年収 1,200 万円以上で多くなる傾向がみられた。世帯年収が大きくなるほど子供の自然体験は多くなる傾向がみられた。

さらに世帯年収ならびに 1 か月にかかる学校以外の教育費と、公的機関や民間団体が行う自然体験活動に関する行事（図 3-2-1）や、家族や友だちと行う自然体験活動（図 3-2-9）への 1 年間の参加状況についてクロス集計を行った（図 3-5-12、図 3-5-13）。

「児童館や公民館などの公的施設」への参加割合は世帯年収 200 万円以上 400 万円未満、「PTA・自治会・町内会などの地域の団体」への参加割合は世帯年収 400 万円以上 600 万円未満、「子供会やスポーツ少年団などの青少年団体」への参加割合は世帯年収 600 万円以上 800 万円未満の保護者で最も大きかった。一方で「スポーツクラブや学習塾」への参加割合は、世帯年収が 1,200 万円以上で最も大きかった。世帯年収が上昇するにつれて、家族や友だちなどと一緒に自然体験活動への参加割合は上昇していた。

1 か月にかかる学校外の教育費が「支出は全くない」場合では「PTA・自治会・町内会などの地域の団体」、「1 万円未満」では「子供会やスポーツ少年団などの青少年団体」、「1 万円以上 2 万円未満」「2 万円以上 3 万円未満」、「3 万円以上 5 万円未満」、「5 万円以上」では「スポーツクラブや学習塾」への参加割合が最も大きかった。

平成 28 年度と同様に、世帯年収によって子供が自然体験活動を行う機会や内容に相違が生じていることが示唆された。

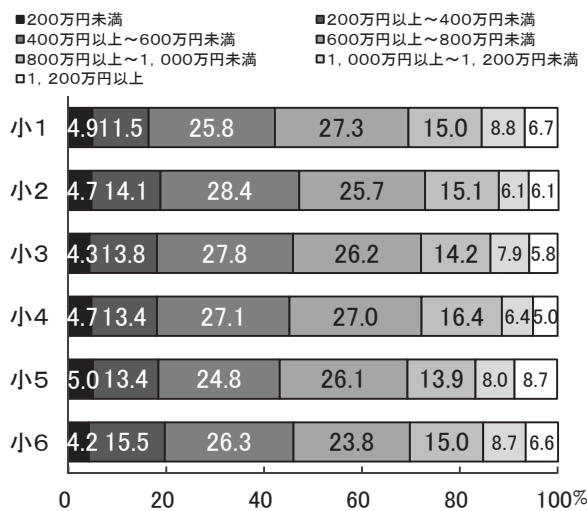


図 3-5-7 世帯年収（学年別）

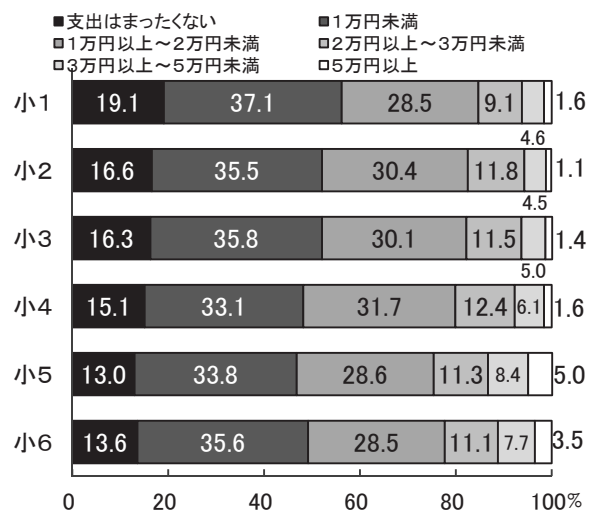


図 3-5-8 学校以外にかかる
1 か月の教育費（学年別）

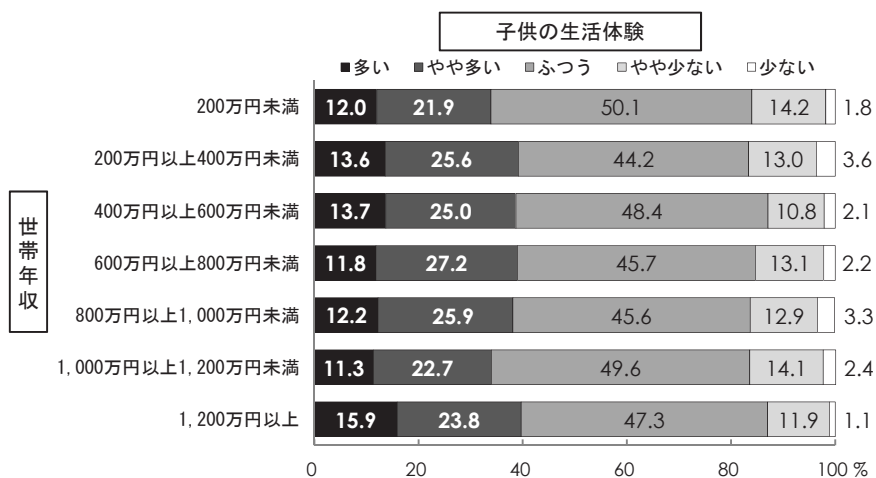


図 3-5-9 世帯年収ごとの子供の生活体験

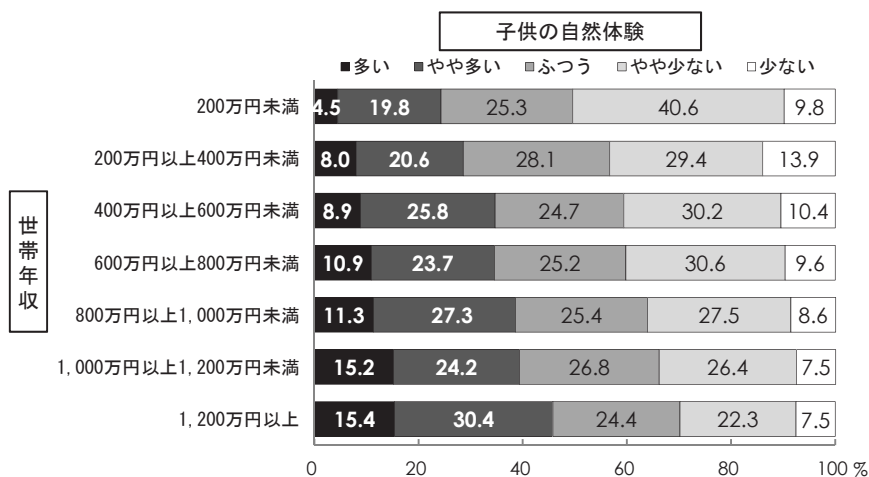


図 3-5-10 世帯年収ごとの子供の自然体験

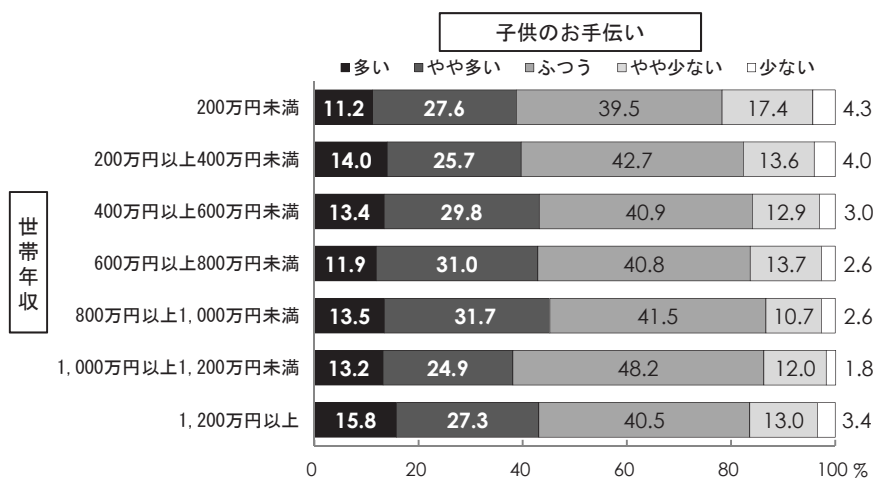


図 3-5-11 世帯年収ごとの子供のお手伝い

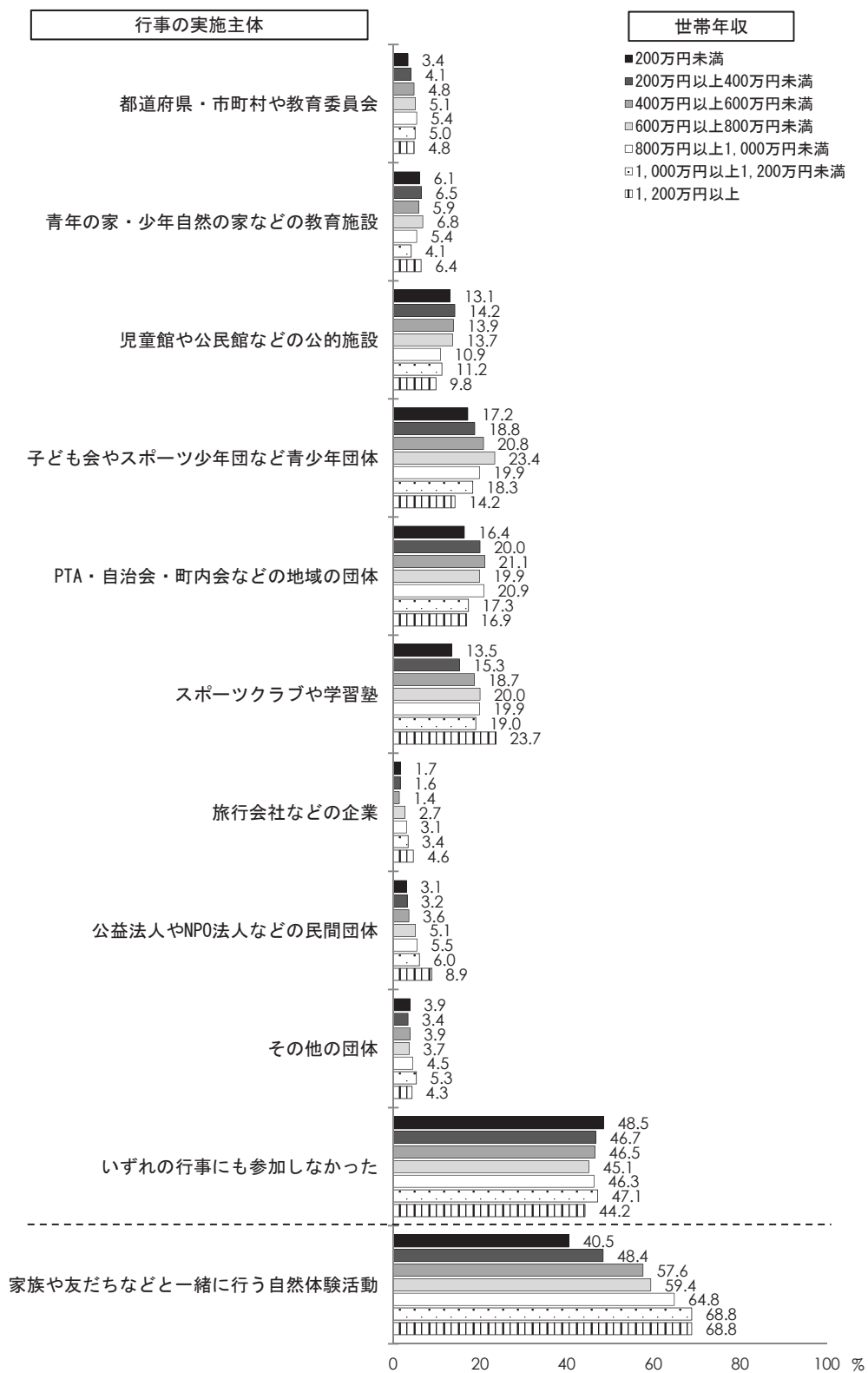


図 3-5-12 自然体験活動に関する行事等に参加した割合（世帯年収別）

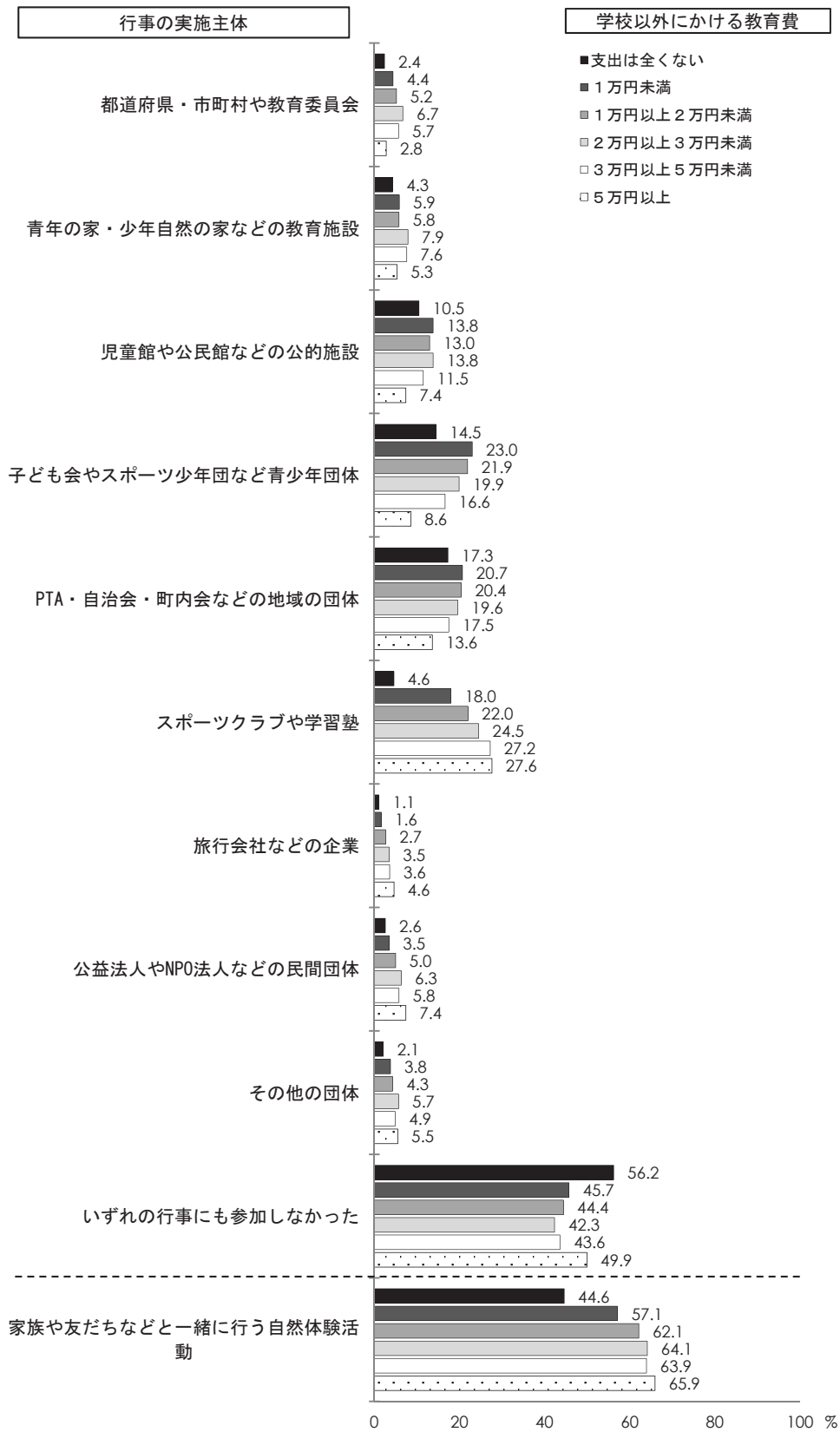


図 3-5-13 自然体験活動に関する行事等に参加した割合（学校以外にかかる1か月の教育費別）

第 4 章 考察

第4章 考察

4.1 考察① 青少年の外遊び体験の意義—探究力との関連を踏まえて—

文教大学大学人間科学部人間科学科 教授 金藤 ふゆ子

1. 問題の所在と目的

本稿は、本調査を基に青少年の外遊びの意義を児童の探究力との関連で検討することを目的としている。ここでは外遊びの意義の検討にあたり、就学前からの保護者の外遊びに関する働きかけ（以下、保護者の外遊びの奨励とする）や、子どもの外遊びの好き嫌い（以下、児童の外遊び志向性とする）が子どもの探究力の育成にどの程度の影響力を有しているかを分析し、その意義を検討する。

青少年の外遊びに関する研究は数多くあるが 2000 年以降の主な先行研究としては、小学生の平日の外での遊び・スポーツの時間の実態に関する研究がある（ベネッセ教育総合研究所 2014）。そこでは近年、小学生の平日の外遊び・スポーツの時間の短い児童が増加し、同じく遊び時間も減少傾向にある現況を明らかにした。具体的には児童の平日の外遊び・スポーツ時間は 2008 年調査では平均で約 45 分であったが、2013 年調査では 40.7 分に減少した。同様に平日の外遊び・スポーツ時間が 30 分以下と回答する児童は 2008 年調査で約 60%であったが、2013 年調査では 63.8%に増加したといった変化である。平日の外遊び・スポーツ時間の減少傾向は、小学生ばかりではなく中高生でも顕著であった。なお、当該研究では子どもの学校外の運動格差を生じさせる要因が検討されており子どもの学力、保護者の所得などが影響することを明らかにした（ベネッセ教育総合研究所 2009）。

他方、外遊びの効果を検証しようとする研究は多くの蓄積がみられる。放課後や休み時間、体育の授業において小学生の外遊びを促す介入が児童の身体活動量に及ぼす効果を検討する研究や（上地・丹・森田ら 2008, 根本・稲山・北島ら 2017, 山口・家倉・本山ら 2018）、外遊びと咀嚼との関連を検討する研究（巽・佐々木・叶谷・佐藤 2010）、冬の外遊びと屋内遊びについて小学生の身体的・心理的効果を分析する研究（徳田・吉田・青木ら 2017）などがある。概ね、小学生の外遊びは身体的活動量を増加し、児童の運動能力や咬合力の向上に寄与することが指摘されている。

就学前の幼児について外遊びを含む保護者の運動に対する働きかけや意識、親自身の行動が、幼児や就学後の児童の運動能力の向上に影響を及ぼすことも検討されてきた（塩野谷 2016, 小泉・真鍋 2018, 平野 2019）。海外の研究においても子どもの運動習慣の形成に親の身体活動レベルが影響するとの指摘がある（Fuemmeler, Anderson & Måsse 2011）。それらの先行研究は、就学前や児童の外遊びが就学前や就学後の子どもの身体的活動量や身体能力に強く関連すること、さらに保護者の意識や行動が幼児や就学後の児童の運動能力・運動習慣の形成に関連することを示唆している。

しかし、就学前からの保護者の外遊びの奨励や、児童の外遊びの志向性と児童の探究力との関連を分析する研究は筆者の管見する限り見られない。本稿は児童の探究力に対する就学前からの保護者の外遊びの奨励と幼児期の外遊び志向性の重みを明らかにすると共に、児童の自然体験や読書、お手伝いなどの日常の生活行動の規定力もあわせて検討する。その分析結果に基づき、就学前や児童期における外遊びの意義を考察する。

2. 研究方法

本調査（「青少年の体験活動等に関する意識調査」）は小・中・高校生など児童生徒対象調査と共に、保護者対象調査を実施している。小学4年生から6年生の児童対象調査は、その保護者調査との対応付けが可能である。本節の分析は保護者の外遊びの奨励や児童の外遊びの志向性が児童の探究力に及ぼす影響を検討するため、保護者と児童の対応付けが可能な計6,462サンプルの児童、及びその保護者のデータを用いた。児童対象調査、保護者対象調査の総計回答数は12,924名である。なお、本分析はサンプリングによる重み付けを行ったデータを用いて全ての分析を行った。

ここでは、児童の探究力を従属変数とし、説明変数として児童の性別・学年の属性の他、児童の過去1年間の自然体験活動、日常の読書量やお手伝い経験、さらには就学前からの保護者の外遊びの奨励と児童の外遊び志向性を用いた二項ロジスティック回帰分析、クロス分析、及び検定を行う。分析にあたっては、統計解析ソフト IBM SPSS Statistics version 25 を用いた。

2. 1 児童の探究力

児童の探究力は、前掲第3章3.3.4 および参考2において尺度の信頼性・妥当性の検討がなされた。本節はその探究力に関する計16項目を用いて合成変数を作成し、それを探究力総合点として活用する。なおここでは小学4～6年生のデータのみを用いるため、探究力総合点の分類は3学年のみの平均値 ± 0.5 ×標準偏差 (Mean ± 0.5 SD) を基準として3群（低群・中群・高群）を分類した。

2. 2 児童の個人的な自然体験，及び組織的な自然体験

保護者対象調査では、2018年4月から調査時点までの児童の学校の授業や行事以外での自然体験活動を問う計13項目を設定した。同じく同調査は、2018年4月から調査時点までの児童の公的機関や民間団体等の行う自然体験活動への参加経験を計9項目で問っている¹。前者の問いは主に児童の家族などプライベートなつながりの中で行われる自然体験であり（以下、個人的自然体験とする）、後者は教育委員会や少年自然の家など公的施設・機関や民間企業等の企画するいわば外部組織・機関によって企画される組織化された自然体験（以下、組織的自然体験とする）と捉えることが出来るだろう。調査では前者の個人的自然体験を3件法で、後者の組織的自然体験の有無を2値データで回答を得ている。本分析ではそれぞれの合成変数を作成し、前者を個人的自然体験得点、及び後者を組織的自然体験得点とした。

2. 3 児童の日常の読書量，及びお手伝いの経験

児童対象調査では、調査時点までの1ヶ月間の読書量、及び普段のお手伝いの経験を尋ねている。1ヶ月の読書量は0.殆ど読まない、1.1～2冊、2.3～5冊、3.6～9冊、4.10冊以上の5択の選択肢でデータを収集している。お手伝いの経験は1.全くしていない、2.あまりしていない、3.時々している、4.いつもしている の4件法で計9項目のデータを収集

¹ 保護者対象調査の問6、問7を参照

した。ここではお手伝いの経験を他の変数と同様に9項目の合成変数を作成し、お手伝い経験得点とした。

2.4 児童と保護者の属性

児童の性別、学年、保護者の年齢、保護者の別などの属性は表1に示す通りである。児童の男女比はほぼ同率で50%あり、児童の学年も4～6年生の割合も各学年が約33%あり性別・学年の偏りは見られない。一方、保護者は年齢層で見ると40歳代前半が最も多く全体の約40%を占め、母親が全体の90%強を占めて多い。なお、説明変数に用いる属性は児童の性別、学年を用いた。

表1 児童調査・保護者調査における調査対象者の属性

調査対象者の属性		%
児童の性別	男子	47.2%
	女子	51.1%
	不明・無回答	1.7%
児童の学年	4年	32.8%
	5年	33.1%
	6年	33.6%
	不明	0.6%
保護者の年齢	20～29歳	0.5%
	30～34歳	6.8%
	35～39歳	23.2%
	40～44歳	37.3%
	45～49歳	24.3%
	50歳以上	5.7%
	不明	2.2%
保護者の種別	父親	7.1%
	母親	91.5%
	その他・不明	1.4%

n=6,462

2.5 保護者の就学前からの外遊びの奨励と児童の外遊び志向性

保護者対象調査では、就学前からの保護者からの外遊びの奨励の程度を問うている。具体的には子どもを育てる上で「積極的に外遊びをすること」をどの程度身につけさせようとしてきたかを尋ねた。回答は4.熱心にしてきた、3.少ししてきた、2.あまりしてこなかった、1.全くしてこなかったの4件法でデータを収集した。

児童の就学前の外遊び志向性は、同じく保護者の観点からの評価であり、回答は4.とても好きだった、3.好きだった、2.あまり好きではなかった、1.嫌いだったの4件法でデータをj得ている。なお、本分析で取りあげる上記の調査項目は実際の調査票では選択肢番

号が逆転している。本分析では保護者の外遊び奨励や、児童の外遊び志向性が高い者ほど点数が高くなるように数値の変換を行った。

3. 分析結果

3. 1 児童の探究力、個人的自然体験、組織的自然体験、1ヶ月の読書量、お手伝いの実態

表2は、児童の探究力、個人的自然体験活動、組織的自然体験活動、1ヶ月の読書量、ふだんのお手伝いの経験得点の記述統計、及び性別と学年別の検定結果を示している。

表2 児童の探究力総合点、個人的自然体験、組織的自然体験、1ヶ月の読書量、お手伝いの経験得点の記述統計と性別・学年別検定結果

	探究力総合点		個人的自然体験得点		組織的自然体験得点		1ヶ月読書量		お手伝い経験得点	
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD
性別										
男子	30.71	8.04	19.26	4.58	1.01	1.26	1.74	1.40	23.68	5.22
女子	32.33	7.37	18.98	4.49	0.93	1.22	2.13	1.34	25.20	5.01
t 検定結果	*** $p<.001$, 女子>男子		*** $p<.001$, 男子>女子		*** $p<.001$, 男子>女子		*** $p<.001$, 女子>男子		*** $p<.001$, 女子>男子	
学年										
4年生	31.11	7.95	19.94	4.58	0.97	1.22	2.11	1.42	24.47	5.08
5年生	31.50	7.66	19.16	4.56	0.99	1.28	1.97	1.36	24.40	5.08
6年生	31.98	7.61	18.25	4.37	0.95	1.23	1.75	1.34	24.59	5.33
分散分析、及び多重比較の結果	*** $p<.001$, 5>4, 6>4, 6>5		*** $p<.001$, 4>5, 4>6, 5>6		*** $p<.001$, 5>4, 4>6, 5>6		*** $p<.001$, 4>5, 4>6, 5>6		*** $p<.001$, 4>5, 6>4, 6>5	

注：分散分析の多重比較は Bonferroni 検定を行った。

性別にみると児童の探究力は検定の結果有意差があり、男子よりも女子が高い。学年別にみると探究力は学年が上がるにつれて高くなり、有意差が見られた。学年が上がるに従って児童の探究力が向上するのは、児童の学習経験の蓄積の多寡によるものと考えられ合理性はある。

他方、個人的自然体験、組織的自然体験共に性別分析では女子より男子の得点が高い。学年別分析では個人的自然体験は4年生が、組織的自然体験は5年生が最も高い結果となった。1ヶ月の読書量は学年が低い程多い傾向にある。同様に日頃のお手伝い経験をみると、性別分析では女子が男子に比べて高く、学年別分析では6年生が最も高い結果であった。

3. 2 就学前からの保護者の外遊び奨励と児童の外遊び志向性の実態

就学前からの保護者の子どもに対する外遊びの奨励は、「少ししてきた」「熱心にしてきた」とする肯定的回答者は全体の約 70%強存在する(表 3)。一方、約 30%の保護者は「あまりしてこなかった」「全くしてこなかった」の否定的回答であった。更に保護者の評価によれば、就学前の子どもは外遊びが「好きだった」「とても好きだった」とする肯定的回答者は約 90%強存在する。反対に子どもは外遊びが「あまり好きではなかった」「嫌いだった」と否定的回答をする者は 10%強であった。

表 3 就学前の保護者の外遊び奨励と児童の外遊び志向性の度数分析

保護者の外遊びの働きかけ	%
1. 全くしてこなかった	1.7%
2. あまりしてこなかった	24.7%
3. 少ししてきた	44.6%
4. 熱心にしてきた	28.0%
不明	1.0%
児童の就学前の外遊び志向性	%
1. 嫌いだった	0.5%
2. あまり好きではなかった	10.5%
3. 好きだった	40.8%
4. とても好きだった	47.2%
不明	0.9%

n=6,462

3. 3 児童の探究力の規定要因分析—外遊びの効果の検討—

子どもの探究力の規定要因として、保護者の就学前からの子どもへの外遊び奨励や子どもの外遊び志向性の重みを検討した。ここでは従属変数として子どもの探究力を取りあげ、説明変数として保護者の外遊び奨励、児童の外遊び志向性の他、児童の個人的自然体験活動、組織的自然体験活動、1ヶ月の読書量、日頃のお手伝い経験など児童の経験・行動に関する変数、及び児童の性別、学年の属性を用いる二項ロジスティック回帰分析を行った。

従属変数を本分析では前述のように平均値±0.5×標準偏差の基準で3群に分け、探究力高群と中・低群の2群を用いた。高群は探究力総合点が36点以上の児童であり、中群・低群は35点以下の児童である。変数選択にあたっては、尤度比による変数増加法を用いた。表4はその二項ロジスティック回帰分析の結果により各変数の偏回帰係数、標準誤差、有意確率、オッズ比とその95%信頼区間を示したものである。

表 4 児童の探究力の規定要因分析：二項ロジスティック回帰分析結果
(従属変数は、探究力総合点高群と中・低群の2群)

説明変数	β	標準誤差	有意確率	Exp(B)	Exp(B)の95%信頼区間	
					下限	上限
1.児童学年(x1)	.125	.002	$p<.001$	1.133	1.129	1.138
2.個人的自然体験得点(x2)	.003	.000	$p<.001$	1.003	1.002	1.004
3.組織的自然体験得点(x3)	.019	.001	$p<.001$	1.019	1.017	1.021
4.児童の外遊び志向性(x4)	.052	.002	$p<.001$	1.053	1.048	1.058
5.児童の1ヶ月読書量(x5)	.271	.001	$p<.001$	1.311	1.309	1.314
6.日頃のお手伝い得点(x6)	.178	.000	$p<.001$	1.195	1.194	1.196
7.保護者の外遊び奨励(x7)	.090	.002	$p<.001$	1.094	1.090	1.099
8.定数	-3.773	.013	$p<.001$.023		

注：変数選択は尤度比による変数増加法を用いた。モデル係数のオムニバス検定 $p<.01$, 判別率的中率は 67.9%, Cox-Snell $R^2=.175$, Nagelkerke $R^2=.244$

分析の結果、計8つの説明変数の中から計7つの変数が抽出された。モデルは統計的に有意であった ($p<.01$, 判別率的中率=67.9%, Nagelkerke $R^2=.244$)。児童の性別は変数選択の結果削除された。7つの変数はいずれも有意確率 0.1%未満で有意差があり、プラスの影響力を有している。

最も偏回帰係数の大きい変数は、児童の1ヶ月の読書量($\beta=.271$, OR=1.311, CI:1.309-1.314, $p<.001$)であり、次いで日頃のお手伝い得点($\beta=.178$, OR=1.195, CI:1.194-1.196, $p<.001$)であった。次いで児童の学年($\beta=.125$, OR=1.133, CI:1.129-1.138, $p<.001$)、保護者の外遊び奨励($\beta=.090$, OR=1.094, CI:1.090-1.099, $p<.001$)や、児童の外遊び志向性($\beta=.052$, OR=1.053, CI:1.048-1.058, $p<.001$)の係数の値が大きい。同様に個人的自然体験得点($\beta=.003$, OR=1.003, CI:1.002-1.004, $p<.001$)や、組織的自然体験得点($\beta=.019$, OR=1.019, CI:1.017-1.021, $p<.001$)も探究力の向上に対してプラス要因として働く。但し、児童の自然体験に関する変数は児童の日頃の読書やお手伝い、就学前の外遊び志向性や保護者の外遊び奨励ほどの規定力はない。

保護者の就学前からの子どもへの外遊び奨励と子どもの外遊び志向性別に児童の探究力3群との関連をクロス分析すると図1、図2の結果となった。保護者が就学前から子どもの外遊び奨励を行ったと肯定的回答をする保護者程、児童の探究力低群の割合は少なく、反対に児童の探究力高群の割合は多いという関連が認められる。就学前の児童の外遊びが志向性と探究力3群間との間にも同様の関連がある。就学前の外遊びが好きであった者ほど、児童期の探究力低群の割合は減少し、中・高群の割合が増加する傾向が認められる。

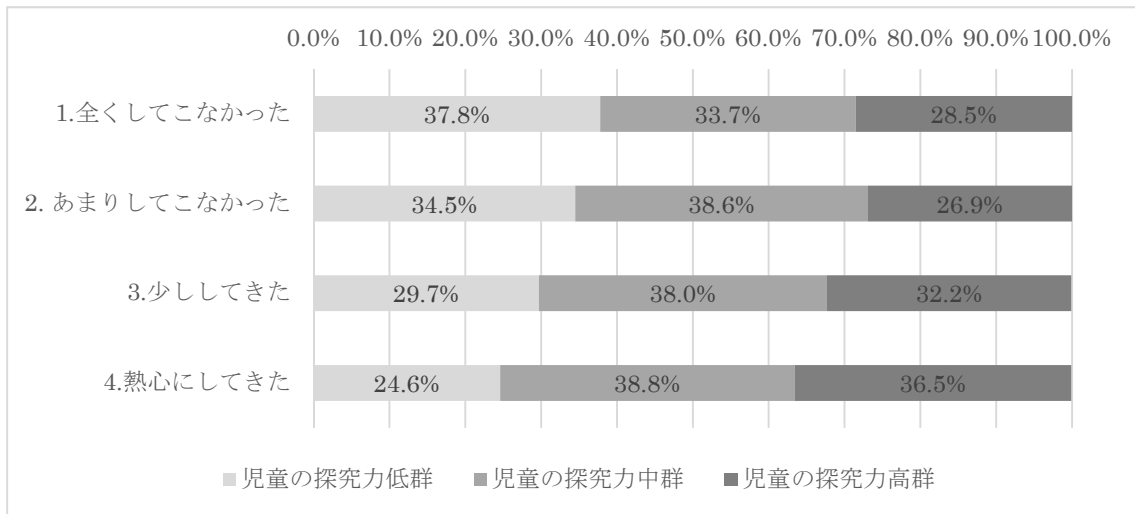


図1 就学前からの保護者の児童への外遊び奨励別にみた児童の探究力
 注：図1・2の児童の探究力3群は、3学年の探究力総合点の Mean±0.5SD で分類した。3群の得点は低群≤27, 28≤中群≤35, 36≤高群、有効%に占める各群の割合は低群 32.7%,中群 41.4%, 高群 26.0%である。

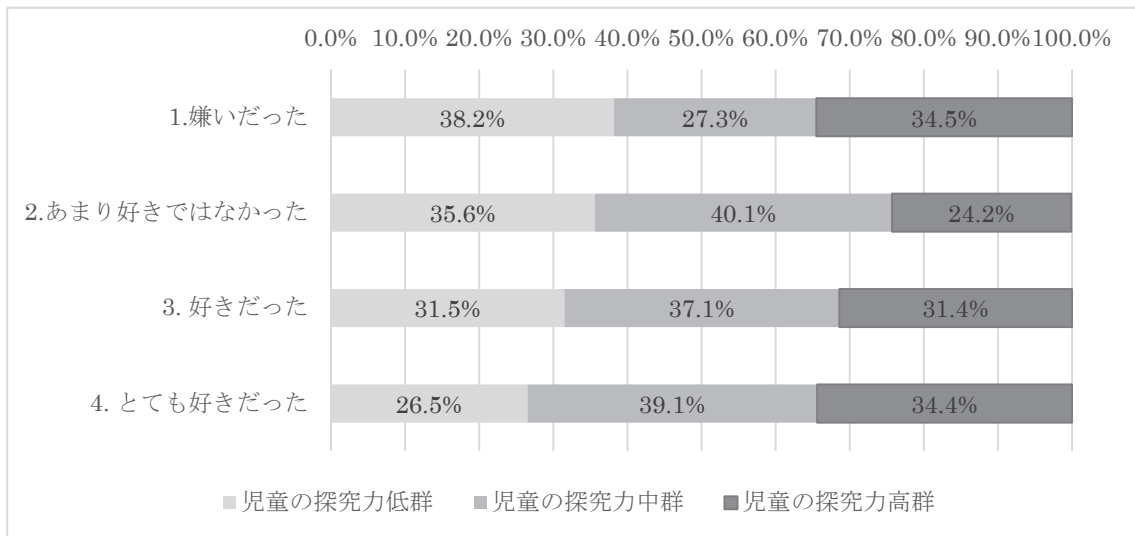


図2 就学前からの子どもの外遊び志向性別にみた児童の探究力

4. 考察

本分析により児童の探究力に対する就学前からの保護者の外遊び奨励や就学前からの児童の外遊び志向性の規定力が、児童の属性や日常の読書やお手伝い経験などの生活体験、自然体験などの変数の重みと共に明らかになった。分析結果によれば就学前からの保護者の外遊びを奨励する行為は、就学後の児童の探究力の向上にプラスの影響を及ぼしており、同様に就学前からの子どもの外遊び志向性も児童の探究力にプラス効果を及ぼすことから、就学前からの保護者の外遊びの働きかけや幼児の外遊びは極めて児童の発達に重要な意味

を有していると考えられる。

ここでの分析結果は子どもの就学前からの保護者の運動に関する意識や行動が幼児や児童の運動能力の向上に影響するという従来の研究(Fuemmeler & Anderson, 2011, 塩野谷 2016, 小泉・真鍋 2018, 平野 2019)に対し、保護者の外遊びの奨励が児童の探究力向上にも関連するという新たな知見を加えるものと言えよう。

他方、児童の探究力の向上に対して最も大きな影響力を有する変数は本分析では児童の1ヶ月の読書量や日頃のお手伝い経験であった。それらの要因は就学前からの保護者の外遊び奨励や児童の外遊び志向性を超える重みがある。この結果は児童の日常の読書の重要性を改めて示すものである。あわせて児童の日常の家での料理や掃除のお手伝いや、ペットの世話や植物の水やりなどのお手伝いが、児童の探究力の向上にとって極めて重要な活動であることが示された。そうした日常の読書や日頃のお手伝い経験を重ねる中で、児童は「分からないことはそのままにしないで調べる」、「自分で計画を立てる」、「人から言われなくても自分から進んでやる」、「誰とでも協力する」といった探究力を構成する要素の素地を培うと考えられる。

児童のさまざまな個人的な自然体験や、教育委員会や NPO などの計画・実施する組織的な自然体験への参加は児童の探究力向上にプラス要因として働く結果も着目すべきものと考えられる。その両者の関連は今後もさらに分析を重ねる必要があることは言うまでもないが、児童の自然体験活動の推進の意義を改めて示していると考えられる。

なお、ロジスティック回帰分析の変数選択の過程で、児童の性別が説明変数から除外されたことは妥当性のある結果と言えよう。度数分析や探究力総合点の検定において児童の性差が認められたが、児童の探究力の判別・予測においては一概に男子より女子の方が探究力が高いとは言えないことを示している。

最後に本分析に残された課題を述べる。本分析は無作為抽出による約 6,500 サンプルを超える児童とその保護者のマッチング可能な極めて貴重なデータによって行われた。その結果、就学前の保護者の外遊びの奨励の行為や就学前の幼児の外遊び志向性と、児童の探究力との関連が検証された。しかし、本調査はあくまでも横断的調査であり限界があることは否定できない。保護者の外遊びの奨励や子どもの外遊びの志向性と児童の探究力の関連は経年変化をみるなど縦断的調査によってさらに詳細に検討する必要がある。また本分析では各変数間の因果関係は厳密には確かめられてはいない。あくまでも変数間の関連の分析に留まるものである。因果関係を同定した分析や変数の交互作用の検討は今後の発展的な研究課題の一つと考えられる。

5. 引用文献

- ベネッセ教育総合研究所 (2014), 『第2回放課後の生活時間調査 子ども達の時間の使い方[意識と実態]』, https://berd.benesse.jp/up_images/research/2014_houkago_all.pdf (2020年12月閲覧)
- ベネッセ教育総合研究所(2009), 佐藤暢子,子どもの「運動格差」を生じさせるものは何か? 『第1回学校外教育活動に関する調査 2009』所収, pp.1-6
- Fuemmeler, B.F., Anderson, C.B. & Mâsse, L.C. (2011), "Parent-child relationship of directly measured physical activity". *Int J Behav Nutr Phys Act* 8, 17

- 上地広昭・丹信介・森田俊介・木下勝統・竹中晃二(2008), 小学生における体育授業および
休み時間の外遊びへの参加が身体活動量に及ぼす影響, 山口大学教育学部 教育論叢第
1部・第2部 人文科学・社会科学・自然科学 58, pp. 149-153
- 小泉桂右・真鍋求 (2018), 幼児と父親の身体活動量の相関関係について, 千葉大学国際教
養学部紀要第2巻, pp.47-53
- 平野朋枝(2019), 幼児期における親の運動に対する意識と学童期の運動能力との関係, 名
古屋短期大学紀要第57号, pp.75-80
- 根本裕太・稲山貴代・北畠義典・荒尾孝(2017), 小学5年生を対象とした身体活動量増加を
促す授業介入効果の検討, 運動疫学研究, 19(1), pp. 12-23
- 巽夕起・佐々木晶世・叶谷由佳・佐藤千央 (2010), 小学生の咀嚼と生活習慣に関する研究,
日本健康医学会雑誌 19(1), pp.16-22
- 徳田真彦・吉田昌弘・青木康太郎・竹田唯史・吉田真 (2017), スノーゲームの身体的・心
理的効果に関する研究(2) 小学生を対象とした調査の結果から, 北翔大学北方圏生涯ス
ポーツ研究センター年報,8巻, pp.1-9
- 塩野谷祐子 (2016), 幼児の身体活動に関する親の態度に影響する要因についての検討, 和
洋女子大学紀要第56集, pp.75-84
- 山口奎・家倉智貴・本山光・本山司・岡田良平・長根わかば・河村愛美・本山貢 (2018),
小学生を対象とした基礎運動能力向上プログラムの実践と効果に関する研究

4.2 考察② 子どもが屋外で過ごす時間と肥満および近視との関連の分析

国立研究開発法人国立成育医療研究センター
社会医学研究部 行動科学研究室 室長 加藤 承彦

1. 本分析の目的と意義およびその背景

本節では、『青少年の体験活動等に関する意識調査』のデータを用いて、子どもたちが外で過ごす時間が健康とどのように関連しているのかを分析した。子どもが屋外で過ごす時間の経年変化を記述した全国調査のデータはないが、小学六年生を対象とした Itoi らの研究では、1999 年と比較して、2009 年では、子どもたちが外で遊ぶ時間や歩数などが減少していることが観察されている(Itoi, Yamada, Nakae, & Kimura, 2015)。平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果によると、体育の授業を除いた一日平均 60 分以上運動している子どもの割合は、小学五年生の男子で 54%、女子で 31%、中学二年生の男子で 84%、女子で 62%だった(スポーツ庁, 2018)。テレビゲームやスマートフォンやタブレットなどの電子機器の普及や少子化など子どもを取り巻く環境の変化により、日本の子どもが屋外で過ごす時間は近年減少していると推測される。そして、そのような変化は、子どもの成長に何らかの影響を与えていると思われる。よって、本研究では、子どもの肥満と近視に注目して分析を行った。

まず、肥満に関しては、国内外で相当数の研究や調査が実施されており、身体活動が活発であると肥満の抑制につながるとの知見が蓄積されている(Goldthorpe, Epton, Keyworth, Calam, & Armitage, 2020; Nakano, Hirano, Hotta, Fujita, & Yanagi, 2019)。また、先行研究によると、女子よりも男子のほうが身体活動量が多いことが Ishii らの研究で確認されており(Ishii, Shibata, Adachi, Mano, & Oka, 2017; Ishii, Shibata, Adachi, Nonoue, & Oka, 2015; Ishii, Shibata, Sato, & Oka, 2014)、学年が低いことや運動が好きなど運動量の多さと関連していた(Abe et al., 2020; Ishii et al., 2017)。Ochiai らの研究では、一人っ子または末っ子であることが肥満と関連しており、兄弟姉妹の数が多いと肥満が少ない傾向が見られた(Ochiai et al., 2012)。

近視に関しては、アジア諸国において、子どもの近視が増えていると言われており、その傾向は、日本でも確認されている(Morgan, Ohno-Matsui, & Saw, 2012)。学校保健統計の経年変化の分析では、小学生において、裸眼視力 0.7 未満の割合が、昭和 54 年では 8% から令和元年では、23%と倍以上になっている(文部科学省, na)。平成 30 年度・令和元年度の「児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書(近視に関する要因の解析)」によると、左右どちらかの裸眼視力が 0.7 未満の子どもの割合は、小学校一・二年生の男子で、11%、女子で 12%、中学生の男子で 44%、女子で 54%と学年が上がるにつれて割合が増える傾向が見られた(公益財団法人日本学校保健会, 2020)。また、女子の群において、近視の割合が早期に増加する傾向が見られている。近視に関する疫学研究は、日本国内ではほとんど実施されていないため、知見は限られているが、Yotsukura らの研究では、東京都の二つの小学校での近視の割合は、77%だった(Yotsukura et al., 2019)。米嶋らの研究(米嶋美智子, 福田美恵子, & 大谷直史, 2020)では、やはり、女子の割合が高いこと、学年が高いと近視が増える傾向が確認されている。戎らの研究(戎利光 et al., 2015)では、普段、家の外で遊んだり、スポーツをしている子どもやスポーツの団体に所属している子どもは、

比較的視力が良い傾向が見られた。杵田らの研究(杵田亨二 & 横山連, 2014)では、県ごとの平均日照時間と視力不良の子どもとの割合との関連を分析し、日照時間が長いほうが視力不良の割合が低いことを明らかにした。近年、海外の研究では、外で過ごす時間が長いと近視になりにくいとの知見が示されている(Grzybowski, Kanclerz, Tsubota, Lanca, & Saw, 2020)。日本では、子どもの近視が増加傾向であるものの、近視に注目した大規模な疫学研究は実施されておらず、よって、今回の分析では、子どもが屋外で過ごす時間と子どもの近視との関係に注目した。

2. 研究方法

2.1 対象者

本分析では、調査参加者のうち、小学校四年生から六年生までの子どもを対象に分析を行った(下記、流れ図参照)。小学校一年生から三年生までは保護者からの情報のみで、子どもからの情報がなく、中学生および高校生は保護者からの情報がないため分析の対象に含めなかった。調査の詳細に関しては、調査の概要を参照。

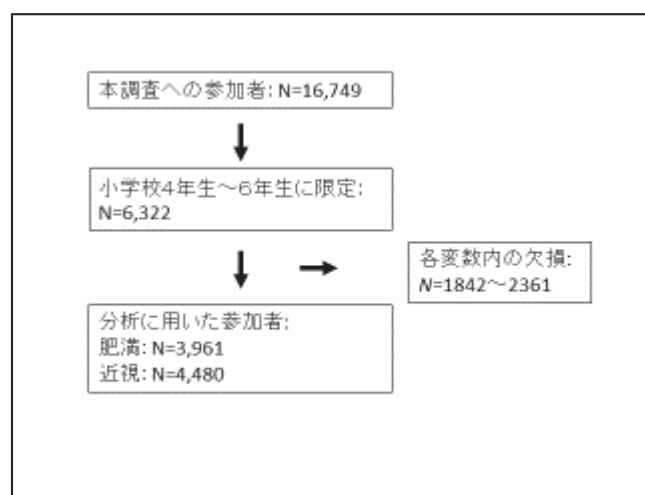


図1 分析対象者の選定の流れ図

2.2 曝露因子

本分析では、子どもが屋外で過ごす時間に注目して分析を行った。主な曝露因子として、保護者が回答した「あなたのお子さんは、一週間のうちで、日中に、屋外で過ごす時間はどのくらいありますか。(問 14-6)」を用いた。回答は、「ほとんどない」「1時間～5時間未満」「5時間～10時間未満」「10～15時間未満」「15時間～20時間未満」「20時間以上」の六択であったが、15時間以上の回答の割合が低かったため、「10時間以上」に統合し、四択とした。

2.3 アウトカム因子

本分析のアウトカム因子として、肥満と近視を用いた。肥満については、保護者が回答した「最近はかったあなたのお子さんの身長と体重を書いてください(問 15-1)」を用いた。身長、体重、年齢、性別の情報と日本小児内分泌学会の基準値を用いて肥満度を計算した(一般社団法人日本小児内分泌学会, 2011)。なお、肥満度を計算する際、子どもからも保護者からも性別の情報が得られなかった32名に関しては、欠損とした。近視について

は「あなたのお子さんは、近視を矯正するもの（眼鏡やコンタクトレンズ）を使用していますか（問 15-3）」を用いた。回答は、「（眼鏡やコンタクトレンズを）使用している」「使用していない」「使用していないが必要としている」の三択であった。

2.4 共変量

後述の回帰分析を行う際に共変量としてモデルに投入する社会的背景因子を選択した。子どもに関連する要因として、性別、学年（小学校四年～小学校六年生）、小学校入学前に外遊びが好きだったかどうか（「とても好きだった」から「嫌いだった」まで四択）、一ヶ月に読む本の数（「ほとんど読まない」から「10冊以上」の五択）、ふだん疲れていると感じること（「まったくない」から「よくある」までの四択）を選択した。親や世帯に関連する要因として、世帯収入（200万円以下から1000万円以上の六択）、家族構成（二人親世帯、三世代同居二人親世帯、ひとり親世帯、三世代同居ひとり親世帯）、調査対象の子どもを含めた子どもの数を選択した。

2.5 分析の方法

本分析では、日本小児内分泌学会が学童期では、肥満度20%以上が軽度肥満、30%以上が中等度肥満、50%以上が高度肥満と定義していることを用いて、20%以上と20%未満の「肥満」と「非肥満」の二値に集約した（一般社団法人日本小児内分泌学会, na）。また、近視に関しても、「メガネ・コンタクトレンズを使用している」と「使用していないが必要としている」を統合し、「近視あり」「近視なし」の二値に集約した。分析には二項ロジスティック回帰分析を用いて、共変量を調整した上で、日中に屋外で過ごす時間と肥満および近視との関連を検証した。まず曝露因子とアウトカム因子との間の単回帰分析を行い、その後、共変量を投入し重回帰分析を行い、オッズ比および95%信頼区間を算出した。その後、子どもの性別により層別解析を行った。

2.6 外で過ごす時間と生活習慣などとの関連の分析

追加の分析として、外で過ごす時間と平日の寝る時間、起きる時間、その他の生活習慣、子どもの自分への自信（例、「今の自分が好きだ」など）、青少年の団体に所属、塾通いの日数などとの関連を記述的に分析した。

3. 研究結果

3.1 分析対象の子どもおよび家庭の特徴

表1に、子どもが屋外で過ごす時間で分けた子どものおよび世帯の情報を示す。男子のほうが女子よりも外で過ごす時間が長い傾向や、小学校入学前に外遊びが好きだった子ほど現在も屋外で過ごす時間が長い傾向が見られた。また、学年が低いほど、また世帯の子どもの数が多いほうが屋外で過ごす時間が長い傾向が見られた。屋外で10時間以上過ごしている子どもは、読書量が少ない傾向およびふだん疲れを感じにくい傾向が見られた。屋外で過ごす時間がほとんど無い子どもは、疲れを感じやすい傾向が見られた。肥満度の平均値は、男子が3.4（標準偏差=16.4）で、女子が-2.5（標準偏差=13.6）だった。肥満に該当する男子の割合は15%、女子は6%だった。やせに該当する男子の割合は、2%、女子は6%だった。学年ごとの肥満の割合は、四年生で13%、五年生で11%、六年生で8%だった。「メガネ・コンタクトレンズを使用している」または「使用の必要がある」の割合は、男子で25%、女子は31%で、四年生で25%、五年生で37%、六年生で38%だった。

表1 一週間に外で過ごす時間で分けた子どもおよびその家族の特徴

	ほとんどない (n=862, 14%)		1～5時間未満 (n=3146, 50%)		5～10時間未満 (n=1276, 20%)		10～時間 (n=1038, 16%)	
性別								
女子	512	60%*	1,820	58%	635	50%	312	30%
男子	348	40%	1,311	42%	636	50%	723	70%
学年								
小学校4年生	219	25%	1,068	34%	472	37%	356	34%
小学校5年生	291	34%	1,080	34%	428	34%	357	34%
小学校6年生	352	41%	998	32%	376	29%	325	31%
小学校入学前に外遊びが好きだったか								
あまり好きではなかった/嫌いだった	196	23%	345	11%	101	8%	61	6%
好きだった	419	49%	1,384	44%	489	38%	295	29%
とても好きだった	243	28%	1,405	45%	685	54%	677	66%
一ヶ月に読む本の数								
ほとんど読まない	172	20%	586	19%	250	20%	249	24%
1～2冊	196	23%	636	20%	242	19%	218	21%
3～5冊	188	22%	739	24%	329	26%	237	23%
6～9冊	142	17%	539	17%	194	15%	153	15%
10冊以上	150	18%	607	20%	245	19%	162	16%
ふだん疲れていると感じること								
まったくない	151	18%	769	25%	372	30%	427	42%
ほとんどない	275	32%	1,067	34%	387	31%	291	29%
時々ある	288	34%	894	29%	359	29%	207	20%
よくある	133	16%	368	12%	140	11%	94	9%
世帯所得								
<200	42	7%	95	4%	42	5%	29	4%
200-399	111	17%	301	13%	125	13%	89	12%
400-599	178	28%	596	26%	221	24%	185	24%
600-799	137	21%	598	26%	239	26%	217	29%
800-999	83	13%	341	15%	159	17%	121	16%
1000-	93	14%	345	15%	140	15%	115	15%
家族構成								
二人親	572	66%	2,257	72%	906	71%	766	74%
三世帯同居二人親	122	14%	430	14%	166	13%	135	13%
ひとり親	116	13%	332	11%	152	12%	110	11%
三世帯同居ひとり親	52	6%	127	4%	52	4%	27	3%
子どもの数								
1人	147	17%	442	14%	157	12%	98	10%
2人	416	49%	1,547	49%	594	47%	486	47%
3人	219	26%	872	28%	391	31%	332	32%
4人以上	75	9%	267	9%	124	10%	115	11%
親の年齢								
20-34	52	6%	223	7%	108	9%	78	8%
35-39	183	22%	696	23%	342	27%	251	25%
40-44	308	37%	1,223	40%	448	35%	394	39%
45-49	239	29%	759	25%	303	24%	241	24%
>=50	55	7%	191	6%	61	5%	59	6%
身長(標準偏差)	146	(9)	144	(9)	144	(9)	144	(9)
体重(標準偏差)	39	(9)	37	(9)	37	(8)	37	(8)
肥満								
平均値(標準偏差)	1.7	(17)	0.1	(15)	0.4	(15)	1.4	(15)
やせ	29	4%	127	5%	44	4%	18	2%
標準	592	83%	2,242	85%	912	86%	764	87%
軽度肥満	46	6%	138	5%	55	5%	61	7%
中度肥満	34	5%	98	4%	38	4%	27	3%
重度肥満	10	1%	25	1%	11	1%	8	1%
近視								
メガネ・コンタクトなし	543	63%	2,197	71%	927	73%	825	80%
メガネ・コンタクトあり	270	31%	774	25%	292	23%	184	18%
メガネ・コンタクト必要	45	5%	140	5%	49	4%	20	2%

(*一週間に外で過ごす時間が「ほとんどない」群において、女子の割合が60%、男子の割合が40%。

3.2 ロジスティック回帰分析

次に表2でロジスティック回帰解析の結果を示す。肥満に関して、一週間に外で過ごす時間が「ほとんどない」群の子どものと比較した場合、長い時間を過ごしている子どもたちは肥満の確率が低い傾向が見られた。性別や学年などの背景因子を調整すると、関係性がさらに明確になり、「5～10時間未満」および「10時間以上」の群の子どもでオッズ比が0.6倍となっていた。外で過ごす時間を、カテゴリー変数ではなく順序変数として扱った場合、カテゴリーの変化に伴うオッズ比は、0.87 ($p=0.02$) だった。その他には、女子よ

りも男子で肥満の確率が高い傾向（オッズ比=3.1）、学年が高いほうが低い傾向（四年生と比較した場合、六年生のオッズ比=0.6）、本を沢山読む子どものほうが低い傾向（月10冊以上の群で、オッズ比=0.6倍）、疲れやすさを感じやすい子どもの群で高い傾向（オッズ比=1.4）、二人親の三世帯同居世帯および三世帯同居でないひとり親世帯で肥満の確率が高い傾向が見られた。世帯所得に関しては、顕著な傾向は見られなかった。

近視に関しても、外で過ごす時間が長い子どもの群で、確率が低い傾向が見られた。性別や学年などの背景因子を調整しても、この関係性は変わらず、一番長い群でオッズ比が0.6倍だった。外で過ごす時間を、カテゴリー変数ではなく順序変数として扱った場合、カテゴリーの変化に伴うオッズ比は、0.85 ($p<0.01$) だった。その他には、男子で近視の確率が低い傾向（オッズ比=0.8）、学年が高い群で確率が高い傾向、小学校入学前に外遊びが好きだった子どもほど確率が低い傾向、本をたくさん読むほど高い傾向、疲れを感じやすい子どもほど確率が高い傾向が見られた。世帯所得が高い群で確率が高い傾向が見られた。家族構成については、顕著な差は見られなかった。

表2 子どもが外で過ごす時間と肥満および近視との関連の分析

	肥満				近視			
	粗オッズ比		調整オッズ比		粗オッズ比		調整オッズ比	
	OR	95% CI	OR	95% CI	OR	95% CI	OR	95% CI
外で過ごす時間								
なし		ref		ref		ref		ref
1.0-4.9	0.76	[0.59,0.98]	0.75	[0.56,1.01]	0.72	[0.61,0.84]	0.81	[0.67,0.99]
5.0-9.9	0.75	[0.56,1.01]	0.61	[0.43,0.88]	0.63	[0.53,0.76]	0.76	[0.60,0.95]
10.0-	0.85	[0.62,1.15]	0.65	[0.45,0.94]	0.43	[0.35,0.52]	0.59	[0.45,0.76]
男子			3.13	[2.49,3.92]			0.81	[0.71,0.94]
学年								
小学校4年生				ref				ref
小学校5年生			0.82	[0.65,1.05]			1.72	[1.46,2.04]
小学校6年生			0.55	[0.42,0.71]			1.82	[1.54,2.16]
小学校入学前に外遊びが好きだったか								
あまり好きではなかった/嫌いだ				ref				ref
好きだった			0.86	[0.62,1.20]			0.85	[0.69,1.06]
とても好きだった			0.95	[0.68,1.32]			0.69	[0.55,0.86]
一ヶ月に読む本の数								
ほとんど読まない				ref				ref
1-2冊			0.68	[0.50,0.93]			1.08	[0.87,1.35]
3-5冊			0.73	[0.55,0.98]			1.17	[0.95,1.45]
6-9冊			0.64	[0.46,0.90]			1.28	[1.02,1.61]
10冊以上			0.58	[0.41,0.80]			1.70	[1.37,2.11]
ふだん疲れていると感じること								
まったくない				ref				ref
ほとんどない			1.05	[0.80,1.38]			1.20	[1.01,1.44]
時々ある			1.26	[0.96,1.67]			1.19	[0.99,1.43]
よくある			1.37	[0.98,1.92]			1.35	[1.07,1.69]
家族構成								
二人親				ref				ref
三世帯同居二人親			1.54	[1.16,2.04]			0.84	[0.68,1.03]
ひとり親			1.41	[0.99,2.02]			1.20	[0.94,1.54]
三世帯同居ひとり親			1.21	[0.74,2.01]			1.18	[0.84,1.65]
世帯所得								
<200			1.35	[0.79,2.31]			0.79	[0.53,1.17]
200-399			1.21	[0.86,1.71]			0.94	[0.74,1.18]
400-599				ref				ref
600-799			1.08	[0.81,1.44]			1.00	[0.83,1.21]
800-999			0.85	[0.60,1.19]			1.27	[1.03,1.57]
1000-			0.92	[0.65,1.29]			1.23	[0.99,1.52]
子どもの数								
1人				ref				ref
2人			0.95	[0.70,1.28]			0.84	[0.69,1.03]
3人			0.80	[0.57,1.11]			0.76	[0.61,0.95]
4人以上			0.73	[0.46,1.14]			0.79	[0.60,1.06]

注: OR=オッズ比、95%CI=95%信頼区間、Ref=参照群

3.3 性別による層別解析

次に表3で男子の群、女子の群に分けて解析を行った結果を示す。肥満に関して、女子の群では、外で過ごす時間が長い群でオッズ比が低い傾向が見られたが統計的に有意ではなかった。男子の群では、全体の傾向と同様に外で過ごす時間が長い群で肥満の確率が低い傾向が見られた（10時間以上の群で、オッズ比=0.6）。女子の群では、全体での分析の結果と傾向は変わらないものの、統計的に有意でなくなる変数が見られた。疲れやすさに関しては、女子の群で、「よくある」の群で肥満の確率が高かった（オッズ比=1.9）。世帯所得においては、一番低い群で、確率が高かった（オッズ比=3.0）。家族構成に関しては、女子の群では、三世代同居の二人親世帯が肥満と関連していたのに対して、男子の群では、三世代同居の二人親世帯と三世代同居でないひとり親世帯が肥満と関連していた。

近視に関しては、サンプルサイズの減少により統計的に有意でなくなる変数も見られたが、全体の傾向はほとんど変わらなかった。世帯所得に関しては、女子の群でのみ、高所得世帯の子ども近視の確率が高かった。

表3 男子女子で分けた、外で過ごす時間と肥満および近視に関連の分析

	肥満				近視			
	女子		男子		女子		男子	
	OR	95% CI	OR	95% CI	OR	95% CI	OR	95% CI
外で過ごす時間								
なし		ref		ref		ref		ref
1.0-4.9	0.94	[0.57,1.55]	0.64	[0.44,0.94]	0.82	[0.64,1.05]	0.76	[0.55,1.04]
5.0-9.9	0.83	[0.45,1.53]	0.49	[0.32,0.77]	0.76	[0.56,1.02]	0.72	[0.50,1.03]
10.0-	0.82	[0.38,1.78]	0.55	[0.36,0.85]	0.70	[0.48,1.03]	0.50	[0.35,0.72]
学年								
小学校4年生		ref		ref		ref		ref
小学校5年生	0.55	[0.36,0.85]	0.98	[0.73,1.31]	1.56	[1.25,1.96]	1.95	[1.52,2.51]
小学校6年生	0.38	[0.24,0.62]	0.64	[0.46,0.87]	1.98	[1.58,2.48]	1.67	[1.29,2.17]
小学校入学前に外遊びが好きだったか								
あまり好きではなかった/		ref		ref		ref		ref
好きだった	1.20	[0.64,2.23]	0.77	[0.51,1.14]	0.98	[0.73,1.32]	0.74	[0.54,1.01]
とても好きだった	1.09	[0.58,2.06]	0.96	[0.64,1.41]	0.81	[0.60,1.10]	0.58	[0.43,0.80]
一ヶ月に読む本の数								
ほとんど読まない		ref		ref		ref		ref
1-2冊	0.73	[0.40,1.32]	0.64	[0.45,0.92]	1.08	[0.78,1.49]	1.10	[0.82,1.49]
3-5冊	0.75	[0.42,1.33]	0.75	[0.53,1.05]	1.22	[0.90,1.67]	1.12	[0.83,1.51]
6-9冊	0.69	[0.38,1.27]	0.61	[0.40,0.93]	1.40	[1.02,1.92]	1.18	[0.84,1.67]
10冊以上	0.60	[0.33,1.10]	0.56	[0.37,0.85]	1.68	[1.23,2.30]	1.74	[1.28,2.39]
ふだん疲れていると感じること								
まったくない		ref		ref		ref		ref
ほとんどない	0.77	[0.46,1.31]	1.19	[0.86,1.65]	1.15	[0.89,1.47]	1.26	[0.97,1.63]
時々ある	1.16	[0.70,1.91]	1.33	[0.95,1.86]	1.29	[1.01,1.66]	1.02	[0.77,1.36]
よくある	1.89	[1.08,3.33]	1.12	[0.73,1.71]	1.32	[0.96,1.80]	1.36	[0.97,1.91]
家族構成								
二人親		ref		ref		ref		ref
三世代同居二人親	1.74	[1.08,2.81]	1.43	[1.01,2.03]	0.92	[0.71,1.20]	0.73	[0.53,1.01]
ひとり親	1.10	[0.57,2.14]	1.56	[1.02,2.41]	1.09	[0.78,1.53]	1.33	[0.93,1.91]
三世代同居ひとり親	0.91	[0.37,2.25]	1.35	[0.73,2.51]	1.13	[0.70,1.80]	1.24	[0.75,2.05]
世帯所得								
<200	3.03	[1.34,6.82]	0.63	[0.28,1.42]	0.97	[0.59,1.58]	0.64	[0.33,1.25]
200-399	1.61	[0.91,2.83]	1.03	[0.67,1.60]	1.06	[0.78,1.44]	0.78	[0.55,1.12]
400-599		ref		ref		ref		ref
600-799	1.00	[0.60,1.68]	1.14	[0.81,1.61]	1.08	[0.84,1.39]	0.90	[0.68,1.20]
800-999	0.60	[0.30,1.23]	0.93	[0.63,1.39]	1.58	[1.18,2.11]	0.98	[0.72,1.35]
1000-	0.80	[0.41,1.57]	0.97	[0.65,1.45]	1.30	[0.97,1.74]	1.14	[0.84,1.56]
子どもの数								
1人		ref		ref		ref		ref
2人	0.89	[0.52,1.51]	0.97	[0.67,1.40]	0.83	[0.63,1.08]	0.86	[0.64,1.18]
3人	0.82	[0.46,1.49]	0.79	[0.53,1.18]	0.72	[0.54,0.97]	0.81	[0.58,1.13]
4人以上	0.82	[0.38,1.75]	0.69	[0.40,1.21]	0.84	[0.57,1.22]	0.75	[0.48,1.16]

注:OR=オッズ比、95%CI=95%信頼区間、Ref=参照群

表4で、外で過ごす時間と生活習慣などとの関連を記述的に示す。外で過ごす時間が長い子どもは、比較的早く寝る傾向が見られた。しかし、朝も遅くまで寝ている傾向が見られた。よって、睡眠時間が長いと推測される。外で過ごす時間が長い子どもは、ボーイスカウトなどや野球などのスポーツ団体に所属している割合が高かった。一方、塾通いの割合は低く、外で過ごす時間がほとんどない子どもは、塾に週三日以上通っている割合が高かった。子どもが外で過ごす時間が10時間以上の子どもの群では、半分の親が子どもに対して「積極的に外遊びをすること」を心がけていた。外で過ごす時間が長い子どもは、放課後や休日に友達と遊ぶことが多く、友だちと喧嘩することがよくある割合も高かった。また、近所の人にほめられたり、注意されたり叱られる割合も高かった。外で過ごす時間が長い子どもは、学校および学校外の友だちが多いと答える割合が高く、「今の自分が好き」、「自分には自分らしさがある」、「体力には自信がある」に対して「とてもそう思う」と答える割合が高かった。勉強については、顕著な傾向は見られなかった。

表4 一週間に外で過ごす時間と生活習慣等との関連

	ほとんどない (n=862, 14%)	1~5時間未満 (n=3146, 50%)	5~10時間未満 (n=1276, 20%)	10~時間 (n=1038, 16%)
寝る時間				
<9:00	5% (*)	6%	5%	6%
9:00-9:59	47%	54%	56%	57%
10:00-10:59	40%	35%	33%	33%
11:00-	7%	5%	5%	4%
起きる時間				
<6:00	6%	5%	4%	4%
6:00-6:29	33%	33%	30%	31%
6:30-6:59	42%	46%	47%	44%
7:00-	20%	16%	18%	21%
子ども会やボーイスカウトなどに所属	8%	14%	16%	13%
野球などのスポーツ団体に所属	16%	22%	34%	61%
塾				
通っていない	51%	56%	57%	61%
1~2日	34%	31%	32%	32%
3日以上	14%	13%	11%	7%
インターネットやコンピューターゲームを 長時間やりすぎず、時間を守って遊ぶこと				
全くしてこなかった	3%	2%	1%	1%
あまりしてこなかった	21%	17%	16%	15%
少ししてきた	41%	44%	42%	44%
熱心してきた	34%	38%	40%	40%
積極的に外遊びすること				
全くしてこなかった	5%	1%	1%	0%
あまりしてこなかった	47%	27%	17%	11%
少ししてきた	38%	49%	47%	38%
熱心してきた	10%	23%	35%	50%
友だちとけんかすること				
ない	27%	24%	21%	19%
あまりない	37%	37%	35%	32%
時々ある	27%	29%	33%	38%
よくある	8%	10%	11%	11%
近所の人にほめられた、注意されたり、 叱られたりすること				
ない	38%	33%	29%	28%
あまりない	34%	34%	35%	34%
時々ある	22%	25%	28%	28%
よくある	7%	9%	8%	11%
放課後や休日に友だちと遊ぶこと				
ない	11%	5%	3%	3%
あまりない	20%	13%	9%	8%
時々ある	34%	35%	31%	25%
よくある	35%	47%	58%	64%
学校の友だちが多い方だ				
全く思わない	4%	2%	2%	1%
あまり思わない	19%	12%	9%	6%
少し思う	34%	33%	31%	28%
とても思う	43%	52%	57%	65%
学校以外の友だちが多い方だ				
全く思わない	20%	13%	10%	8%
あまり思わない	38%	36%	34%	29%
少し思う	24%	29%	30%	31%
とても思う	18%	22%	26%	33%
勉強は得意な方だ				
全く思わない	17%	14%	14%	15%
あまり思わない	32%	31%	30%	32%
少し思う	33%	36%	37%	35%
とても思う	18%	19%	19%	18%
今の自分が好きだ				
全く思わない	16%	11%	12%	9%
あまり思わない	29%	24%	24%	24%
少し思う	33%	38%	32%	36%
とても思う	23%	27%	32%	31%
自分には、自分らしさがある				
全く思わない	7%	5%	5%	4%
あまり思わない	17%	15%	14%	13%
少し思う	34%	33%	31%	31%
とても思う	42%	47%	50%	52%
体力には自信がある				
全く思わない	31%	18%	15%	9%
あまり思わない	33%	28%	23%	18%
少し思う	22%	30%	31%	28%
とても思う	13%	24%	31%	44%

(*)5%は、一週間に外で過ごす時間がほとんどない群において、寝る時間が9時前の子どもの割合を示す。

4. 考察

本分析において、小学校四年生から六年生の子どもが一週間に外で過ごす時間と肥満および近視との関連を分析した。結果、外で過ごす時間が長いと肥満および近視の抑制につ

ながる可能性が示唆された。特に近視に関しては、国内における先行研究が少なく貴重な知見が示された。

外で過ごす時間が長い子どもの群で、肥満の割合が低い傾向が見られた。先行研究の知見を基に、外で過ごす時間の多さが身体活動量の多さと相関していると仮定すると(根本裕太, 稲山貴代, 北畠義典, & 荒尾孝, 2011)、身体活動量の多さが肥満に対して抑制的に機能するという先行研究の結果と一致していた(Goldthorpe et al., 2020; Nakano et al., 2019)。本研究では、一週間に外で過ごす時間がほとんどない子どもの群と比較して、10時間以上過ごす子どもは、肥満の確率が35%低かった。特に男子でこの傾向が強かった。女子の群では、傾向は同じであったものの関係性が弱まり、統計的に有意ではなかった。これは、性別で分けたことにより分析対象者の数が減ったことおよび、女子では肥満の割合が低いことによるものと考えられる。外で過ごす時間がほとんどない男子は、特に注意が必要であるとの知見が示唆された。しかし、この研究は横断研究であるため、時間の順序が明らかではなく、外で過ごす時間が短いから肥満になりやすいのか、肥満になると外で過ごす時間が短くなってしまふのか明らかにできなかった。

その他の知見として、ふだんの疲れさやと肥満との間に関連が見られた。しかし、この相関についても、疲れやすいから運動をせず肥満になるという関係性、肥満になると疲れを感じやすくなるという関係性、または第三の要因(例えば、メンタルヘルスの不調)が外で過ごす時間の短さと肥満になりやすさの両方に影響を及ぼしている可能性が考えられる。読書量が多い群のほうが肥満の確率が低い、また家族構成による肥満の確率の違いという興味深い関連が見られた。これらの関係性については、親の学歴や地域性などが関連している可能性が考えられるが、今後、更に検討が必要である。

近視に関しては、外で過ごす時間が長い群の子どもほど、近視の確率が低かった。これは、近年、国外の研究で明らかになりつつある、外で過ごす時間が長いことが近視の抑制に効果的であるとの知見と一致している(Grzybowski et al., 2020)。この傾向は、男女に分けても変わらなかった。また、小学校入学前から外遊びが好きだった子どもの群に関しても、近視の確率が低い傾向が見られた。男女で分けたときに、男子の群でこの傾向が顕著に見られた。その他、男子の近視の確率が低い傾向、学年が上がるほど確率が高い傾向、読書の量が多いほど確率が高い傾向、兄弟数が多いほど確率が低い傾向が見られた。これらの知見は、先行研究の結果と一致している(Grzybowski et al., 2020; 米嶋美智子 et al., 2020)。

子どもが外で過ごす時間が長いことと生活習慣などとの記述的な分析からは、時間が長い子どもは睡眠時間が長いことやボーイスカウトやスポーツ団体に所属しており、学校内外に友だちが多いこと、友だちと喧嘩したり、近所の人にほめられたり叱られたりしている傾向が見られた。また、外で過ごす時間が短い子どもは塾に行っている割合が高かった。外で過ごす時間が長い子どもは、自分が好きだったり体力に自信があったり、自己肯定感が強い傾向が見られた。

本分析の弱みとして、まず親の学歴などが重要な社会背景因子が測定されておらず、それらの影響や関係性を考慮することが出来なかった。本調査は横断研究で時間的な順序が不明であるため、因果関係の特定は難しい。しかし、近視に関しては、メガネ・コンタクトレンズを使用しているから、外で過ごす時間が短くなるという関係性は、考えづらい。

また、調査票は自記式であるため質問によっては、正確さを欠く回答が混じっている可能性も考えられる。特に、近視に関しては、メガネ・コンタクトレンズの使用の有無および必要性の有無で測定しているため、近視以外の理由でメガネ・コンタクトレンズを使用しているケースが混じってしまっている可能性が考えられる。今後の研究では、裸眼視力の状況をより正確に測定できる方法を用いることが望ましい。世帯所得に関して、回答なしが多かったことが、回答なしのパターンがランダムでない場合、結果に何らかの影響を及ぼしていると考えられる。また、本調査では、メディア機器使用の時間を聞いてないため、外で過ごす時間をどのような関連が見られるのか分析できなかった。

5. 引用文献

- Abe, T., Kitayuguchi, J., Okada, S., Okuyama, K., Gomi, T., Kamada, M., . . . Tanaka, C. (2020). Prevalence and Correlates of Physical Activity Among Children and Adolescents: A Cross-Sectional Population-Based Study of a Rural City in Japan. *J Epidemiol*, *30*(9), 404-411. doi:10.2188/jea.JE20190047
- Goldthorpe, J., Epton, T., Keyworth, C., Calam, R., & Armitage, C. J. (2020). Are primary/elementary school-based interventions effective in preventing/ameliorating excess weight gain? A systematic review of systematic reviews. *Obes Rev*, *21*(6), e13001. doi:10.1111/obr.13001
- Grzybowski, A., Kanclerz, P., Tsubota, K., Lanca, C., & Saw, S. M. (2020). A review on the epidemiology of myopia in school children worldwide. *BMC Ophthalmol*, *20*(1), 27. doi:10.1186/s12886-019-1220-0
- Ishii, K., Shibata, A., Adachi, M., Mano, Y., & Oka, K. (2017). School grade and sex differences in domain-specific sedentary behaviors among Japanese elementary school children: a cross-sectional study. *BMC Public Health*, *17*(1), 318. doi:10.1186/s12889-017-4221-z
- Ishii, K., Shibata, A., Adachi, M., Nonoue, K., & Oka, K. (2015). Gender and grade differences in objectively measured physical activity and sedentary behavior patterns among Japanese children and adolescents: a cross-sectional study. *BMC Public Health*, *15*, 1254. doi:10.1186/s12889-015-2607-3
- Ishii, K., Shibata, A., Sato, M., & Oka, K. (2014). Recess physical activity and perceived school environment among elementary school children. *Int J Environ Res Public Health*, *11*(7), 7195-7206. doi:10.3390/ijerph110707195
- Itoi, A., Yamada, Y., Nakae, S., & Kimura, M. (2015). Decline in objective physical activity over a 10-year period in a Japanese elementary school. *J Physiol Anthropol*, *34*, 38. doi:10.1186/s40101-015-0078-y
- Morgan, I. G., Ohno-Matsui, K., & Saw, S. M. (2012). Myopia. *Lancet*, *379*(9827), 1739-1748. doi:10.1016/S0140-6736(12)60272-4
- Nakano, S., Hirano, C., Hotta, K., Fujita, Y., & Yanagi, H. (2019). Factors associated with overweight status, obesity, and sedentary behavior in elementary and junior high school students. *Phys Ther Res*, *22*(2), 66-72. doi:10.1298/ptr.E9965

- Ochiai, H., Shirasawa, T., Ohtsu, T., Nishimura, R., Morimoto, A., Obuchi, R., . . . Kokaze, A. (2012). Number of siblings, birth order, and childhood overweight: a population-based cross-sectional study in Japan. *BMC Public Health*, *12*, 766. doi:10.1186/1471-2458-12-766
- Yotsukura, E., Torii, H., Inokuchi, M., Tokumura, M., Uchino, M., Nakamura, K., . . . Tsubota, K. (2019). Current Prevalence of Myopia and Association of Myopia With Environmental Factors Among Schoolchildren in Japan. *JAMA Ophthalmol*. doi:10.1001/jamaophthalmol.2019.3103
- スポーツ庁. (2018). 平成30年度全国体力・運動能力, 運動習慣等調査報告書. Retrieved from 東京:
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1411922.htm
- 一般社団法人日本小児内分泌学会. (2011). 日本人小児の体格の評価. Retrieved from <http://jspe.umin.jp/medical/taikaku.html>
- 一般社団法人日本小児内分泌学会. (na). 肥満. Retrieved from <http://jspe.umin.jp/public/himan.html>
- 公益財団法人日本学校保健会. (2020). 平成30年度・令和元年度年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書(近視に関する要因の解析). Retrieved from 東京:
- 根本裕太, 稲山貴代, 北島義典, & 荒尾孝. (2011). 小学校4年生の日常生活における身体活動量とその関連要因. *学校保健研究*, *53*, 329-342.
- 戎利光, 田中麻結, 松浦麻衣, 安居曜平, 山田侑希, & 宮下裕文. (2015). 児童生徒の視力と各種環境因子及び遺伝因子との関連. *福井大学教育実践研究*, *39*, 31-42.
- 文部科学省. (na). 学校保健統計調査結果の概要. Retrieved from 東京:
https://www.mext.go.jp/content/20200319-mxt_chousa01-20200319155353_1-3.pdf
- 米嶋美智子, 福田美恵子, & 大谷直史. (2020). 小学生の生活習慣の現状と視力の関係. *鳥取大学教育研究論集*(10), 115-128.
- 杵田亨二, & 横山連. (2014). 政府統計による小学生の視力不良の経年推移と関係因子の解析. *日本眼科学会雑誌*, *118*(2), 104-110.

4.3 考察③ 社会経済的背景からみた青少年の体験活動の特徴

和洋女子大学人文学部心理学科 准教授 池田 幸恭
国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員

1. 社会経済的背景からみた青少年の体験活動の特徴を検討する必要性

本節では、令和元年度における「青少年の体験活動等に関する意識調査」（以下、令和元年度調査）の追加分析を行うことで、社会経済的背景（Socio-Economic Status）からみた青少年の体験活動の特徴を明らかにすることを目的とする。

厚生労働省による2019（令和元）年「国民生活基礎調査」によると、日本の子供（17歳以下）の相対貧困率（等価可処分所得の中央値の半分である127万円に満たない割合）は13.5%となっている¹⁾。OECDの2019年の報告においても、日本の子供（17歳以下）の貧困率は、42か国中21番目に高く、全体の平均を上回っている²⁾。このような子供の貧困の問題と関係して、貧困がもたらす教育や体験活動の機会への影響も指摘されている。「青少年の体験活動等に関する意識調査（平成28年度調査）」ならびに令和元年度調査では、公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった割合は世帯年収200万円未満で最も大きく、世帯年収によって子供が自然体験活動を行う機会や内容に相違が生じていることが示唆されている。さらに「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」では、子供の頃の家庭の教育的・経済的条件に関わらず、家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことの経験が多かった人ほど、自己肯定感が高い人の割合が高くなる傾向がみられることを報告している³⁾。また、家庭の社会経済的背景が高い児童生徒の方が学力は高い傾向がみられるが、社会経済的背景が困難であるけれども学力が高い児童生徒には、基本的な生活習慣の確立や、保護者による読書や読み聞かせの働きかけが多いなどの特徴があることも指摘されている⁴⁾。これらのことから、社会経済的背景の相違に関わらず、自然体験によって自己肯定感や自立的行動習慣という将来の社会的自立の基礎となる資質が育まれることが予想される。

社会経済的背景の指標として、世帯年収（保護者用調査票の問18）、主観的経済状況（中学生用調査票の問15、高校生用調査票の問16）を取りあげ、以下の3つの分析を行う。第1に、小学4～6年生の自然体験と世帯年収（保護者回答）の指標を要因として、自己肯定感および自立的行動習慣に関する指標の得点を比較する。第2に、中学2年生と高校2年生の自然体験と主観的経済状況を要因として、自己肯定感および自立的行動習慣に関する指標の得点を比較する。第3に、公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった理由（保護者用調査票の問7-3）について、世帯年収による相違を検討する。分析は重みづけ前の回答を用いて行った。

2. 小学生における自然体験の多寡と世帯年収による自己肯定感および自立的行動習慣に関する指標の得点差

はじめに、自然体験9項目（図3-1-1）の平均得点を理論的中間値である2.00を基準にして、2.00未満を「多い」群、2.00以上を「少ない」群として分類した。自己肯定感を尋ねる6項目（図3-1-203）に対する回答について「とても思う」を4点、「少し思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「まったく思わない」を1点として、自立的行動習慣に関

する指標（自律性、積極性、協調性）は「とても当てはまる」を3点、「少し当てはまる」を2点、「あまり当てはまらない」を1点、「全く当てはまらない」を0点として各指標を構成する項目の合計値を項目数で割った平均得点を算出した。自然体験2群と世帯年収（保護者回答）を要因として自己肯定感、自立的行動習慣に関する指標（自律性、積極性、協調性）の得点について分散分析と多重比較（Bonferroni法）を行った（表4-3-1）。

「自己肯定感」および「積極性」、「協調性」は、効果の大きさを示す値である効果量は小さい（ $\eta^2=.029$ to $.042$ ）が、自然体験が少ないよりも多い方が得点は大きかった。「自己肯定感」および「積極性」は、効果量は小さいあるいはほとんどみられなかった（ $\eta^2=.020$ 、 $.008$ ）が、概ね世帯年収が低いほど得点も小さかった。いずれも「自律性」については、効果量はほとんどみられなかった（ $\eta^2=.008$ 、 $.003$ ）。

効果量は小さかったが、自然体験の多寡および世帯年収の両方が「自己肯定感」および「積極性」に関係しており、「協調性」には自然体験の多寡による得点差がみられた。

表 4-3-1 自然体験2群と世帯年収を要因とした自己肯定感、自立的行動習慣に関する指標の得点比較（小学4～6年生、保護者回答）

自然体験	世帯年収	世帯年収							自然体験の主効果 F値 (df)	世帯年収の主効果 F値 (df)	交互作用 F値 (df)
		200万円未満 n=68-69	200万円以上 400万円未満 n=233-235	400万円以上 600万円未満 n=472-477	600万円以上 800万円未満 n=482-494	800万円以上 1,000万円未満 n=311-313	1,000万円以上 1,200万円未満 n=172-176	1,200万円以上 n=173-176			
自己肯定感	多い	2.824 (0.698)	2.969 (0.607)	2.986 (0.567)	3.062 (0.576)	3.103 (0.611)	3.117 (0.567)	3.176 (0.570)	169.548 *** (1, 4380)	15.448 *** (6, 4380)	0.241 (6, 4380)
	少ない	2.482 (0.577)	2.657 (0.586)	2.709 (0.582)	2.780 (0.589)	2.843 (0.591)	2.851 (0.626)	2.932 (0.624)	$\eta^2=.036$	$\eta^2=.020$	$\eta^2=.001$
自律性	多い	2.188 (0.553)	2.233 (0.515)	2.282 (0.496)	2.320 (0.513)	2.319 (0.498)	2.254 (0.550)	2.391 (0.446)	35.482 *** (1, 4360)	2.394 * (6, 4360)	1.786 (6, 4360)
	少ない	2.097 (0.565)	2.166 (0.505)	2.203 (0.512)	2.219 (0.512)	2.180 (0.523)	2.204 (0.528)	2.126 (0.575)	$\eta^2=.008$	$\eta^2=.003$	$\eta^2=.002$
積極性	多い	1.873 (0.584)	1.948 (0.611)	1.969 (0.592)	2.025 (0.549)	2.035 (0.562)	1.997 (0.589)	2.191 (0.526)	198.309 *** (1, 4366)	6.302 * (6, 4366)	1.258 (6, 4366)
	少ない	1.542 (0.699)	1.652 (0.560)	1.691 (0.582)	1.716 (0.563)	1.756 (0.606)	1.802 (0.614)	1.759 (0.608)	$\eta^2=.042$	$\eta^2=.008$	$\eta^2=.002$
協調性	多い	2.077 (0.582)	2.133 (0.584)	2.201 (0.561)	2.218 (0.546)	2.213 (0.559)	2.141 (0.568)	2.305 (0.548)	134.516 *** (1, 4359)	2.073 (6, 4359)	1.610 (6, 4359)
	少ない	1.850 (0.622)	1.912 (0.585)	1.952 (0.602)	1.951 (0.582)	1.963 (0.619)	2.014 (0.564)	1.907 (0.591)	$\eta^2=.029$	$\eta^2=.003$	$\eta^2=.002$

注) 「自己肯定感」(1.000-4.000)、「自律性」「積極性」「協調性」(0.000-3.000)の得点が大きいほど、各傾向がみられる。

n(人数)、F値(df:自由度)、効果量 η^2 以外の数値は、平均値(標準偏差)である。

多重比較の結果、すべての得点で自然体験の主効果は「少ない<多い」、世帯年収の主効果は自己肯定感について「200万円未満<200万円以上~1,200万円以上、200万円以上400万円未満<600万円以上~1,200万円以上、400万円以上600万円未満<800万円以上~1,200万円以上、600万円以上<1,200万円以上」、自律性について「200万円未満<600万円以上800万円未満=1,200万円以上」、積極性について「200万円未満<400万円以上~1,200万円以上、200万円以上400万円未満<800万円以上~1,200万円以上、600万円以上800万円未満<1,200万円以上」であった。

* $p<.05$ (5%水準で有意)、** $p<.01$ (1%水準で有意)、*** $p<.001$ (0.1%水準で有意)を示している。

3. 中学2年生、高校2年生における自然体験の多寡と主観的経済状況による自己肯定感および自立的行動習慣に関する指標の得点差

主観的経済状況については、「あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。」という質問へ「裕福なほう」から「厳しいほう」までの5件法による中学生2年生と高校2年生の回答を分析した。前述した自然体験2群と主観的経済状況を要因として自己肯定感、自立的行動習慣に関する指標（自律性、積極性、協調性）の得点について分散分析と多重比較（Bonferroni法）を行った（表4-3-2）。

「自己肯定感」および「積極性」、「協調性」の得点は、効果量は小さい ($\eta^2=.022$ to $.027$) が、自然体験が少ないよりも多い方が大きかった。主観的経済状況についても、「自己肯定感」および「積極性」、「協調性」の得点は、効果量は小さい ($\eta^2=.015$ to $.046$) が、自身の家庭を裕福なほうだと感じているほど大きかった。いずれの「自律性」の効果量 ($\eta^2=.008$ 、 $.005$)、「積極性」の交互作用の効果量 ($\eta^2=.001$) は、ほとんどみられなかった。

効果量は小さかったが、自然体験の多寡および主観的経済状況の両方が「自己肯定感」および「積極性」、「協調性」に関係していた。

表 4-3-2 自然体験 2 群と主観的経済状況を要因とした自己肯定感、自立的行動習慣に関する指標の得点比較 (中学 2 年生、高校 2 年生回答)

	主観的 経済状況	厳しいほう わりと 厳しいほう	わりと ふつう	わりと 裕福なほう	裕福なほう	自然体験の 主効果	主観的経済状 況の主効果	交互作用	
自然体験	多い	$n=157-158$	$n=445-448$	$n=2357-2371$	$n=856-862$	$n=460-463$	F値	F値	
	少ない	$n=84-87$	$n=384-388$	$n=2091-2106$	$n=569-575$	$n=268-270$	(df)	(df)	
自己肯定感	多い	2.344 (0.696)	2.477 (0.615)	2.585 (0.568)	2.726 (0.582)	2.946 (0.621)	188.33 *** (1, 7676)	97.769 *** (4, 7676)	1.250 (4, 7676)
	少ない	2.036 (0.658)	2.168 (0.551)	2.325 (0.549)	2.501 (0.558)	2.624 (0.587)	$\eta^2=.023$	$\eta^2=.046$	$\eta^2=.001$
自律性	多い	2.314 (0.550)	2.282 (0.503)	2.309 (0.484)	2.319 (0.493)	2.414 (0.504)	63.424 *** (1, 7692)	10.308 *** (4, 7692)	1.180 (4, 7692)
	少ない	2.063 (0.696)	2.138 (0.492)	2.189 (0.521)	2.218 (0.506)	2.305 (0.513)	$\eta^2=.009$	$\eta^2=.006$	$\eta^2=.001$
積極性	多い	1.946 (0.667)	1.867 (0.593)	1.914 (0.556)	1.984 (0.566)	2.170 (0.597)	226.349 *** (1, 7709)	40.754 *** (4, 7709)	2.524 * (4, 7709)
	少ない	1.454 (0.655)	1.592 (0.552)	1.640 (0.566)	1.752 (0.564)	1.904 (0.564)	$\eta^2=.028$	$\eta^2=.020$	$\eta^2=.002$
協調性	多い	2.088 (0.637)	2.118 (0.561)	2.106 (0.541)	2.159 (0.529)	2.325 (0.543)	197.196 *** (1, 7690)	31.711 *** (4, 7690)	1.776 (4, 7690)
	少ない	1.701 (0.660)	1.822 (0.545)	1.844 (0.555)	1.951 (0.558)	2.085 (0.549)	$\eta^2=.024$	$\eta^2=.016$	$\eta^2=.001$

注) 「自己肯定感」(1.000-4.000)、「自律性」「積極性」「協調性」(0.000-3.000)の得点が大きいほど、各傾向がみられる。
 n (人数)、 F 値 (df : 自由度)、効果量 η^2 以外の数値は、平均値 (標準偏差) である。
 多重比較の結果、すべての得点で自然体験の主効果は「少ない<多い」、主観的経済状況の主効果は自己肯定感について「厳しい<わりと厳しい<ふつう<わりと裕福<裕福」、自律性について「厳しい<わりと厳しい<ふつう<裕福、わりと厳しい<わりと裕福<裕福」、積極性と協調性について「厳しい<わりと厳しい<ふつう<わりと裕福<裕福」であった。
 * $p<.05$ (5%水準で有意)、** $p<.01$ (1%水準で有意)、*** $p<.001$ (0.1%水準で有意)を示している。

4. 公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった理由の世帯年収による相違

小学生の子供が公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった理由 (図 3-2-8) について、世帯年収による相違がみられるかを検討するために、 χ^2 検定と残差分析を行った (表 4-3-3)。行事に参加しなかった理由は、子供が1年間に公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事へ参加したかという質問 (問 7) で「参加しなかった」とした保護者へのみ尋ねている。

世帯年収が「200万円未満」、「200万円以上～400万円未満」の場合は、「09参加費・交通費でお金がかかるから」、「10保護者などの時間的負担が大きいから」という理由が多く

みられ、「08 子どもが行事に参加する時間がないから」という理由は少なかった。特に「200万円未満」の場合は「04 子どもが関心を示さないから」という理由は少なく、「200万円以上～400万円未満」の場合は「03 参加方法がわからないから」という理由が多くみられた。

世帯年収が「400万円以上～600万円未満」の場合は、「04 子どもが関心を示さないから」という理由が多かった。

世帯年収が「1,000万円以上～1,200万円未満」、「1,200万円以上」の場合は、「08 子どもが行事に参加する時間がないから」、「12 その他」の回答が多くみられた。「12 その他」の記述例として、「日程の都合が合わない」、「小さい子供(弟妹)がいて時間や移動に制限」、「家族で自然体験をしているから」、「受験があったから」、「スポーツをしていて時間がない」、「習いごとがあるため」、「人数が達して参加できなかった」などの回答がみられた。

分析の結果、子供が公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった理由について、世帯年収による相違がみられることが示された。

表 4-3-3 公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった理由の世帯年収による相違（保護者回答）

	200万円未満	200万円以上 400万円未満	400万円以上 600万円未満	600万円以上 800万円未満	800万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 1,200万円未満	1,200万円以上	合計	χ^2 値
	n								
01場所や会場が遠いから	22 (4.7)	54 (14.4)	114 (30.4)	92 (24.5)	55 (14.7)	24 (6.4)	14 (3.7)	4323 (100.0)	9.406
	1.1	0.5	1.8	-0.6	-0.3	-1.1	-2.2		
02団体や行事などがあることを知らないから	36 (4.7)	108 (14.1)	201 (26.2)	209 (27.2)	115 (15.0)	49 (6.4)	49 (6.4)	767 (100.0)	3.777
	0.0	0.4	-0.3	1.0	-0.1	-1.7	0.1		
03参加方法がわからないから	18 (5.6)	71 (22.2)	73 (22.8)	90 (28.1)	38 (11.9)	19 (5.9)	11 (3.4)	320 (100.0)	30.585 ***
	0.8	4.7	-1.6	1.0	-1.7	-1.4	-2.2		
04子どもが関心を示さないから	47 (3.0)	215 (13.9)	437 (28.3)	423 (27.4)	234 (15.2)	113 (7.3)	73 (4.7)	1542 (100.0)	30.351 ***
	-3.9	0.5	2.0	1.9	0.1	-1.1	-3.2		
05子どもが嫌がるから	12 (3.3)	56 (15.5)	104 (28.7)	98 (27.1)	47 (13.0)	22 (6.1)	23 (6.4)	362 (100.0)	6.503
	-1.3	1.1	1.0	0.6	-1.2	-1.4	0.0		
06子どもの安全面に不安があるから	11 (5.4)	29 (14.1)	51 (24.9)	62 (30.2)	30 (14.6)	13 (6.3)	9 (4.4)	205 (100.0)	4.131
	0.4	0.2	-0.6	1.5	-0.2	-0.9	-1.2		
07子どもが苦勞することは避けたいから	0 (0.0)	2 (28.6)	3 (42.9)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	7 (100.0)	4.406
	-0.6	1.2	1.0	-0.7	-1.1	0.6	-0.7		
08子どもが行事に参加する時間がないから	12 (1.9)	58 (9.2)	147 (23.4)	168 (26.8)	109 (17.4)	69 (11.0)	65 (10.4)	628 (100.0)	55.787 ***
	-3.6	-3.5	-1.9	0.6	1.7	3.1	4.5		
09参加費・交通費でお金がかかるから	57 (11.0)	126 (24.3)	154 (29.7)	109 (21.0)	49 (9.4)	13 (2.5)	11 (2.1)	519 (100.0)	156.581 ***
	7.2	7.6	1.7	-2.6	-3.9	-4.9	-4.2		
10保護者などの時間的負担が大きいから	83 (7.5)	181 (16.3)	282 (25.4)	271 (24.4)	161 (14.5)	81 (7.3)	53 (4.8)	1112 (100.0)	40.571 ***
	5.0	3.0	-1.1	-1.2	-0.7	-0.9	-2.5		
11特に理由はない	47 (5.6)	106 (12.6)	235 (27.8)	211 (25.0)	125 (14.8)	68 (8.1)	52 (6.2)	844 (100.0)	3.438
	1.3	-1.0	0.9	-0.6	-0.3	0.2	-0.2		
12その他	18 (3.1)	78 (13.5)	140 (24.3)	143 (24.8)	84 (14.6)	65 (11.3)	48 (8.3)	576 (100.0)	19.067 **
	-1.9	0.0	-1.3	-0.5	-0.4	3.2	2.1		

注) 上段は「当てはまる」を選択した人数、下段は調整済み残差である。 χ^2 検定が有意であった場合に、調整済み残差1.96を基準(5%水準)に、期待度数より多いものを太線で、少ないものを破線で囲んだ。

* $p < 0.05$ (5%水準で有意)、** $p < 0.01$ (1%水準で有意)、*** $p < 0.001$ (0.1%水準で有意)を示している。

5. 社会経済的背景からみた青少年の体験活動の意義

以上の追加分析の結果から、世帯年収と主観的経済状況いずれの場合でも社会経済的背景の相違に関わらず、自然体験が自己肯定感を育て、自立的行動習慣を身につけることにつながることを示唆された。そして小学生の子供が公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった理由について、世帯年収が400万円未満の場合は参加費・交通費でお金がかかる、保護者などの時間的負担が大きい等の理由が、世帯年収が

1,000万円以上の場合は子供が行事に参加する時間がない等の理由が多くみられた。

令和元年度調査ならびに本節の追加分析の結果を踏まえて、社会経済的背景からみた青少年の体験活動の意義について、次の3点を指摘する。第1に、社会経済的背景に関わらない、自然体験活動を中心とした体験活動の重要性である。世帯年収（表4-3-1）と主観的経済状況（表4-3-2）いずれの場合も社会経済的背景の相違に関わらず、自然体験が多い青少年の方が自己肯定感を抱き、自立的行動習慣を身につけていることが示された。

第2に、体験活動への参加は、社会的ネットワークの構築につながることである。自然体験の多寡だけでなく、世帯年収が低い場合（表4-3-1）、主観的経済状況が厳しいという認識の場合（表4-3-2）も、自己肯定感が低く、自立的行動習慣が身につけていない傾向がみられた。そのため、社会経済的背景の問題そのものの解消も課題となる。様々な社会的資源や支援を活用する上では、個々の家庭が社会との接点を持つことが重要となり、体験活動への参加が社会的ネットワークを構築するきっかけになることも考えられる。

第3に、社会経済的背景によって体験活動へ参加できない理由は異なり、それぞれの背景に応じた対応が必要となることである。子供が公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加しなかった理由として、特に世帯年収が400万円未満の場合は、参加費・交通費や保護者の時間的負担が大きいなど、経済的あるいは時間的な余裕のなさに関係する内容が多くあげられていた（表4-3-3）。また、世帯年収が400万円以上～600万円未満の場合に多くみられた子供が関心を示さないという理由への対応も必要であろう。

社会経済的背景に関わらず体験活動の機会を得ることができることは、青少年の発達にとって極めて重要である。様々な背景により社会への参加が妨げられている人の参加を促進するという目的を持つ「社会的包摂」という観点⁵⁾からも、多様な社会経済的背景を持つ青少年の体験活動を推進することの意義は大きいと考えられる。

引用文献

- 1) 厚生労働省「2019年国民生活基礎調査の概況」、2020、
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa19/index.html>、2020年12月22日参照
- 2) OECD「Family database ” Child poverty”」、2019、
https://www.oecd.org/els/soc/C0_2_2_Child_Poverty.pdf、2020年12月22日参照
- 3) 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター「「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」報告書」、2018.
- 4) 国立教育政策研究所・お茶の水女子大学「平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」、2014.
- 5) 近藤倫子「社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）政策の展開：我が国と諸外国の実践から」『ダイバーシティ（多様性）社会の構築：総合調査報告書』、2017、pp. 15-30.

第 5 章 調査結果集計表

1 集計表の見方

- 子ども調査の集計表において、質問文の後の
 - － 小問*とは小学生用調査票の問*の結果
 - － 中間*とは中学生用調査票の問*の結果
 - － 高問*とは高校生用調査票の問*の結果を表す。
- 「全体」とは、当該学年の子どもまたは保護者全体の結果を表す。
- 「男子」または「女子」とは、当該学年のうち、子どもの性別が男子または女子である者の結果を表す。
- 「回答者数」とは、当該質問項目に回答すべき者の数を表す。
- 表中のイタリック体で示された数値は、令和元年度学校基本調査結果をベンチマークとした重みつき集計値（パーセントあるいは代表値）を表す。

例えばパーセントの場合には、 s を全回答者とし、 y_i を回答者 i が当該回答選択肢を選んだか否かを表す変数、 δ_i を回答者 i を当該調査項目の集計に用いるか否かを表す変数、 w_i を回答者 i の重みとすると次式で求めている。

$$\hat{p} = \frac{\sum_s w_i \delta_i y_i}{\sum_s w_i \delta_i} \times 100$$

- 回答選択肢で長文のものについては、縮小あるいは一部を削除して記載する。正式な回答選択肢は、調査項目を参照。
- 「不明」とは、当該質問項目に無回答であった者または択一選択肢を複数選んだ者、あるいは回答の判別が困難であった者を表す。
- パーセントの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一式の質問項目であっても、その和は必ずしも 100.0% に一致しない。
- 表中の 0.0 は、四捨五入の結果 0.0% となったことを表し、— は、その選択肢を選んだ回答者がいなかったことを表す。

2. 子ども調査 (令和元年度)

2 子ども調査 (令和元年度)

Q1 あなたの学年と組を書いてください。(小問1・中問1・高問1)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
小学校4年生	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.7	21.7	22.1
小学校5年生	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.9	22.1	22.1
小学校6年生	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	22.2	22.6	22.4
中学校2年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	20.1	20.5	18.8
高等学校2年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	100.0	14.2	13.1	14.6
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

Q2 あなたの生まれた月は。(○は1つ)(小問2・中問2・高問2)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 1月	7.7	7.3	8.3	9.0	9.1	8.7	8.4	7.8	9.1	8.2	7.8	8.4	7.8	8.3	7.6	8.3	8.0	8.5
2. 2月	7.5	6.6	8.5	6.6	6.6	6.7	8.7	9.2	8.2	7.5	6.8	8.5	8.3	8.3	8.1	7.7	7.4	8.0
3. 3月	8.4	8.0	8.5	7.9	7.6	8.4	8.3	8.2	8.6	8.6	9.4	8.2	7.6	7.1	8.1	8.2	8.1	8.4
4. 4月	8.0	8.6	7.6	8.3	7.7	8.8	6.8	6.0	7.6	7.8	7.6	8.1	7.7	7.8	7.8	7.7	7.5	8.0
5. 5月	9.3	9.7	9.0	9.0	8.9	9.1	8.3	8.4	8.2	6.8	7.2	6.7	8.7	8.5	8.9	8.4	8.6	8.4
6. 6月	8.2	8.2	8.3	6.7	6.6	6.9	8.1	7.7	8.7	8.2	7.9	8.5	8.2	8.8	7.7	7.9	7.7	8.0
7. 7月	8.5	8.1	8.8	8.3	9.2	7.7	7.4	7.0	7.8	8.7	8.1	8.8	9.1	8.5	9.4	8.3	8.2	8.4
8. 8月	8.3	8.6	8.2	10.1	10.0	10.3	8.7	9.6	7.7	9.2	9.0	9.5	8.7	9.1	8.3	9.0	9.3	8.8
9. 9月	8.7	8.9	8.6	7.8	8.5	7.4	8.3	8.6	8.0	8.9	9.7	8.4	8.9	9.0	9.0	8.5	8.9	8.2
10. 10月	9.4	9.9	8.9	8.2	7.6	8.6	10.0	10.6	9.5	9.0	8.7	9.3	8.2	7.4	8.7	9.0	9.0	9.0
11. 11月	7.2	7.3	7.1	7.2	6.9	7.5	8.1	8.2	7.9	8.3	8.8	7.8	7.5	8.6	6.8	7.7	7.9	7.5
12. 12月	7.5	7.2	7.8	9.7	10.8	8.8	8.1	8.0	8.1	7.9	8.5	7.5	8.7	8.3	9.2	8.4	8.6	8.2
不明	1.3	1.7	0.4	1.1	0.5	1.0	0.8	0.7	0.6	0.8	0.5	0.1	0.7	0.3	0.4	1.0	0.8	0.5
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

Q3 あなたの性別は。(○は1つ)(小問3・中問3・高問3)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 男子	47.0	100.0	—	47.6	100.0	—	47.8	100.0	—	48.1	100.0	—	43.5	100.0	—	47.0	100.0	—
2. 女子	51.8	—	100.0	51.3	—	100.0	51.1	—	100.0	47.6	—	100.0	52.1	—	100.0	50.7	—	100.0
3. どちらともいえない	0.3	—	—	0.1	—	—	0.2	—	—	1.2	—	—	1.4	—	—	0.6	—	—
4. 答えたくない	0.8	—	—	1.0	—	—	0.8	—	—	2.1	—	—	2.1	—	—	1.3	—	—
不明	0.2	—	—	0.1	—	—	0.1	—	—	1.0	—	—	0.9	—	—	0.4	—	—
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

Q4 あなたは、これまでに次のようなことをどのくらいしたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)(小問4・中問4・高問4)

(a) ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	34.9	24.5	44.1	43.3	32.1	54.0	49.3	37.3	60.6	56.3	45.0	67.8	64.9	51.1	76.7	48.5	36.8	59.2
2. 少しある	45.7	47.7	43.9	47.3	53.7	41.0	42.9	51.1	35.3	37.4	46.3	29.1	30.6	42.6	21.0	41.6	48.8	35.2
3. ほとんどない	19.0	27.2	11.7	8.9	14.0	4.3	7.5	11.3	3.9	6.1	8.5	3.1	4.2	6.3	2.1	9.5	14.1	5.3
不明	0.5	0.6	0.3	0.4	0.2	0.6	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(b) タオルやぞうきんを絞ったこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	89.0	85.8	92.1	92.0	90.2	94.0	93.4	92.6	94.6	93.4	91.7	96.3	93.6	91.2	96.5	92.2	90.2	94.5
2. 少しある	9.0	12.2	6.0	6.5	8.1	4.8	5.5	6.4	4.4	5.5	7.3	3.2	5.3	7.9	2.6	6.4	8.4	4.3
3. ほとんどない	1.2	1.0	1.5	1.0	1.3	0.7	0.7	0.6	0.8	0.7	0.6	0.3	0.8	0.9	0.6	0.9	0.9	0.8
不明	0.8	1.0	0.4	0.5	0.3	0.6	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.2	0.4	0.1	0.3	0.5	0.5	0.4
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(c) 弱い者いじめやケンカをやめさせたり、注意したこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	20.2	19.0	21.9	20.1	20.6	19.4	16.7	15.3	18.2	12.3	13.5	10.8	12.5	13.0	11.2	16.7	16.6	16.9
2. 少しある	51.1	53.6	48.8	50.0	50.6	49.4	53.9	57.0	50.9	51.2	53.6	49.1	44.7	45.7	44.1	50.6	52.7	48.8
3. ほとんどない	27.6	26.2	28.6	29.2	28.2	30.5	28.7	26.8	30.4	36.0	32.6	39.6	42.5	41.2	44.4	32.0	30.1	33.8
不明	1.1	1.2	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.9	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.1	0.2	0.7	0.7	0.5
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(d) 赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	11.7	7.2	15.7	12.7	7.5	17.5	13.0	9.6	16.4	14.3	9.0	18.9	16.0	10.8	19.9	13.3	8.6	17.5
2. 少しある	16.8	13.9	19.8	16.6	13.7	19.2	15.8	11.9	19.6	18.7	15.2	22.1	21.2	18.2	24.0	17.5	14.2	20.7
3. ほとんどない	69.9	77.5	63.0	69.8	77.8	62.6	70.5	77.9	63.2	66.6	75.3	58.9	62.5	70.8	56.0	68.3	76.3	61.2
不明	1.6	1.4	1.6	0.9	1.0	0.7	0.7	0.6	0.8	0.5	0.5	0.1	0.3	0.2	0.1	0.8	0.8	0.7
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(e) 小さい子どもを背負ったり、遊んであげたりしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	49.9	42.1	57.2	51.2	42.8	58.9	56.1	49.5	62.8	53.3	45.2	61.5	51.0	44.4	56.9	52.4	44.9	59.6
2. 少しある	29.8	32.8	27.3	33.0	36.3	30.1	30.7	33.6	27.7	32.2	36.1	28.5	33.7	35.0	32.8	31.7	34.7	29.0
3. ほとんどない	19.2	24.1	14.5	15.2	20.2	10.5	12.6	16.5	8.8	14.0	18.3	9.7	14.9	20.5	9.9	15.2	19.9	10.8
不明	1.0	0.9	1.1	0.6	0.7	0.5	0.6	0.3	0.7	0.5	0.4	0.3	0.4	0.1	0.4	0.7	0.5	0.6
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(f) 外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.7	13.6	11.1	14.3	13.3	14.7	13.3	13.5	12.7
2. 少しある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22.6	21.4	24.0	30.5	28.6	32.0	25.9	24.2	27.5
3. ほとんどない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.9	64.2	64.2	54.9	57.9	53.1	60.2	61.8	59.4
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.8	0.6	0.3	0.1	0.2	0.6	0.6	0.4
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(g) お墓参りをしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	68.7	69.6	68.0	70.8	69.9	71.8	72.2	71.2	73.5	75.3	74.1	76.9	79.8	79.2	81.0	72.8	72.2	73.6
2. 少しある	22.4	20.9	23.6	20.8	21.7	20.2	19.9	20.1	19.4	18.9	20.2	17.6	15.1	16.1	13.8	19.7	20.1	19.4
3. ほとんどない	8.2	8.9	7.7	8.0	8.2	7.5	7.5	8.3	6.7	5.4	5.4	5.2	4.9	4.6	5.1	7.0	7.3	6.6
不明	0.7	0.6	0.6	0.4	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.4	0.3	0.4
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(h) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	13.2	12.2	14.3	15.1	15.0	15.3	17.6	16.7	18.5	22.8	22.1	23.2	28.8	26.7	29.8	18.7	17.8	19.4
2. 少しある	37.0	37.3	37.1	42.8	40.3	45.3	45.7	45.5	46.0	49.6	48.7	50.5	52.2	51.2	53.9	44.9	44.0	45.9
3. ほとんどない	48.6	49.3	47.6	41.3	44.0	38.5	36.2	37.2	35.1	27.3	28.9	26.2	18.7	22.2	16.1	35.7	37.6	34.2
不明	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	0.9	0.5	0.7	0.4	0.3	0.3	—	0.3	—	0.3	0.6	0.6	0.5
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(i) 道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	16.2	17.2	15.6	19.4	19.7	19.0	23.1	24.3	21.5	21.1	21.6	20.1	26.9	27.1	25.7	20.9	21.6	20.0
2. 少しある	48.6	47.1	49.8	51.0	51.0	51.4	48.4	47.7	49.6	46.8	46.8	46.8	47.6	48.7	47.8	48.6	48.3	49.3
3. ほとんどない	34.1	34.4	33.7	28.9	28.5	29.1	28.1	27.5	28.6	31.7	31.2	32.9	25.2	24.1	26.3	29.9	29.5	30.3
不明	1.1	1.3	0.8	0.7	0.8	0.6	0.4	0.5	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3	0.1	0.1	0.6	0.7	0.4
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(j) (h)(i) 以外のボランティア活動に参加したこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19.5	18.6	20.3	24.7	23.0	25.4	21.6	20.3	22.5
2. 少しある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.5	34.5	33.0	35.7	36.6	35.6	34.4	35.3	34.1
3. ほとんどない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46.3	46.2	46.2	39.2	40.2	38.7	43.3	43.9	42.9
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	0.7	0.5	0.4	0.2	0.4	0.6	0.5	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

2. 子ども調査 (令和元年度)

(k) チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	44.1	55.0	34.5	43.6	56.6	31.6	44.4	53.7	36.2	41.4	49.4	32.8	48.1	54.9	42.1	44.1	53.9	35.0
2. 少しある	29.9	27.5	32.3	29.6	27.3	31.5	28.9	26.5	30.9	30.5	29.7	32.0	30.3	30.4	30.5	29.8	28.1	31.5
3. ほとんどない	25.2	16.6	32.5	26.4	15.7	36.4	26.0	19.0	32.4	27.8	20.6	35.0	21.3	14.6	27.2	25.6	17.5	33.0
不明	0.9	0.9	0.8	0.5	0.4	0.5	0.7	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.6	0.5	0.5
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(l) 海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	32.0	37.4	27.5	34.7	39.6	30.4	35.6	40.7	30.8	36.7	41.3	31.3	41.6	46.3	36.9	35.7	40.6	31.0
2. 少しある	34.6	34.0	35.0	34.6	34.6	34.2	34.5	32.8	36.1	35.8	34.1	37.9	35.3	34.4	36.8	34.9	33.9	35.9
3. ほとんどない	32.1	27.2	36.4	30.0	25.2	34.6	29.5	25.9	32.7	27.1	24.1	30.7	22.7	19.1	26.2	28.7	24.8	32.6
不明	1.3	1.4	1.1	0.7	0.5	0.8	0.5	0.7	0.3	0.4	0.5	0.1	0.3	0.2	0.1	0.7	0.7	0.5
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(m) 大きな木に登ったこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	18.0	21.8	14.6	21.3	24.6	17.8	23.3	29.1	17.9	30.5	35.7	24.8	34.7	40.3	29.0	24.8	29.4	20.1
2. 少しある	26.5	28.6	24.8	28.6	30.0	27.3	28.8	29.5	28.0	31.5	31.1	31.6	32.8	34.5	32.1	29.4	30.4	28.4
3. ほとんどない	54.7	48.9	59.9	49.6	44.8	54.5	47.3	40.4	53.6	37.8	32.9	43.6	32.2	25.1	38.8	45.4	39.7	51.2
不明	0.7	0.7	0.7	0.5	0.6	0.4	0.7	1.0	0.4	0.3	0.3	—	0.3	0.1	0.1	0.5	0.6	0.4
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(n) ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	9.7	11.8	7.9	14.2	16.1	12.2	16.9	19.5	14.5	19.1	22.1	15.3	23.8	28.8	18.6	16.2	18.8	13.3
2. 少しある	18.1	20.0	16.4	25.2	26.8	23.7	24.8	26.0	23.8	28.2	29.7	26.8	33.4	34.6	32.1	25.3	26.6	24.2
3. ほとんどない	70.8	66.7	74.6	59.8	56.4	63.1	57.7	53.7	61.3	52.0	47.6	57.6	42.4	37.8	47.4	57.7	53.8	61.9
不明	1.3	1.4	1.2	0.9	0.7	0.9	0.6	0.8	0.4	0.7	0.6	0.3	0.4	0.3	0.2	0.8	0.8	0.6
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(o) 太陽が昇るところや沈むところを見たこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	25.7	27.3	24.3	28.4	29.9	27.0	33.1	35.5	31.1	37.2	41.0	32.7	39.8	43.6	35.9	32.2	34.7	29.7
2. 少しある	37.9	36.8	38.7	35.8	33.8	37.8	37.2	37.6	37.4	35.8	34.7	37.1	34.1	34.6	34.2	36.3	35.6	37.2
3. ほとんどない	35.3	34.5	36.2	35.0	35.1	34.8	29.0	26.2	31.0	26.6	24.0	30.0	25.8	21.5	29.8	30.7	28.9	32.6
不明	1.2	1.3	0.9	0.8	1.2	0.5	0.6	0.7	0.5	0.4	0.4	0.1	0.4	0.3	0.1	0.7	0.8	0.4
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(p) 夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見たこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	34.1	33.9	34.2	38.0	37.4	38.7	40.3	40.0	40.5	42.5	42.2	42.6	47.6	46.8	48.0	39.9	39.4	40.2
2. 少しある	44.3	42.9	45.6	40.9	42.0	40.0	40.4	40.0	41.2	37.6	36.9	38.6	35.8	37.6	35.1	40.2	40.2	40.5
3. ほとんどない	20.5	21.7	19.6	20.3	19.9	20.6	18.9	19.4	18.1	19.5	20.5	18.6	16.3	15.5	16.8	19.3	19.7	18.9
不明	1.1	1.5	0.5	0.8	0.7	0.8	0.4	0.6	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.6	0.7	0.4
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(q) 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	42.5	42.0	42.8	42.7	44.5	41.0	43.9	46.4	41.7	49.9	50.3	49.3	51.6	50.5	52.1	45.6	46.4	44.7
2. 少しある	32.5	32.6	32.9	33.6	33.9	33.1	34.2	34.1	34.2	33.5	34.3	33.1	32.6	35.4	30.8	33.3	34.0	33.0
3. ほとんどない	24.1	24.3	23.6	23.1	20.9	25.4	21.4	18.8	23.7	16.2	15.2	17.2	15.5	14.0	16.9	20.5	19.1	21.8
不明	0.9	1.0	0.7	0.6	0.7	0.5	0.5	0.7	0.4	0.4	0.2	0.4	0.3	0.2	0.1	0.6	0.6	0.4
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

(c) 自分のふとんの上げ下ろしやベッドを整頓すること

Table with 18 columns (4 categories x 3 gender) and 5 rows (responses 1-4, unknown, total). Rows include percentages for '必ずしている', 'だいたいしている', 'あまりしていない', 'していない', '不明', and '回答者数'.

(d) 朝、人に起こされなくて自分で起きること

Table with 18 columns (4 categories x 3 gender) and 5 rows (responses 1-4, unknown, total). Rows include percentages for '必ずしている', 'だいたいしている', 'あまりしていない', 'していない', '不明', and '回答者数'.

(e) 家で「おはようございます」「いただきます」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」といったあいさつをすること

Table with 18 columns (4 categories x 3 gender) and 5 rows (responses 1-4, unknown, total). Rows include percentages for '必ずしている', 'だいたいしている', 'あまりしていない', 'していない', '不明', and '回答者数'.

(f) 近所の人や知り合いの人に「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」といったあいさつをすること

Table with 18 columns (4 categories x 3 gender) and 5 rows (responses 1-4, unknown, total). Rows include percentages for '必ずしている', 'だいたいしている', 'あまりしていない', 'していない', '不明', and '回答者数'.

(g) バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること

Table with 18 columns (4 categories x 3 gender) and 5 rows (responses 1-4, unknown, total). Rows include percentages for '必ずしている', 'だいたいしている', 'あまりしていない', 'していない', '不明', and '回答者数'.

(h) 友達が悪いことをしていたら、やめさせること

Table with 18 columns (4 categories x 3 gender) and 5 rows (responses 1-4, unknown, total). Rows include percentages for '必ずしている', 'だいたいしている', 'あまりしていない', 'していない', '不明', and '回答者数'.

(b) 学校以外の友だちが多い方だ

Table with 18 columns (Gender: 全体, 男子, 女子) and 5 rows (1. とても思う, 2. 少し思う, 3. あまり思わない, 4. 全く思わない, 不明). Rows 1-4 show percentages, and the last row shows the number of respondents.

(c) 勉強は得意な方だ

Table with 18 columns (Gender: 全体, 男子, 女子) and 5 rows (1. とても思う, 2. 少し思う, 3. あまり思わない, 4. 全く思わない, 不明). Rows 1-4 show percentages, and the last row shows the number of respondents.

(d) 今の自分が好きだ

Table with 18 columns (Gender: 全体, 男子, 女子) and 5 rows (1. とても思う, 2. 少し思う, 3. あまり思わない, 4. 全く思わない, 不明). Rows 1-4 show percentages, and the last row shows the number of respondents.

(e) 自分には、自分らしさがある

Table with 18 columns (Gender: 全体, 男子, 女子) and 5 rows (1. とても思う, 2. 少し思う, 3. あまり思わない, 4. 全く思わない, 不明). Rows 1-4 show percentages, and the last row shows the number of respondents.

(f) 体力には自信がある

Table with 18 columns (Gender: 全体, 男子, 女子) and 5 rows (1. とても思う, 2. 少し思う, 3. あまり思わない, 4. 全く思わない, 不明). Rows 1-4 show percentages, and the last row shows the number of respondents.

Q10 あなたは、去年の4月からこれまでに、学校の授業や行事以外で、次のことをそれぞれののくらいしましたか。(○はそれぞれ1つずつ) (中問10・高問10)

(a) 山登りやハイキング、オリエンテーリングやウォークラリー

Table with 18 columns (Gender: 全体, 男子, 女子) and 5 rows (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明). Rows 1-4 show percentages, and the last row shows the number of respondents.

(b) 海や川などで泳いだり、ボート・カヌー・ヨットなどに乗ること

Table with 18 columns (Gender: 全体, 男子, 女子) and 5 rows (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明). Rows 1-4 show percentages, and the last row shows the number of respondents.

2. 子ども調査 (令和元年度)

(c) 乗馬や乳しぼりなど動物とふれあうこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	7.1	8.8	7.5	7.3	7.4	7.9	7.2	8.2
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.9	20.3	21.1	16.2	17.1	15.2	19.0	19.0	18.5
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.5	72.2	69.6	75.8	75.2	76.9	72.7	73.4	72.8
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(d) 野外で食事を作ったり、テントに泊まったりすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.4	11.9	10.4	7.4	8.9	5.8	9.7	10.8	8.4
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.7	23.6	19.2	15.8	18.0	13.7	19.2	21.5	16.8
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.5	63.9	70.1	76.3	72.6	80.0	70.5	67.3	74.4
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.5	0.3	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(e) スキーや雪遊びなど雪の中での活動

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13.1	15.3	11.1	7.4	8.3	6.1	10.8	12.6	8.9
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.3	17.4	16.7	15.9	19.7	12.9	16.7	18.3	15.0
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69.0	66.8	71.9	76.1	71.7	80.4	72.0	68.7	75.6
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	0.5	0.4	0.6	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(f) 昆虫や水辺の生物を捕まえること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.6	14.2	6.7	7.2	10.3	4.1	9.2	12.7	5.6
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.6	19.1	13.1	12.0	15.5	8.7	14.7	17.7	11.2
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.4	66.4	79.8	80.3	73.9	86.7	75.7	69.3	82.8
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.2	0.4	0.5	0.3	0.5	0.4	0.3	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(g) 植物や岩石を観察したり調べたりすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7	7.2	3.6	4.0	5.1	2.8	5.0	6.4	3.3
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15.0	16.0	13.3	10.5	12.3	8.3	13.1	14.5	11.1
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	79.0	76.5	82.7	85.0	82.3	88.3	81.4	78.8	85.1
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.3	0.4	0.5	0.3	0.6	0.4	0.3	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(h) 星や雲の観察

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.2	11.2	10.9	10.9	9.1	11.8	11.1	10.4	11.3
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.4	26.4	31.8	25.5	24.6	26.3	27.8	25.7	29.4
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	58.9	61.9	56.8	63.1	65.9	61.5	60.6	63.5	58.8
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(i) 山菜採りやキノコ・木の実などの採取

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	4.7	2.1	2.9	3.3	2.1	3.3	4.1	2.1
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.8	9.1	5.8	7.2	9.0	5.4	7.6	9.1	5.6
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88.1	85.8	91.7	89.4	87.2	92.0	88.7	86.4	91.8
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(j) 魚を釣ったり貝を採ったりすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.9	15.4	8.2	8.0	11.1	4.8	10.3	13.7	6.7
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19.6	23.3	15.3	14.0	18.0	10.7	17.3	21.2	13.3
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68.1	60.9	76.2	77.6	70.5	84.0	72.0	64.6	79.6
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.4	0.3	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(k) 自然の材料を使った工作

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.3	8.5	5.7	4.1	5.0	2.9	6.0	7.1	4.5
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0	20.5	19.2	11.4	13.3	9.4	16.4	17.7	14.9
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.2	70.6	74.8	84.1	81.5	87.3	77.2	74.8	80.2
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(l) 植林・間伐・下草刈りなどをすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0	7.1	4.5	4.8	6.5	3.2	5.5	6.8	3.9
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.9	22.8	20.6	16.3	19.3	13.2	19.6	21.4	17.3
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71.5	69.4	74.5	78.3	73.8	83.2	74.3	71.1	78.3
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	0.7	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.4
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(m) 米や野菜を植えたり育てたりすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.3	8.2	6.1	5.6	6.2	4.7	6.6	7.4	5.5
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.2	20.2	21.7	14.1	15.9	12.5	18.2	18.5	17.7
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.6	70.4	71.5	79.8	77.5	82.4	74.4	73.2	76.3
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	1.2	0.6	0.5	0.4	0.5	0.8	0.9	0.6
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(n) 放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53.2	59.7	47.1	37.8	47.8	29.9	46.8	55.1	39.6
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.6	26.0	33.3	35.3	32.3	37.9	32.0	28.4	35.3
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.1	13.2	18.9	26.3	19.3	31.6	20.3	15.6	24.4
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	1.1	0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.9	0.7
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(o) 食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43.5	33.8	53.7	41.5	32.3	49.2	42.7	33.2	51.7
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45.3	51.0	39.6	43.8	46.4	42.1	44.7	49.2	40.7
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.4	14.4	6.0	14.2	20.9	8.2	12.0	17.0	6.9
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.8	0.7	0.5	0.4	0.6	0.7	0.6	0.6
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(p) お墓参りをすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39.1	38.6	39.2	31.8	32.1	31.6	36.1	36.1	35.9
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38.8	39.4	39.1	40.0	39.1	40.8	39.3	39.3	39.8
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.2	21.1	21.0	27.6	28.3	27.1	23.8	23.9	23.6
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.7	0.7	0.6
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

2. 子ども調査 (令和元年度)

(q) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをすること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13.8	13.2	13.9	13.9	11.4	15.1	13.8	12.5	14.4
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47.5	45.4	49.7	46.1	44.4	48.2	46.9	45.0	49.0
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38.0	40.5	35.9	39.5	43.7	36.2	38.6	41.7	36.0
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.9	0.5	0.6	0.4	0.6	0.7	0.7	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(r) 地域の清掃活動や廃品回収などに参加すること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.2	10.8	9.4	6.1	7.1	4.5	8.5	9.3	7.3
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27.2	27.9	26.3	18.5	19.6	17.3	23.6	24.7	22.4
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61.8	60.5	63.7	74.9	73.0	77.7	67.2	65.4	69.8
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.8	0.5	0.5	0.4	0.4	0.7	0.7	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(s) (q)(r) 以外のボランティア活動に参加すること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.4	8.5	8.3	8.6	8.4	8.0	8.5	8.5	8.2
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.6	22.0	20.1	18.0	19.6	16.6	20.1	21.1	18.6
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69.0	68.5	70.6	72.8	71.4	75.0	70.6	69.6	72.5
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	1.0	0.9	0.6	0.6	0.4	0.8	0.9	0.7
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(t) 地域のスポーツ大会や文化祭などの行事に参加すること

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19.6	21.3	18.1	11.4	13.1	9.9	16.2	18.1	14.5
2. 少しした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28.6	29.7	27.2	19.1	21.8	16.8	24.7	26.6	22.7
3. しなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51.0	48.1	54.3	69.0	64.7	72.8	58.5	54.6	62.3
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	0.8	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6	0.6	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q11 あなたは、去年の4月からこれまでに、放課後あるいは休日に文化芸術に関わる作品や活動について次のようなことをどのくらいしましたか。(中間11・高問11)

(a) テレビやDVD、インターネットなどで、文化芸術に関わる作品や活動を観たり、聴いたりしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.9	34.9	46.7	47.7	41.1	52.5	43.7	37.3	49.3
2. 少しある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.0	30.4	27.8	25.6	29.3	22.9	27.6	30.0	25.7
3. ほとんどない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.4	34.1	24.9	26.2	29.1	24.1	28.1	32.2	24.5
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(b) 映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる作品や活動を直接観たり、聴いたりしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28.3	23.1	33.6	33.7	27.4	38.6	30.5	24.8	35.8
2. 少しある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.6	34.8	32.3	31.2	32.6	30.5	32.6	33.9	31.5
3. ほとんどない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37.5	41.5	33.6	34.6	39.5	30.4	36.3	40.7	32.2
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(c) 文化芸術に関わる作品を作ったり、演じたりしたこと

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 何度もある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	5.8	11.6	12.4	9.0	14.7	10.5	7.0	13.0
2. 少しある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15.3	14.6	15.6	12.6	13.1	11.7	14.1	14.0	13.9
3. ほとんどない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74.9	79.0	72.2	74.4	77.2	73.0	74.7	78.3	72.5
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q12 次の質問にそれぞれ答えてください。

Q12-1 最近の健康診断ではかったあなたの身長と体重を書いてください。(中間 12-1・高問 12-1)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
身長 平均値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160.1	163.8	156.2	164.0	170.5	157.8	161.7	166.5	156.9
身長 標準偏差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.7	7.7	5.3	8.6	5.8	5.4	8.3	7.7	5.4
身長 第1四分位数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	154.8	159.4	152.5	157.5	166.7	154.0	155.5	161.5	153.0
身長 中央値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	159.8	164.0	156.2	163.5	170.0	158.0	160.8	167.0	157.0
身長 第3四分位数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	165.0	169.3	160.0	170.0	174.3	161.1	167.9	171.9	160.2
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,167	1,520	1,519	3,834	1,757	1,915	7,001	3,277	3,434

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
体重 平均値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	52.0	47.5	56.3	61.3	50.6	52.6	55.8	48.8
体重 標準偏差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.5	10.3	7.7	10.2	10.0	6.6	10.3	11.1	7.4
体重 第1四分位数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43.8	45.3	42.9	49.8	55.0	46.7	45.9	48.5	44.0
体重 中央値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48.7	50.6	46.5	55.0	60.0	50.0	51.0	55.0	48.2
体重 第3四分位数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	54.6	57.0	51.0	61.0	65.8	54.0	58.0	61.0	52.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,907	1,489	1,297	3,521	1,746	1,620	6,428	3,235	2,917

Q12-2 健康診断で身長と体重をはかった時期はいつ頃ですか。(中間 12-2・高問 12-2)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
平成30年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	3.1	3.8	8.9	9.9	8.1	5.7	5.8	5.6
平成31年4月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.6	23.2	27.9	47.4	43.7	51.9	34.7	31.5	38.2
令和元年5月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	3.7	3.1	6.3	7.0	5.9	4.6	5.0	4.3
令和元年6月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	1.0	0.9	1.0	1.3	0.7	1.0	1.1	0.8
令和元年7月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	0.7	0.4	0.6	0.8	0.4	0.5	0.7	0.4
令和元年8月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	1.7	1.2	0.9	0.9	0.9	1.2	1.4	1.0
令和元年9月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	5.0	6.0	1.3	1.5	1.1	3.7	3.6	3.9
令和元年10月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2	3.6	3.0	1.7	1.8	1.4	2.6	2.8	2.3
令和元年11月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	3.5	3.1	1.2	1.5	0.9	2.4	2.7	2.2
令和元年12月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	4.7	4.7	2.7	3.1	2.3	3.9	4.1	3.7
令和2年1月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22.7	24.8	20.2	6.5	6.9	5.6	15.9	17.6	13.9
令和2年2月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	5.2	3.6	3.9	4.5	3.4	4.2	4.9	3.6
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.0	19.8	22.1	17.6	17.2	17.5	19.6	18.7	20.1
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,193	1,540	1,523	3,842	1,762	1,917	7,035	3,302	3,440

Q12-3 あなたは、近視を矯正するもの（眼鏡やコンタクトレンズなど）を使用していますか。(中間 12-3・高問 12-3)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 使用している	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38.0	31.3	45.3	55.1	50.8	59.2	45.1	38.9	51.4
2. 使用していない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51.0	57.6	44.5	37.6	41.7	34.0	45.4	51.4	39.9
3. 使用していないが必要としている	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7	8.7	8.2	4.8	5.4	4.1	7.1	7.4	6.4
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	2.4	1.9	2.5	2.1	2.7	2.4	2.3	2.3
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13 あなたのふだんの生活について、次の質問にそれぞれ答えてください。

Q13-1 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか（ただし、マンガや雑誌は除きます）。(〇は1つ)(小問 10-1・中間 13-1・高問 13-1)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 1～2冊	16.8	17.9	15.8	19.6	20.9	18.4	24.3	24.3	24.6	35.2	33.1	38.5	25.9	25.4	25.7	24.0	24.1	24.1
2. 3～5冊	22.8	23.6	22.3	25.2	23.9	26.5	23.7	21.0	26.3	20.9	18.4	23.4	9.2	10.8	7.9	21.2	20.3	22.2
3. 6～9冊	17.6	13.8	21.1	17.8	15.1	20.3	14.8	12.2	17.3	6.9	6.5	6.9	3.0	4.0	2.2	12.8	11.0	14.6
4. 10冊以上	23.4	18.9	27.6	18.0	16.1	19.6	14.4	12.6	15.8	6.6	6.6	5.7	2.0	2.6	1.3	13.8	12.2	15.2
5. ほとんど読まない	18.5	24.6	12.5	18.6	22.9	14.5	22.0	28.8	15.5	29.5	34.3	24.6	58.8	56.1	61.9	27.2	31.3	23.1
不明	0.9	1.1	0.7	0.8	1.0	0.7	0.8	1.2	0.5	1.0	1.0	0.9	1.1	1.1	1.0	0.9	1.1	0.7
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

2. 子ども調査 (令和元年度)

Q13-2 あなたは、ふだん(月曜日から金曜日)、何時ごろに起きますか。(○は1つ)(中間13-2・高問13-2)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 午前6時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.5	9.3	9.3	14.8	13.6	15.5	11.7	11.0	12.0
2. 午前6時以降、午前6時30分より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27.1	25.6	29.5	28.4	25.0	31.2	27.6	25.4	30.3
3. 午前6時30分以降、午前7時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.2	31.2	31.5	26.7	25.1	28.3	29.3	28.9	30.1
4. 午前7時以降、午前7時30分より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24.0	24.1	23.7	21.3	24.1	19.1	22.9	24.1	21.7
5. 午前7時30分以降、午前8時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	7.8	4.2	7.3	10.0	5.0	6.6	8.7	4.6
6. 午前8時以降	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	0.8	1.0	0.9	1.4	0.2	0.9	1.0	0.6
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	1.1	0.8	0.7	0.7	0.6	0.9	1.0	0.7
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-3 あなたは、ふだん(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか。(○は1つ)(中間13-3・高問13-3)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 午後9時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	1.1	0.9	0.7	0.8	0.6	1.0	1.0	0.8
2. 午後9時以降、午後10時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.5	8.6	6.3	1.9	2.2	1.4	5.2	6.1	4.2
3. 午後10時以降、午後11時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.3	35.0	28.2	11.8	11.2	12.1	23.3	25.8	21.2
4. 午後11時以降、午前0時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34.2	34.4	34.8	30.8	30.8	31.4	32.8	33.0	33.3
5. 午前0時以降、午前1時より前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.3	13.3	21.0	40.3	40.4	40.9	26.8	23.9	29.7
6. 午前1時以降	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.2	6.4	7.7	13.7	13.6	12.9	9.9	9.2	10.0
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.2	1.2	0.9	1.0	0.7	1.1	1.1	1.0
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-4 あなたは、特に運動やスポーツもしないのに、ふだん疲れていると感じることがありますか。(○は1つ)(小問10-2・中間13-4・高問13-4)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. よくある	11.0	10.3	11.2	12.8	12.6	12.6	11.1	9.5	11.7	18.5	15.8	20.3	24.6	18.7	28.7	14.9	12.9	15.9
2. 時々ある	25.2	23.0	27.6	28.0	24.2	32.1	29.3	26.1	32.4	36.6	33.1	41.1	43.4	42.0	44.9	31.6	28.5	34.7
3. ほとんどない	31.5	30.3	32.6	32.3	31.6	33.0	32.5	31.3	34.1	28.8	30.3	27.5	22.2	26.1	20.0	30.0	30.3	30.2
4. まったくない	31.2	35.2	27.5	25.7	30.2	21.5	26.1	31.6	21.3	15.0	19.7	10.3	8.9	12.3	5.8	22.5	27.1	18.4
不明	1.1	1.2	1.0	1.1	1.5	0.8	1.0	1.5	0.5	1.1	1.1	0.9	0.8	0.8	0.6	1.0	1.3	0.8
回答者数	2,161	1,027	1,108	2,173	1,027	1,122	2,091	996	1,072	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	14,477	6,743	7,309

Q13-5 あなたには兄弟や姉妹が何人いますか。(○は1つ)(中間13-5・高問13-5)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 1人いる	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48.0	48.1	48.5	50.0	50.7	49.7	48.9	49.1	49.0
2. 2人いる	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27.1	27.7	26.3	28.5	29.3	28.1	27.7	28.3	27.1
3. 3人以上いる	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.8	11.2	12.4	9.8	9.0	10.6	11.0	10.3	11.6
4. いない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.7	11.4	11.9	10.6	10.2	10.6	11.2	10.9	11.3
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	1.6	0.9	1.1	0.9	1.0	1.3	1.3	0.9
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-6 あなたは、自分だけの部屋(自分が一人で使っている部屋)がありますか。(○は1つ)(中間13-6・高問13-6)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. ある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.0	67.1	64.8	76.6	81.0	72.7	70.4	72.5	68.3
2. ない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32.9	31.6	34.3	22.6	18.2	26.5	28.6	26.4	30.9
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	1.3	0.8	0.9	0.8	0.8	1.0	1.1	0.8
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-7 あなたは、次のような青少年の団体に所属していますか。(○はいくつでも)(中間13-7・高問13-7)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 子ども会やボーイスカウトなどの青少年の団体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	1.7	2.1	1.2	1.7	0.7	1.7	1.7	1.5
2. 野球やサッカーのチームやスポーツ少年団など	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13.4	19.9	6.5	4.2	6.9	2.0	9.6	14.8	4.6
3. 1～2以外の青少年の団体に所属している	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	2.7	2.2	1.6	1.6	1.5	2.2	2.3	1.9
4. 青少年の団体には所属していない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72.2	66.3	79.5	86.5	83.9	89.1	78.2	73.2	83.7
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.5	9.8	10.3	6.7	6.3	6.8	8.9	8.4	8.8
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-8 あなたは現在、以下のような学校の部活動に所属していますか。(○はい/×でも) (中問 13-8・高問 13-8)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 運動部に所属している	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.5	74.8	57.0	47.3	62.0	35.9	58.0	69.8	47.8
2. 文化部に所属している	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.7	10.5	32.9	30.4	18.5	39.5	25.3	13.6	35.8
3. 部活動には所属していない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.8	11.5	7.9	20.1	17.9	21.9	14.0	14.0	14.0
4. その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	3.3	1.1	2.1	1.5	2.8	2.3	2.6	1.8
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	1.4	1.7	1.5	1.6	1.2	1.7	1.5	1.5
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-9 あなたには、1週間のうちで、塾(勉強以外のおけいこ事は除きます)がある日がどれくらいありますか。(○は1つ) (中問 13-9・高問 13-9)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 1～2日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34.5	34.7	34.4	16.2	17.0	15.7	26.9	27.8	26.3
2. 3～4日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18.4	18.5	18.4	5.8	7.6	4.5	13.2	14.2	12.3
3. 5～6日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	1.2	1.6	2.8	3.0	2.3	2.0	1.9	1.9
4. 毎日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	0.5	0.6	2.5	3.7	1.4	1.3	1.7	0.9
5. 通っていない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44.1	44.2	43.9	71.9	67.6	75.4	55.6	53.3	57.7
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	1.0	1.1	0.9	1.0	0.7	1.1	1.0	0.9
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-10 あなたには、1週間のうちで、習い事(勉強のための塾は除きます)がある日がどれくらいありますか。(○は1つ) (中問 13-10・高問 13-10)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 1～2日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22.7	15.6	29.8	10.5	6.7	13.9	17.6	12.1	22.9
2. 3～4日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	9.3	7.1	2.3	1.7	2.5	5.8	6.4	5.1
3. 5～6日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	6.5	3.7	1.0	1.0	0.9	3.4	4.3	2.5
4. 毎日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.9	0.6	0.6	0.8	0.4	1.0	1.5	0.5
5. 通っていない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60.9	64.8	57.6	84.8	88.8	81.6	70.8	74.2	68.0
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	1.8	1.3	0.9	1.0	0.7	1.4	1.5	1.0
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

Q13-11 あなたは、アルバイトをしたことがありますか。(○は1つ) (高問 13-11)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. ある	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30.0	23.2	35.3	30.0	23.2	35.3
2. ない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69.2	76.2	64.0	69.2	76.2	64.0
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.6	0.8	0.8	0.6	0.8
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,361	1,914	2,255	4,361	1,914	2,255

Q14 あなたは、卒業後の進路として、次のうちどれを希望していますか。(○は1つだけ) (高問 14)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 進学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77.7	77.5	78.7	77.7	77.5	78.7
2. 就職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.7	17.8	16.0	16.7	17.8	16.0
3. アルバイト	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2
4. 家事手伝い	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5. その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2
6. 決めていない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	3.6	4.1	4.1	3.6	4.1
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,361	1,914	2,255	4,361	1,914	2,255

Q15 あなたは今、誰と一緒に住んでいますか。(○はい/×でも) (中問 14・高問 15)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 父親	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82.4	82.7	82.8	80.7	81.5	80.9	81.7	82.2	82.0
2. 母親	—	—	—	—	—	—	—	—	—	94.4	94.1	95.5	93.3	92.9	94.6	94.0	93.6	95.1
3. 祖父・祖母	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.2	22.4	20.1	21.3	21.4	21.4	21.2	22.0	20.7
4. きょうだい	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.6	80.2	81.9	72.5	70.7	74.8	77.3	76.5	78.8
5. 親戚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	1.1	0.9	1.3	1.0	1.5	1.1	1.0	1.1
6. 一人暮らし(学校寮、アパート)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.1	0.1	1.1	1.9	0.4	0.5	0.8	0.2
7. その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	3.2	4.7	2.6	2.0	2.9	3.5	2.7	3.9
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	2.0	1.3	1.5	1.3	1.3	1.7	1.7	1.3
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

2. 子ども調査 (令和元年度)

Q16 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。(○は1つだけ) (中間 15・高問 16)

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校2年生			高等学校2年生			全 体		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
1. 裕福なほう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.8	10.2	11.4	8.4	8.9	7.8	9.8	9.7	9.9
2. わりと裕福なほう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18.4	18.9	18.3	17.5	17.2	17.8	18.0	18.2	18.1
3. ふつう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	58.5	59.9	57.3	55.1	57.6	54.0	57.1	59.0	55.9
4. わりと厳しいほう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.8	7.0	8.5	13.3	12.3	14.1	10.1	9.1	10.9
5. 厳しいほう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1	1.4	2.6	3.8	2.7	4.1	2.8	1.9	3.2
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	2.6	1.8	1.9	1.2	2.2	2.2	2.1	2.0
回答者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,691	1,779	1,752	4,361	1,914	2,255	8,052	3,693	4,007

(h) 星や雲の観察

Table with columns for grade levels (1st to 6th) and gender (Total, Male, Female), and rows for frequency (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and total respondents.

(i) 山菜採りやキノコ・木の実などの採取

Table with columns for grade levels (1st to 6th) and gender (Total, Male, Female), and rows for frequency (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and total respondents.

(j) 魚を釣ったり貝を採ったりすること

Table with columns for grade levels (1st to 6th) and gender (Total, Male, Female), and rows for frequency (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and total respondents.

(k) 自然の材料を使った工作

Table with columns for grade levels (1st to 6th) and gender (Total, Male, Female), and rows for frequency (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and total respondents.

(l) 植林・間伐・下草刈りなどをする事

Table with columns for grade levels (1st to 6th) and gender (Total, Male, Female), and rows for frequency (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and total respondents.

(m) 米や野菜を植えたり育てたりすること

Table with columns for grade levels (1st to 6th) and gender (Total, Male, Female), and rows for frequency (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and total respondents.

問7 あなたのお子さんは、去年の4月からこれまでに、下記の公的機関や民間団体等が行う自然体験活動(問6の(a)から(m)のような活動)に関する行事に参加しましたか。(〇はいくつでも)

Table with columns for grade levels (1st to 6th) and gender (Total, Male, Female), and rows for various activities (1. 郷土館・博物館や教育委員, 2. 青年の家・少年自然の家など, 3. 児童館や公民館などの公的施設, etc.) and total respondents.

(c) お墓参りをすること

Table with 16 columns (Grade, Gender, Frequency) and 4 rows of data (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and a total row.

(d) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの手助けをすること

Table with 16 columns (Grade, Gender, Frequency) and 4 rows of data (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and a total row.

(e) 地域の清掃活動や廃品回収などに参加すること

Table with 16 columns (Grade, Gender, Frequency) and 4 rows of data (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and a total row.

(f) (d)(e) 以外のボランティア活動に参加すること

Table with 16 columns (Grade, Gender, Frequency) and 4 rows of data (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and a total row.

(g) 地域のスポーツ大会や文化祭などの行事に参加すること

Table with 16 columns (Grade, Gender, Frequency) and 4 rows of data (1. 何度もした, 2. 少しした, 3. しなかった, 不明) and a total row.

問10 あなたのお子さんは、去年の4月からこれまでに、放課後あるいは休日に文化芸術に関わる作品や活動について次のようなことをどのくらいしましたか。

(a) テレビやDVD、インターネットなどで、文化芸術に関わる作品や活動を観たり、聴いたりしたこと

Table with 16 columns (Grade, Gender, Frequency) and 4 rows of data (1. 何度もある, 2. 少しある, 3. ほとんどない, 不明) and a total row.

(b) 映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる作品や活動を直接観たり、聴いたりしたこと

Table with 16 columns (Grade, Gender, Frequency) and 4 rows of data (1. 何度もある, 2. 少しある, 3. ほとんどない, 不明) and a total row.

(n) 困った時でも前向きに取り組むこと

Table with 19 columns (Grade, Gender, Response) and 5 rows of data for item (n).

(o) 人から言われなくても、自分から進んで行動すること

Table with 19 columns (Grade, Gender, Response) and 5 rows of data for item (o).

(p) 誰とでも分け隔てなく、つきあうこと

Table with 19 columns (Grade, Gender, Response) and 5 rows of data for item (p).

(q) 人の話をきちんと聞くこと

Table with 19 columns (Grade, Gender, Response) and 5 rows of data for item (q).

(r) 困っている人がいたときに手助けすること

Table with 19 columns (Grade, Gender, Response) and 5 rows of data for item (r).

(s) 相手の立場になって考えること

Table with 19 columns (Grade, Gender, Response) and 5 rows of data for item (s).

(t) ルールを守って行動すること

Table with 19 columns (Grade, Gender, Response) and 5 rows of data for item (t).

資料

せいしょうねん たいけんかつどうとう かん い しきちょう さ しょうがくせいよう
青少年の体験活動等に関する意識調査（小学生用）

れいわ がんねん どもうさ
- 令和元年度調査 -

こくりつせいしょうねんきょういくしんこうきこう
国立青少年教育振興機構

この調査は、皆さんのさまざまな場所での活動や、家での過ごし方について調べ、これからの皆さんの体験活動を充実させるための資料を作成することを目的としています。

テストではありませんので、あなたが思った通りに教えてください。答えたくないと思
ったものは、答えなくてもかまいません。答えは の中の当てはまる数字を○で
囲んだり、（ ）に当てはまる数字などを書いてください。

この調査票は、しっかり管理し、あなたの名前や学校名、どの答えがあなたのものであるかは、他の人に知られることはありません。

また、調査の結果は、他の研究者によって活用されることがありますが、あなたの答えや名前は知られることはありません。

この調査に答え、用紙を出すことで、この調査に協力することに賛成してくれたとみなします。

この用紙を出した後に、この調査の協力をやめたい場合は、最後のページの切り取り部分から連絡してください。

問1 あなたの学年と組を書いてください。..... () 年 () 組

問2 あなたの生まれた月は。(○は1つ).....

1. 1月	2. 2月	3. 3月	4. 4月
5. 5月	6. 6月	7. 7月	8. 8月
9. 9月	10. 10月	11. 11月	12. 12月

問3 あなたの性別は。(○は1つ).....

1. 男子	2. 女子	3. どちらともいえない
4. 答えたくない		

問4 あなたは、これまでに次のようなことをどのくらいしたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

何度もある 少しある ほとんどない

(a) ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと.....	1.	2.	3.
(b) タオルやぞうきんを絞ったこと.....	1.	2.	3.
(c) 道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと.....	1.	2.	3.
(d) 弱い者のいじめやケンカをやめさせたり、注意したこと.....	1.	2.	3.
(e) 赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと.....	1.	2.	3.
(f) 小さい子どもを背負ったり、遊んであげたりしたこと.....	1.	2.	3.
(g) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの..... 手助けをしたこと	1.	2.	3.
(h) お墓参りをしたこと.....	1.	2.	3.
(i) チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと.....	1.	2.	3.
(j) 海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと.....	1.	2.	3.
(k) 大きな木に登ったこと.....	1.	2.	3.
(l) ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと.....	1.	2.	3.
(m) 太陽が昇るところや沈むところを見たこと.....	1.	2.	3.
(n) 夜空いっぱい輝く星をゆっくり見たこと.....	1.	2.	3.
(o) 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと.....	1.	2.	3.
(p) 海や川で泳いだこと.....	1.	2.	3.
(q) キャンプをしたこと.....	1.	2.	3.

問5

あなたは、ふだん^{つぎ}次のようなお手伝い^{てつだ}をどのくらいしていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

いつもしている 時々^{ときどき}している あまりしていない まったくしていない

- (a) 買い物^{かもの}のお手伝い^{てつだ}をすること.....
- (b) 新聞^{しんぶん}や郵便物^{ゆうびんぶつ}をとってくること.....
- (c) 靴^{くつ}などをそろえたり、磨^{みが}いたりすること.....
- (d) 食器^{しょくき}をそろえたり、片付け^{かたづけ}たりすること.....
- (e) 家^{いえ}の中^{なか}のお掃除^{そうじ}や整頓^{せいとん}を手伝^{てつだ}うこと.....
- (f) ゴミ袋^{ぶくろ}を出^だしたり、捨^すてること.....
- (g) お風呂洗^{ふろあらい}いをしたり、窓^{まど}ふきを^{てつだ}手伝^{てつだ}うこと.....
- (h) お料理^{りょうり}のお手伝い^{てつだ}をすること.....
- (i) ペットの世話^{せわ}とか植物^{しょくぶつ}の水^{みず}やり^{みず}をすること.....

1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.

問6

あなたは、次^{つぎ}のようなこと^{こと}をどのくらいしていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

必ず^{かならず}している だいたいしている あまりしていない していない

- (a) 朝^{あさ}、顔^{かお}を洗^{あら}ったり、歯^はをみ^みがいたりすること.....
- (b) 朝^{あさ}、食^{しょく}事^じをとること.....
- (c) 自分^{じぶん}のふとん^{ふとん}の上げ下^あろしやベッ^おドを^{せいとん}整頓^{せいとん}すること.....
- (d) 朝^{あさ}、人^{ひと}に起^おこされ^おないで自分^{じぶん}で起^おきること.....
- (e) 家^{いえ}で「おはようござい^{ます}」「いた^だき^ます」.....
「い^って^きま^す」「た^だい^ま」「お^{やす}み^なさ^い」
と^いっ^たあ^いさ^つを^する^こと
- (f) 近^{きん}所^{じょ}の^{ひと}人^{ひと}や知^しり^あい^ひの^{ひと}人^{ひと}に「お^はよ^うご^ざい^{ます}」.....
「こ^んに^ちは^は」「こ^んば^んは^は」と^いっ^た
あ^いさ^つを^する^こと
- (g) バス^{でん}や電^{でん}車^{しゃ}で^から^だの^ふじ^{ゆう}な^{ひと}人^{ひと}や^おと^しよ^りに^せま^き
に^まを.....
ゆ^ずる^こと
- (h) 友^{とも}だ^ちが^{わる}い^こと^をし^てい^らば^は、^やめ^させ^るこ^と.....

1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.

問7

あなたは、ふだん^{せい}の生活^{かつ}の中^{なか}で、次^{つぎ}のようなこと^{こと}がどのくらい^{まる}ありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

よくある 時々^{ときどき}ある あまりない ない

- (a) 夜^よふか^しして、遅^{おそ}く^まで^おき^てい^るこ^と.....
- (b) 寝^ね坊^{ぼう}して、学^{がく}校^{こう}に^ちこ^くし^{たり}す^るこ^と.....
- (c) 夕^{ゆう}食^{しょく}を^{ひと}り^で食^たべ^るこ^と.....
- (d) 欲^ほしい^もの^を買^かう^ため^に貯^{ちよ}金^{きん}す^るこ^と.....
- (e) 友^{とも}だ^ちと^{けん}か^をす^るこ^と.....
- (f) 近^{きん}所^{じょ}の^{ひと}人^{ひと}か^らほ^めて^もら^ったり、あ^るいは、注^{ちゆ}意^{うい}さ^れたり、.....
叱^{しか}ら^れたり^する^こと

1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.
1.	2.	3.	4.

うらめん つづ
裏面へ続きます

よくある 時々ある あまりない ない

(g) 放課後や休日に友だちと遊ぶこと.....	1.	2.	3.	4.
(h) 家の人にその日の出来事などを話すこと.....	1.	2.	3.	4.
(i) 家の人に悩みや相談を聞いてもらうこと.....	1.	2.	3.	4.
(j) 家の人に叱られたり、注意されたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(k) 家の人にほめられること.....	1.	2.	3.	4.
(l) いらいらしたり、むしゃくしゃしたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(m) 悩んだり、落ちこんだりすること.....	1.	2.	3.	4.
(n) ものごとに集中できないこと.....	1.	2.	3.	4.

問8 あなたは次のことについて自分にどのくらい当てはまるとお思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

とても当てはまる 少し当てはまる あまり当てはまらない 全く当てはまらない

(a) 自分の思ったことをはっきりと言う.....	1.	2.	3.	4.
(b) 周りの人に迷惑をかけずに行動する.....	1.	2.	3.	4.
(c) 自分でできることは自分です.....	1.	2.	3.	4.
(d) わからないことは、そのままにしないで調べる.....	1.	2.	3.	4.
(e) 先のことを考えて、自分の計画を立てる.....	1.	2.	3.	4.
(f) 困った時でも前向きに取り組む.....	1.	2.	3.	4.
(g) 人から言われなくても、自分から進んでやる.....	1.	2.	3.	4.
(h) 誰とでも協力してグループ活動をする.....	1.	2.	3.	4.
(i) 人の話をきちんと聞く.....	1.	2.	3.	4.
(j) 困っている人がいたときに手助けする.....	1.	2.	3.	4.
(k) 相手の立場になって考える.....	1.	2.	3.	4.
(l) ルールを守って行動する.....	1.	2.	3.	4.
(m) 国や地域の政治や選挙について関心がある.....	1.	2.	3.	4.
(n) 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを..... 読んだり見たりする	1.	2.	3.	4.
(o) 実験や観察で新たな発見することに興味がある.....	1.	2.	3.	4.
(p) 日本以外の国や地域の生活や文化に関心がある.....	1.	2.	3.	4.
(q) 学校・地域がよりよくなるよう自ら進んで考え行動する.....	1.	2.	3.	4.

問9 あなたは、今の自分について、どのくらい当てはまるとお思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

とても思う 少し思う あまり思わない 全く思わない

(a) 学校の友だちが多い方だ.....	1.	2.	3.	4.
(b) 学校以外の友だちが多い方だ.....	1.	2.	3.	4.
(c) 勉強は得意な方だ.....	1.	2.	3.	4.
(d) 今の自分が好きだ.....	1.	2.	3.	4.
(e) 自分には、自分らしさがある.....	1.	2.	3.	4.
(f) 体力には自信がある.....	1.	2.	3.	4.

問10

あなたのふだんの生活について、次の質問にそれぞれ答えてください。

[10-1] あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか（ただし、マンガや雑誌は除きます）。（○は1つ）

1. 1～2冊 2. 3～5冊 3. 6～9冊 4. 10冊以上 5. ほとんど読まない

[10-2] あなたは、特に運動やスポーツもしないのに、ふだん疲れていると感じることがありますか。（○は1つ）

1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. まったくない

これで終わりです。ありがとうございました。

青少年の体験活動等に関する意識調査（中学生用）

－ 令和元年度調査 －

国立青少年教育振興機構

- ・この調査は、全国の小・中・高等学校の児童・生徒やその保護者（小学校のみ）の皆さんを対象に、皆さんの体験活動や自立に関する意識等についてアンケート調査を実施し、今後の体験活動の充実に役立つ資料を得ることを目的としています。
- ・この調査はテストではなく、正しい答えなどはありませんので、あなたが思った通りに教えてください。
- ・調査票の問 12、問 14、問 15 については、「体格」、「家族構成」、「家庭の経済状況」に関する質問となっています。これらは、皆さんをとりまく経済的問題やそれに伴う体験活動の機会に関する基礎資料を得ることを目的とした質問項目です。
- ・答えたくない質問については、答えなくてもかまいません。
- ・答えは の中の当てはまる数字を○で囲んだり、() に当てはまる数字などを書いてください。
- ・本調査票は封入して提出いただき、当機構につくまで開封されることはありません。当機構では、皆さんの回答を厳重に管理し、個人の回答が外部にもれることはありません。また、ご回答いただいた結果について、調査対象となった学校名や個人名が特定されることはありません。
- ・本調査で得られたデータは、外部研究機関及び研究者により二次的に活用されることがありますが、この場合も、個人の回答が特定されることはありません。
- ・アンケート調査への回答および用紙の提出によって、本調査への協力について同意したこととみなします。
- ・調査票の裏表紙は切り取って必ずお持ち帰りください。
- ・調査票の提出後に調査への協力をやめたい場合は、裏表紙の指示に従ってご連絡ください。

問1 あなたの学年と組を書いてください。..... ()年 ()組

問2 あなたの生まれた月は。(○は1つ).....

1. 1月	2. 2月	3. 3月	4. 4月
5. 5月	6. 6月	7. 7月	8. 8月
9. 9月	10. 10月	11. 11月	12. 12月

問3 あなたの性別は。(○は1つ).....

1. 男子	2. 女子	3. どちらともいえない
4. 答えたくない		

問4 あなたは、これまでに次のようなことをどのくらいしたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

何度もある 少しある ほとんどない

(a) ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと.....	1.	2.	3.
(b) タオルやぞうきんを絞ったこと.....	1.	2.	3.
(c) 弱い者いじめやケンカをやめさせたり、注意したこと.....	1.	2.	3.
(d) 赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと.....	1.	2.	3.
(e) 小さい子どもを背負ったり、遊んであげたりしたこと.....	1.	2.	3.
(f) 外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと.....	1.	2.	3.
(g) お墓参りをしたこと.....	1.	2.	3.
(h) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの 手助けをしたこと.....	1.	2.	3.
(i) 道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと.....	1.	2.	3.
(j) (h) (i)以外のボランティア活動に参加したこと.....	1.	2.	3.
(k) チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと.....	1.	2.	3.
(l) 海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと.....	1.	2.	3.
(m) 大きな木に登ったこと.....	1.	2.	3.
(n) ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと.....	1.	2.	3.
(o) 太陽が昇るところや沈むところを見たこと.....	1.	2.	3.
(p) 夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見たこと.....	1.	2.	3.
(q) 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと.....	1.	2.	3.
(r) 海や川で泳いだこと.....	1.	2.	3.
(s) キャンプをしたこと.....	1.	2.	3.

問5 あなたは、ふだん次のようなお手伝いをどのくらいしていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

いつもしている 時々している あまりしていない まったくしていない

(a) 買い物のお手伝いをすること.....	1.	2.	3.	4.
(b) 新聞や郵便物をとってくること.....	1.	2.	3.	4.
(c) 靴などをそろえたり、磨いたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(d) 食器をそろえたり、片付けたりすること.....	1.	2.	3.	4.

(e) 家の中のお掃除や ^{せいとん} 整頓を手伝うこと.....	1.	2.	3.	4.
	いつもしている	時々している	あまりしていない	まったくしていない
(f) ゴミ袋を出したり、捨てること.....	1.	2.	3.	4.
(g) お風呂洗いをしたり、窓ふきを手伝うこと.....	1.	2.	3.	4.
(h) お料理の手伝いをすること.....	1.	2.	3.	4.
(i) ペットの世話とか植物の水やりをすること.....	1.	2.	3.	4.

問6 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	必ずしている	だいたいしている	あまりしていない	していない
(a) 朝、顔を洗ったり、歯をみがいたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(b) 朝、食事をとること.....	1.	2.	3.	4.
(c) 自分のふとんの上げ下ろしやベッドを ^{せいとん} 整頓すること.....	1.	2.	3.	4.
(d) 朝、人に起こされなくて自分で起きること.....	1.	2.	3.	4.
(e) 家で「おはようございます」「いただきます」 「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」 といったあいさつをすること.....	1.	2.	3.	4.
(f) 近所の人や知り合いの人に「おはようござい ます」「こんにちは」「こんばんは」といった あいさつをすること.....	1.	2.	3.	4.
(g) バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席を ゆずること.....	1.	2.	3.	4.
(h) 友達が悪いことをしていたら、やめさせること.....	1.	2.	3.	4.

問7 あなたは、ふだんの生活の中で、次のようなことがどのくらいありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	よくある	時々ある	あまりない	ない
(a) 夜ふかしして、遅くまで起きていること.....	1.	2.	3.	4.
(b) 寝坊して、学校に遅刻したりすること.....	1.	2.	3.	4.
(c) 夕食を一人で食べること.....	1.	2.	3.	4.
(d) 欲しいものを買うために貯金すること.....	1.	2.	3.	4.
(e) 友だちとけんかをすること.....	1.	2.	3.	4.
(f) 近所の人からほめてもらったり、あるいは、注意されたり、 叱られたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(g) 放課後や休日に友だちと遊ぶこと.....	1.	2.	3.	4.
(h) 家の人にその日の出来事などを話すこと.....	1.	2.	3.	4.
(i) 家の人に悩みや相談を聞いてもらうこと.....	1.	2.	3.	4.
(j) 家の人に叱られたり、注意されたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(k) 家の人にほめられること.....	1.	2.	3.	4.
(l) いらいらしたり、むしゃくしゃしたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(m) 悩んだり、落ちこんだりすること.....	1.	2.	3.	4.
(n) ものごとに集中できないこと.....	1.	2.	3.	4.

裏面へ続きます

問 8 あなたは次のことについて自分にどのくらい当てはまると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

とても当てはまる 少し当てはまる あまり当てはまらない 全く当てはまらない

(a) 自分の思ったことをはっきりと言う.....	1.	2.	3.	4.
(b) 周りの人に迷惑をかけずに行動する.....	1.	2.	3.	4.
(c) 自分でできることは自分でする.....	1.	2.	3.	4.
(d) わからないことは、そのままにしないで調べる.....	1.	2.	3.	4.
(e) 先のことを考えて、自分の計画を立てる.....	1.	2.	3.	4.
(f) 困った時でも前向きに取り組む.....	1.	2.	3.	4.
(g) 人から言われなくても、自分から進んでやる.....	1.	2.	3.	4.
(h) 誰とでも協力してグループ活動をする.....	1.	2.	3.	4.
(i) 人の話をきちんと聞く.....	1.	2.	3.	4.
(j) 困っている人がいたときに手助けする.....	1.	2.	3.	4.
(k) 相手の立場になって考える.....	1.	2.	3.	4.
(l) ルールを守って行動する.....	1.	2.	3.	4.
(m) 国や地域の政治や選挙について関心がある.....	1.	2.	3.	4.
(n) 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを 読んだり見たりする.....	1.	2.	3.	4.
(o) 実験や観察で新たな発見をすることに興味がある.....	1.	2.	3.	4.
(p) 日本以外の国や地域の生活や文化に関心がある.....	1.	2.	3.	4.
(q) 学校・地域がよりよくなるよう自ら進んで考え行動する.....	1.	2.	3.	4.

問 9 あなたは、今の自分について、どのくらい当てはまると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

とても思う 少し思う あまり思わない 全く思わない

(a) 学校の友だちが多い方だ.....	1.	2.	3.	4.
(b) 学校以外の友だちが多い方だ.....	1.	2.	3.	4.
(c) 勉強は得意な方だ.....	1.	2.	3.	4.
(d) 今の自分が好きだ.....	1.	2.	3.	4.
(e) 自分には、自分らしさがある.....	1.	2.	3.	4.
(f) 体力には自信がある.....	1.	2.	3.	4.

問 10 あなたは、去年の4月からこれまでに、学校の授業や行事以外で、次のことをそれぞれどのくらいしましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

何度もした 少しした しなかった

(a) 山登りやハイキング、オリエンテーリングやウォークラリー...	1.	2.	3.
(b) 海や川などで泳いだり、ボート・カヌー・ヨットなどに乗ること	1.	2.	3.
(c) 乗馬や乳しぼりなど動物とふれあうこと.....	1.	2.	3.
(d) 野外で食事を作ったり、テントに泊まったりすること.....	1.	2.	3.
(e) スキーや雪遊びなど雪の中での活動.....	1.	2.	3.
(f) 昆虫や水辺の生物を捕まえること.....	1.	2.	3.
(g) 植物や岩石を観察したり調べたりすること.....	1.	2.	3.
(h) 星や雲の観察.....	1.	2.	3.
(i) 山菜採りやキノコ・木の実などの採取.....	1.	2.	3.
(j) 魚を釣ったり貝を採ったりすること.....	1.	2.	3.
(k) 自然の材料を使った工作.....	1.	2.	3.

	何度もした	少しした	しなかった
(l) 植林・間伐・下草刈りなどをする事.....	1.	2.	3.
(m) 米や野菜を植えたり育てたりする事.....	1.	2.	3.
(n) 放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをする事.....	1.	2.	3.
(o) 食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをする事.....	1.	2.	3.
(p) お墓参りをする事.....	1.	2.	3.
(q) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの 手助けをする事.....	1.	2.	3.
(r) 地域の清掃活動や廃品回収などに参加する事.....	1.	2.	3.
(s) (q) (r)以外のボランティア活動に参加する事.....	1.	2.	3.
(t) 地域のスポーツ大会や文化祭などの行事に参加する事.....	1.	2.	3.

問 11 あなたは、去年の4月からこれまでに、放課後あるいは休日に文化芸術に関わる作品や活動について次のようなことをどのくらいしましたか。

文化芸術に関わる作品や活動の例
 映画、音楽（オペラ、ポップス、オーケストラ、コンサートなど）、美術（絵画、彫刻、写真など）、歴史的な建物や遺跡、演劇やダンスの舞台、芸能（歌舞伎、落語、漫才など）、博物館などでの展示など

	何度もある	少しある	ほとんどない
(a) テレビやDVD、インターネットなどで、文化芸術に関わる作品や活動を観たり、聴いたりした事.....	1.	2.	3.
(b) 映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる作品や活動を直接観たり、聴いたりした事.....	1.	2.	3.
(c) 文化芸術に関わる作品を作ったり、演じたりした事.....	1.	2.	3.

問 12 次の質問にそれぞれ答えてください。

[12-1] 最近の健康診断ではかったあなたの身長と体重を書いてください。

(.) cm (.) kg

[12-2] 健康診断で身長と体重をはかった時期はいつ頃ですか。
月頃

(平成・令和) () 年 ()

[12-3] あなたは、近視を矯正するもの（眼鏡やコンタクトレンズなど）を使用していますか。

1. 使用している 2. 使用していない 3. 使用していないが必要としている

裏面へ続きます

問13 あなたのふだんの生活について、次の質問にそれぞれ答えてください。

[13-1] あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか（ただし、マンガや雑誌は除きます）。（○は1つ）

1. 1～2冊 2. 3～5冊 3. 6～9冊 4. 10冊以上 5. ほとんど読まない

[13-2] あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。（○は1つ）

1. 午前6時より前 2. 午前6時以降、午前6時30分より前 3. 午前6時30分以降、午前7時より前
4. 午前7時以降、午前7時30分より前 5. 午前7時30分以降、午前8時より前 6. 午前8時以降

[13-3] あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか。（○は1つ）

1. 午後9時より前 2. 午後9時以降、午後10時より前 3. 午後10時以降、午後11時より前
4. 午後11時以降、午前0時より前 5. 午前0時以降、午前1時より前 6. 午前1時以降

[13-4] あなたは、特に運動やスポーツもしないのに、ふだん疲れていると感じることがありますか。（○は1つ）

1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. まったくない

[13-5] あなたには兄弟や姉妹が何人いますか。（○は1つ）

1. 1人いる 2. 2人いる 3. 3人以上いる 4. いない

[13-6] あなたは、自分だけの部屋（自分が一人で使っている部屋）がありますか。（○は1つ）

1. ある 2. ない

[13-7] あなたは、次のような青少年の団体に所属していますか。（○はいくつでも）

1. 子ども会やボーイスカウトなどの青少年の団体に所属している
2. 野球やサッカーのチームやスポーツ少年団などのスポーツ団体に所属している
3. 1～2以外の青少年の団体に所属している
4. 青少年の団体には所属していない

[13-8] あなたは現在、以下のような学校の部活動に所属していますか。（○はいくつでも）

1. 運動部に所属している 2. 文化部に所属している
3. 部活動には所属していない 4. その他（ _____ ）

[13-9] あなたには、1週間のうちで、塾（勉強以外のおけいご事は除きます）がある日がどれくらいありますか。（○は1つ）

1. 1～2日 2. 3～4日 3. 5～6日 4. 毎日 5. 通っていない

[13-10] あなたには、1週間のうちで、習い事（勉強のための塾は除きます）がある日がどれくらいありますか。（○は1つ）

1. 1～2日 2. 3～4日 3. 5～6日 4. 毎日 5. 通っていない

問14 あなたは今、誰と一緒に住んでいますか。（○はいくつでも）

1. 父親 2. 母親 3. 祖父・祖母 4. きょうだい
5. 親戚 6. 一人暮らし（学校寮、アパート） 7. その他（_____）

問15 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。（○は1つ）

1. 裕福なほう 2. わりと裕福なほう 3. ふつう
4. わりと厳しいほう 5. 厳しいほう

これで終わりです。ありがとうございました。

青少年の体験活動等に関する意識調査（高校生用）

－ 令和元年度調査 －

国立青少年教育振興機構

- ・この調査は、全国の小・中・高等学校の児童・生徒やその保護者（小学校のみ）の皆さんを対象に、皆さんの体験活動や自立に関する意識等についてアンケート調査を実施し、今後の体験活動の充実に役立つ資料を得ることを目的としています。
- ・この調査はテストではなく、正しい答えなどはありませんので、あなたが思った通りに答えてください。
- ・調査票の問 12、問 15、問 16 については、「体格」、「家族構成」、「家庭の経済状況」に関する質問となっています。これらは、皆さんをとりまく経済的問題やそれに伴う体験活動の機会に関する基礎資料を得ることを目的とした質問項目です。
- ・答えたくない質問については、答えなくてもかまいません。
- ・答えは の中の当てはまる数字を○で囲んだり、() に当てはまる数字などを書いてください。
- ・本調査票は封入して提出いただき、当機構につくまで開封されることはありません。当機構では、皆さんの回答を厳重に管理し、個人の回答が外部にもれることはありません。また、ご回答いただいた結果について、調査対象となった学校名や個人名が特定されることはありません。
- ・本調査で得られたデータは、外部研究機関及び研究者により二次的に活用されることがありますが、この場合も、個人の回答が特定されることはありません。
- ・アンケート調査への回答および用紙の提出によって、本調査への協力について同意したこととみなします。
- ・調査票の裏表紙は切り取って必ずお持ち帰りください。
- ・調査票の提出後に調査への協力をやめなくなった場合は、裏表紙の指示に従ってご連絡ください。

問1 あなたの学年と組を書いてください。..... ()年 ()組

問2 あなたの生まれた月は。(○は1つ).....

1. 1月	2. 2月	3. 3月	4. 4月
5. 5月	6. 6月	7. 7月	8. 8月
9. 9月	10. 10月	11. 11月	12. 12月

問3 あなたの性別は。(○は1つ).....

1. 男子	2. 女子	3. どちらともいえない
4. 答えたくない		

問4 あなたは、これまでに次のようなことをどのくらいしたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

何度もある 少しある ほとんどない

(a) ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと.....	1.	2.	3.
(b) タオルやぞうきんを絞ったこと.....	1.	2.	3.
(c) 弱い者いじめやケンカをやめさせたり、注意したこと.....	1.	2.	3.
(d) 赤ちゃんのおむつをかえたり、ミルクをあげたこと.....	1.	2.	3.
(e) 小さい子どもを背負ったり、遊んであげたりしたこと.....	1.	2.	3.
(f) 外国の人と交流したり一緒に生活したりしたこと.....	1.	2.	3.
(g) お墓参りをしたこと.....	1.	2.	3.
(h) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの 手助けをしたこと.....	1.	2.	3.
(i) 道路や公園などに捨てられているゴミを拾ったりしたこと.....	1.	2.	3.
(j) (h) (i)以外のボランティア活動に参加したこと.....	1.	2.	3.
(k) チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと.....	1.	2.	3.
(l) 海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと.....	1.	2.	3.
(m) 大きな木に登ったこと.....	1.	2.	3.
(n) ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと.....	1.	2.	3.
(o) 太陽が昇るところや沈むところを見たこと.....	1.	2.	3.
(p) 夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見たこと.....	1.	2.	3.
(q) 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと.....	1.	2.	3.
(r) 海や川で泳いだこと.....	1.	2.	3.
(s) キャンプをしたこと.....	1.	2.	3.

問5 あなたは、ふだん次のようなお手伝いをどのくらいしていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

いつもしている 時々している あまりしていない まったくしていない

(a) 買い物のお手伝いをすること.....	1.	2.	3.	4.
(b) 新聞や郵便物をとってくること.....	1.	2.	3.	4.
(c) 靴などをそろえたり、磨いたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(d) 食器をそろえたり、片付けたりすること.....	1.	2.	3.	4.

(e) 家の中のお掃除や整頓を手伝うこと.....	1.	2.	3.	4.
	いつもしている	時々している	あまりしていない	まったくしていない
(f) ゴミ袋を出したり、捨てること.....	1.	2.	3.	4.
(g) お風呂洗いをしたり、窓ふきを手伝うこと.....	1.	2.	3.	4.
(h) お料理の手伝いをすること.....	1.	2.	3.	4.
(i) ペットの世話とか植物の水やりをすること.....	1.	2.	3.	4.

問6 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	必ずしている	だいたいしている	あまりしていない	していない
(a) 朝、顔を洗ったり、歯をみがいたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(b) 朝、食事をとること.....	1.	2.	3.	4.
(c) 自分のふとんの上げ下ろしやベッドを整頓すること.....	1.	2.	3.	4.
(d) 朝、人に起こされなくて自分で起きること.....	1.	2.	3.	4.
(e) 家で「おはようございます」「いただきます」 「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」 といったあいさつをすること.....	1.	2.	3.	4.
(f) 近所の人や知り合いの人に「おはようござい ます」「こんにちは」「こんばんは」といった あいさつをすること.....	1.	2.	3.	4.
(g) バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席を ゆずること.....	1.	2.	3.	4.
(h) 友達が悪いことをしていたら、やめさせること.....	1.	2.	3.	4.

問7 あなたは、ふだんの生活の中で、次のようなことがどのくらいありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	よくある	時々ある	あまりない	ない
(a) 夜ふかしして、遅くまで起きていること.....	1.	2.	3.	4.
(b) 寝坊して、学校に遅刻したりすること.....	1.	2.	3.	4.
(c) 夕食を一人で食べること.....	1.	2.	3.	4.
(d) 欲しいものを買うために貯金すること.....	1.	2.	3.	4.
(e) 友だちとけんかをする事.....	1.	2.	3.	4.
(f) 近所の人からほめてもらったり、あるいは、注意されたり、 叱られたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(g) 放課後や休日に友だちと遊ぶこと.....	1.	2.	3.	4.
(h) 家の人にその日の出来事などを話すこと.....	1.	2.	3.	4.
(i) 家の人に悩みや相談を聞いてもらうこと.....	1.	2.	3.	4.
(j) 家の人に叱られたり、注意されたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(k) 家の人にほめられること.....	1.	2.	3.	4.
(l) いらいらしたり、むしゃくしゃしたりすること.....	1.	2.	3.	4.
(m) 悩んだり、落ちこんだりすること.....	1.	2.	3.	4.
(n) ものごと集中できないこと.....	1.	2.	3.	4.

裏面へ続きます

問8 あなたは次のことについて自分にどのくらい当てはまると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

とても当てはまる 少し当てはまる あまり当てはまらない 全く当てはまらない

(a) 自分の思ったことをはっきりと言う.....	1.	2.	3.	4.
(b) 周りの人に迷惑をかけずに行動する.....	1.	2.	3.	4.
(c) 自分でできることは自分でする.....	1.	2.	3.	4.
(d) わからないことは、そのままにしないで調べる.....	1.	2.	3.	4.
(e) 先のことを考えて、自分の計画を立てる.....	1.	2.	3.	4.
(f) 困った時でも前向きに取り組む.....	1.	2.	3.	4.
(g) 人から言われなくても、自分から進んでやる.....	1.	2.	3.	4.
(h) 誰とでも協力してグループ活動をする.....	1.	2.	3.	4.
(i) 人の話をきちんと聞く.....	1.	2.	3.	4.
(j) 困っている人がいたときに手助けする.....	1.	2.	3.	4.
(k) 相手の立場になって考える.....	1.	2.	3.	4.
(l) ルールを守って行動する.....	1.	2.	3.	4.
(m) 国や地域の政治や選挙について関心がある.....	1.	2.	3.	4.
(n) 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを 読んだり見たりする.....	1.	2.	3.	4.
(o) 実験や観察で新たな発見をすることに興味がある.....	1.	2.	3.	4.
(p) 日本以外の国や地域の生活や文化に関心がある.....	1.	2.	3.	4.
(q) 学校・地域がよりよくなるよう自ら進んで考え行動する.....	1.	2.	3.	4.

問9 あなたは、今の自分について、どのくらい当てはまると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

とても思う 少し思う あまり思わない 全く思わない

(a) 学校の友だちが多い方だ.....	1.	2.	3.	4.
(b) 学校以外の友だちが多い方だ.....	1.	2.	3.	4.
(c) 勉強は得意な方だ.....	1.	2.	3.	4.
(d) 今の自分が好きだ.....	1.	2.	3.	4.
(e) 自分には、自分らしさがある.....	1.	2.	3.	4.
(f) 体力には自信がある.....	1.	2.	3.	4.

問10 あなたは、去年の4月からこれまでに、学校の授業や行事以外で、次のことをそれぞれどのくらいしましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

何度もした 少しした しなかった

(a) 山登りやハイキング、オリエンテーリングやウォークラリー...	1.	2.	3.
(b) 海や川などで泳いだり、ボート・カヌー・ヨットなどに乗ること.	1.	2.	3.
(c) 乗馬や乳しぼりなど動物とふれあうこと.....	1.	2.	3.
(d) 野外で食事を作ったり、テントに泊まったりすること.....	1.	2.	3.
(e) スキーや雪遊びなど雪の中での活動.....	1.	2.	3.
(f) 昆虫や水辺の生物を捕まえること.....	1.	2.	3.
(g) 植物や岩石を観察したり調べたりすること.....	1.	2.	3.
(h) 星や雲の観察.....	1.	2.	3.
(i) 山菜採りやキノコ・木の実などの採取.....	1.	2.	3.
(j) 魚を釣ったり貝を採ったりすること.....	1.	2.	3.
(k) 自然の材料を使った工作.....	1.	2.	3.

	何度もした	少しした	しなかった
(l) 植林・間伐・下草刈りなどをする事.....	1.	2.	3.
(m) 米や野菜を植えたり育てたりする事.....	1.	2.	3.
(n) 放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをする事.....	1.	2.	3.
(o) 食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをする事.....	1.	2.	3.
(p) お墓参りをする事.....	1.	2.	3.
(q) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの 手助けをする事.....	1.	2.	3.
(r) 地域の清掃活動や廃品回収などに参加する事.....	1.	2.	3.
(s) (q) (r)以外のボランティア活動に参加する事.....	1.	2.	3.
(t) 地域のスポーツ大会や文化祭などの行事に参加する事.....	1.	2.	3.

問 11 あなたは、去年の4月からこれまでに、放課後あるいは休日に文化芸術に関わる作品や活動について次のようなことをどのくらいしましたか。

文化芸術に関わる作品や活動の例
 映画、音楽（オペラ、ポップス、オーケストラ、コンサートなど）、美術（絵画、彫刻、写真など）、歴史的な建物や遺跡、演劇やダンスの舞台、芸能（歌舞伎、落語、漫才など）、博物館などでの展示など

	何度もある	少しある	ほとんどない
(c) テレビやDVD、インターネットなどで、文化芸術に関わる 作品や活動を観たり、聴いたりした事.....	1.	2.	3.
(d) 映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる 作品や活動を直接観たり、聴いたりした事.....	1.	2.	3.
(e) 文化芸術に関わる作品を作ったり、演じたりした事.....	1.	2.	3.

問 12 次の質問にそれぞれ答えてください。

[12-1] 最近の健康診断ではかったあなたの身長と体重を書いてください。

(.) c m (.) k g

[12-2] 健康診断で身長と体重をはかった時期はいつ頃ですか。

(平成・令和) () 年 () 月頃

[12-3] あなたは、近視を矯正するもの（眼鏡やコンタクトレンズなど）を使用していますか。

1. 使用している 2. 使用していない 3. 使用していないが必要としている

裏面へ続きます

問13 あなたのふだんの生活について、次の質問にそれぞれ答えてください。

[13-1] あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか（ただし、マンガや雑誌は除きます）。（○は1つ）

1. 1～2冊 2. 3～5冊 3. 6～9冊 4. 10冊以上 5. ほとんど読まない

[13-2] あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。（○は1つ）

1. 午前6時より前 2. 午前6時以降、午前6時30分より前 3. 午前6時30分以降、午前7時より前
4. 午前7時以降、午前7時30分より前 5. 午前7時30分以降、午前8時より前 6. 午前8時以降

[13-3] あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか。（○は1つ）

1. 午後9時より前 2. 午後9時以降、午後10時より前 3. 午後10時以降、午後11時より前
4. 午後11時以降、午前0時より前 5. 午前0時以降、午前1時より前 6. 午前1時以降

[13-4] あなたは、特に運動やスポーツもしないのに、ふだん疲れていると感じることがありますか。（○は1つ）

1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. まったくない

[13-5] あなたには兄弟や姉妹が何人いますか。（○は1つ）

1. 1人いる 2. 2人いる 3. 3人以上いる 4. いない

[13-6] あなたは、自分だけの部屋（自分が一人で使っている部屋）がありますか。（○は1つ）

1. ある 2. ない

[13-7] あなたは、次のような青少年の団体に所属していますか。（○はいくつでも）

1. 子ども会やボーイスカウトなどの青少年の団体に所属している
2. 野球やサッカーのチームやスポーツ少年団などのスポーツ団体に所属している
3. 1～2以外の青少年の団体に所属している
4. 青少年の団体には所属していない

[13-8] あなたは現在、以下のような学校の部活動に所属していますか。（○はいくつでも）

1. 運動部に所属している 2. 文化部に所属している
3. 部活動には所属していない 4. その他（ _____ ）

[13-9] あなたには、1週間のうちで、塾（勉強以外のおけいこ事は除きます）がある日がどれくらいありますか。（○は1つ）

- | | | | | |
|---------|---------|---------|-------|-----------|
| 1. 1～2日 | 2. 3～4日 | 3. 5～6日 | 4. 毎日 | 5. 通っていない |
|---------|---------|---------|-------|-----------|

[13-10] あなたには、1週間のうちで、習い事（勉強のための塾は除きます）がある日がどれくらいありますか。（○は1つ）

- | | | | | |
|---------|---------|---------|-------|-----------|
| 1. 1～2日 | 2. 3～4日 | 3. 5～6日 | 4. 毎日 | 5. 通っていない |
|---------|---------|---------|-------|-----------|

[13-11] あなたは、アルバイトをしたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問14 あなたは、卒業後の進路として、次のうちどれを希望していますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------|--------|-----------|
| 1. 進学 | 2. 就職 | 3. アルバイト |
| 4. 家事手伝い | 5. その他 | 6. 決めていない |

問15 あなたは今、誰と一緒に住んでいますか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|-------|--------------------|---------------|----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父・祖母 | 4. きょうだい |
| 5. 親戚 | 6. 一人暮らし（学校寮、アパート） | 7. その他（_____） | |

問16 あなたは、自分の家の経済状況をどう思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 裕福なほう | 2. わりと裕福なほう | 3. ふつう |
| 4. わりと厳しいほう | 5. 厳しいほう | |

これで終わりです。ありがとうございました。

青少年の体験活動等に関する意識調査（保護者用）

－ 令和元年度調査 －

保護者の皆様へ

「青少年の体験活動等に関する意識調査」ご協力のお願い

本調査は、全国の小・中・高等学校の児童・生徒やその保護者（小学校のみ）の皆様を対象に、子どもたちの体験活動や自立に関する意識等についてアンケート調査を実施し、今後の体験活動の充実に役立てる資料を得ることを目的としています。

大変お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査は封入して提出いただき、当機構につくまで開封されることはありません。また、得られたデータは統計的に処理を行い、数値や図表にまとめますので、個人の回答が公表・特定されることはありません。回収した調査票は厳重に保管しますので、個人のプライバシーの保護については十分配慮し、回答者にご迷惑をかけるようなことはありません。

本調査で得られたデータは、外部研究機関および研究者により二次的に活用されることがありますが、こちらについても、個人の回答が公表・特定されることはありません。

各質問につきましては、ありのままをお答えいただきますようお願いいたします。なお、調査への協力は任意であり、協力しなかったことで不利益を被ることはありません。アンケート調査へのご回答および用紙のご提出により、本調査への協力について同意したこととみなします。

国立青少年教育振興機構
理事長 鈴木 みゆき

- ※ 調査票の問 15、問 17、問 18、問 19 に関しましては、「体格」や「お子さんの教育費」、「家庭の収入」、「家族構成」についておきかせいただく質問となっております。これらは、子どもたちをとりまく経済的問題やそれに伴う体験活動の機会に関する基礎資料を得ることを目的とした質問項目です。
- ※ 質問に「お子さん」とある内容は、この調査票を持ち帰ったお子さんお一人についてご回答ください。
- ※ 答えたくない質問につきましては、お答えいただかなくてもかまいません。

問1 あなたのお子さんの学年と組をご記入ください。..... () 年 () 組

問2 あなたのお子さんの生まれた月は。(○は1つ)...
 1. 1月 2. 2月 3. 3月 4. 4月
 5. 5月 6. 6月 7. 7月 8. 8月
 9. 9月 10. 10月 11. 11月 12. 12月

問3 あなたのお子さんの性別は。(○は1つ)
 1. 男子 2. 女子 3. どちらともいえない
 4. 答えたくない

問4 この調査にご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)
 1. 父親 2. 母親 3. その他

問5 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)
 1. 20～29 歳 2. 30～34 歳 3. 35～39 歳
 4. 40～44 歳 5. 45～49 歳 6. 50 歳以上

問6 あなたのお子さんは、去年の4月からこれまでに、学校の授業や行事以外で、以下の自然体験活動をしましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

	何度もした	少しした	しなかった
(a) 山登りやハイキング、オリエンテーリングやウォークラリー.....	1.	2.	3.
(b) 海や川などで泳いだり、ボート・カヌー・ヨットなどに乗ること..	1.	2.	3.
(c) 乗馬や乳しぼりなど動物とふれあうこと.....	1.	2.	3.
(d) 野外で食事を作ったり、テントに泊まったりすること.....	1.	2.	3.
(e) スキーや雪遊びなど雪の中での活動.....	1.	2.	3.
(f) 昆虫や水辺の生物を捕まえること.....	1.	2.	3.
(g) 植物や岩石を観察したり調べたりすること.....	1.	2.	3.
(h) 星や雲の観察.....	1.	2.	3.
(i) 山菜採りやキノコ・木の実などの採取.....	1.	2.	3.
(j) 魚を釣ったり貝を採ったりすること.....	1.	2.	3.
(k) 自然の材料を使った工作.....	1.	2.	3.
(l) 植林・間伐・下草刈りなどをすること.....	1.	2.	3.
(m) 米や野菜を植えたり育てたりすること.....	1.	2.	3.

問7 あなたのお子さんは、去年の4月からこれまでに、下記の公的機関や民間団体等が行う自然体験活動（問6の(a)から(m)のような活動）に関する行事に参加しましたか。（○はいくつでも）

1. 都道府県・市町村や教育委員会
2. 青年の家・少年自然の家などの教育施設
3. 児童館や公民館などの公的施設
4. 子ども会やスポーツ少年団などの青少年団体
5. PTA・自治会・町内会などの地域の団体
6. スポーツクラブや学習塾
7. 旅行会社などの企業
8. 公益法人やNPO 法人などの民間団体
9. その他の団体
10. 参加しなかった

上記問7で、1. から9. のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問7-2 参加した行事の中に、夏休み中に行われたものはありましたか。（○は1つ）

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

上記問7で、10. に○をつけた方にうかがいます。

問7-3 あなたのお子さんが、行事に参加しなかった理由はなぜですか。（○はいくつでも）

1. 場所や会場が遠いから
2. 団体や行事などがあることを知らないから
3. 参加方法がわからないから
4. 子どもが関心を示さないから
5. 子どもが嫌がるから
6. 子どもの安全面に不安があるから
7. 子どもが苦勞するようなことは避けたいから
8. 子どもが行事に参加する時間がないから
9. 参加費・交通費等でお金がかかるから
10. 保護者などの時間的負担が大きいから
11. 特に理由はない
12. その他（具体的に： _____）

問8 あなたのお子さんは、去年の4月からこれまでに、公的機関や民間団体等が行う活動以外で、家族や友だちなどと一緒に自然体験活動（問6の(a)から(m)のような活動）を行いましたか。（○は1つ）

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 行った | 2. 行わなかった |
|--------|-----------|

上記問8で、「1. 行った」に○をつけた方にうかがいます。

問8-2 行った活動の中に、夏休み中に行われたものはありましたか。（○は1つ）

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

裏面へ続きます

問9 あなたのお子さんは、去年の4月からこれまでに、学校の授業や行事以外で、以下の体験をしましたか。
(○はそれぞれ1つずつ)

	何度もした	少しした	しなかった
(a) 放課後や休日に体を動かす遊びやスポーツをすること.....	1.	2.	3.
(b) 食事の支度、買い物、掃除などのお手伝いをする事.....	1.	2.	3.
(c) お墓参りをすること.....	1.	2.	3.
(d) 体の不自由な人、お年寄り、困っている人などの 手助けをすること.....	1.	2.	3.
(e) 地域の清掃活動や廃品回収などに参加すること.....	1.	2.	3.
(f) (d) (e)以外のボランティア活動に参加すること.....	1.	2.	3.
(g) 地域のスポーツ大会や文化祭などの行事に参加すること.....	1.	2.	3.

問10 あなたのお子さんは、去年の4月からこれまでに、放課後あるいは休日に文化芸術に関わる作品や活動について次のようなことをどのくらいしましたか。

文化芸術に関わる作品や活動の例
映画、音楽（オペラ、ポップス、オーケストラ、コンサートなど）、美術（絵画、彫刻、写真など）、
歴史的な建物や遺跡、演劇やダンスの舞台、芸能（歌舞伎、落語、漫才など）、博物館などでの展示など

	何度もある	少しある	ほとんどない
(e) テレビやDVD、インターネットなどで、文化芸術に関わる 作品や活動を観たり、聴いたりしたこと.....	1.	2.	3.
(f) 映画館、美術館、博物館、劇場などで、文化芸術に関わる 作品や活動を直接観たり、聴いたりしたこと.....	1.	2.	3.
(c) 文化芸術に関わる作品を作ったり、演じたりしたこと.....	1.	2.	3.

問11 あなたは、子どもの体験活動について、次のように思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	とても思う	少し思う	あまり思わない	思わない
(a) 自分の子どもには、今は体験活動よりも勉強を優先させたい....	1.	2.	3.	4.
(b) 学校の授業や行事では、子どもたちが体験活動ができる機会が 十分にある.....	1.	2.	3.	4.
(c) 学校の授業や行事以外では、子どもたちが体験活動ができる 機会が十分にある.....	1.	2.	3.	4.
(d) 現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の 機会が少なくなっている.....	1.	2.	3.	4.
(e) 現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことの できる場所が少なくなっている.....	1.	2.	3.	4.
(f) 自由な体験活動より、作業が決まっている体験活動の方がよい..	1.	2.	3.	4.
(g) 私は子どもたちと一緒に体験活動をすることは苦手である.....	1.	2.	3.	4.

問12 あなたは、お子さんを育てる上で、次のような行動や習慣をどのくらい身につけさせようとしてきましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

	熱心してきた	少ししてきた	あまりしてこなかった	全くしてこなかった
(a) 夜ふかしをしないで早く寝ること.....	1.	2.	3.	4.
(b) 毎朝、起きなければならない時間にきちんと起きること.....	1.	2.	3.	4.
(c) 毎朝、きちんと朝食を食べること.....	1.	2.	3.	4.
(d) 家事の手伝いをする事.....	1.	2.	3.	4.
(e) 与えられたお小遣いの中で計画的にお金を使うこと.....	1.	2.	3.	4.
(f) 家で「おはようございます」「いってきます」「ただいま」 「おやすみなさい」といったあいさつをすること.....	1.	2.	3.	4.

	熱心してきた	少してきた	あまりしてこなかった	全くしてこなかった
(g) 近所の人や知り合いの人に「おはようございます」 「こんにちは」「こんばんは」といったあいさつをすること	1.	2.	3.	4.
(h) インターネットやコンピューターゲームを長時間やり すぎず、時間を守って遊ぶこと	1.	2.	3.	4.
(i) 自分の思ったことをはっきりと言うこと	1.	2.	3.	4.
(j) 周りの人に迷惑をかけずに行動すること	1.	2.	3.	4.
(k) 自分でできることは自分ですること	1.	2.	3.	4.
(l) わからないことは、そのままにしないで調べること	1.	2.	3.	4.
(m) 先のことを考えて、自分で計画を立てること	1.	2.	3.	4.
(n) 困った時でも前向きに取り組むこと	1.	2.	3.	4.
(o) 人から言われなくても、自分から進んで行動すること	1.	2.	3.	4.
(p) 誰とでも分け隔てなく、つきあうこと	1.	2.	3.	4.
(q) 人の話をきちんと聞くこと	1.	2.	3.	4.
(r) 困っている人がいたときに手助けすること	1.	2.	3.	4.
(s) 相手の立場になって考えること	1.	2.	3.	4.
(t) ルールを守って行動すること	1.	2.	3.	4.
(u) 友だちが悪いことをしていたら、やめさせること	1.	2.	3.	4.
(v) 積極的に外遊びすること	1.	2.	3.	4.

問 13 あなたのお子さんは、小学校に入学する前、外遊びが好きでしたか。(○は1つ)

1. とても好きだった 2. 好きだった 3. あまり好きではなかった 4. 嫌いだった

問 14 あなたのお子さんのふだんの生活について、次の質問にそれぞれ答えてください。

[14-1] あなたのお子さんは、調査対象のお子さんを含め、全員で何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

[14-2] あなたのお子さんは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。(○は1つ)

1. 午前6時より前 2. 午前6時以降、午前6時30分より前 3. 午前6時30分以降、午前7時より前
4. 午前7時以降、午前7時30分より前 5. 午前7時30分以降、午前8時より前 6. 午前8時以降

[14-3] あなたのお子さんは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか。(○は1つ)

1. 午後9時より前 2. 午後9時以降、午後10時より前 3. 午後10時以降、午後11時より前
4. 午後11時以降、午前0時より前 5. 午前0時以降

[14-4] あなたのお子さんは、自分だけの部屋（自分が一人で使っている部屋）がありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない

裏面へ続きます

[14-5] あなたのお子さんは、次のような青少年の団体に所属していますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 子ども会やボーイスカウトなどの青少年の団体に所属している |
| 2. 野球やサッカーのチームやスポーツ少年団などのスポーツ団体に所属している |
| 3. 1～2 以外の青少年の団体に所属している |
| 4. 青少年の団体には所属していない |

[14-6] あなたのお子さんは、1 週間のうちで、日中に、屋外で過ごす時間はどのくらいありますか。(○は 1 つ)

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. ほとんどない | 2. 1 時間～5 時間未満 | 3. 5 時間～10 時間未満 |
| 4. 10 時間～15 時間未満 | 5. 15 時間～20 時間未満 | 6. 20 時間以上 |

[14-7] あなたのお子さんには、1 週間のうちで、塾（勉強以外のおけいこ事は除きます）がある日がどれくらいありますか。(○は 1 つ)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|-------|-----------|
| 1. 1～2 日 | 2. 3～4 日 | 3. 5～6 日 | 4. 毎日 | 5. 通っていない |
|----------|----------|----------|-------|-----------|

[14-8] あなたのお子さんには、1 週間のうちで、習い事（勉強のための塾は除きます）がある日がどれくらいありますか。(○は 1 つ)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|-------|-----------|
| 1. 1～2 日 | 2. 3～4 日 | 3. 5～6 日 | 4. 毎日 | 5. 通っていない |
|----------|----------|----------|-------|-----------|

問 15 次の質問にそれぞれ答えてください。

[15-1] 最近はかったあなたのお子さんの身長と体重を書いてください。

(<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>)	cm	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>)	kg
---	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	---	----	---	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	---	----

[15-2] 身長と体重をはかった時期はいつ頃ですか。 (平成・令和) () 年 () 月頃

[15-3] あなたのお子さんは、近視を矯正するもの（眼鏡やコンタクトレンズなど）を使用していますか。

- | | | |
|-----------|------------|--------------------|
| 1. 使用している | 2. 使用していない | 3. 使用していないが必要としている |
|-----------|------------|--------------------|

問 16 あなたのふだんの生活について、次の質問にそれぞれ答えてください。

	何度もある	少しある	ほとんどない
(a) チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと.....	1.	2.	3.
(b) 海や川で貝を取ったり、魚を釣ったりしたこと.....	1.	2.	3.
(c) 大きな木に登ったこと.....	1.	2.	3.
(d) ロープウェイやリフトを使わずに高い山に登ったこと.....	1.	2.	3.
(e) 太陽が昇るところや沈むところを見たこと.....	1.	2.	3.
(f) 夜空いっぱい輝く星をゆっくり見たこと.....	1.	2.	3.
(g) 野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと.....	1.	2.	3.
(h) 海や川で泳いだこと.....	1.	2.	3.
(i) キャンプをしたこと.....	1.	2.	3.

[16-2] あなたは、これまでに次のような地域の活動の世話役や指導者となったこと（現在なっていること）はありますか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 町内会や自治会などの役員や世話役 |
| 2. 子ども会などの育成者・指導者など |
| 3. PTA 役員・学校関係役員など |
| 4. 地域の子どもの文化・スポーツクラブの指導者など |
| 5. ボーイスカウト・ガールスカウトなどの青少年活動（団体）の指導者など |
| 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. なったことはない |

[16-3] あなたは、近所の子どもをほめてあげたり、あるいは、注意したり叱ったりすることがありますか。当てはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. 時々ある | 3. ほとんどない | 4. まったくない |
|---------|---------|-----------|-----------|

[16-4] あなたは、お子さんが小学校に入学する前に、学校外の教育（幼稚園や保育所を除いて）を受けさせたことがありますか。（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. スイミングクラブや体操教室などのスポーツ教室に通わせた |
| 2. お絵書き教室、ピアノなどの音楽教室、バレエなどの芸術・芸能教室に通わせた |
| 3. 作文、英語、算数などを教える教室に通わせたり、添削指導を受けさせた |
| 4. 子ども会や地域団体の企画する体験ができる行事に参加させた |
| 5. 通わせたり、受けさせたことはない |

問 17 さしつかえなければお答えください。あなたのお子さん（この調査票を持ち帰ったお子さんお一人）の学校以外の教育（学習塾や習い事）にかける1ヶ月あたりの平均支出はどれくらいですか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 支出はまったくない | 2. 1万円未満 |
| 3. 1万円以上～2万円未満 | 4. 2万円以上～3万円未満 |
| 5. 3万円以上～5万円未満 | 6. 5万円以上 |

問 18 さしつかえなければお答えください。あなたのご家族全体の世帯収入（税込年収）は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200万円以上～400万円未満 |
| 3. 400万円以上～600万円未満 | 4. 600万円以上～800万円未満 |
| 5. 800万円以上～1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上～1,200万円未満 |
| 7. 1,200万円以上 | |

問 19 あなたのお子さんは今、誰と一緒に住んでいますか。ご自身も含めてください。（○はいくつでも）

- | | | | |
|-------|--------------------|---------------|----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父・祖母 | 4. きょうだい |
| 5. 親戚 | 6. 一人暮らし（学校寮、アパート） | 7. その他（_____） | |

以上で終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。

【参考1】経年比較を行った調査

実施年度 (本調査での略記)	調査名	実施機関
平成10年度調査 (H10)	子供の体験活動等に関するアンケート調査 (文部省委嘱調査)	青少年教育活動研究会
平成17年度調査 (H17)	青少年の自然体験活動等に関する実態調査	国立オリンピック記念青少年総合センター
平成18年度調査 (H18)		
平成20年度調査 (H20)		
平成21年度調査 (H21)	青少年の体験活動等と自立に関する実態調査	
平成22年度調査 (H22)		国立青少年教育振興機構
平成24年度調査 (H24)		
平成26年度調査 (H26)	青少年の体験活動等に関する実態調査	
平成28年度調査 (H28)	青少年の体験活動等に関する意識調査	

【参考 2】探究力に関する 16 項目の探索的因子分析および確認的因子分析結果

小学 4～6 年生、中学 2 年生、高校 2 年生による探究力に関する 16 項目の回答へ最尤法による因子分析（プロマックス回転）を行った。分析の結果、固有値 1 以上で、3 因子が抽出された（表）。

第 1 因子には、「思考力・判断力・表現力等」ならびに「学びに向かう力・人間性」として設定した項目が混在して高い負荷量を示しているが、新学習指導要領における「それぞれのよさを生かしながら個人ではつくりだすことができない価値を生み出すこと」である「協働的な取り組み」と対応していると考えられた（『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 総合的な探究の時間編』（文部科学省，2018））。そこで、第 1 因子は「協働的な態度」と解釈した。

第 2 因子にも、「思考力・判断力・表現力等」ならびに「学びに向かう力・人間性」として設定した項目が混在して高い負荷量を示しているが、新学習指導要領における「自らが設定した課題の解決に向けて真剣に本気になって学習活動に取り組むこと」である「主体的な取り組み」と対応していると考えられた（『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 総合的な探究の時間編』（文部科学省，2018））。そこで、第 2 因子は「主体的な態度」と解釈した。

第 3 因子には、「知識及び技能」として設定した項目が高い負荷量を示しており、「知識や技能の習得」として解釈した。

表 探究力に関する 16 項目への最尤法、プロマックス回転による因子分析結果 ($n=13,813$)

	f1	f2	f3	h^2
(1) ルールを守って行動する	.784	-.208	.036	.445
(i) 人の話をきちんと聞く	.779	-.108	-.020	.487
(k) 相手の立場になって考える	.604	.032	.069	.441
(b) 周りの人に迷惑をかけずに行動する	.551	.066	-.081	.317
(j) 困っている人がいたときに手助けする	.466	.191	.045	.414
(c) 自分でできることは自分でする	.398	.308	-.089	.370
(f) 困った時でも前向きに取り組む	-.017	.741	-.027	.509
(a) 自分の思ったことをはっきりと言う	-.205	.624	-.015	.242
(g) 人から言われなくても、自分から進んでやる	.179	.569	-.002	.499
(e) 先のことを考えて、自分の計画を立てる	.106	.497	.081	.395
(h) 誰とでも協力してグループ活動をする	.243	.403	-.016	.350
(d) わからないことは、そのままにしないで調べる	.137	.367	.164	.344
(p) 日本以外の国や地域の生活や文化に関心がある	-.057	.027	.696	.469
(m) 国や地域の政治や選挙について関心がある	.035	-.052	.652	.410
(o) 実験や観察で新たな発見をすることに興味がある	-.096	.090	.610	.382
(n) 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを読んだ見たりする	.106	-.066	.545	.318
因子間相関	f1			
	f2	.712		
	f3	.489	.570	

注) 重み付け前の回答を分析している。「 h^2 」は共通性である。3 因子で説明可能な分散の総和の割合は、51.1%であった。

抽出された3因子の因子間相関は.489～.712と大きい値であることから、3因子を説明する「探究力」という高次因子を想定することが適切であると考えられた。

そこで、二次因子を想定したモデルについて、小学4～6年生、中学2年生、高校2年生の各群による多母集団の確認的因子分析を行った。分析の結果、CFI=.924、RMSEA=.033でモデルは適合を示しており、小学4～6年生、中学2年生、高校2年生の学校段階にかかわらず、「探究力」として解釈される二次因子を想定することについて一定の妥当性が確かめられた。¹

¹ 適合度のCFIは.90以上（1に近いほど適合）、RMSEAは.05以下であること（0に近いほど適合）が望ましいと考えられている。

参考：星野崇宏・岡田謙介・前田忠彦「構造方程式モデリングにおける適合度指標とモデル改善について：展望とシミュレーション研究による新たな知見」『行動計量学』32巻、2005、pp.209-235.

「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）」報告書 執筆者

池田 幸恭 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員
和洋女子大学人文学部心理学科准教授
(第1章、第2章、第3章、第4章考察)

金藤 ふゆ子 文教大学人間科学部人間科学科教授
(第4章考察)

加藤 承彦 国立成育医療研究センター社会医学研究部行動科学研究室室長
(第4章考察)

土屋 隆裕 横浜市立大学データサイエンス学部教授
(第5章)

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター
(第1章、第2章、第3章)

(お願い)

本報告書を引用された場合には、今後の参考とさせていただきたいと思いますので、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターまで、メール、FAX等でその旨ご連絡いただけましたら幸いです。

「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）」報告書

令和3年3月

編集・発行

国立青少年教育振興機構

青少年教育研究センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

TEL 03-6407-7741 FAX 03-6407-7619
